

根 室 市

市民意識調査報告書

平成 30 年 11 月

根 室 市

目 次

1. 調査の目的	1
2. 調査の方法	1
3. 調査の結果	1
3. 1 調査票の回収結果	1
3. 2 回答者の属性	1
3. 3 根室市の印象についての市民意識	6
3. 4 居住の満足度についての市民意識	8
3. 5 保健医療について	13
3. 6 少子化・子育て支援について	23
3. 7 高齢者支援について	29
3. 8 社会福祉全般について	37
3. 9 交通について	39
3. 10 生活環境について	45
3. 11 防災・減災対策について	54
3. 12 学校教育・社会教育について	57
3. 13 スポーツ・レクリエーション・文化について	64
3. 14 産業の振興について	68
3. 15 情報の共有化について（行政からどのような情報提供を望むか）	73
3. 16 市民協働について（「誰もが何か1つを受け持つ」とした場合に参加する活動）	76
3. 17 市民参画の方法について（まちづくりのための市民参加の方法）	79
3. 18 男女共同参画について	82
3. 19 「ワーク・ライフ・バランス」の認知度	84
4. 市民意識調査結果のまとめ	86
5. 総合計画における成果目標及び総合戦略におけるK P Iの動向	89
6. 根室市創生総合戦略の評価	92
6. 1 基本目標別の政策評価の検討	92
6. 2 まとめ	113
資 料 編	115
資料1 市民意識調査自由回答（問22）	117
資料2. 市民アンケート調査票	エラー! ブックマークが定義されていません。

1. 調査の目的

根室市では、平成 26 年度に、「第 9 期根室市総合計画」を、翌平成 27 年度には、「根室市創生総合戦略」を策定し、将来のまちづくりの目標や将来像を定め、根室市の一層の発展と豊かで活力のある市民生活の実現を図るための施策を推進しているところである。

これらの計画を着実に推進していくためには、その進捗度合いや有効性を逐次確認し、必要に応じて見直しをしていくなど、実情に応じた対応が不可欠である。

本調査は、平成 28 年度及び 29 年度調査に引き続き根室市民約 3,000 名を対象として根室市の住みよさや市政に関する意識調査を実施し、これまでの施策の進捗度合いや市民による有効性等の評価を確認し、今後の計画推進に資することを目的として実施した。

2. 調査の方法

本調査は、16 歳以上の市民を対象として、無作為に約 3,000 名を抽出し、第 9 期根室市総合計画の成果目標指標のうち市民意識に関する指標、及び根室市創生総合戦略における市民意識に関する K P I に係る設問を中心としたアンケート調査を実施した。

なお、今年度調査は、昨年度までの調査票について選択項目の見直し、複数回答設問の単回答設問化を行ったほか、新たに市の施策に対する認知度の項目を加えるなどの修正を行っている。

ただし、各計画策定時からの満足度や達成度を示す指標の比較については、昨年度までの調査との継続性を確保し、その達成状況と課題について検討した。

3. 調査の結果

3. 1 調査票の回収結果

アンケート調査の回収数は 779 票であり、有効回収率は 25.6%であった。

配布数	回収数	有効回収数	有効回収率
3,048	779	779	25.6%

3. 2 回答者の属性

(1) 地区別構成

回答者数の構成は、市街地地区住民が、全体の 85.1%を占め、西部地区住民及び東部地区住民はともに、6.8%であった。

平成30年度調査

	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
地区別件数	663	53	53	10	779
	85.1%	6.8%	6.8%	1.3%	100.0%

なお、市街地、西部地区、東部地区の区分は以下のとおりである。

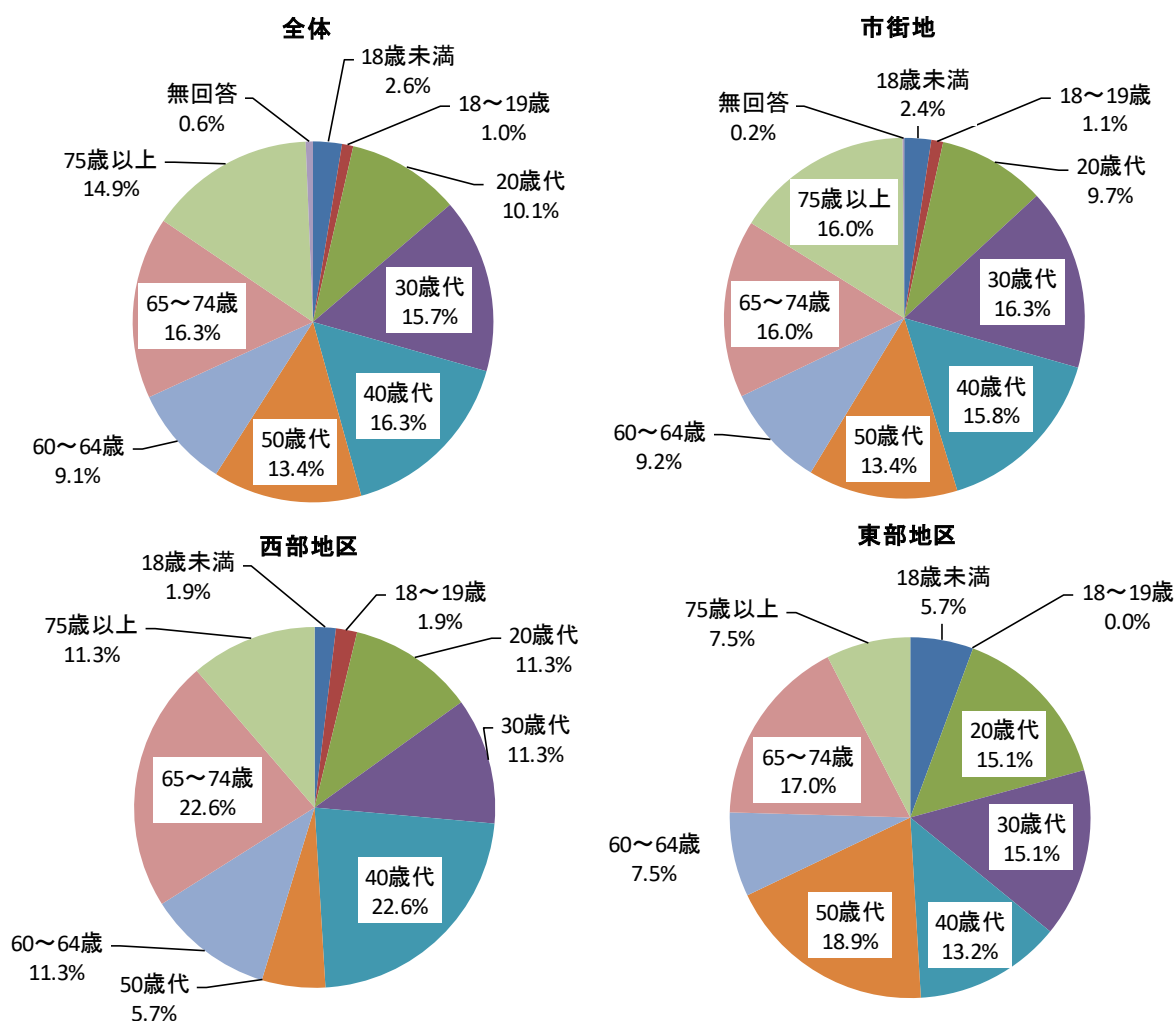
地区区分

地区	居住地区名
市街地	北浜町、琴平町、弁天町、駒場町、汐見町、海岸町、千島町、栄町、月見町、明治町、曙町、宝町、有磯町、朝日町、鳴海町、本町、花咲町、松ヶ枝町、弥栄町、幸町、大正町、常盤町、緑町、梅ヶ枝町、弥生町、清隆町、光和町、北斗町、平内町、岬町、定基町、松本町、敷島町、花園町、西浜町、月岡町、宝林町、昭和町、光洋町、桂木、花咲港
西部地区	穂香、幌茂尻、温根沼、東梅、酪陽、東和田、西和田、長節、浜松、昆布盛、落石東、落石西、別当賀、初田牛、東厚床、厚床、西厚床、明郷、湖南、川口、檜昔、春国岱
東部地区	友知、双沖、齒舞、瑤瑤瑠、納沙布、温根元、豊里、牧の内

(2) 年齢別構成

回収票の年齢階層別構成をみると、今年度調査も各年齢階層から回答が得られている状況となっており、市街地地区では30歳代が、西部地区では40歳代と65～74歳が、東部地区では50歳代の割合がやや高い傾向がみられている。

前回調査と比較すると60歳未満の割合がやや増加し、60歳以上の割合がやや減少しているものの、大きな変化はない。



平成30年度調査

	件数				
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
18歳未満	16	1	3	0	20
18～19歳	7	1	0	0	8
20歳代	64	6	8	1	79
30歳代	108	6	8	0	122
40歳代	105	12	7	3	127
50歳代	89	3	10	2	104
60～64歳	61	6	4	0	71
65～74歳	106	12	9	0	127
75歳以上	106	6	4	0	116
無回答	1	0	0	4	5
計	663	53	53	10	779
	構成比				
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
18歳未満	2.4%	1.9%	5.7%	0.0%	2.6%
18～19歳	1.1%	1.9%	0.0%	0.0%	1.0%
20歳代	9.7%	11.3%	15.1%	10.0%	10.1%
30歳代	16.3%	11.3%	15.1%	0.0%	15.7%
40歳代	15.8%	22.6%	13.2%	30.0%	16.3%
50歳代	13.4%	5.7%	18.9%	20.0%	13.4%
60～64歳	9.2%	11.3%	7.5%	0.0%	9.1%
65～74歳	16.0%	22.6%	17.0%	0.0%	16.3%
75歳以上	16.0%	11.3%	7.5%	0.0%	14.9%
無回答	0.2%	0.0%	0.0%	40.0%	0.6%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

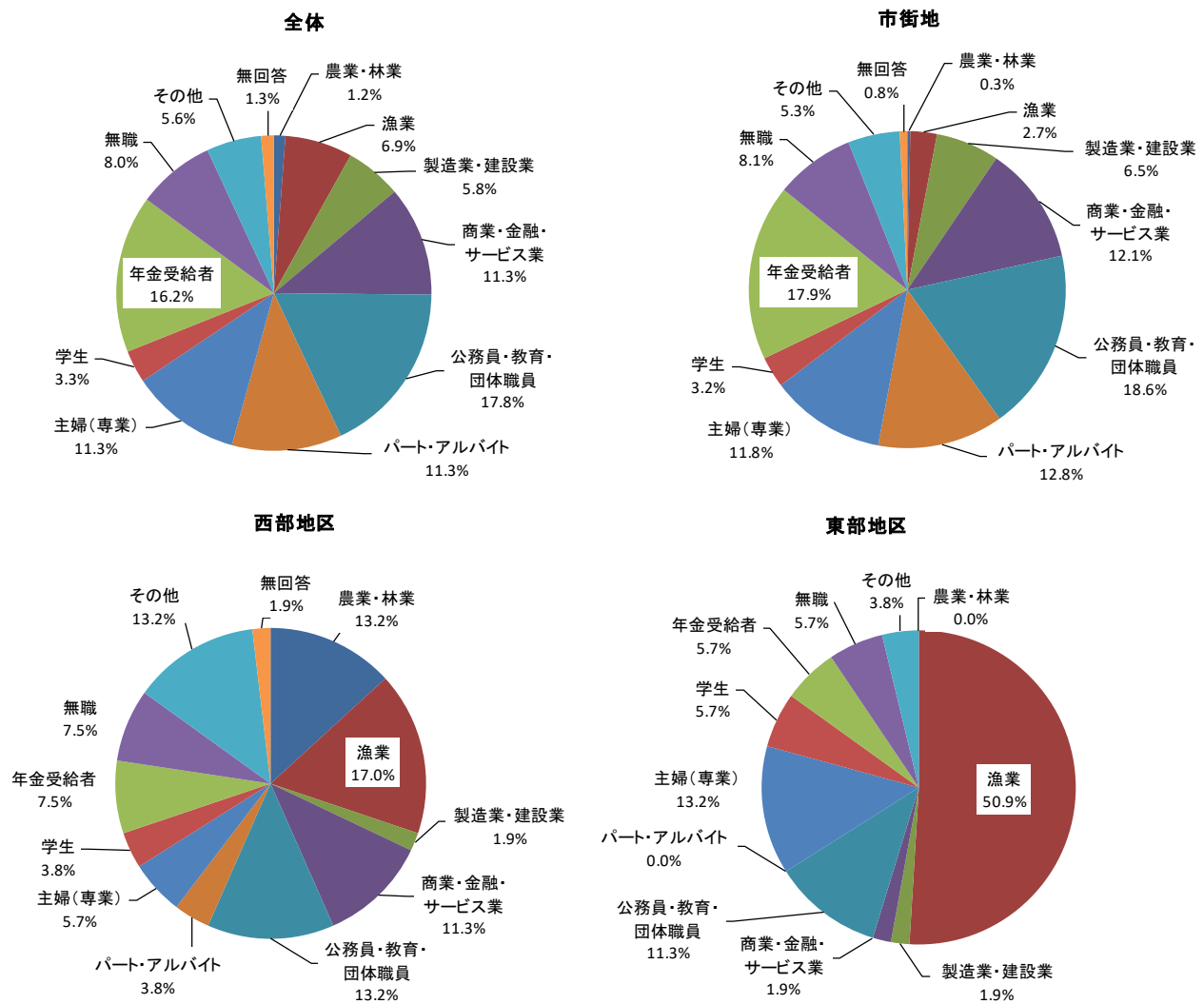
年齢層	平成 25 年 度調査 構成比(a) (%)	平成 28 年 度調査 構成比(b) (%)	平成 29 年 度調査 構成比(c) (%)	平成 30 年 度調査 構成比(d) (%)	増減率 (ポイント) b-a	増減率 (ポイント) c-b	増減率 (ポイント) d-c
30歳代以下	20. 8	31. 2%	29. 8%	29. 4%	+10. 4	-1. 4	-0. 4
40～50歳代	31. 7	30. 7%	27. 3%	29. 7%	- 1. 0	-3. 4	+2. 4
60歳以上	45. 9	37. 9%	42. 3%	40. 3%	- 8. 0	+4. 4	-2. 0

注：無回答を除く

(3) 職業別構成

職業別構成をみると、全体では公務員・教育・団体職員、年金受給者、専業主婦、パート・アルバイト、商業・金融サービス業の順で多くなっているが、この構成は地区別で差がみられている。

市街地では、他の地区に比して公務員・教育・団体職員、年金受給者のほか、商業・金融・サービス業、パート・アルバイトが多い。西部地区では、漁業、農業・林業、公務員・教育・団体職員が多いが、他の地区に比して農業・林業の割合が高い。また、東部地区は漁業が 50.9%と最も多くなっているなど、それぞれの地区で特徴がみられている。

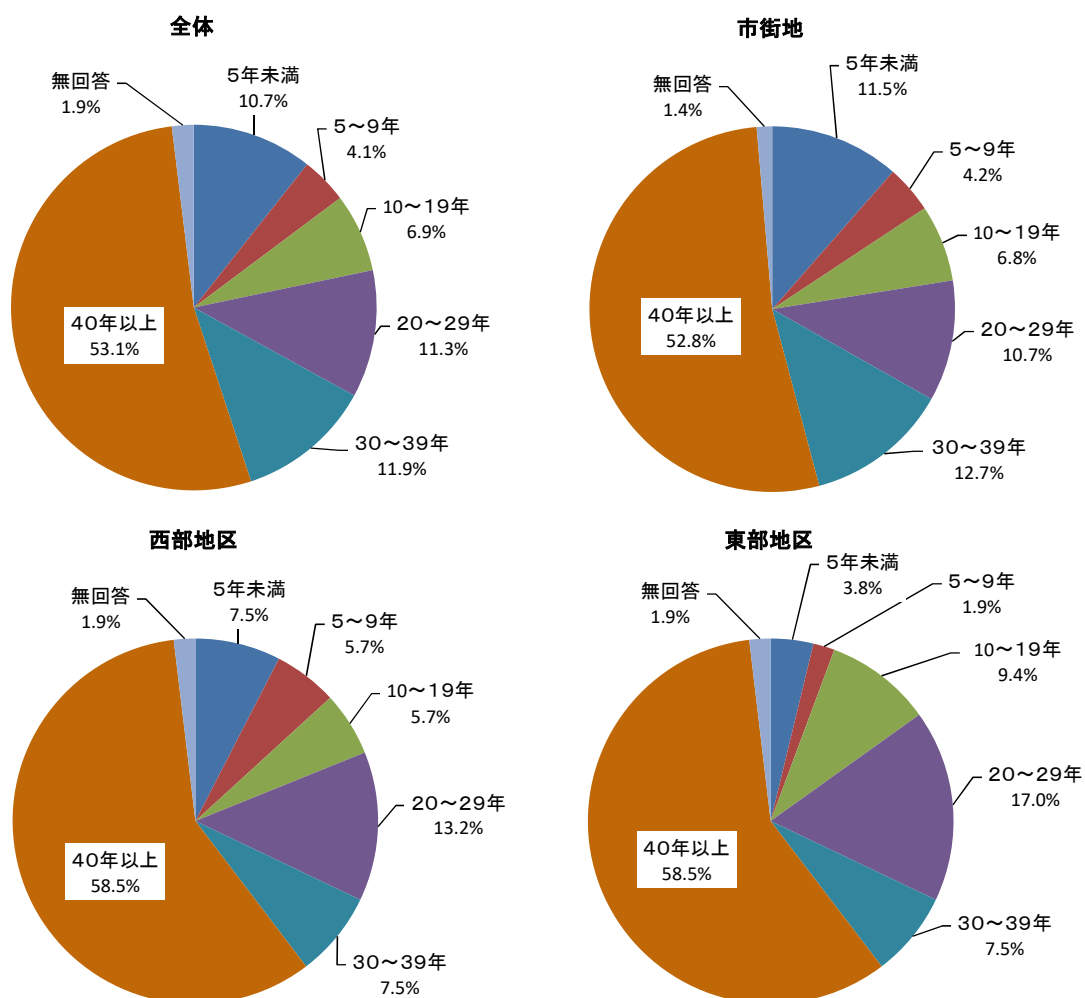


平成30年度調査

	件数				
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
農業・林業	2	7	0	0	9
漁業	18	9	27	0	54
製造業・建設業	43	1	1	0	45
商業・金融・サービス業	80	6	1	1	88
公務員・教育・団体職員	123	7	6	3	139
パート・アルバイト	85	2	0	1	88
主婦(専業)	78	3	7	0	88
学生	21	2	3	0	26
年金受給者	119	4	3	0	126
無職	54	4	3	1	62
その他	35	7	2	0	44
無回答	5	1	0	4	10
計	663	53	53	10	779
	構成比				
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
農業・林業	0.3%	13.2%	0.0%	0.0%	1.2%
漁業	2.7%	17.0%	50.9%	0.0%	6.9%
製造業・建設業	6.5%	1.9%	1.9%	0.0%	5.8%
商業・金融・サービス業	12.1%	11.3%	1.9%	10.0%	11.3%
公務員・教育・団体職員	18.6%	13.2%	11.3%	30.0%	17.8%
パート・アルバイト	12.8%	3.8%	0.0%	10.0%	11.3%
主婦(専業)	11.8%	5.7%	13.2%	0.0%	11.3%
学生	3.2%	3.8%	5.7%	0.0%	3.3%
年金受給者	17.9%	7.5%	5.7%	0.0%	16.2%
無職	8.1%	7.5%	5.7%	10.0%	8.0%
その他	5.3%	13.2%	3.8%	0.0%	5.6%
無回答	0.8%	1.9%	0.0%	40.0%	1.3%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(4) 居住年数

根室市での居住年数についてみると、どの地区も 40 年以上居住している回答者の割合が最も高くなっているが、市街地では 5 年未満の回答者の割合が他の地区よりもやや高く、東部地区は 20 年以上の居住者の割合が高くなっている。



平成30年度調査

	件数				
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
5年未満	76	4	2	1	83
5～9年	28	3	1	0	32
10～19年	45	3	5	1	54
20～29年	71	7	9	1	88
30～39年	84	4	4	1	93
40年以上	350	31	31	2	414
無回答	9	1	1	4	15
計	663	53	53	10	779
	構成比				
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
5年未満	11.5%	7.5%	3.8%	10.0%	10.7%
5～9年	4.2%	5.7%	1.9%	0.0%	4.1%
10～19年	6.8%	5.7%	9.4%	10.0%	6.9%
20～29年	10.7%	13.2%	17.0%	10.0%	11.3%
30～39年	12.7%	7.5%	7.5%	10.0%	11.9%
40年以上	52.8%	58.5%	58.5%	20.0%	53.1%
無回答	1.4%	1.9%	1.9%	40.0%	1.9%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

3. 3 根室市の印象についての市民意識

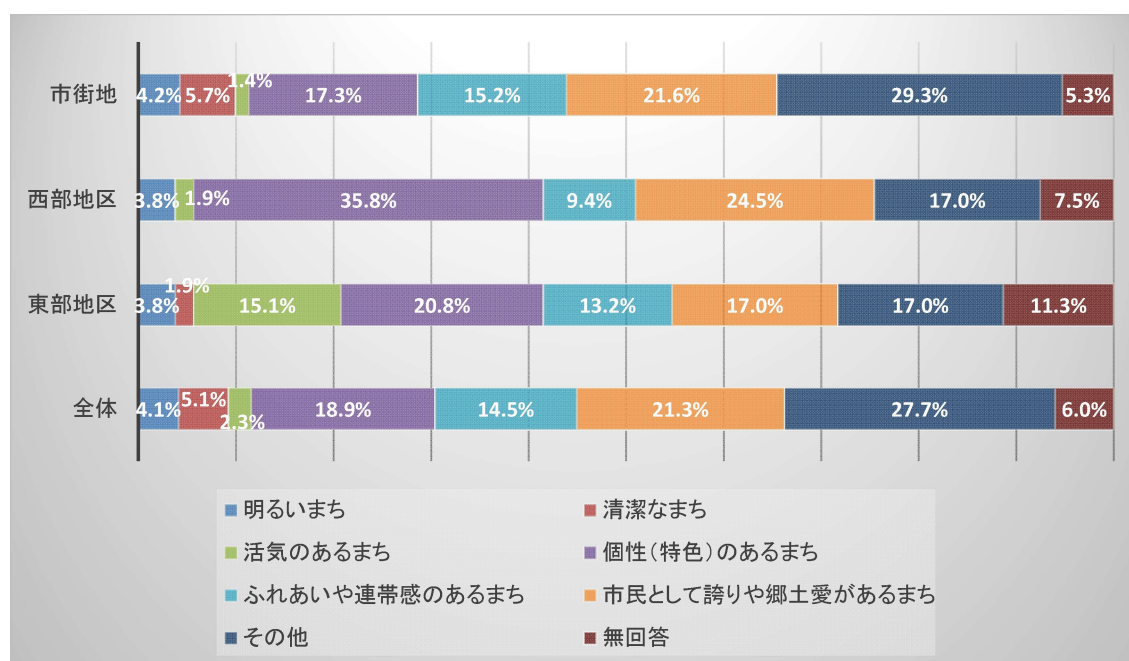
根室市のイメージとして最も回答割合が高かったのは、市民全体では「その他」で、次いで「市民として誇りや郷土愛があるまち」であった。

地区別では、市街地住民は、「その他」が最も高く 29.3%となっており、次いで「市民として誇りや郷土愛があるまち」となっている。

西部地区は「個性（特色）」あるまち」が、35.8%と最も高く、次いで、「市民として誇りや郷土愛があるまち」が 24.5%となっている。

東部地区は「個性（特色）」あるまち」が、20.8%と最も高く、次いで、「市民として誇りや郷土愛があるまち」と「その他」が 17.0%となっている。

「その他」の内容としては、「活気がない」「寂しい」「何もないまち」「暗いまち」といったマイナスイメージをあげる回答が多かったが、「自然が豊富」「食べ物が美味しい」「伝統を守り、継承しているまち」といったプラスイメージをあげる回答もみられている。



前回までの調査結果においては、「市民として誇りや郷土愛があるまち」や「ふれあいや連帯感のあるまち」、「個性（特色）」あるまち」に対して、比較的评价が高くなっていた。今回の調査では、各イメージのうち1つだけを回答してもらう形式をとっているため、過去の結果との直接的な比較はできないものの、プラスイメージとしては、「市民として誇りや郷土愛があるまち」や「個性（特色）」あるまち」の回答割合が高くなっており、概ね、過去調査と同様の結果となっていることが伺える。

過去調査結果（得点換算）

	平成28年度調査得点				平成29年度調査得点			
	市街地	西部地区	東部地区	全体	市街地	西部地区	東部地区	全体
明るいまち	2.07	2.24	2.32	2.12	1.98	2.22	2.04	2.00
清潔なまち	2.40	2.36	2.31	2.39	2.35	2.48	2.02	2.33
活気のあるまち	1.72	1.91	1.89	1.76	1.56	1.83	1.53	1.58
個性(特色)のあるまち	2.45	2.47	2.70	2.48	2.47	2.52	1.84	2.42
ふれあいや連帯感のあるまち	2.73	2.74	2.81	2.74	2.48	2.52	2.40	2.47
市民として誇りや郷土愛があるまち	2.93	3.05	2.68	2.93	2.84	2.85	2.70	2.82

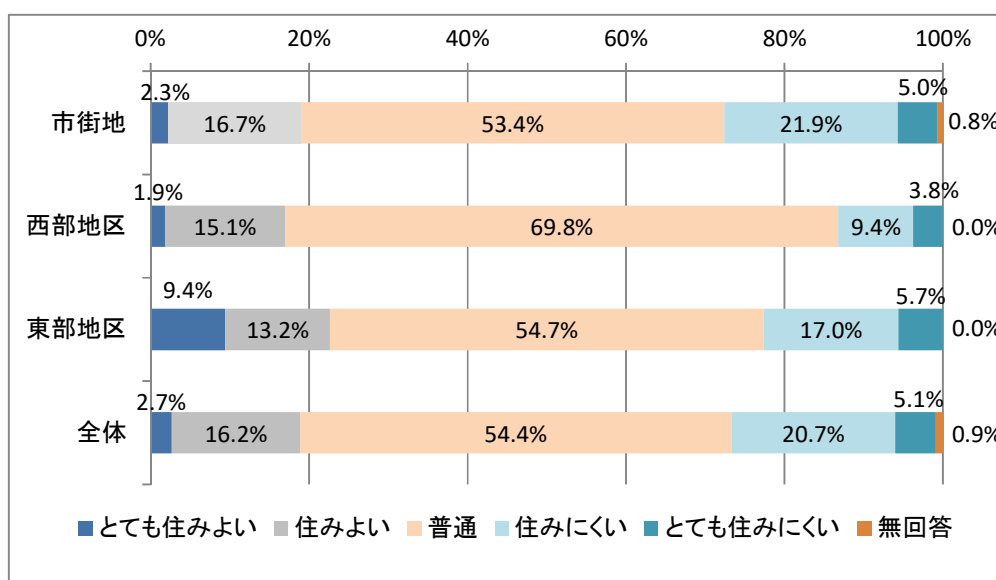
注：平成28年度及び29年度調査では、各イメージごとに、そう思うかどうかを問う設問であったため、「そう思う」を5点、「やや思う」を4点、「さほど思わない」を2点、「思わない」を1点、「わからない」を3点として、平均得点を算出した。

3. 4 居住の満足度についての市民意識

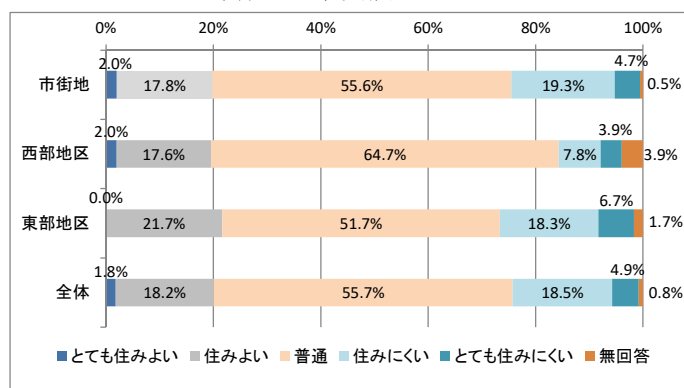
(1) 居住の満足度（住みやすいと思っているか）

根室市を住みよいまちと思っているかについては、市民全体で 18.9%となっており前回までの調査結果よりもやや低下している。地区別でみても市街地及び西部地区は、前回までの調査をやや下回る結果となっている。

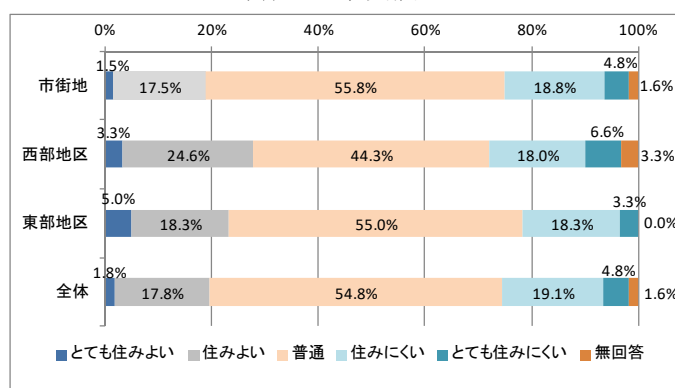
<平成 30 年度調査>



<平成 29 年度調査>



<平成 28 年度調査>

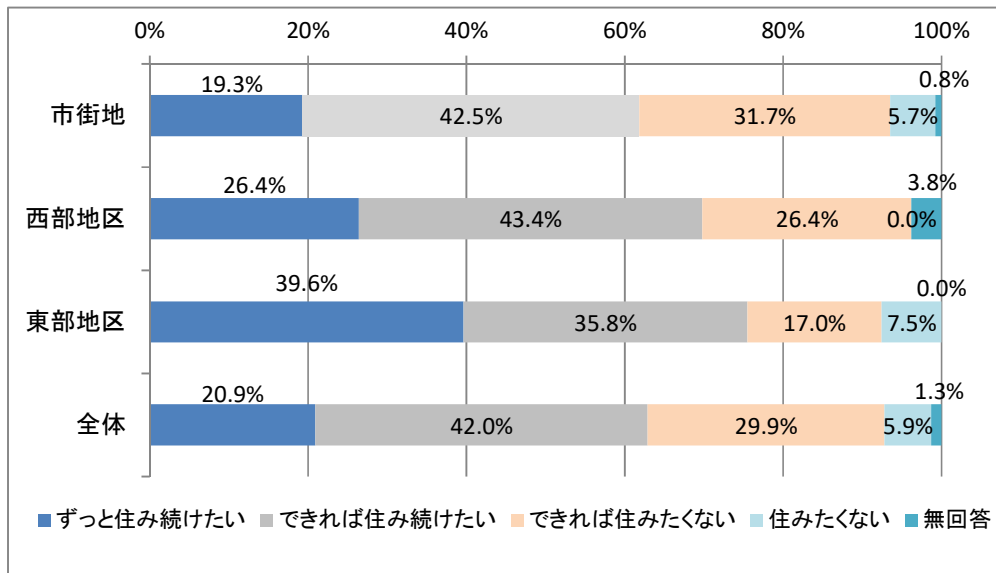


（２）定住度について（根室に住み続けたいと思うか）

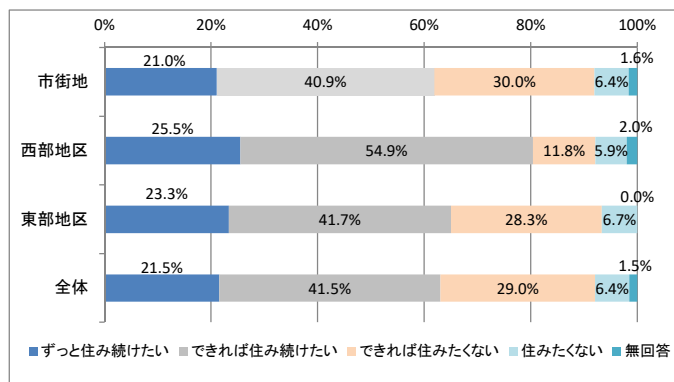
例年、根室市の住みやすさについては、否定的な回答が多いものの、住み続けたいかどうかについては、各地区とも 60%を超えていた。

今回の調査も昨年度までの調査と同様の結果となっており、定住意向が強いことが把握された。

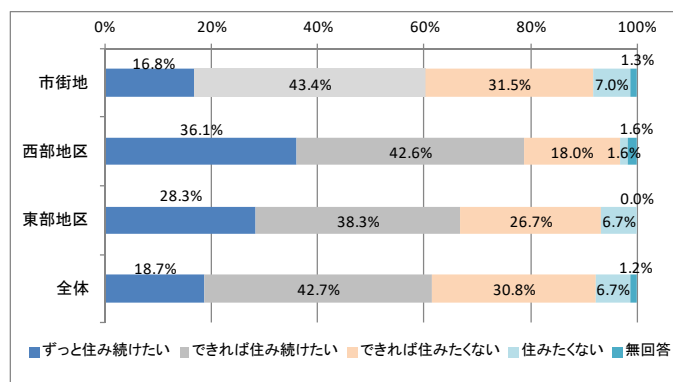
<平成 30 年度調査>



<平成 29 年度調査>



<平成 28 年度調査>



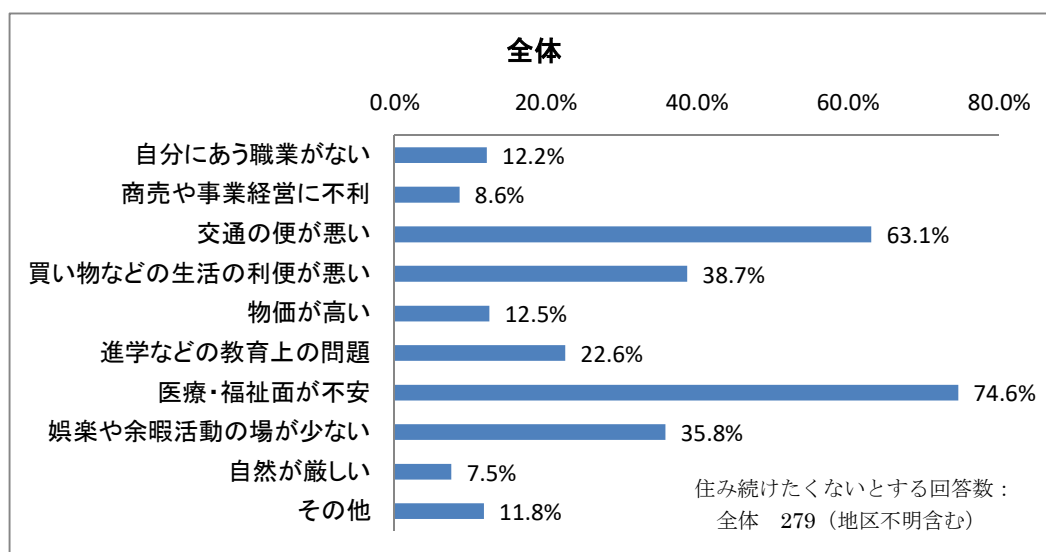
(3) 住み続けたくない理由

①根室市全体

根室市に住み続けたくないとする住民割合は、全体で 40% 近くとなっており、前回までの調査結果とほぼ同程度となっている。この住み続けたくない理由をみると、「医療・福祉面が不安」とする回答割合が 74.6% と最も多く、次いで「交通の便が悪い」、「買い物などの生活の利便が悪い」、「娯楽や余暇活動の場が少ない」の順となっており、前回調査とほぼ同じ結果となっている。

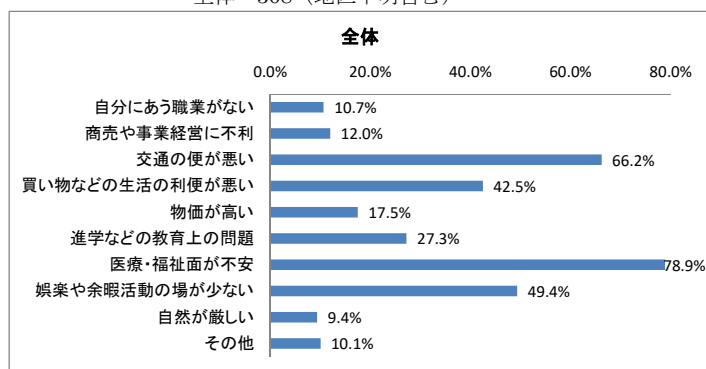
前回までの調査結果と比較すると、順位の変動はあるものの、上位 4 項目が大きな理由となっている状況は同様の結果となっている。

<平成 30 年度調査>



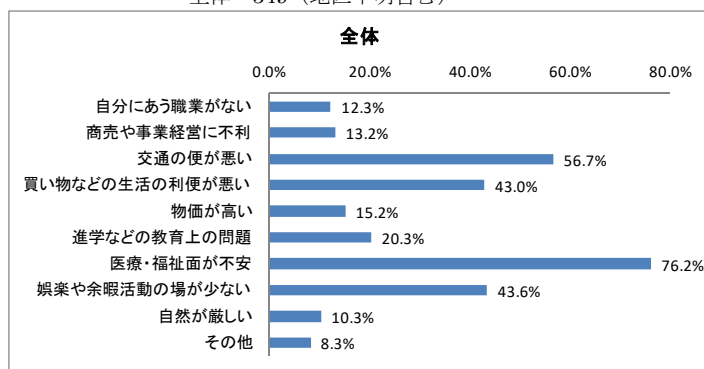
<平成 29 年度調査>

住み続けたくないとする回答数：
全体 308（地区不明含む）



<平成 28 年度調査>

住み続けたくないとする回答数：
全体 349（地区不明含む）



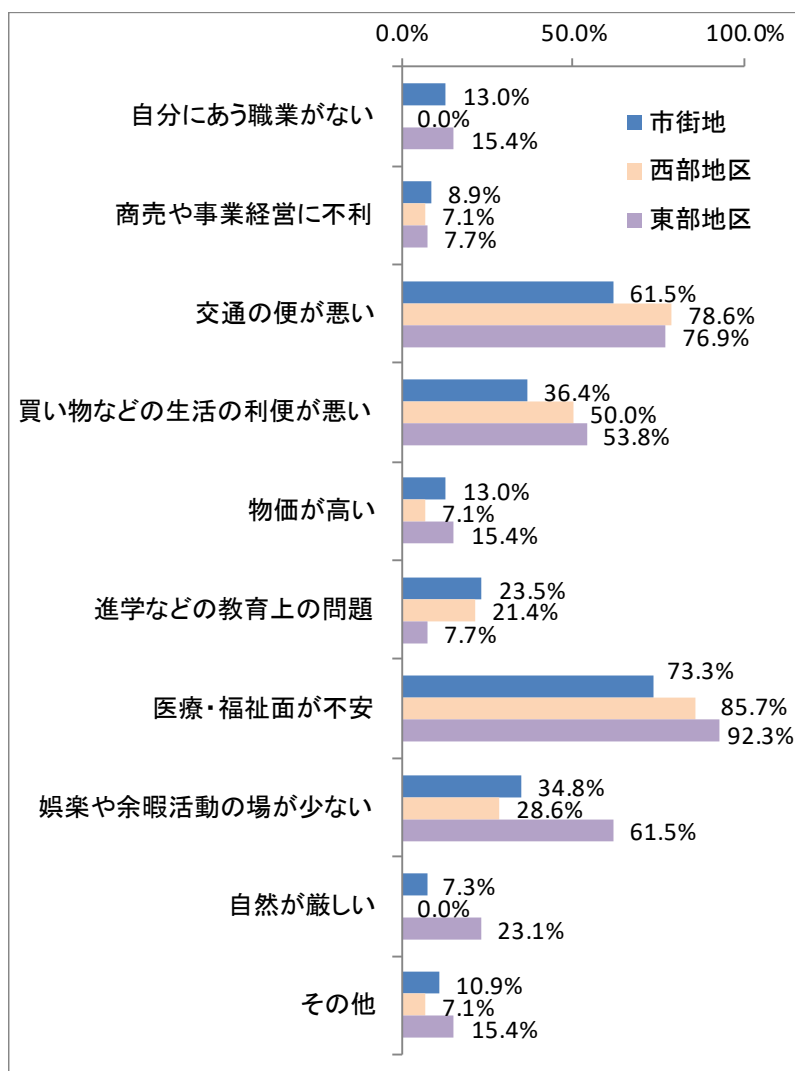
注：各年度の調査とも 3 つまでの選択を求めている

②地区別

地区別にみると、「医療・福祉面での不安」や「交通の便が悪い」は、前回までの調査結果と同様に、すべての地区で高くなっている。

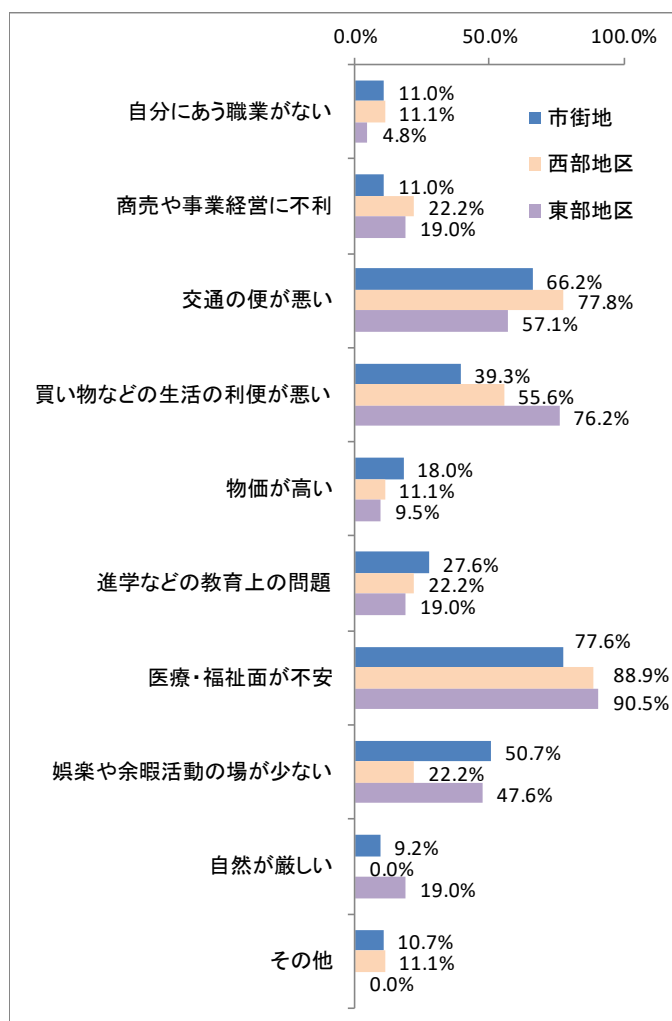
また、「買い物等の生活利便性が悪い」や「娯楽や余暇活動の場が少ない」を住み続けたくないとする理由にあげる地区ごとの割合は、調査年度により変動がみられるものの、上位にあげられている傾向は同様となっている。

<平成 30 年度調査>



住み続けたくないとする回答数
 市街地 : 247 件
 西部地区 : 14 件
 東部地区 : 13 件

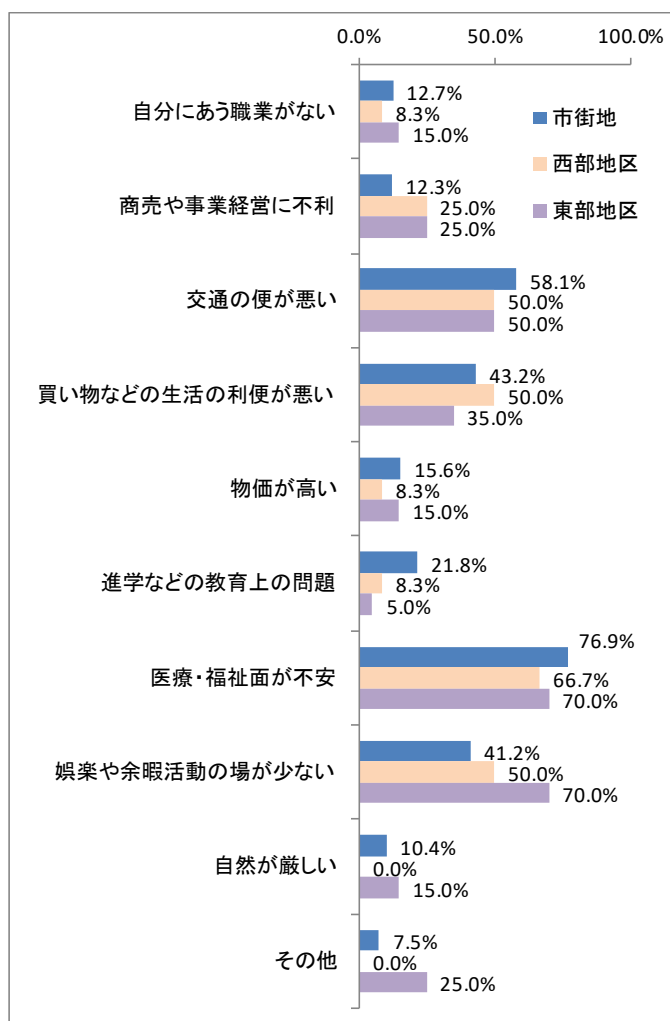
<平成 29 年度調査>



住み続けたくないと
する回答数

市街地 : 272 件
西部地区 : 9 件
東部地区 : 21 件

<平成 28 年度調査>



住み続けたくないと
する回答数

市街地 : 308 件
西部地区 : 12 件
東部地区 : 20 件

注：本設問は3つまでの選択を求めている

3. 5 保健医療について

(1) 現在の健康状態

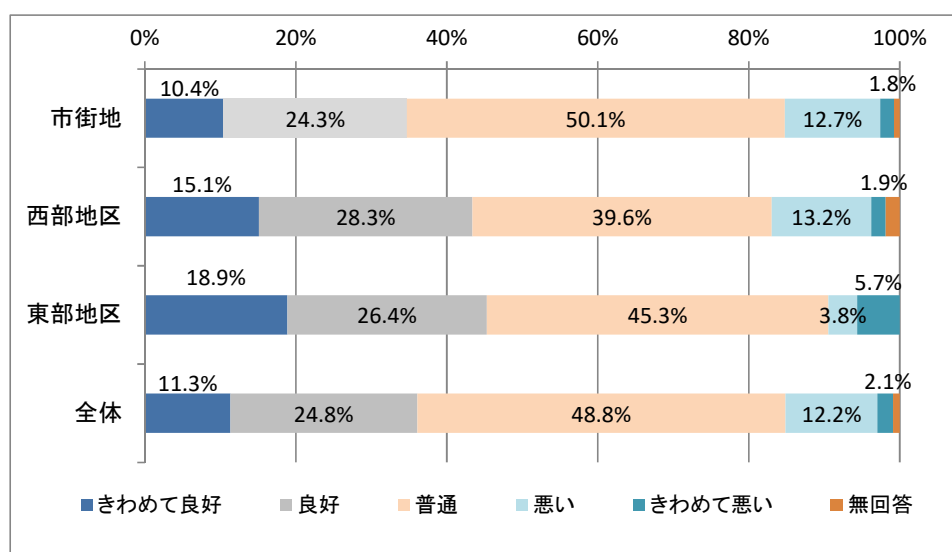
現在の健康状態についてみると、「きわめて良好」「良好」を合わせた「良好」であるとする割合は、回答者全体で 36.1%となっており、これに対して「悪い」及び「きわめて悪い」とする回答は 14.3%となっている。「良好」であるとする割合は、市街地でやや低い傾向がみられている。

一方、60 歳以上の回答者についてみると、「良好」の割合は 20%程度まで低下しているものの、「悪い」とする回答も 20%程度に留まっている。

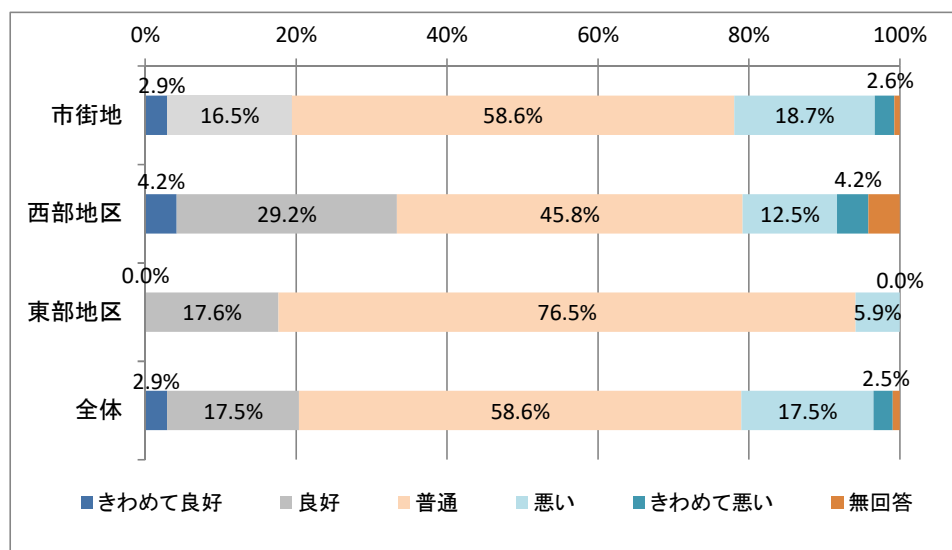
この結果は、これまでの調査とほぼ同様の結果となっている。

<平成 30 年度調査>

(全年齢層)

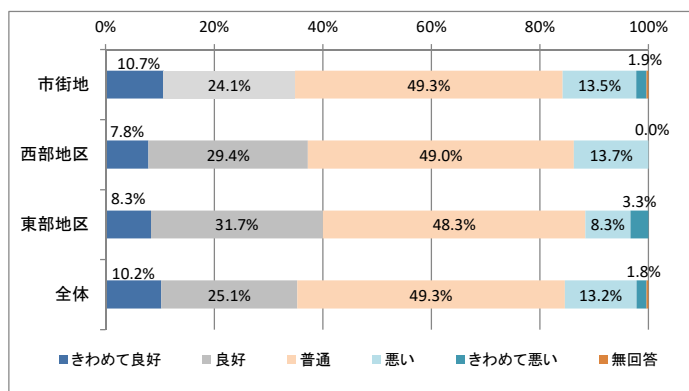


(60 歳以上)



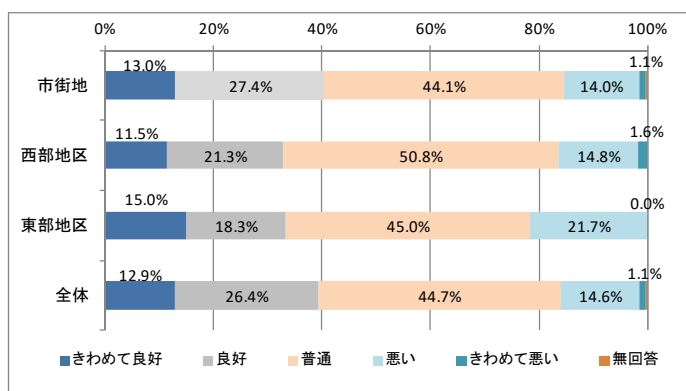
<平成 29 年度調査>

(全年齢層)

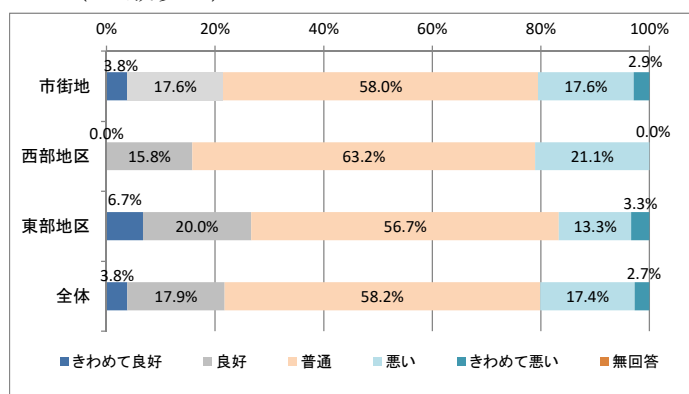


<平成 28 年度調査>

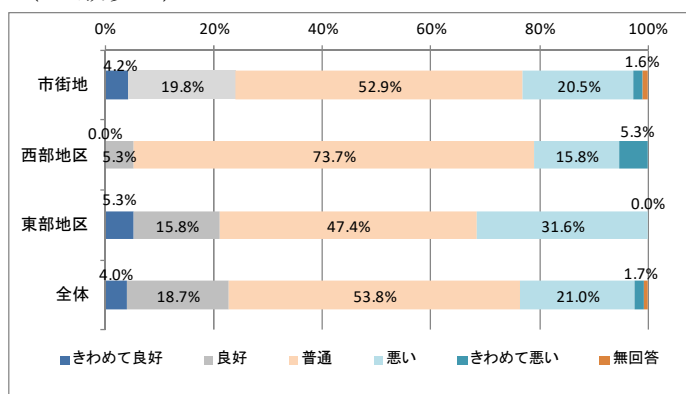
(全年齢層)



(60 歳以上)



(60 歳以上)



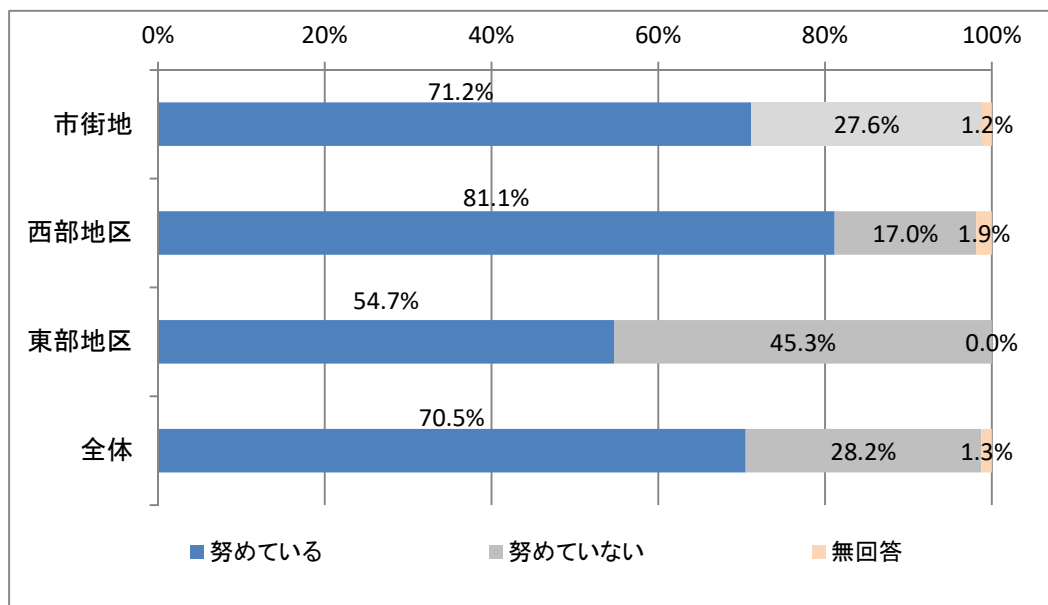
(2) 健康管理

日常の健康管理の状況についてみると、回答者全体では70.5%が、60歳以上の回答者では86.9%が「努めている」としているなど、健康管理への意識が高い状況が把握される。ただし、東部地区では全年齢層及び60歳以上のいずれも「努めている」割合が低くなっている。

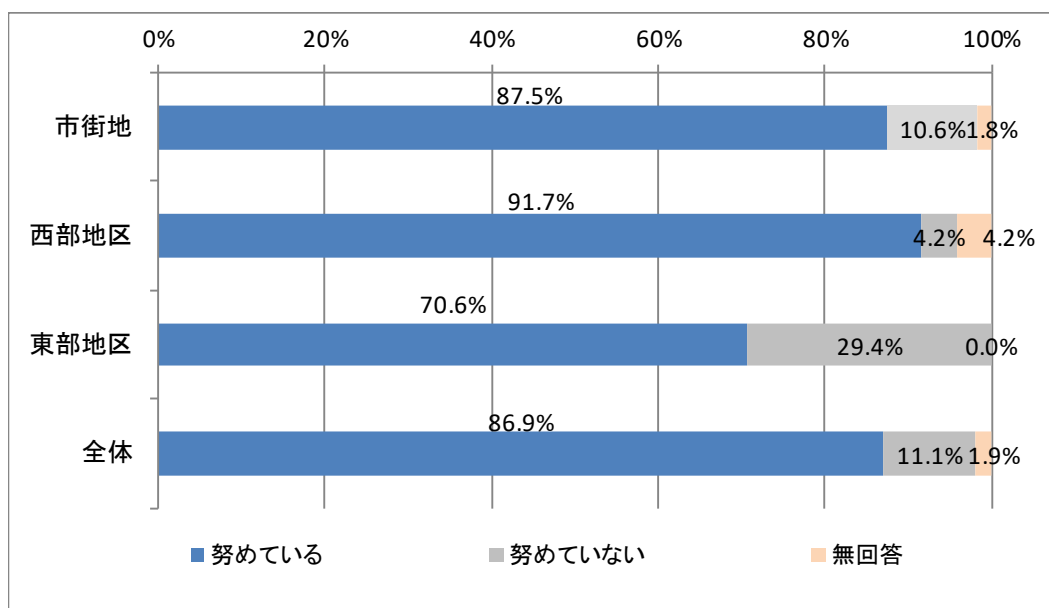
平成29年度までの調査結果と比較すると、全年齢層、60歳以上の回答者とも、健康管理に「努めている」とする割合は、同水準を維持している。

<平成30年度調査>

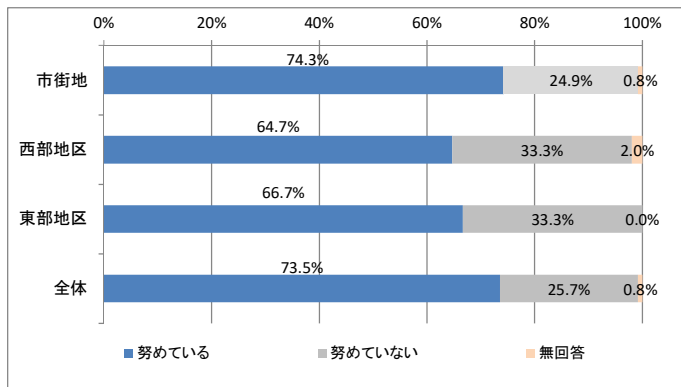
(全年齢層)



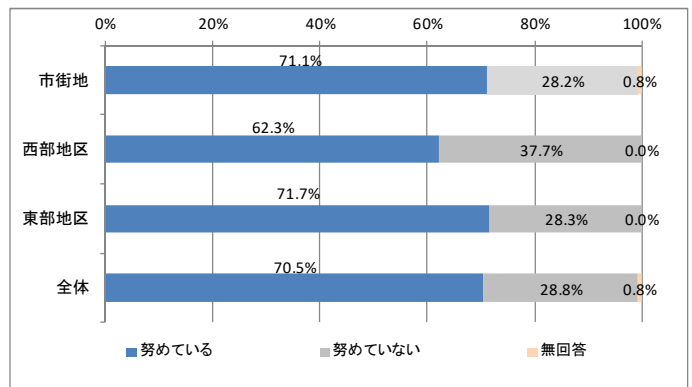
(60歳以上)



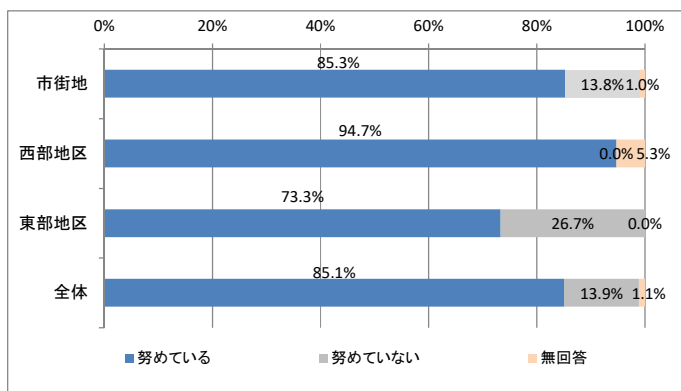
<平成 29 年度調査>
(全年齢層)



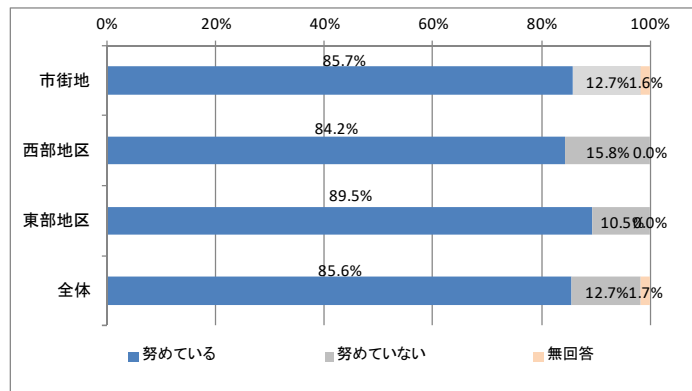
<平成 28 年度調査>
(全年齢層)



(60 歳以上)



(60 歳以上)



(3) 30分以上の運動の実施状況

1日30分以上の運動を行っている頻度についてみると、全年齢層では「ほとんどしていない」が最も多く36.7%となっている反面、週に1日以上（「毎日」「週に2日以上」「週に1日程度」の合計）運動している割合は、54.2%と半数を超えている。

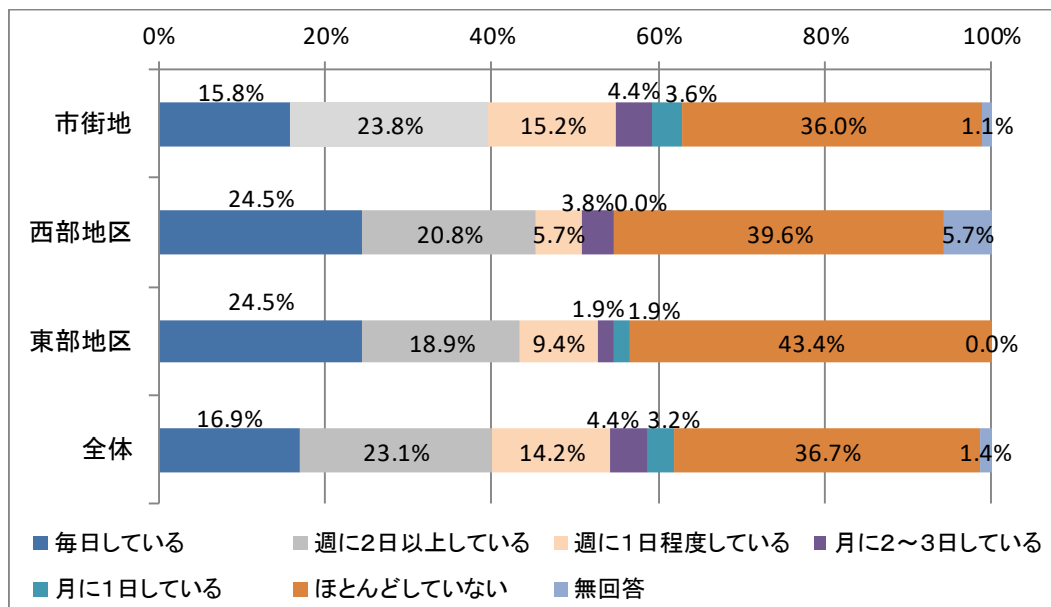
一方、60歳以上の回答者についてみると、「週に2日以上」が27.4%と最も多くなっており、週に1日以上運動している割合は66.6%と、市民全体よりも高い割合を示している。

地区別でみると、総じて西部地区で実施している住民の割合が低くなっている。

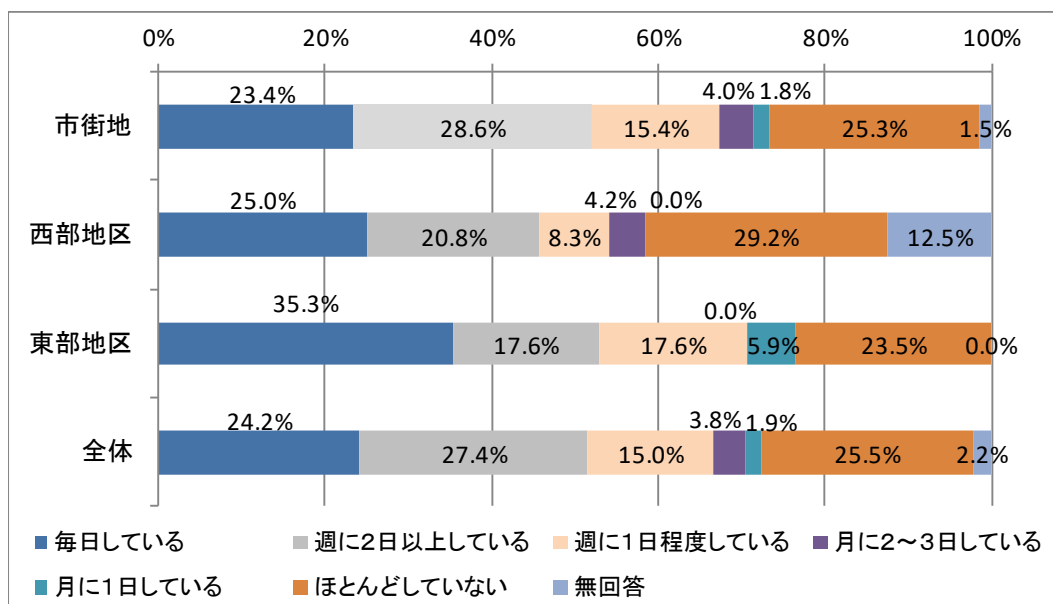
地区別での変動がみられるものの、30分以上の運動を週1日以上実施している市民の割合は、ほぼこれまでの調査結果と同様となっている。

<平成30年度調査>

(全年齢層)

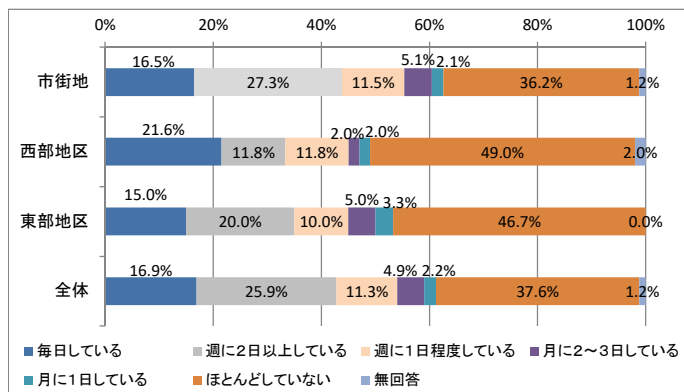


(60歳以上)



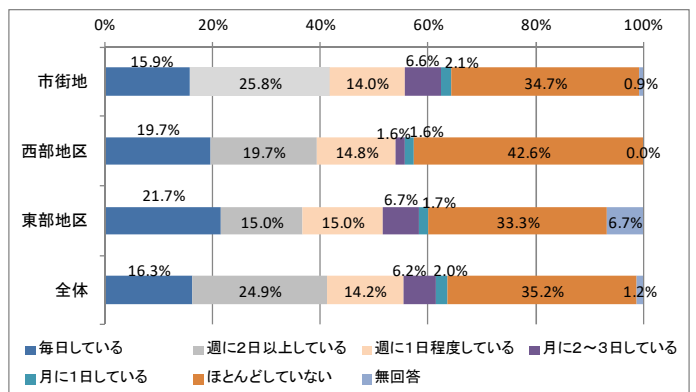
<平成 29 年度調査>

(全年齢層)

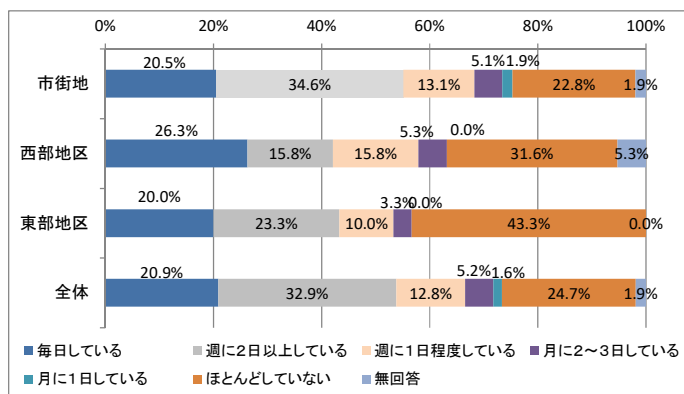


<平成 28 年度調査>

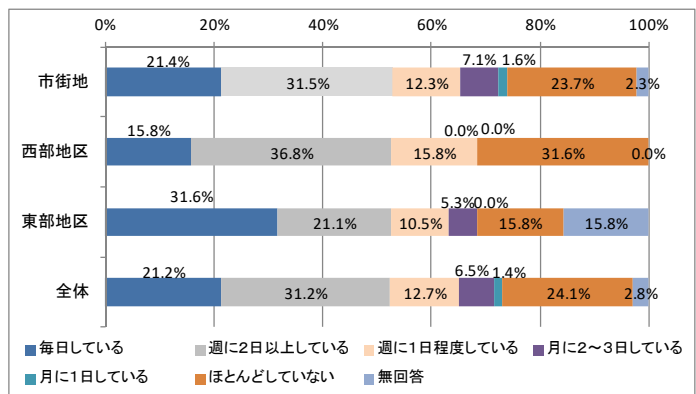
(全年齢層)



(60 歳以上)



(60 歳以上)

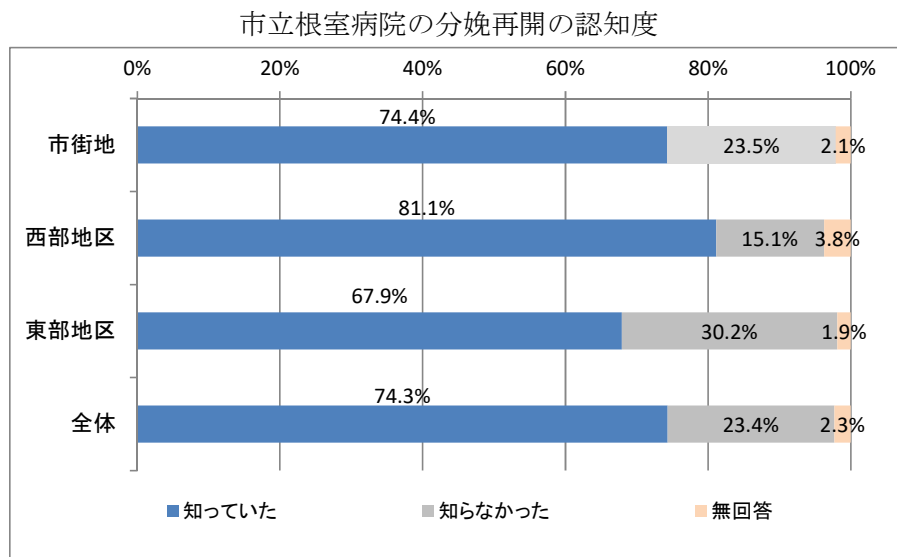


(4) 市立根室病院の分娩再開の認知度について

本設問は、平成 30 年度調査から追加した項目である。

根室市では、平成 29 年 4 月 1 日から経産婦の方を対象に分娩を再開しているが、そうした状況を市民が認知しているかどうかについて調査した結果、74.3%の方が「知っていた」としている。

この結果は、20 歳未満の認知度が低くなっている以外は、年齢階層での大きな差はみられておらず、子育て世代である 20 歳～40 歳代での認知度と 60 歳以上での認知度では大きな差はなかった。



年齢階層別認知度

	年齢階層								子育て世代 (20歳代～40歳代)
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明	全体	
知っていた	12	58	94	99	78	236	2	579	251
知らなかった	15	21	27	27	24	67	1	182	75
無回答	1	0	1	1	2	11	2	18	2
計	28	79	122	127	104	314	5	779	328
	構成比								子育て世代 (20歳代～40歳代)
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明	全体	
知っていた	42.9%	73.4%	77.0%	78.0%	75.0%	75.2%	40.0%	74.3%	76.5%
知らなかった	53.6%	26.6%	22.1%	21.3%	23.1%	21.3%	20.0%	23.4%	22.9%
無回答	3.6%	0.0%	0.8%	0.8%	1.9%	3.5%	40.0%	2.3%	0.6%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

（５）根室市の医療環境に対する満足度

市内の病院などの医療環境に対する回答者全体の満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた回答割合は、7.7%となっており、平成 29 年度調査の結果とほぼ同様の満足度合いであるという結果であった。

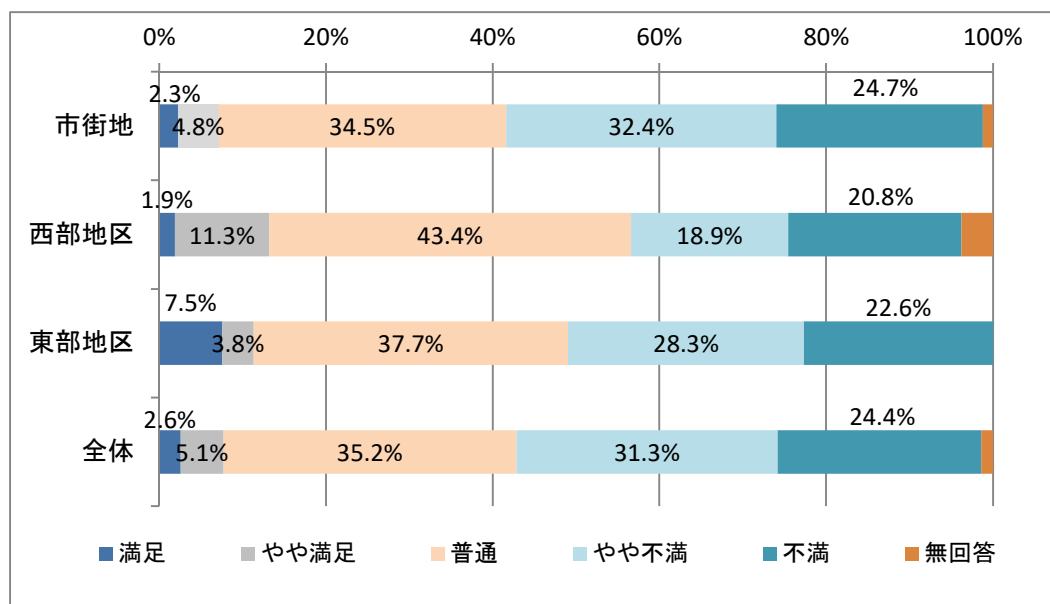
地域別も同様で、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、市街地で 7.1%、西部地区及び東部地区で 11.3%～13.2%となっている。

今回調査の結果と平成 29 年度までの調査結果との大きな差は、今回調査の方が「普通」の回答割合が 35.2%と高い（平成 28 年度調査で 17.0%、平成 29 年度調査で 21.9%）ことであり、この結果、「やや不満」と「不満」を合わせた割合が、55.7%と、これまでの調査結果よりも低下している。

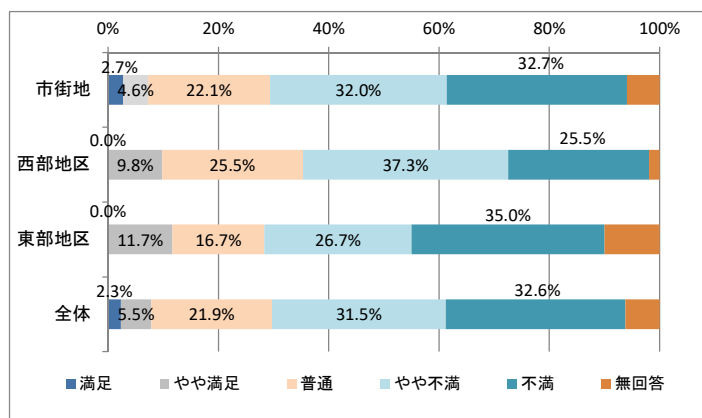
この結果は市立病院での分娩が可能となったことなどの成果とも伺える。

根室市の医療環境に対する満足度

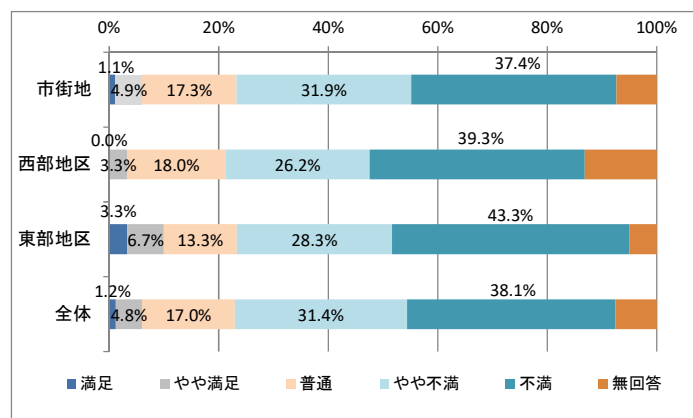
（平成 30 年度調査）



（平成 29 年度調査）



（平成 28 年度調査）



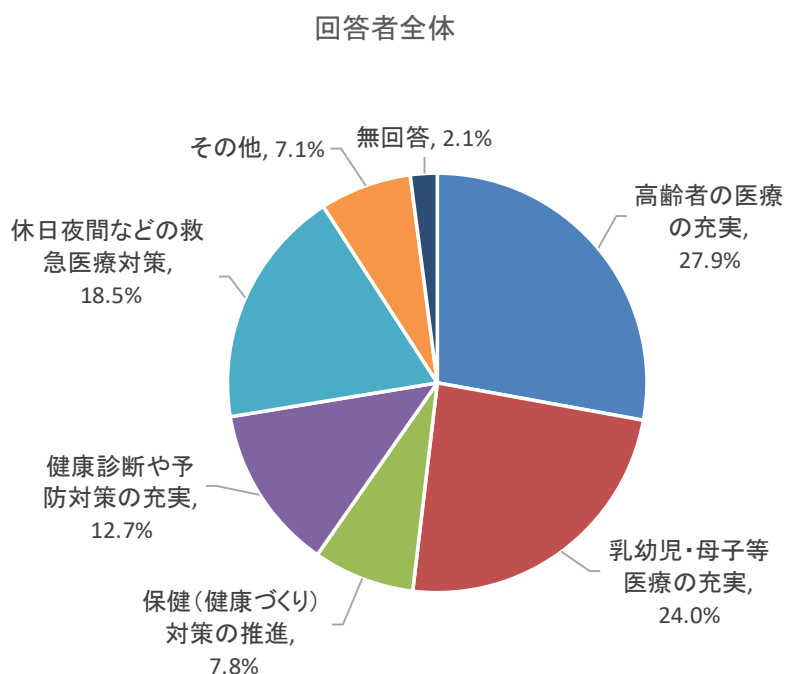
(6) 保健医療政策について

①市民全体

根室市の保健医療に関して、今後重点的に取り組むべきと考える政策を1つだけ回答してもらった結果、回答者全体では、「高齢者の医療の充実」が最も多く、27.9%を占めた。次いで、「乳幼児・母子等医療の充実」が24.0%、「休日夜間などの救急医療対策」が18.5%、「健康診断や予防対策の充実」が12.7%の順であった。

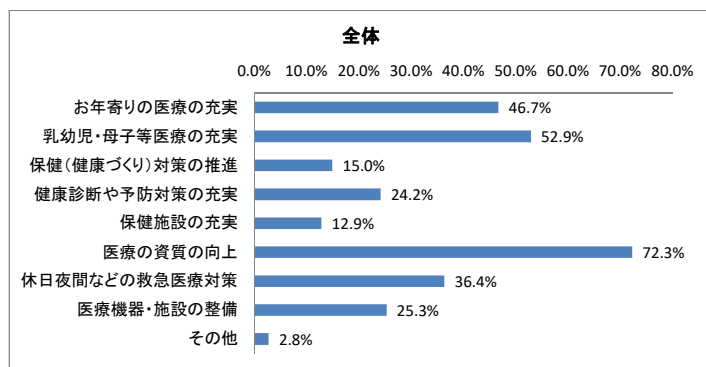
平成29年度までの調査とは、選択肢が異なることや平成29年度までの調査が回答数を3つまでであったことなどにより、直接的な比較はできないが、「高齢者の医療の充実」、「乳幼児・母子等医療の充実」、「休日夜間などの救急医療対策」に対する要望が多い傾向は同様の結果であった。

<平成30年度調査>

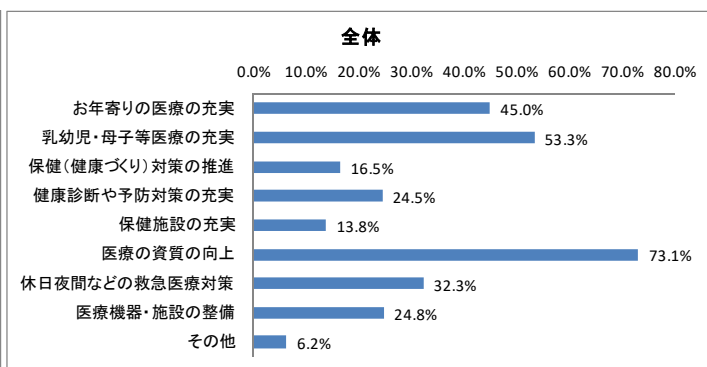


注：昨年までの選択肢にあった「医療の資質の向上」、「医療機器・施設の整備」が、他の設問と広義で重複することから、平成30年度調査では、割愛した。

<平成29年度調査>



<平成28年度調査>

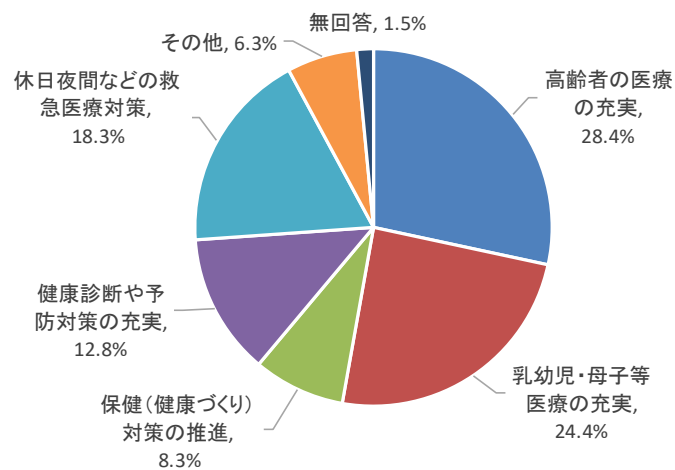


注：28年度及び29年度調査は3つまでの選択を求めている

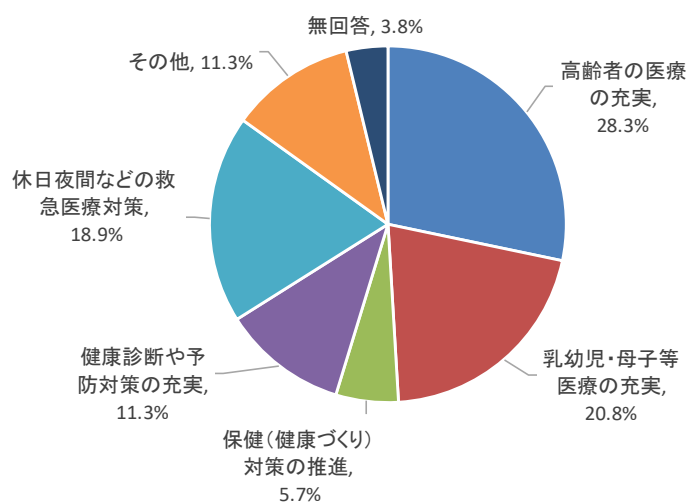
②地区別

「高齢者の医療の充実」、「乳幼児・母子等医療の充実」、「休日夜間などの救急医療対策」に対する要望の高さは、各地区とも同様の結果となっている。

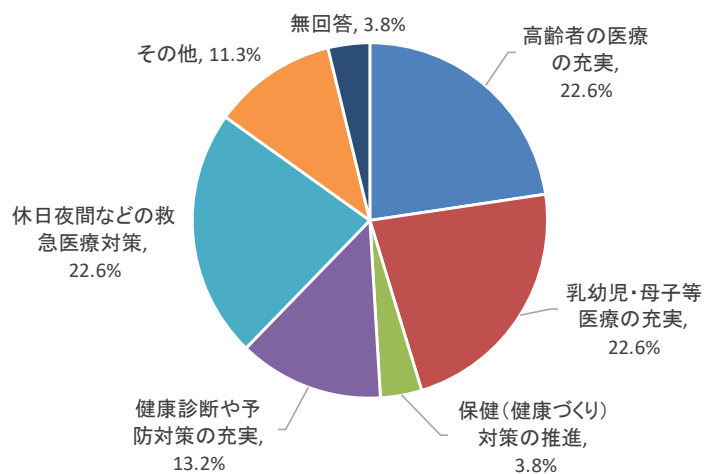
市街地



西部地区



東部地区



3. 6 少子化・子育て支援について

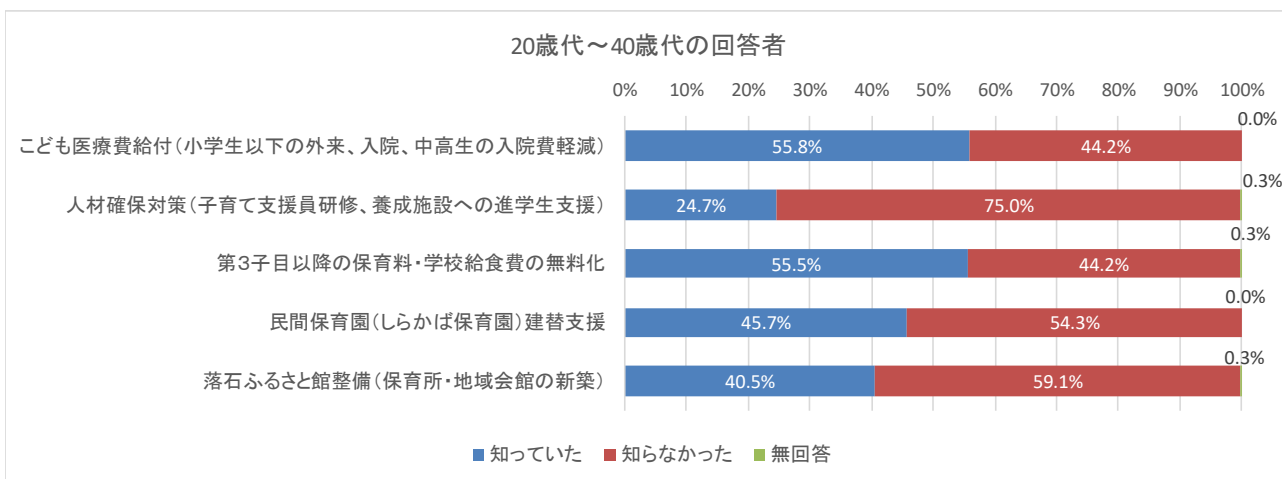
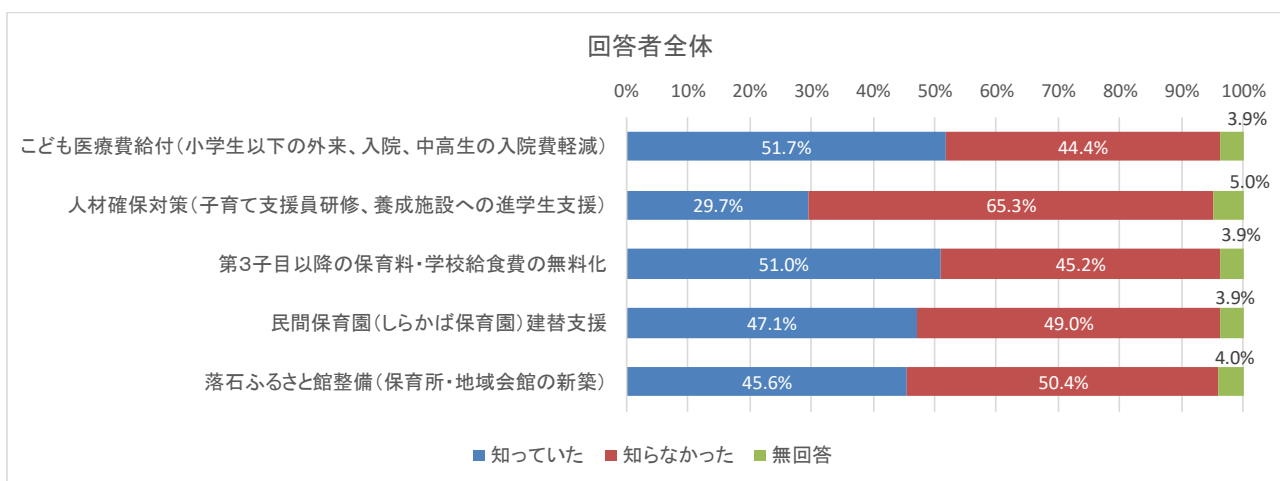
(1) 施策に対する認知度

①全体

根室市で実施している「少子化対策」、「地域の子育て支援」に関する主要施策についての認知度についてみると、回答者全体では、ここで取り上げた施策については、概ね 50%程度の認知度であることが把握された。

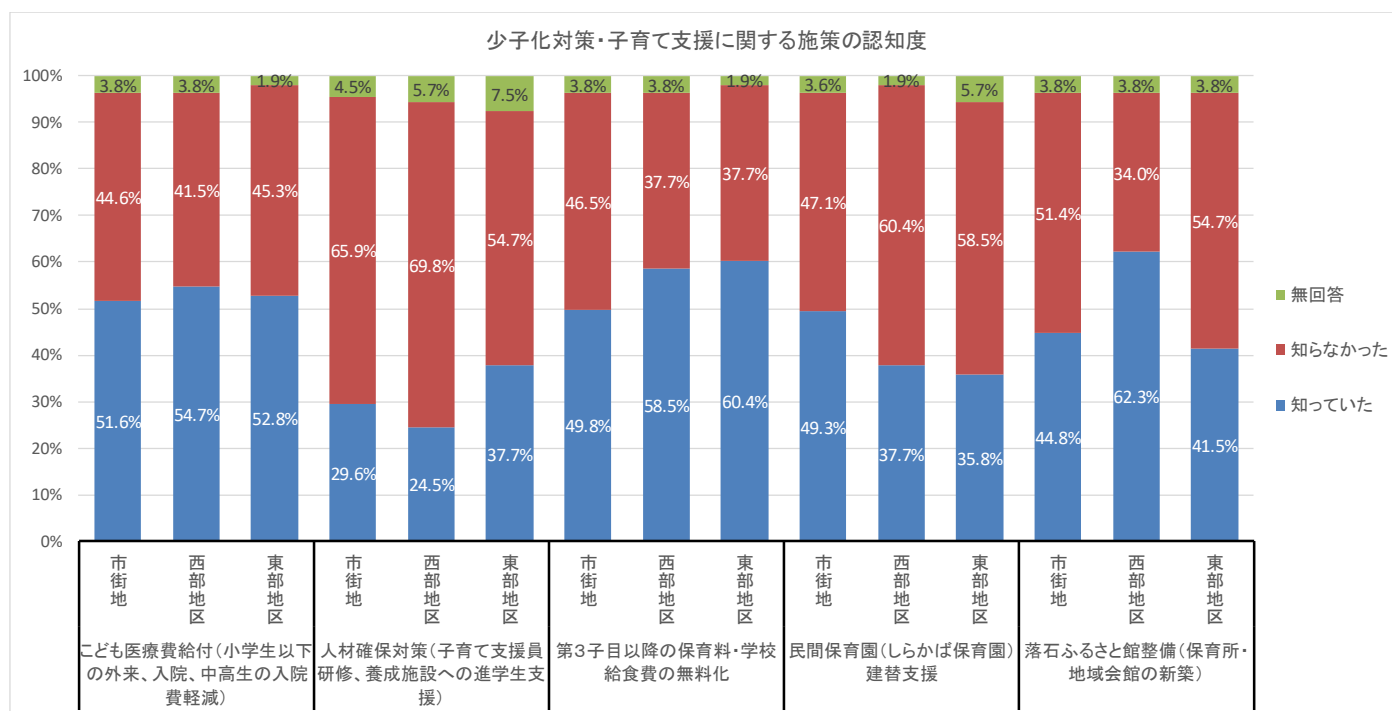
ただし、人材確保対策に関しては、30%を切る認知度と、やや低い結果となっている。

一方、子育て世代と考えられる 20 歳代～40 歳代の回答者についてみると、「こども医療費給付」、「第3子目以降の保育料・学校給食費の無料化」については、全体よりもやや高い認知度であった。



②地区別

「少子化対策」、「地域の子育て支援」に関する主要施策についての認知度を地区別にみると、「民間保育園の建替支援」や「落石ふるさと館整備」のように地区が特定される施策については差がみられるものの、経済的支援に関しては、どの地区とも認知度が高くなっている。



（２）乳幼児や子どものための福祉施設の状況に対する満足度

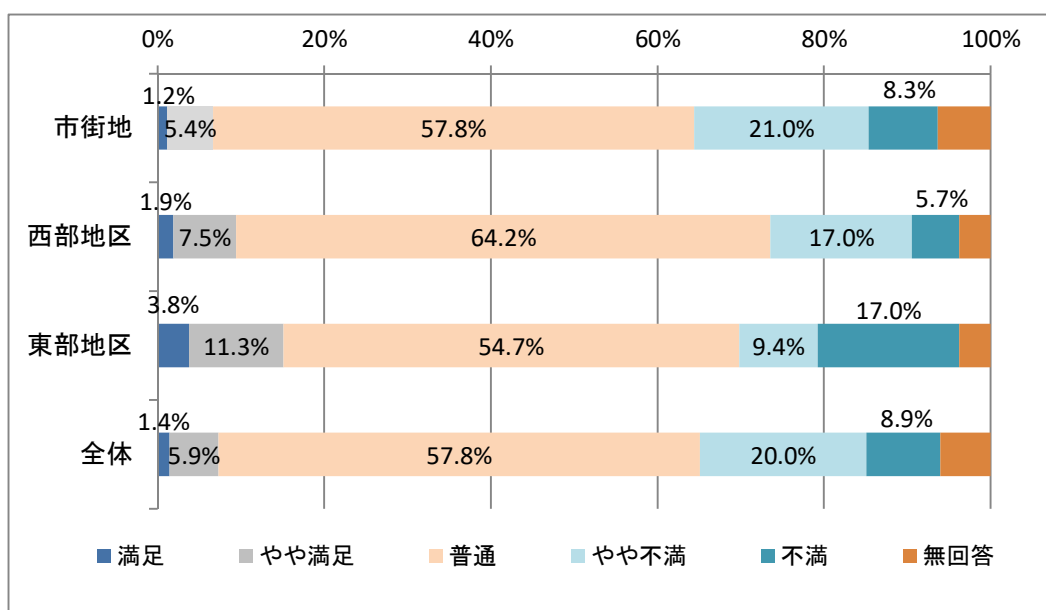
乳幼児や子どものための福祉施設の状況に対する回答者全体の満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた回答割合は、7.3%となっており、平成29年度までの調査の結果を上回っている。

地域別も同様に、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、市街地で6.6%、西部地区9.4%、東部地区15.1%と大幅に増加している。

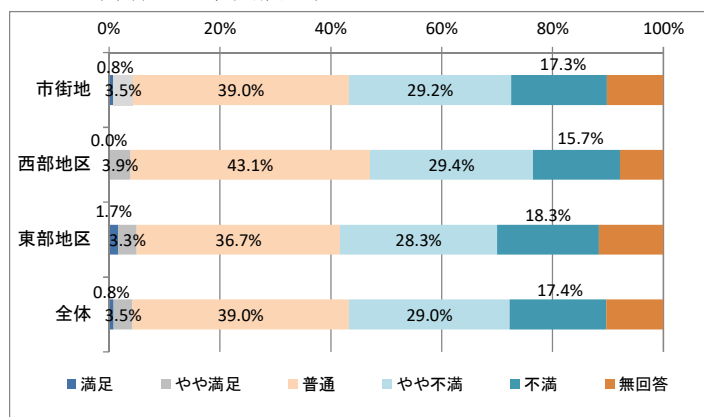
平成29年度までの調査結果との大きな違いは、「満足」と「やや満足」が増加しただけでなく、「普通」の回答割合が60%前後と高くなっていることであり、この結果、「普通」以上とする回答割合は、昨年までの40%前後から70%前後にまで増加している。

乳幼児や子どものための福祉施設の状況に対する満足度

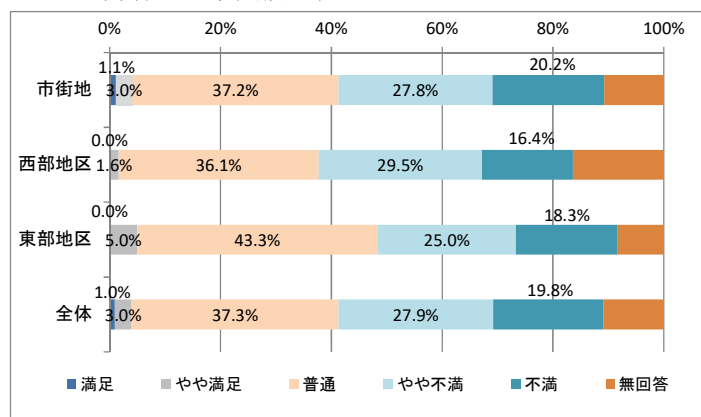
(平成30年度調査)



(平成29年度調査)



(平成28年度調査)

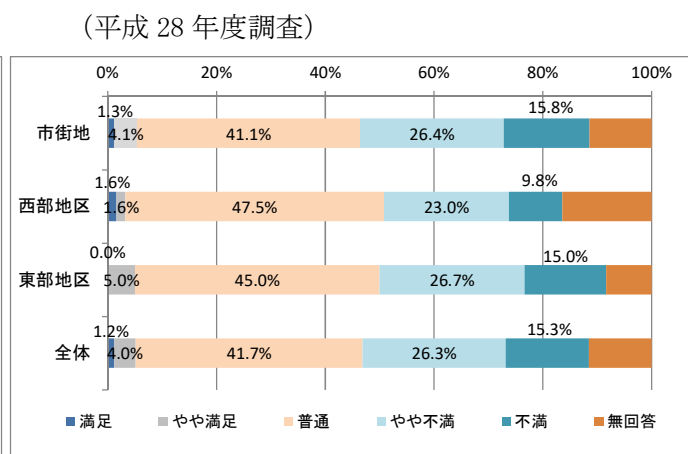
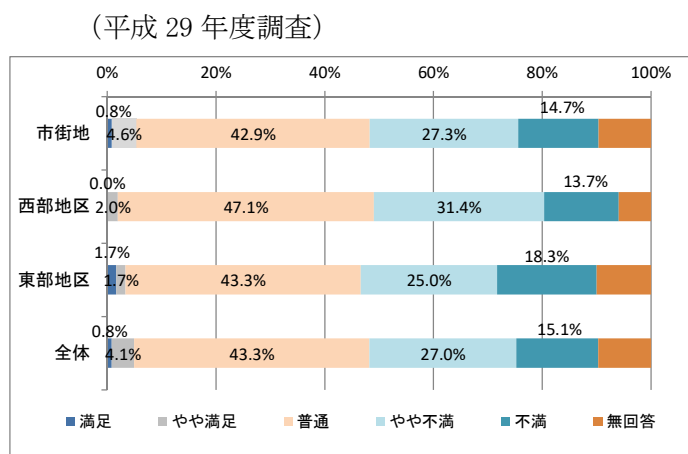
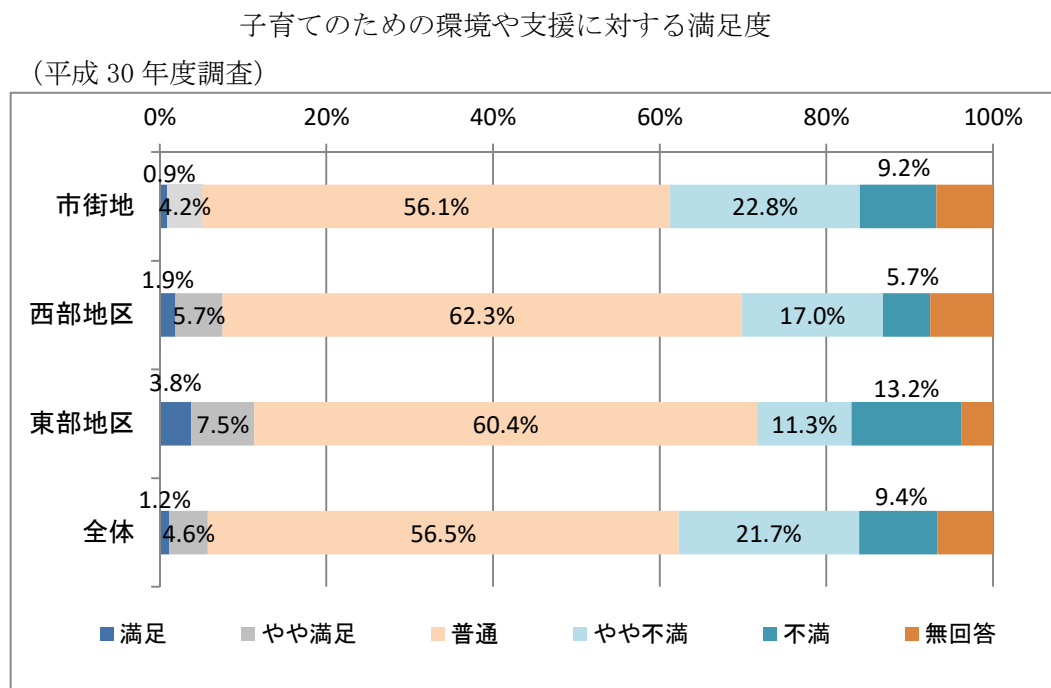


(3) 子育てのための環境や支援に対する満足度

子育てのための環境や支援に対する回答者全体の満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた回答割合は、5.8%となっており、平成 29 年度までの調査の結果とほぼ同様となっている。

地域別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、市街地で 5.1%と平成 29 年度調査までと同水準であったが、西部地区 7.6%、東部地区 11.3%とやや増加している。

今回調査の結果と平成 29 年度までの調査結果を比較すると、この項目でも「普通」の回答割合が 60%前後と高くなっており、「普通」以上とする回答割合が昨年までの 50%前後から 60%以上にまで増加している。



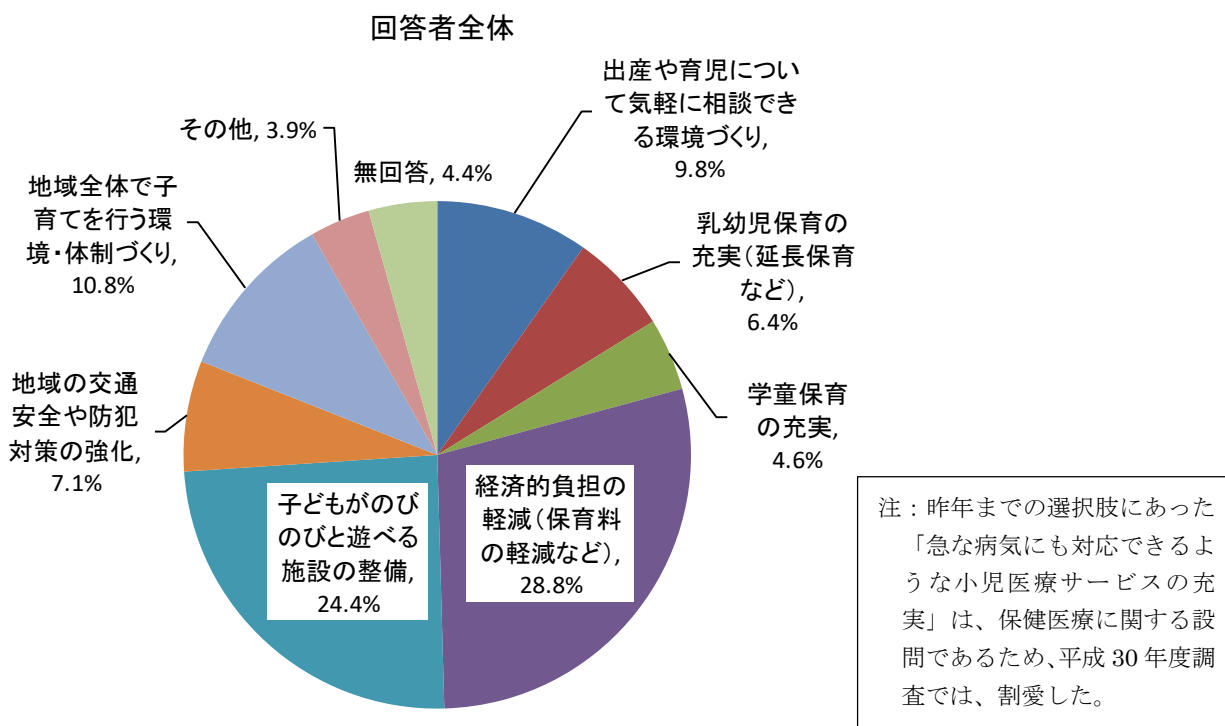
(4) 少子化・子育て支援策

①市民全体

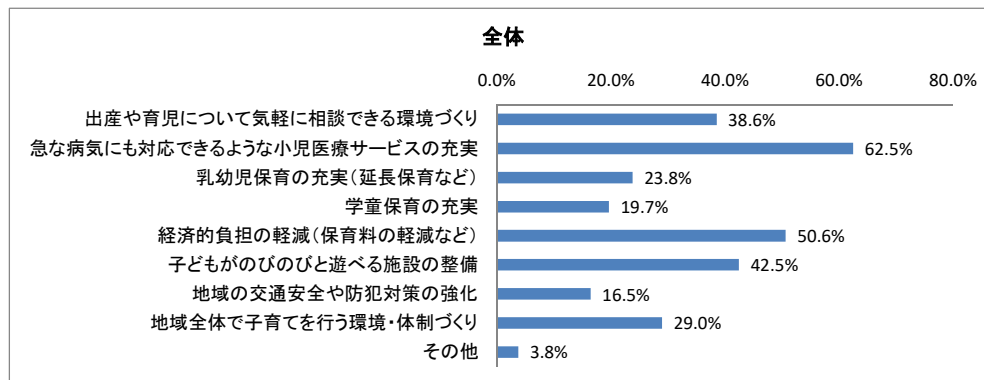
根室市の少子化・子育て支援に関して、今後重点的に取り組むべきと考える政策を1つだけ回答してもらった結果、回答者全体では、「経済的負担の軽減」が最も多く、28.8%を占めた。次いで、「子どもがのびのびと遊べる施設の整備」が24.4%、「地域全体で子育てを行う環境・体制づくり」が10.8%、「出産や育児について気軽に相談できる環境づくり」が9.8%の順であった。

29年度までの調査とは直接的な比較はできないが、「経済的負担の軽減」、「子どもがのびのびと遊べる施設の整備」に対する要望が多い傾向は同様の結果であった。

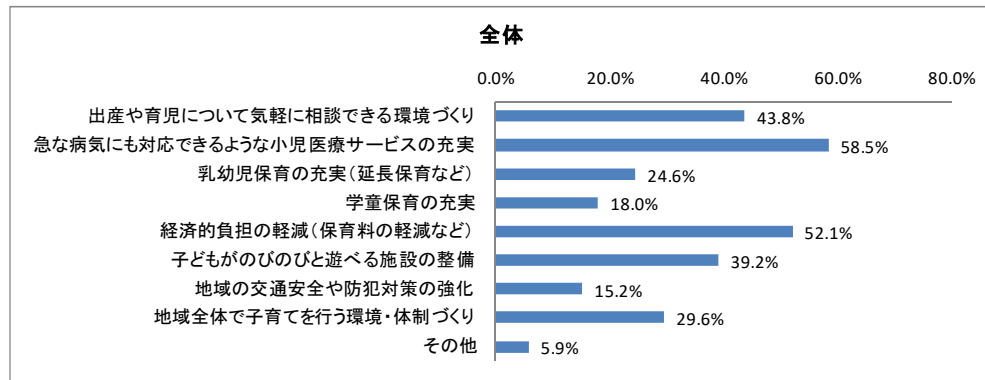
<平成30年度調査>



<平成29年度調査>



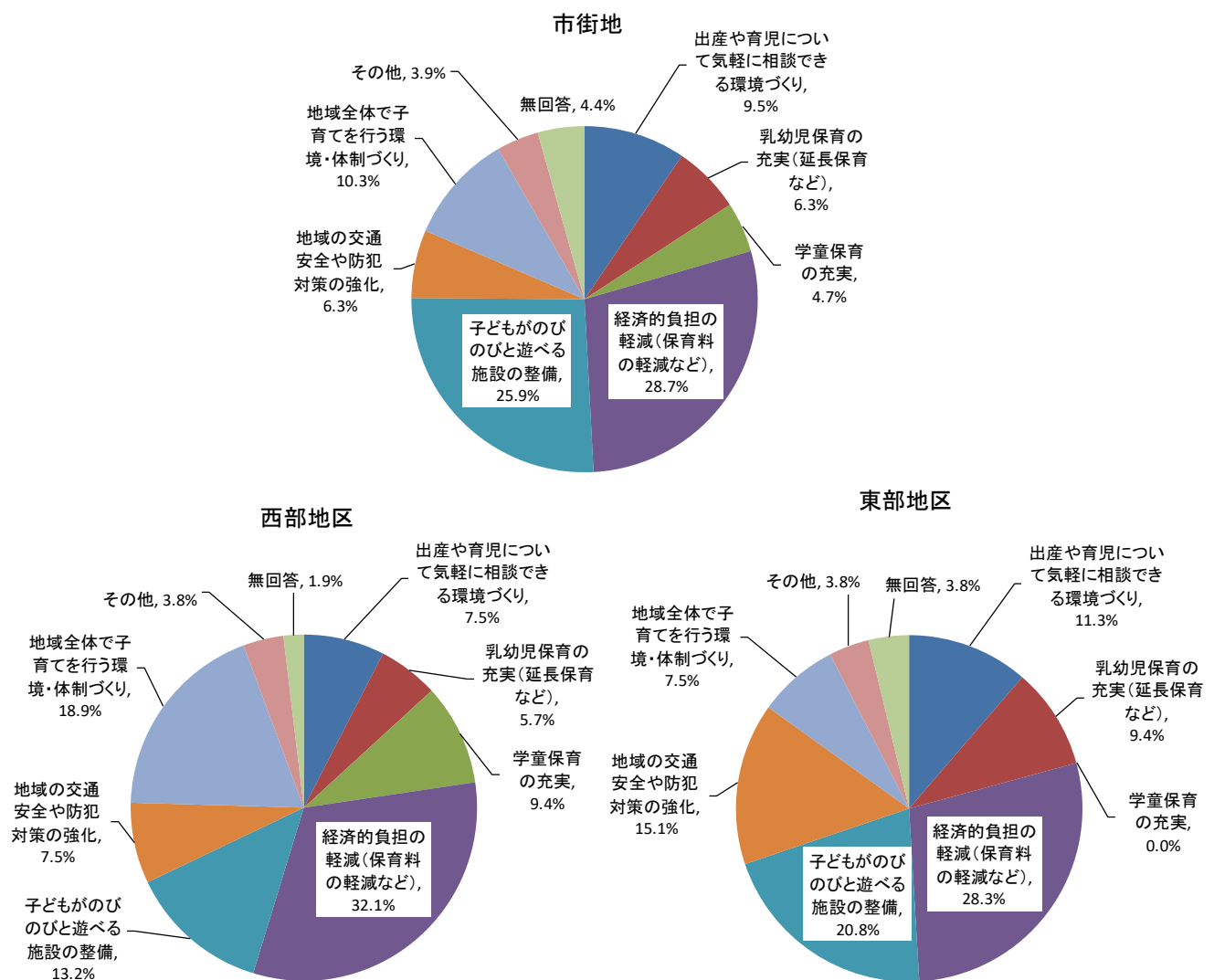
<平成 28 年度調査>



注：28 年度及び 29 年度調査は 3 つまでの選択を求めている

②地区別

いずれの地区も「経済的負担の軽減」に対する要望が最も高い。次いで、市街地と東部地区では、「子どもがのびのびと遊べる施設の整備」が、西部地区では「地域全体で子育てを行う環境・体制づくり」があがっている。



3. 7 高齢者支援について

(1) 趣味・楽しみ、生きがいの有無

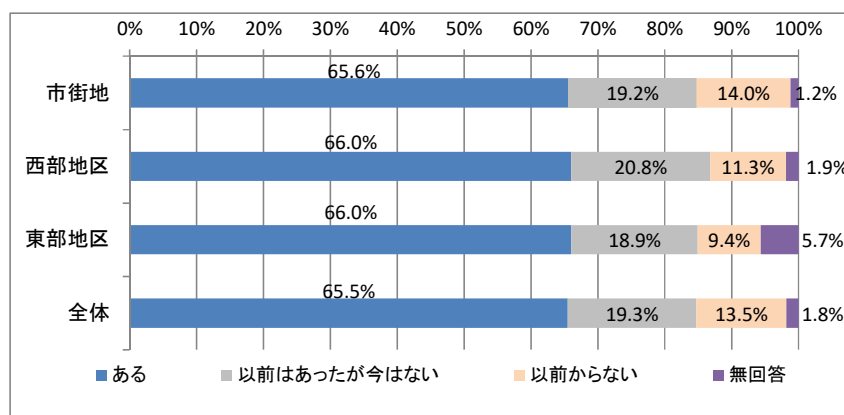
趣味・楽しみ、生きがいの有無について、回答者全体についてみると 65%～66%が「ある」としており、「以前はあったが今はない」は 20%前後となっている。

60 歳以上の回答者に着目すると、地区別で差が見られ、「ある」とする回答は市街地で回答者全体に比して低くなっているが、西部地区、東部地区では高くなっている。

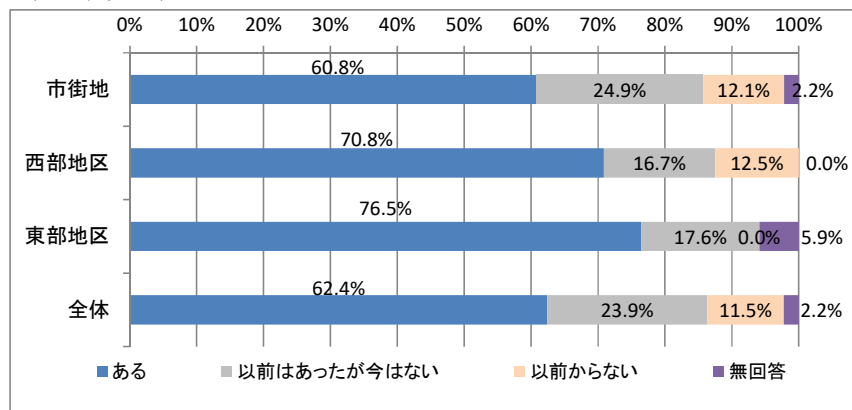
60 歳以上の回答について、平成 29 年までの調査結果を比較すると、市街地住民の「ある」とする回答割合が低下していることが特徴的である。

<平成 30 年度調査>

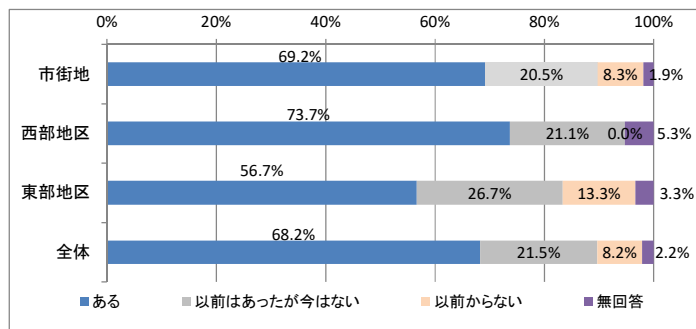
(回答者全体)



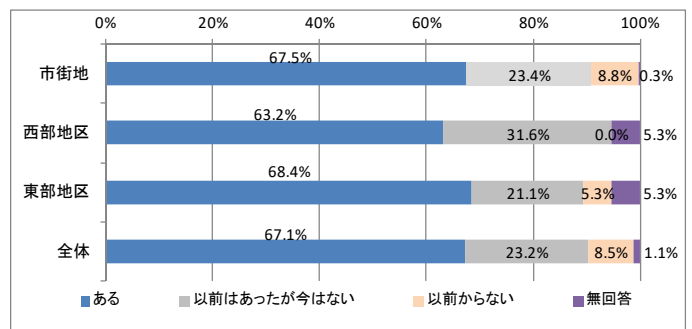
(60 歳以上)



<平成 29 年度調査> (60 歳以上)



<平成 28 年度調査> (60 歳以上)



注：平成 28 年度及び 29 年度調査は 60 歳以上のみの回答。

（２）町会等の行事、サークル、地域イベントへの参加状況

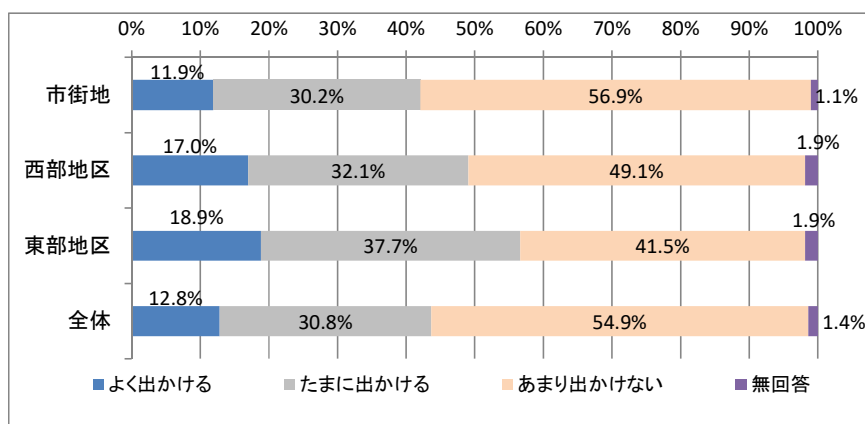
町会等の行事、サークル、地域イベントに出かけるかどうかについて、回答者全体でみると、「よく出かける」は、市街地で 11.9%、西部地区及び東部地区でそれぞれ 17.0%、18.9% となっており、「たまに出かける」を含めた「出かける」とする回答割合では、各地区とも 40% を超える参加率となっている。特に、西部地区及び東部地区で参加率が高くなっている。

60 歳以上の回答者に着目すると、回答者全体よりも参加率は高く、また、西部地区及び東部地区では、特に参加率が高くなっている。

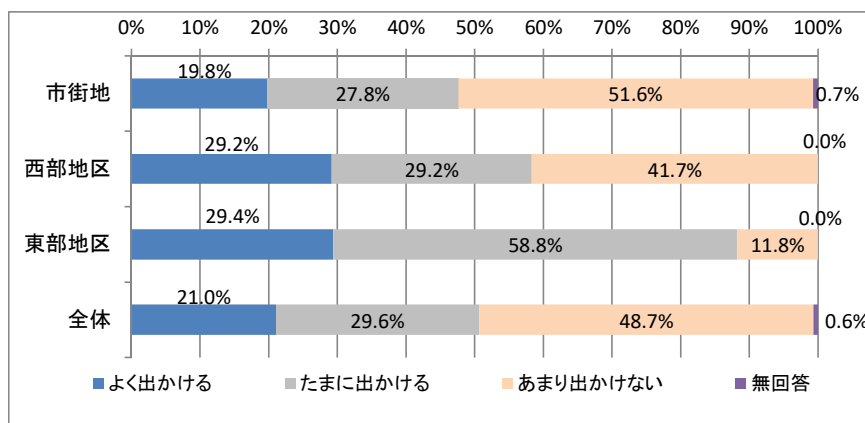
平成 29 年度までの調査の結果と比較すると、60 歳以上の参加状況は、概ね同じ状況が続いている。

<平成 30 年度調査>

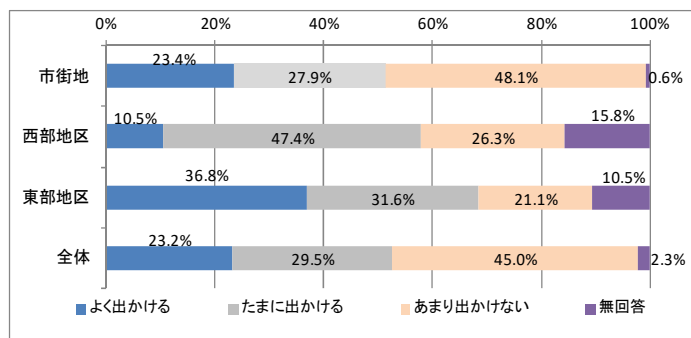
(回答者全体)



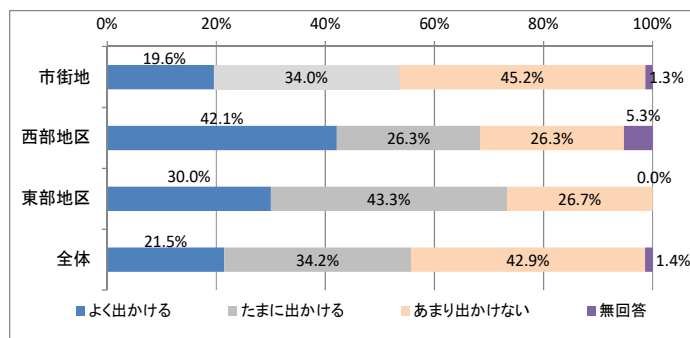
(60 歳以上)



<平成 29 年度調査 (60 歳以上) >



<平成 28 年度調査 (60 歳以上) >

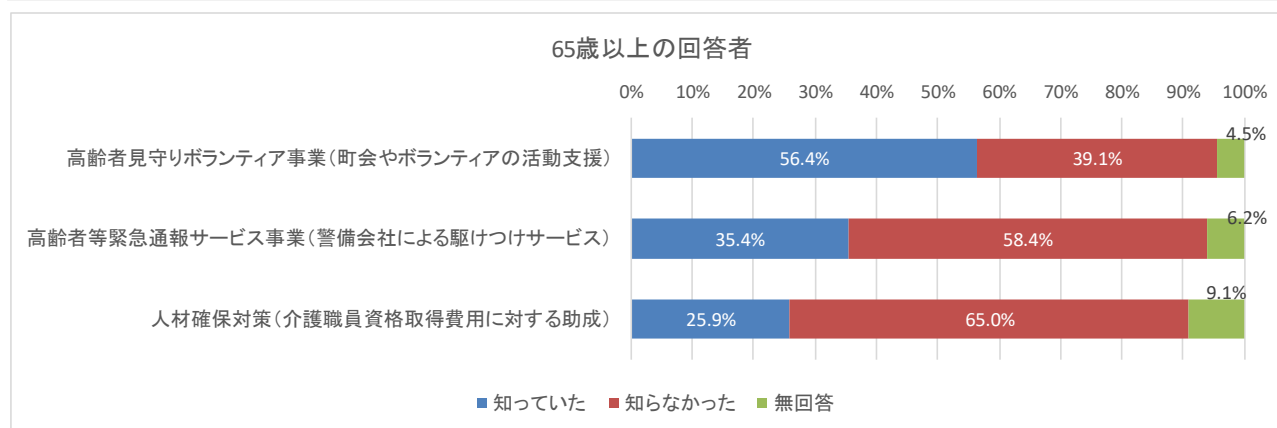
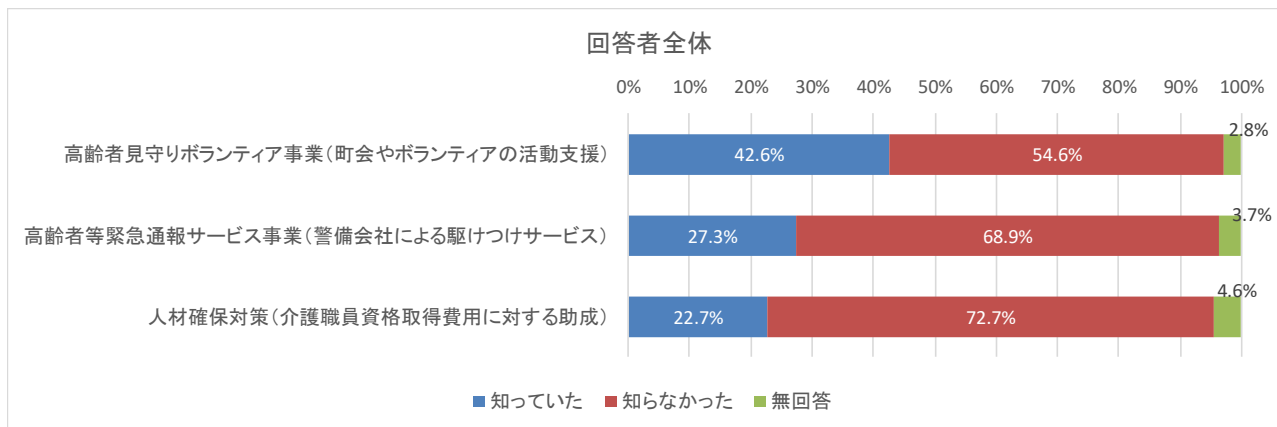


(3) 施策に対する認知度

①全体

根室市で実施している「高齢者支援」に関する主要施策についての認知度についてみると、回答者全体では、「高齢者見守りボランティア事業」で42.6%の認知度となっているが、「高齢者等緊急通報サービス事業」、「人材確保対策」に関しては20%台の認知度に留まっている。

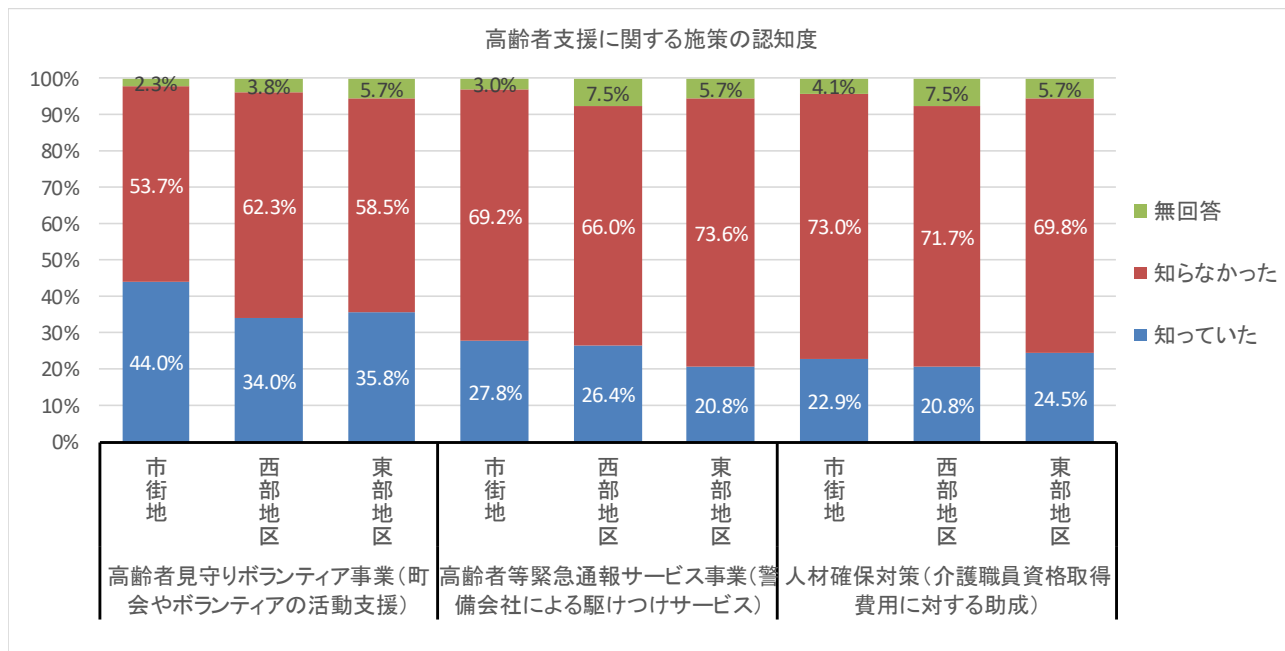
さらに、65歳以上の回答者の認知度をみると、「高齢者見守りボランティア事業」が56.4%、「高齢者等緊急通報サービス事業」が35.4%の認知度となっており、回答者全体での認知度を上回っていることが把握された。



②地区別

高齢者支援に関する主要施策についての認知度を地区別にみると、いずれの地区も「高齢者見守りボランティア事業」が最も認知度が高いものの、34～44%に留まっている。

「高齢者等緊急通報サービス事業」、「人材確保対策」に関しては、総じて認知度が低い状況が把握された。



(4) 高齢者のための福祉施設の状況に対する満足度

高齢者のための福祉施設の数や内容等の状況に対する回答者全体の満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた回答割合は、7.2%となっており、平成29年度までの調査の結果とほぼ同様となっている。

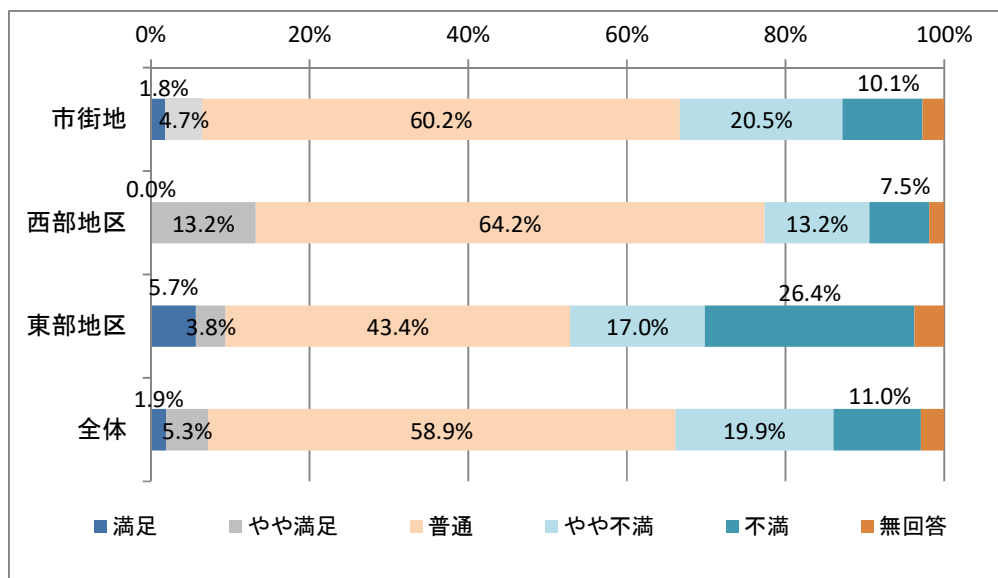
地区別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、市街地で6.5%程度と平成29年度調査までと比較してやや低下しているが、西部地区及び東部地区ではやや増加の傾向がみられている。

今回調査の結果と平成29年度までの調査結果を比較すると、「普通」の回答割合が60%前後と高くなっており、「普通」以上の満足度であるとする割合は66.1%と昨年までよりも高くなっている。

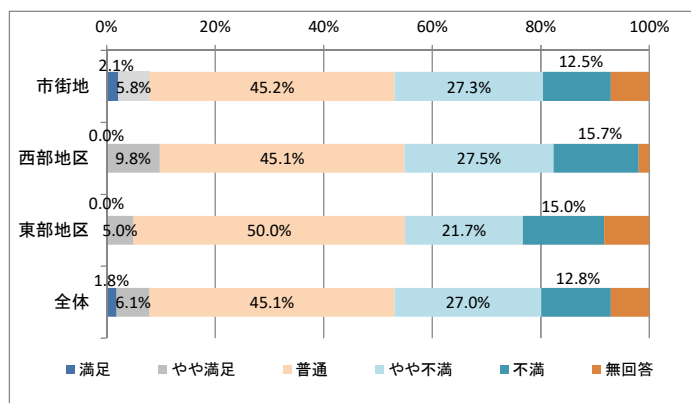
高齢者のための福祉施設の状況に対する満足度

<30年調査>

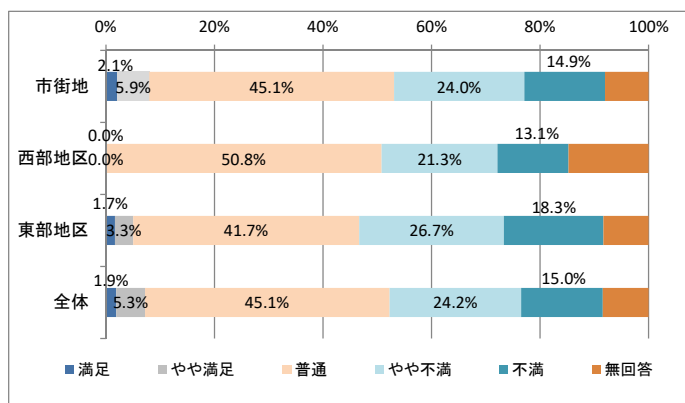
(回答者全体)



(29年調査)



(28年調査)



（５）高齢者のための福祉施制度の状況に対する満足度

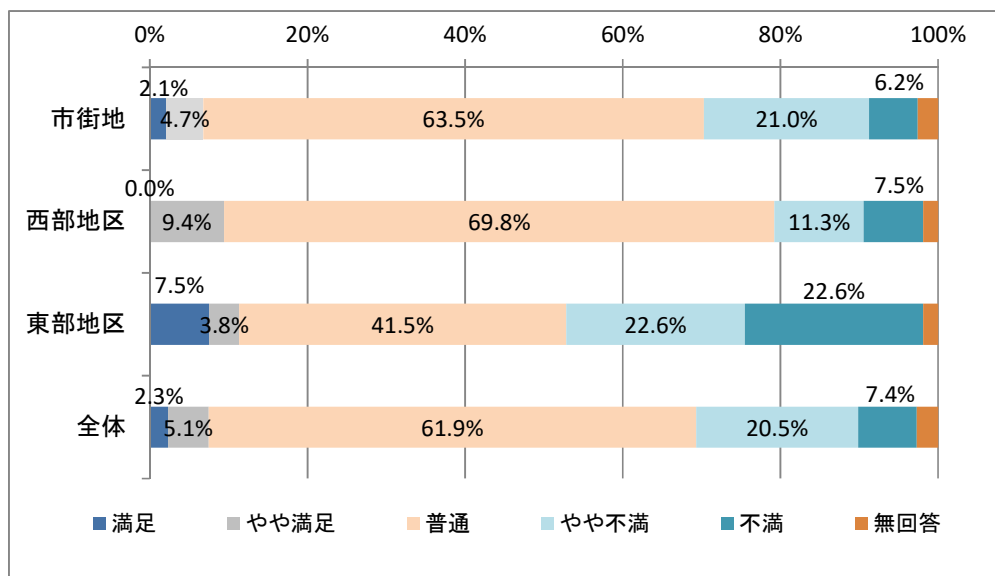
高齢者の健康や生活の安全・安心をサポートするための福祉制度の状況に対する回答者全体の満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた回答割合は、7.4%となっており、平成29年度までの調査の結果とほぼ同様となっている。

地域別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、市街地で6.8%程度と平成29年度調査までと同水準であり、西部地区及び東部地区ではやや増加の傾向がみられている。

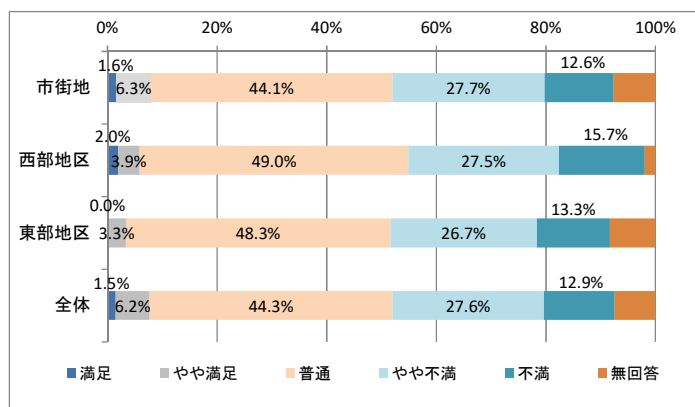
平成29年度までの調査結果を比較すると、本設問でも「普通」の回答割合が60%前後と高くなっており、「普通」以上の満足度であるとする割合は69.3%と昨年までよりも高くなっている。

高齢者のための福祉施設の状況に対する満足度

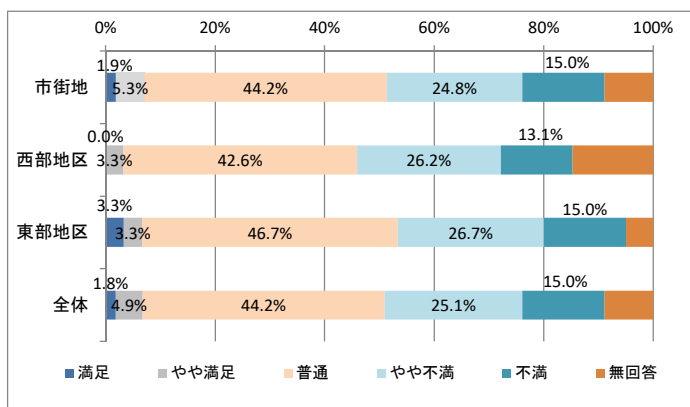
<30年調査>



<29年調査>



<28年調査>



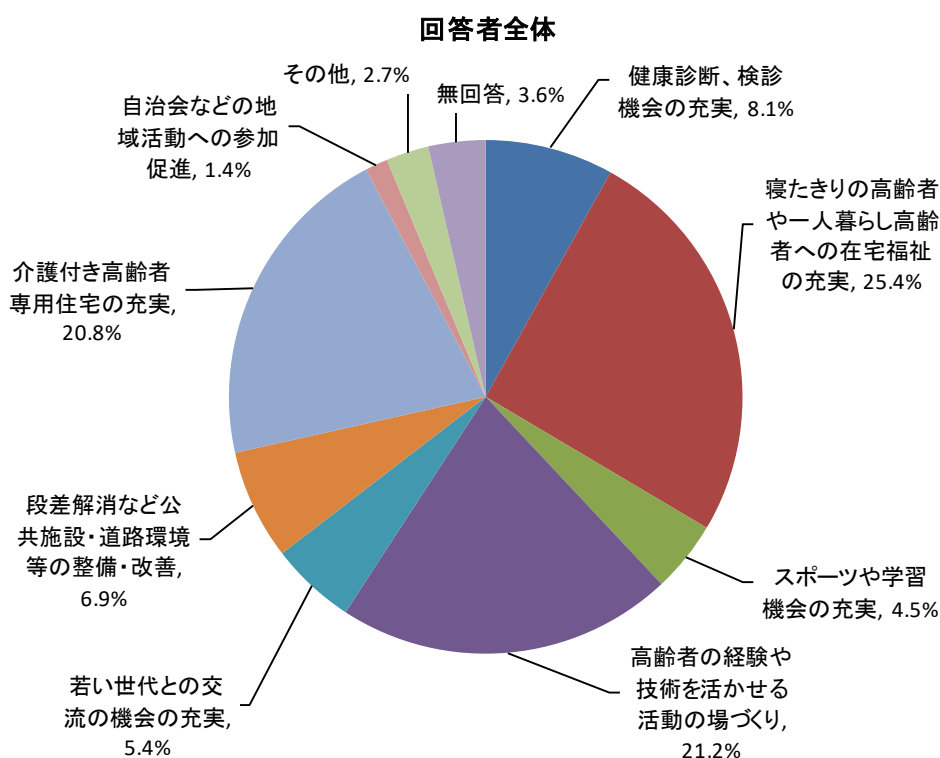
（６）高齢者にとって重要と思う施策について

①市民全体

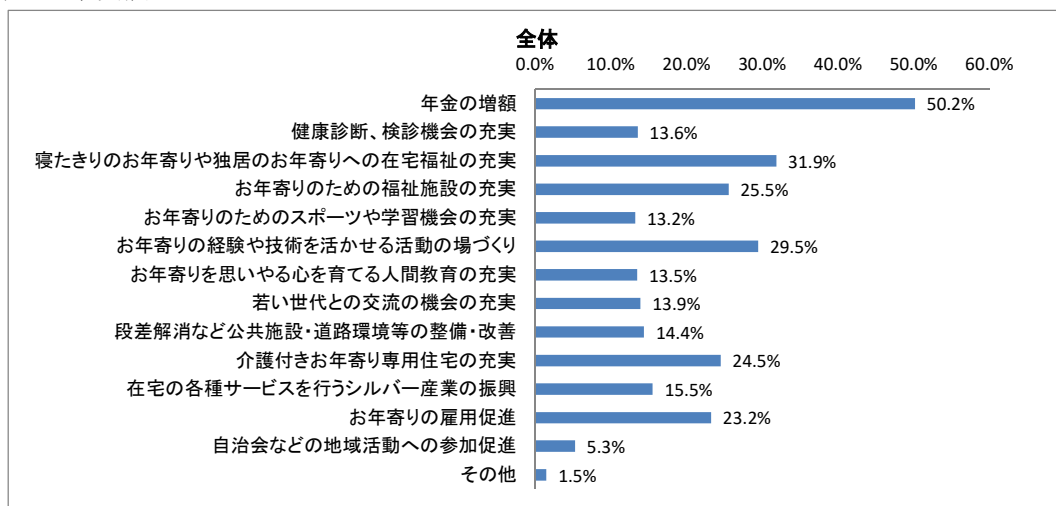
今後の高齢化に向けた支援施策として重要であるとする項目をみると、「寝たきりの高齢者や一人暮らし高齢者への在宅福祉の充実」が最も多く、次いで、「高齢者の経験や技術を活かせる活動の場づくり」、「介護付き高齢者専用住宅の充実」の順となっている。

平成 29 年度までの調査とは、選択肢の内容などが異なることから直接的な比較はできないが、「寝たきりの高齢者や一人暮らし高齢者への在宅福祉の充実」、「高齢者の経験や技術を活かせる活動の場づくり」、「介護付き高齢者専用住宅の充実」に対する要望が多い傾向は同様の結果であった。

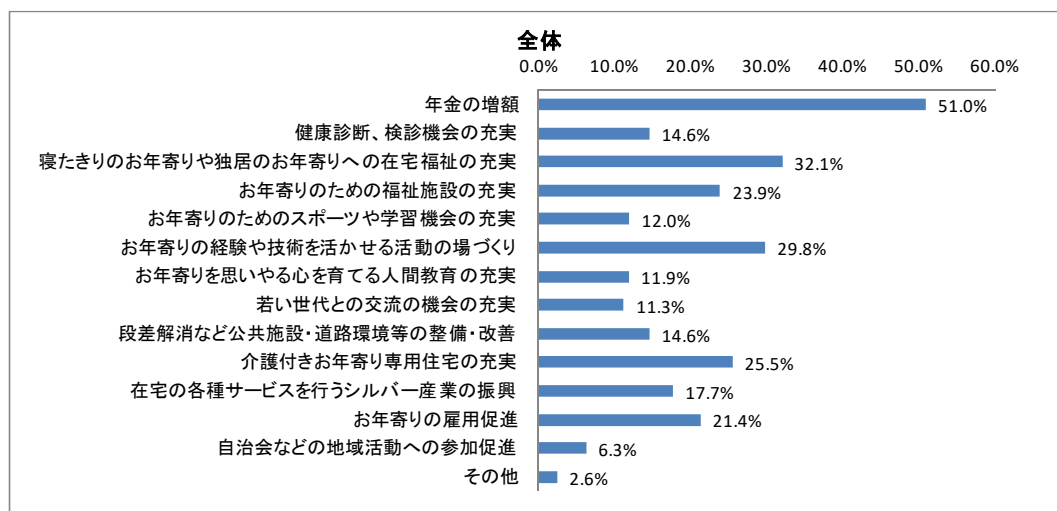
<平成 30 年度調査>



<平成 29 年度調査>



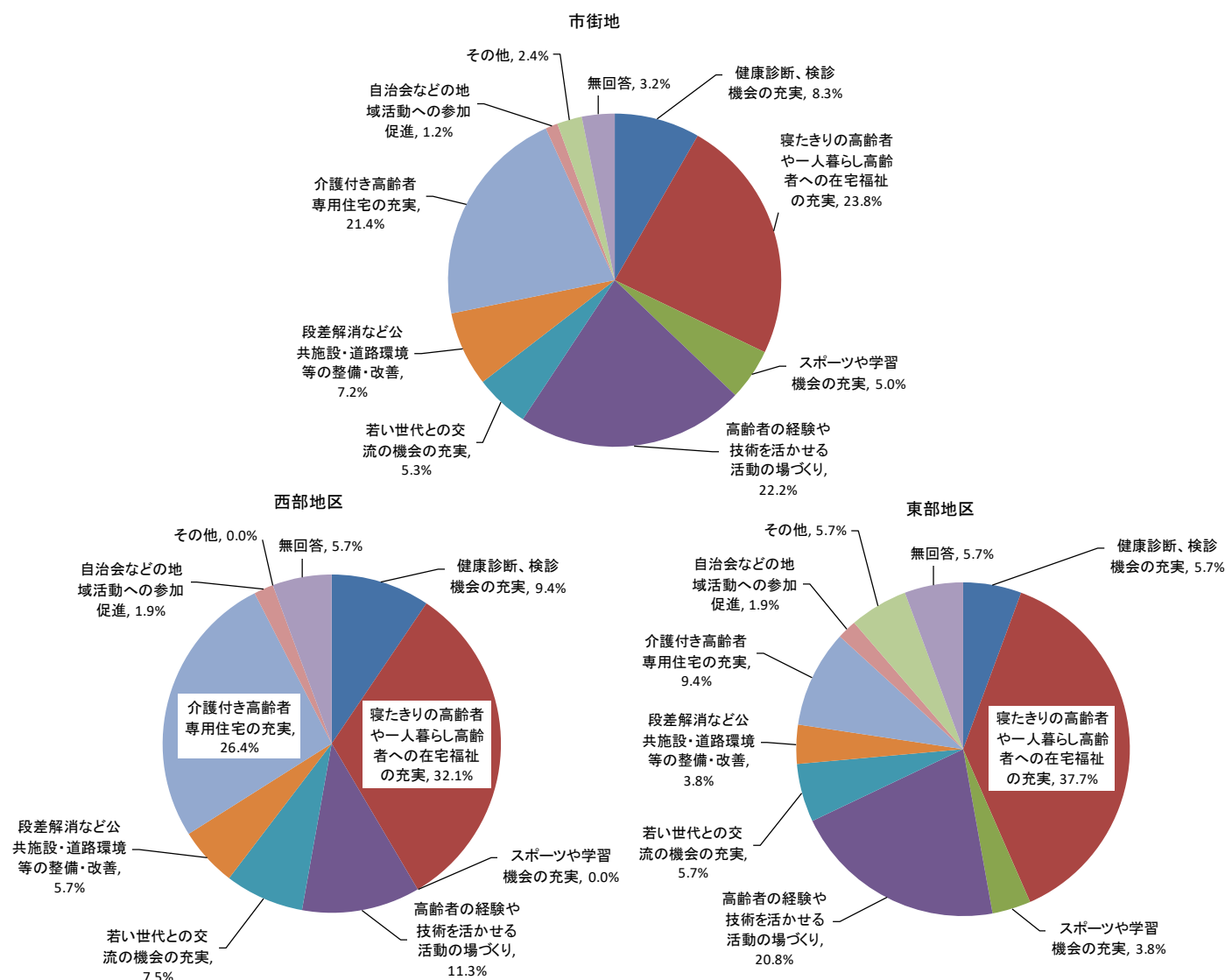
<平成 28 年度調査>



注：本設問は3つまでの選択を求めている

②地区別

いずれの地区も「寝たきりの高齢者や一人暮らし高齢者への在宅福祉の充実」に対する要望が最も高い。次いで、市街地と東部地区では、「高齢者の経験や技術を活かせる活動の場づくり」が、西部地区では「介護付き高齢者専用住宅の充実」があがっている。



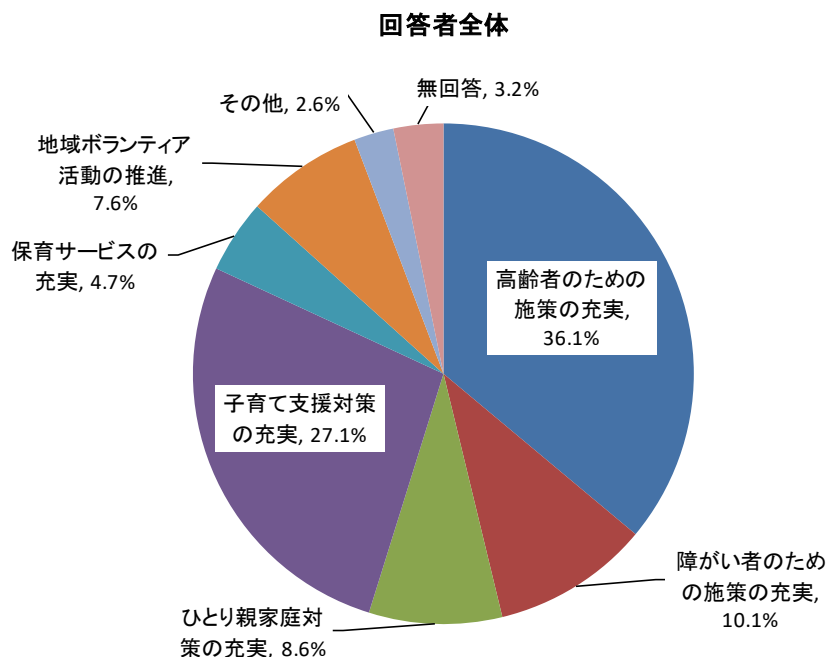
3. 8 社会福祉全般について

(1) 市民全体

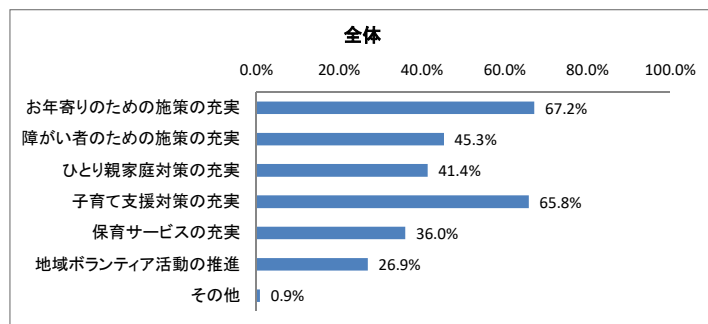
社会福祉に関しては、「高齢者のための施策の充実」をあげる回答者の割合が最も高く、次いで、「子育て支援対策」、「障がい者のための施策の充実」の順となっている。

平成 29 年度までの調査の結果と比較すると、回答形式が異なるため、直接的な比較はできないが、重要であるとする施策の順位は、同じ結果となっている。

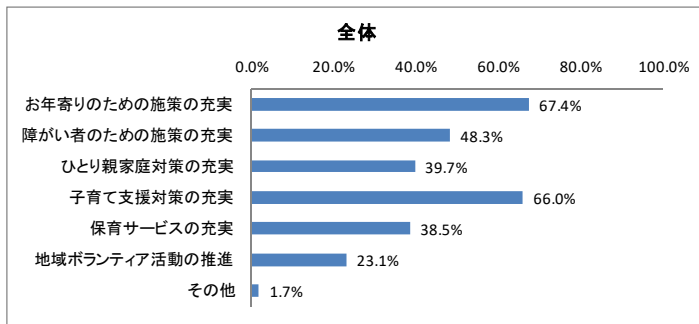
<平成 30 年度調査>



<平成 29 年度調査>



<平成 28 年度調査>

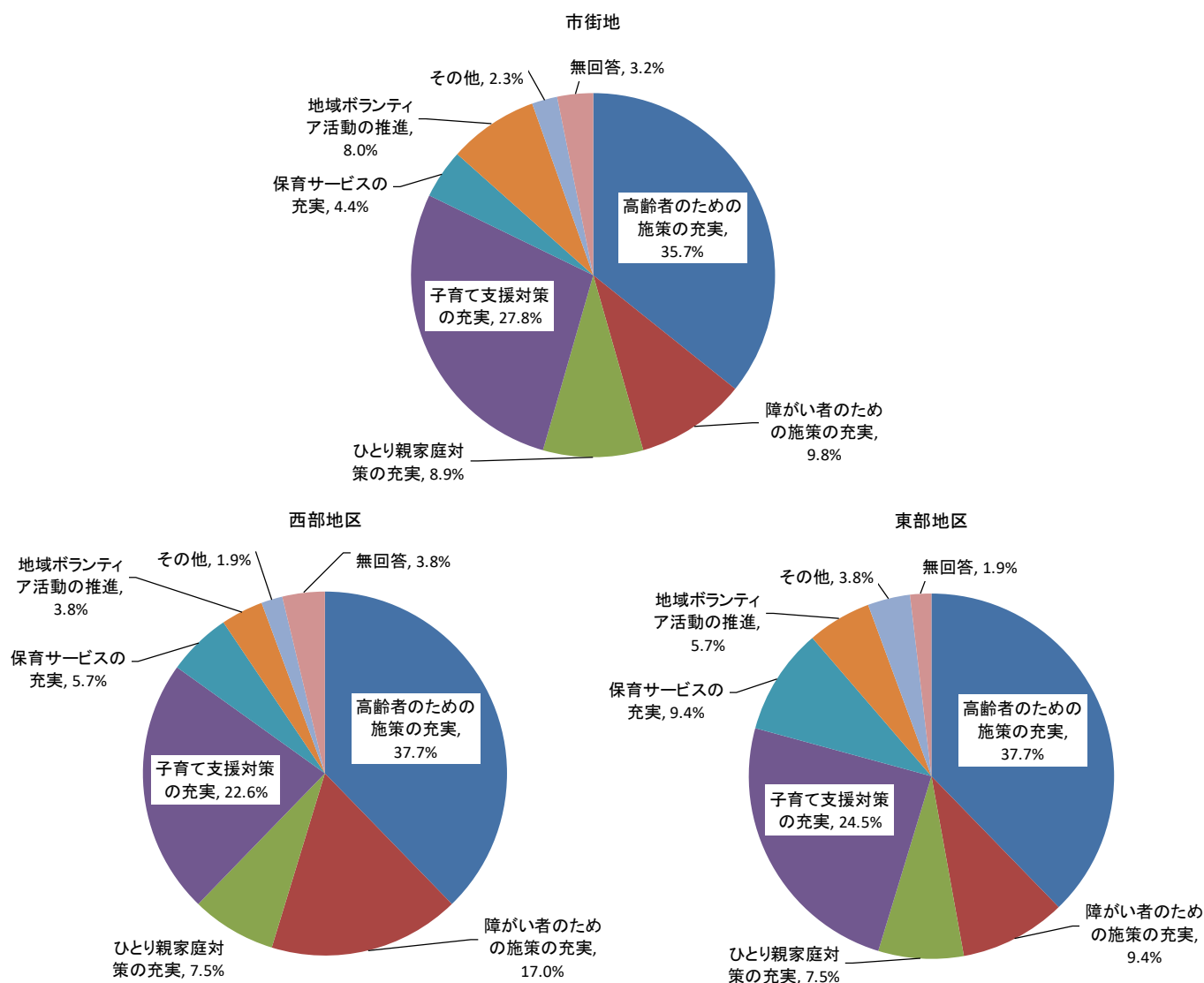


注：29 年度及び 28 年度調査は 3 つまでの選択を求めている

(2) 地区別

各地区とも「高齢者のための施策の充実」及び「子育て支援対策」が上位にあげられている。

そのほか、西部地区で「障がい者のための施策」への要望が、東部地区で「保育サービスの充実」が高くなっている。



3. 9 交通について

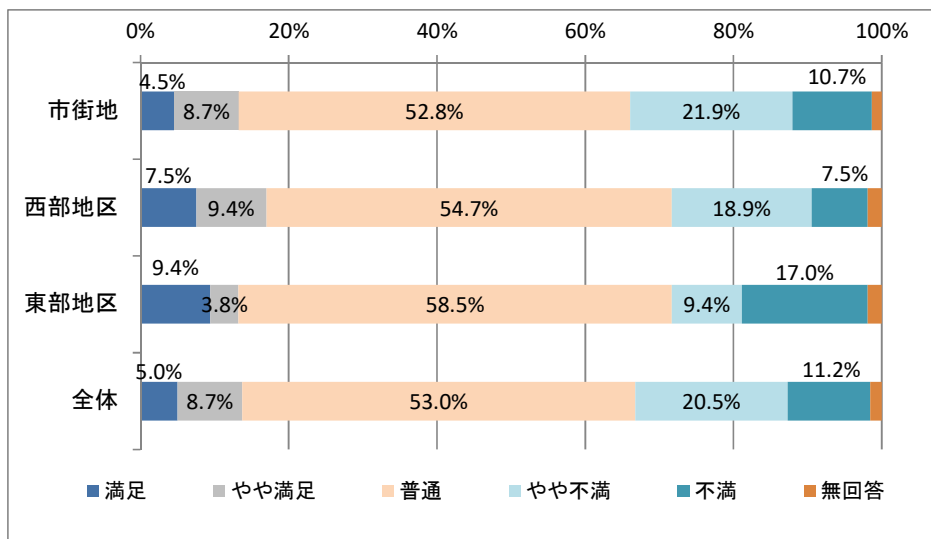
(1) 市内の幹線道路の整備状況に対する満足度

市内の幹線道路の整備状況に対する市民全体の満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた満足とする回答割合は 13.7%となっており、市街地住民の評価の低下の影響のため平成 29 年度までの調査結果よりもやや低下している。

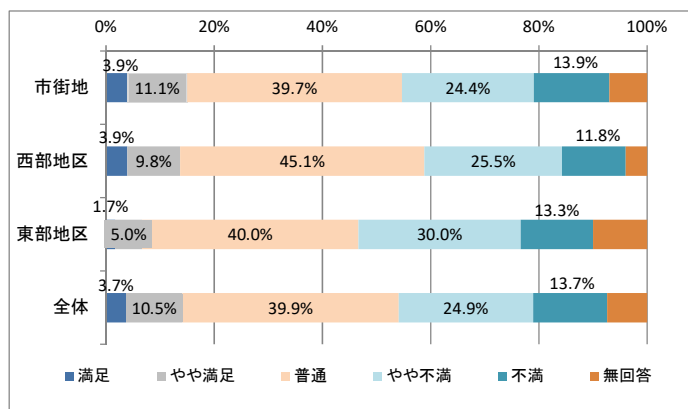
地域別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、市街地で 13.2%程度と平成 29 年度調査までの結果より低下しているが、西部地区及び東部地区ではやや増加の傾向がみられている。

平成 29 年度までの調査結果を比較すると、「普通」の回答割合が高くなったため、「普通」以上の満足度であるとする回答割合が昨年までよりも高くなっている。

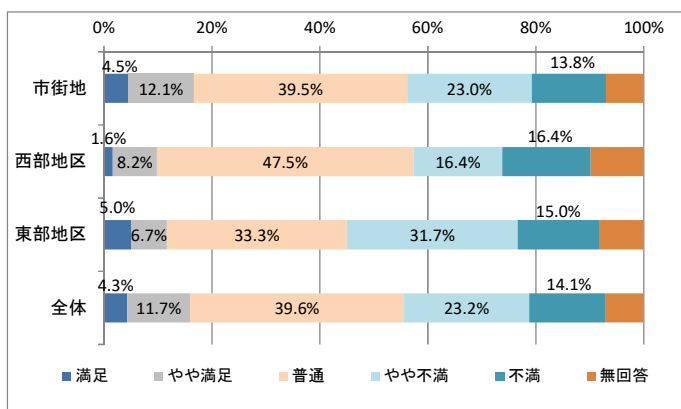
<30 年調査>



<29 年調査>



<28 年調査>



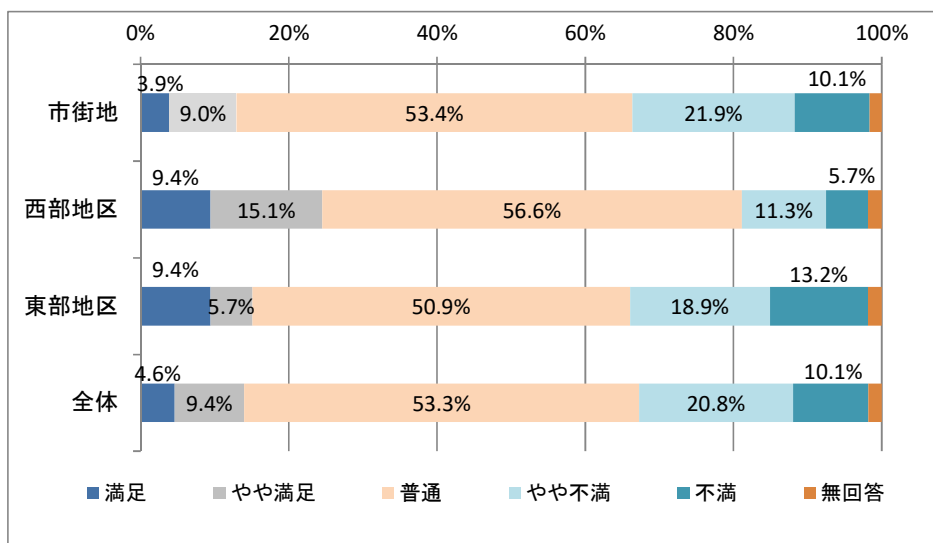
(2) 市外へ通じる道路の整備状況に対する満足度

市外へ通じる道路の整備状況に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた満足とする回答割合は14.0%となっており、平成29年度までの調査結果とほぼ同様となっている。

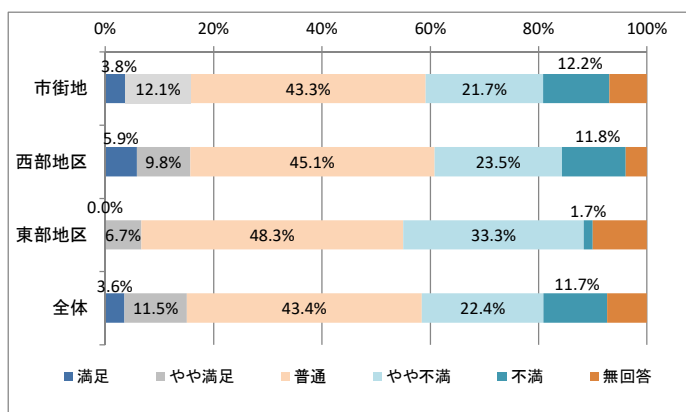
地域別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、市街地で12.9%程度と平成29年度調査までの結果より低下しているが、西部地区及び東部地区では増加の傾向がみられている。

平成29年度までの調査結果を比較すると、「普通」の回答割合が高くなったため、「普通」以上の満足度であるとする割合が昨年までよりも高く、70%程度となっている。

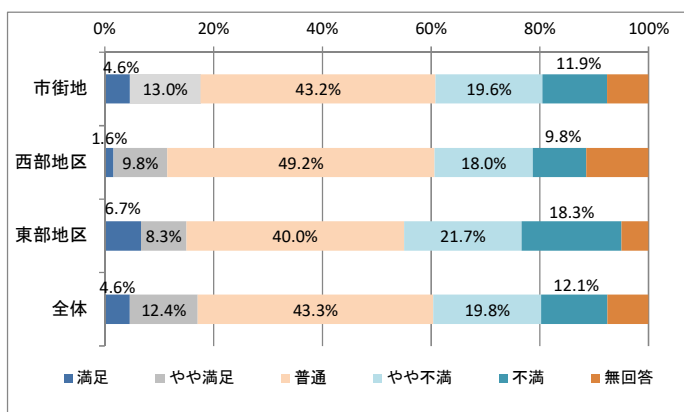
<30年調査>



<29年調査>



<28年調査>



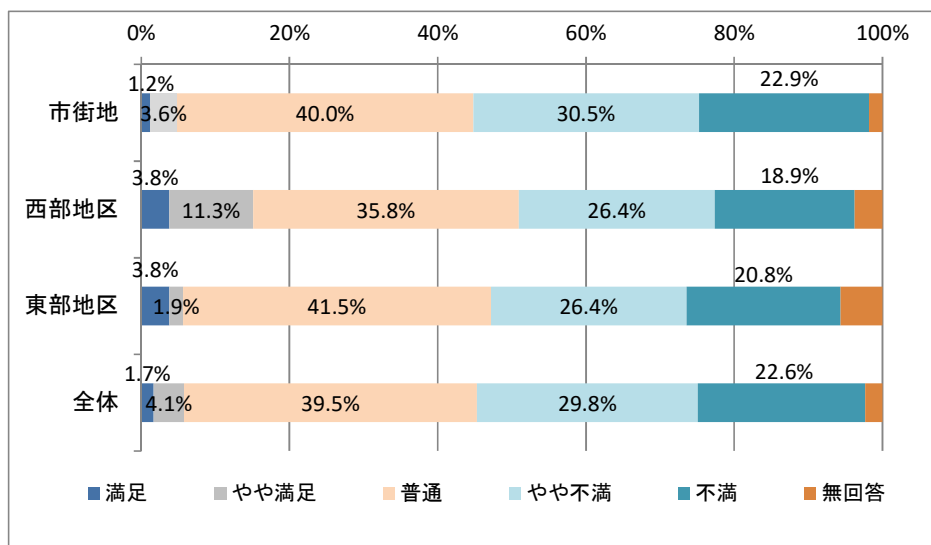
(3) 公共交通機関の利便性に対する満足度

公共交通機関の利便性に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた満足とする回答割合は5.8%となっており、平成29年度までの調査結果よりやや増加となっている。

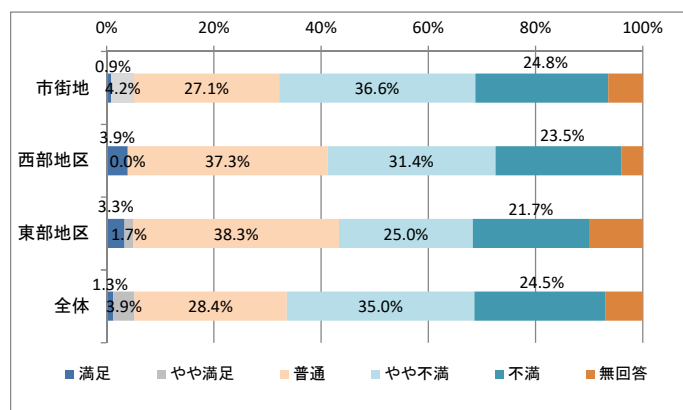
地域別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、市街地で4.8%程度と平成29年度調査までの結果とほぼ同様であるが、西部地区及び東部地区では増加の傾向がみられている。

また、平成29年度までの調査結果よりも「普通」の回答割合が高くなったため、「普通」以上の満足度であるとする割合が昨年までよりも高くなっている。

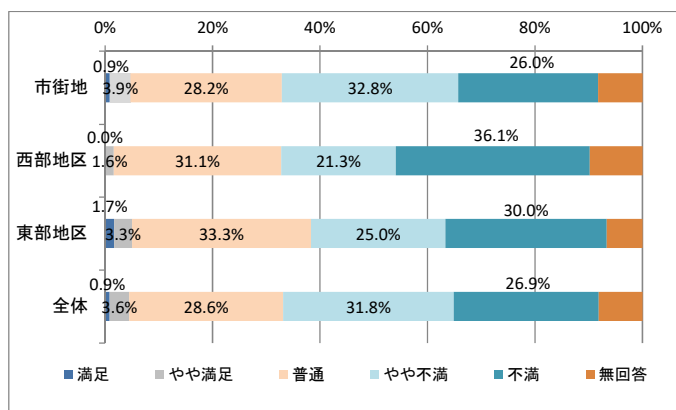
<30年調査>



<29年調査>



<28年調査>



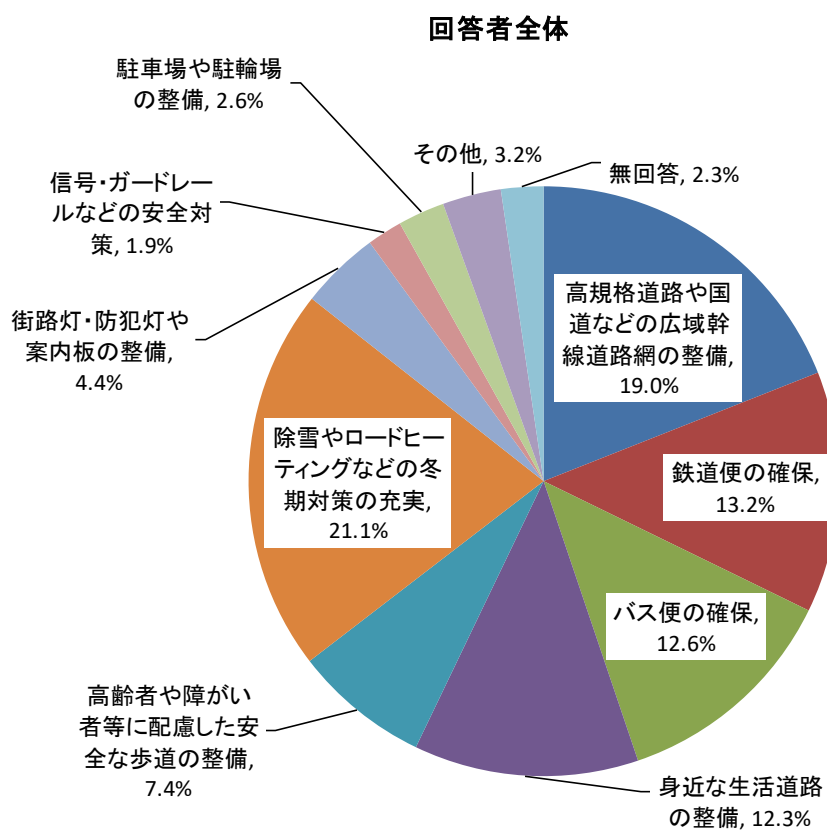
(4) 交通に関する施策について

①市民全体

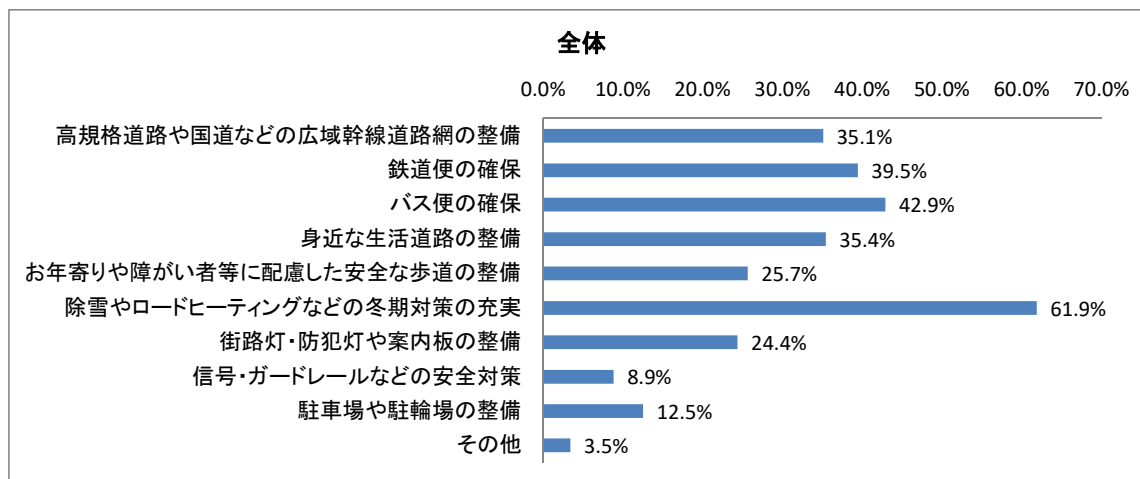
道路交通について今後重点的に取り組むべきと考える施策を1つ回答してもらった結果をみると、「除雪やロードヒーティングなどの冬期対策の充実」をあげる回答者の割合が最も高く、次いで、「高規格道路や国道などの広域幹線道路網整備」、「鉄道便の確保」、「バス便の確保」、「身近な生活道路の整備」の順となっている。

平成29年度までの調査とは回答形式が異なるため、直接的な比較はできないが、平成29年度までの調査でも「除雪やロードヒーティングなどの冬期対策の充実」、「鉄道便の確保」、「バス便の確保」、「身近な生活道路の整備」が上位にあがっており、ほぼ同様の結果となっている。とりわけ、「高規格道路や国道などの広域幹線道路網整備」や「鉄道便の確保」に対する意識がより高まっている状況が伺えた。

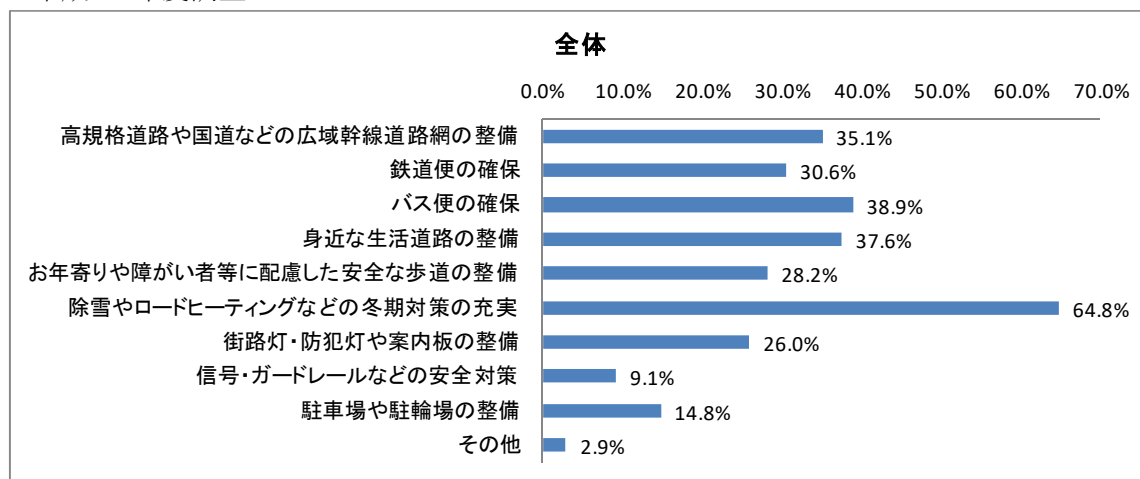
<平成30年度調査>



<平成 29 年度調査>



<平成 28 年度調査>



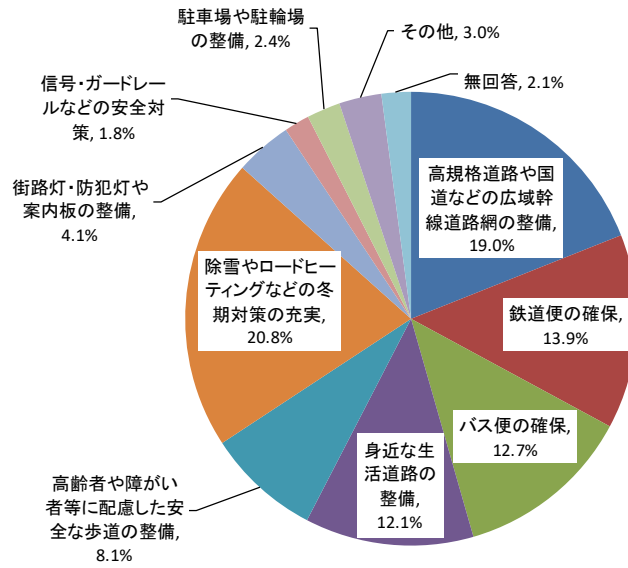
注：29 年度及び 28 年度調査は 3 つまでの選択を求めている

②地区別

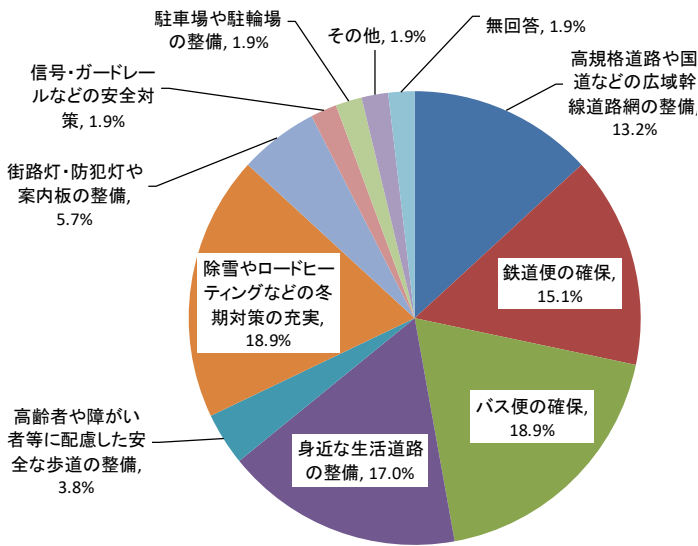
各地区とも「除雪やロードヒーティングなどの冬期対策の充実」が最も多くなっている。

これに次いで、市街地では、「高規格道路や国道などの広域幹線道路網の整備」、「鉄道便の確保」の順となっており、西部地区では、「バス便の確保」が 1 位と同じ割合、「身近な生活道路の整備」が、西部地区では、「高規格道路や国道などの広域幹線道路網の整備」、「身近な生活道路の整備」がそれぞれ上位にあげられているなど、地区による違いがみられている。

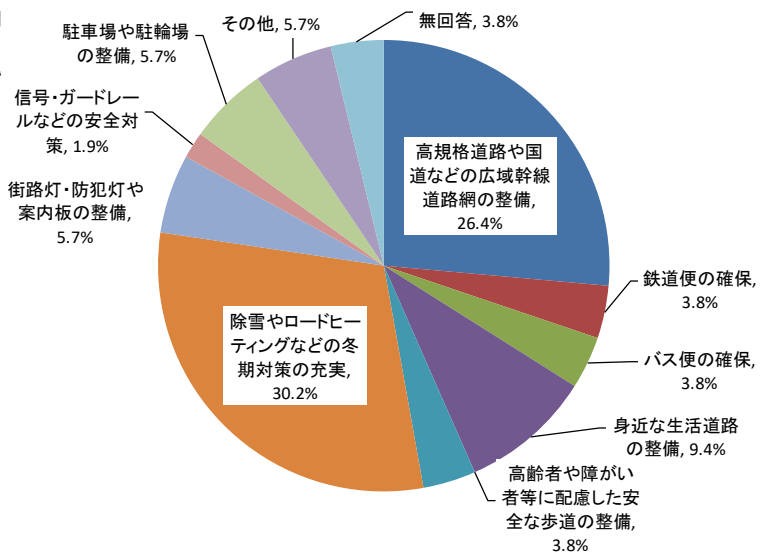
市街地



西部地区



東部地区

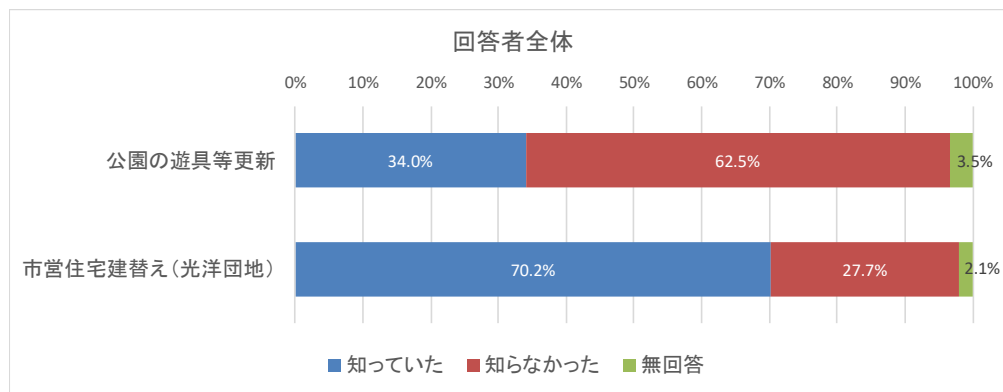


3. 10 生活環境について

(1) 施策に対する認知度

①全体

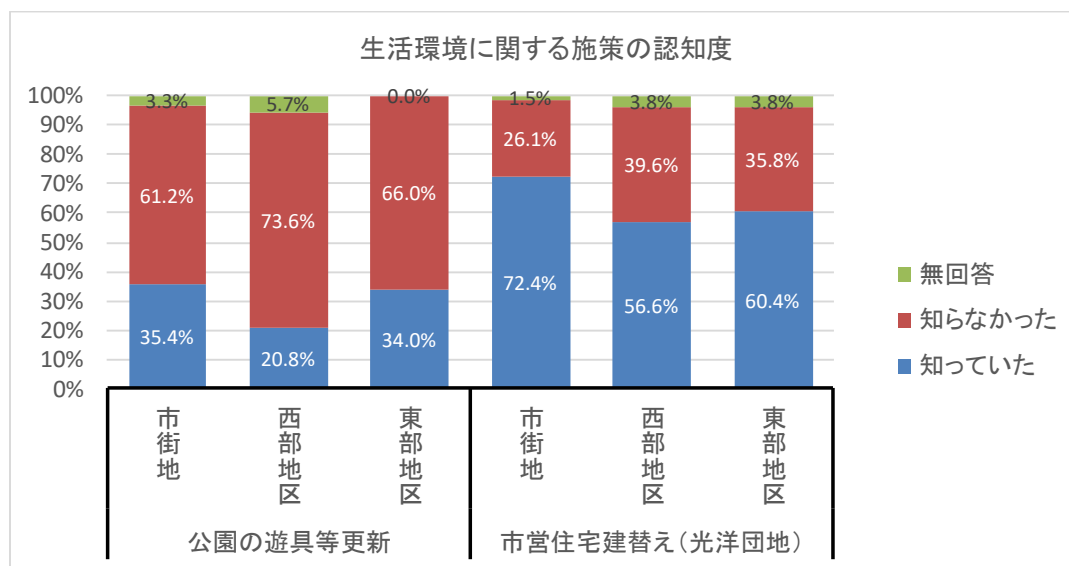
根室市で実施している生活環境に関する主要施策についての認知度についてみると、回答者全体では、「市営住宅建替え（光洋団地）」で70.2%と高い認知度となっているが、「公園の遊具等更新」に関しては34.0%の認知度に留まっている。



②地区別

生活環境に関する主要施策についての認知度を地区別にみると、「市営住宅建替え（光洋団地）」のように整備施設が所在する地区の住民とそうではない地区の住民の認知度が異なっているものの、57～73%の認知度となっている。

一方、「公園の遊具等更新」に関しては、いずれの地区も認知度は低水準となっている。

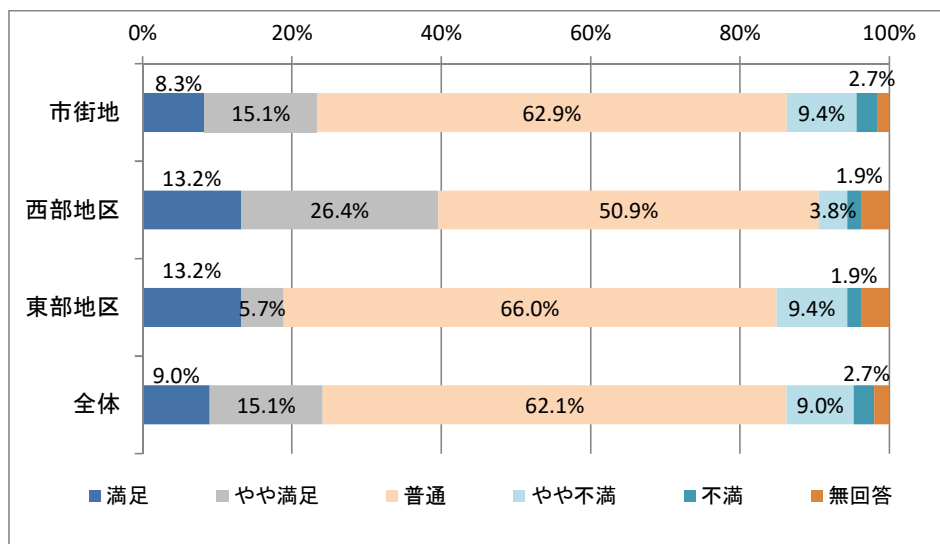


（２）郊外の森林環境に対する満足度

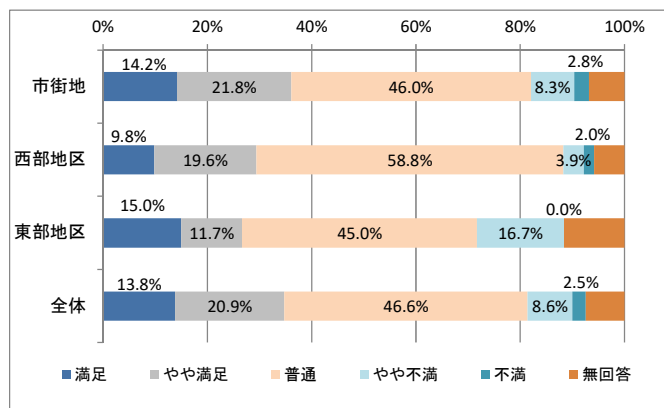
郊外の森林環境に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた満足とする回答割合は 24.1% となっており、平成 29 年度までの調査結果より減少となっている。しかし、「普通」とする回答割合が増加しているため、「普通」以上であるとする評価の割合は 86.2% と高くなっている。

地域別でみると、西部地区での評価が平成 29 年度までの調査結果よりも高くなっている。

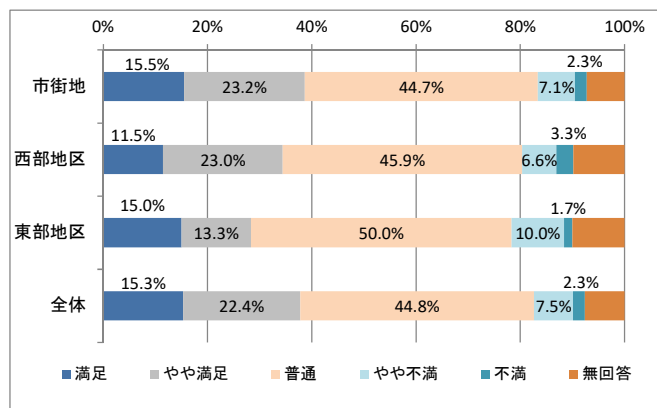
＜平成 30 年度調査＞



＜平成 29 年度調査＞



＜平成 28 年度調査＞

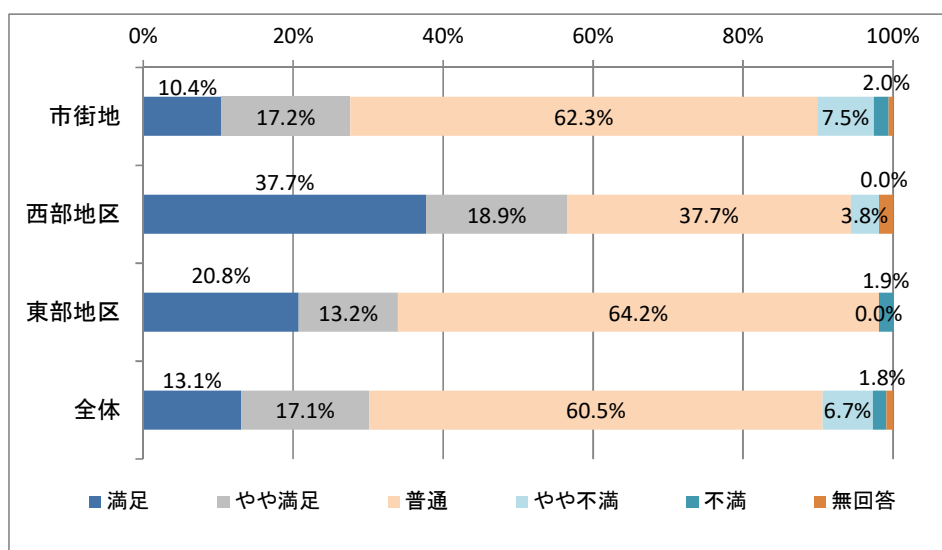


(3) 住んでいる地域の緑の豊かさに対する満足度

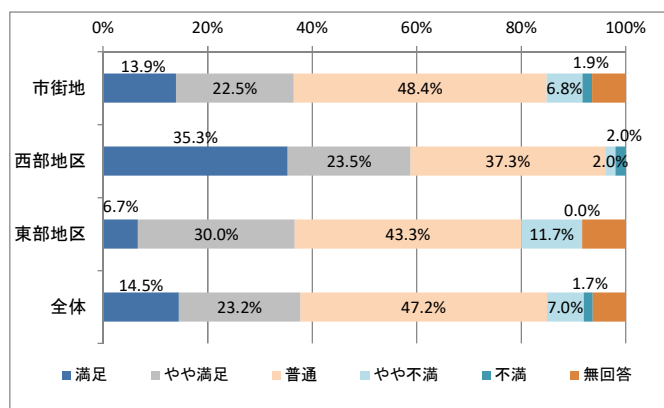
住んでいる地域の緑の豊かさに対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた満足とする回答割合は 30.2% となっており、平成 29 年度までの調査結果より減少となっている。しかし、郊外の森林環境に対する評価と同様に、「普通」とする回答割合は増加しているため、「普通」以上の評価の割合が高くなっている。

地域別でみると、西部地区での評価が平成 29 年度までの調査結果と同様に他地区に比して高くなっている。

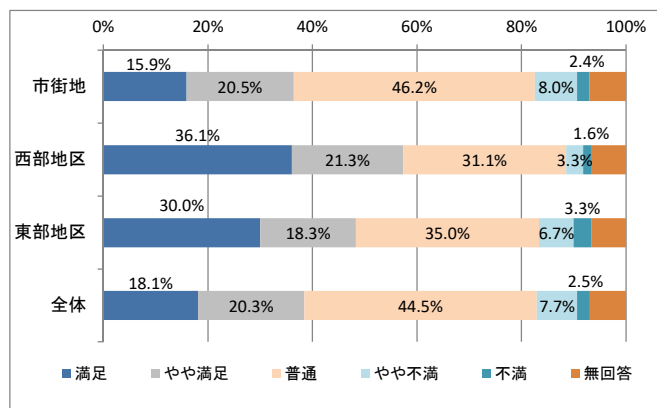
<平成 30 年度調査>



<平成 29 年度調査>



<平成 28 年度調査>

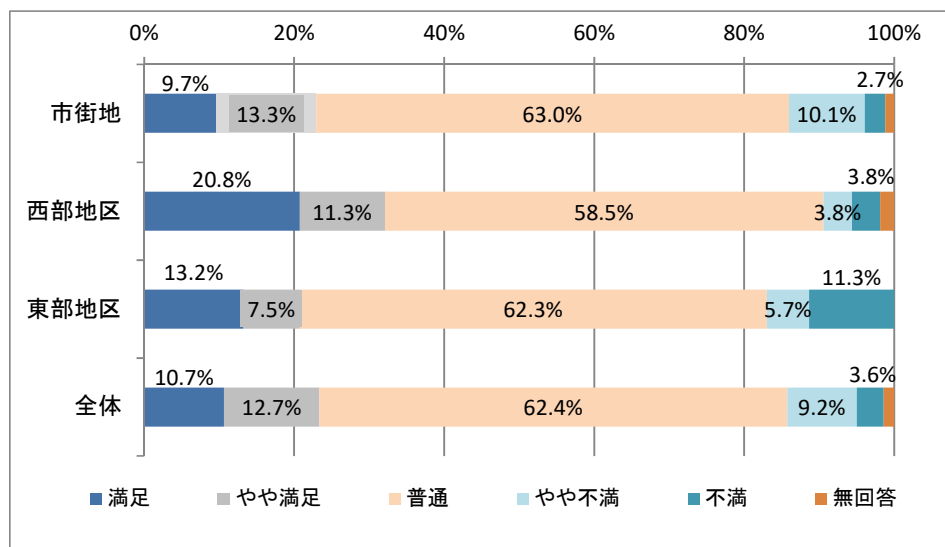


(4) 上水道の整備状況に対する満足度

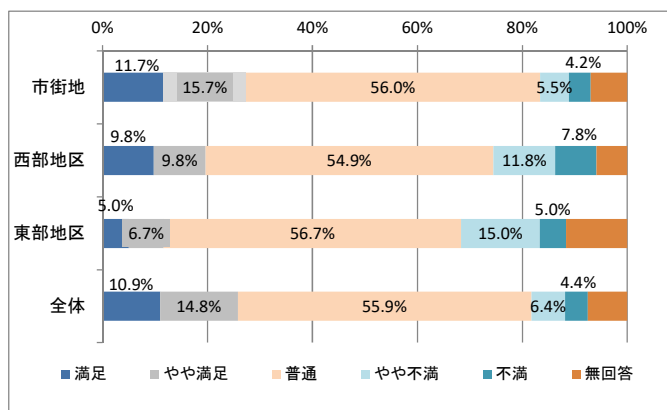
市内の上水道の整備状況に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた満足とする回答割合は 23.4% となっており、平成 29 年度までの調査結果よりやや減少となっている。しかし、「普通」とする回答割合が増加しているため、「普通」以上とする評価の割合はほぼ同水準となっている。

地域別でみると、西部地区や東部地区での評価が平成 29 年度までの調査結果に比して高くなっている。

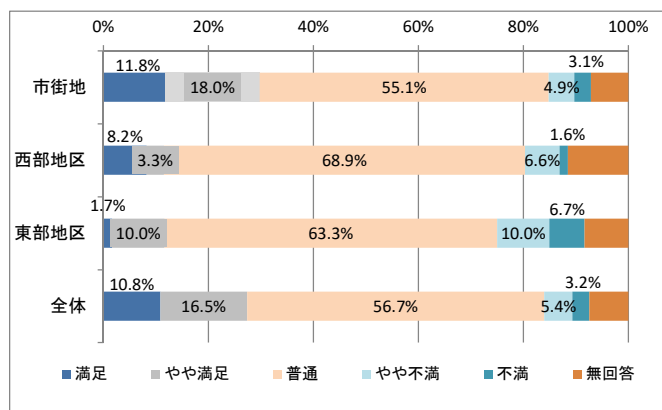
<平成 30 年度調査>



<平成 29 年度調査>



<平成 28 年度調査>

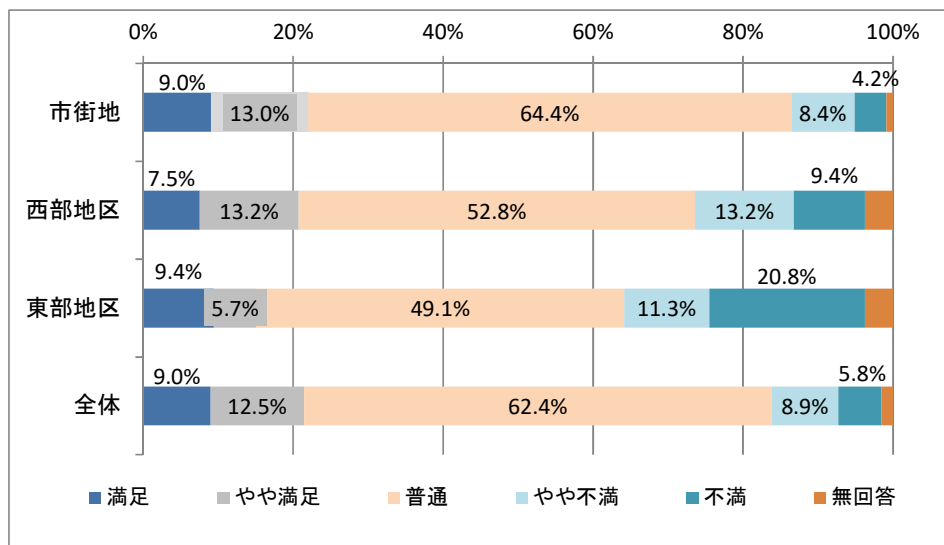


（５）下水道の整備状況に対する満足度

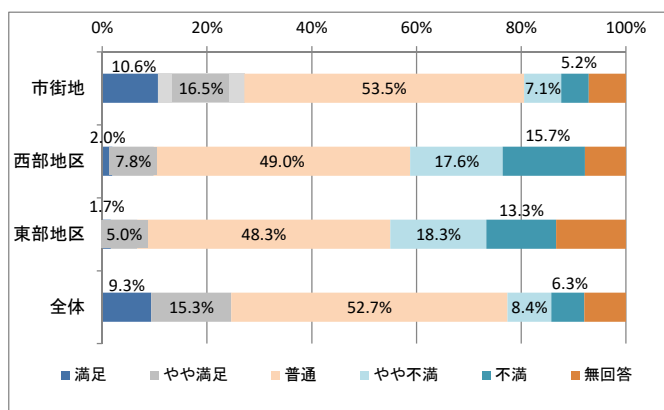
市内の下水道の整備状況に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた満足とする回答割合は 21.5% となっており、平成 29 年度までの調査結果よりやや減少となっている。しかし、上水道に対する評価と同様、「普通」とする回答割合が増加しているため、「普通」以上とする評価が高くなっている。

地域別でみると、西部地区や東部地区での評価が平成 29 年度までの調査結果に比して高くなっている。

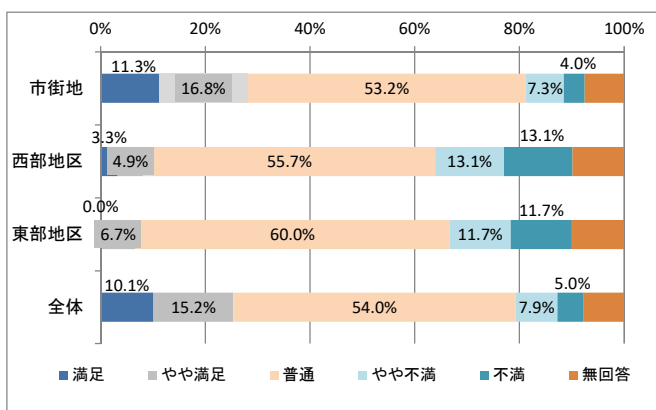
<平成 30 年度調査>



<平成 29 年度調査>



<平成 28 年度調査>

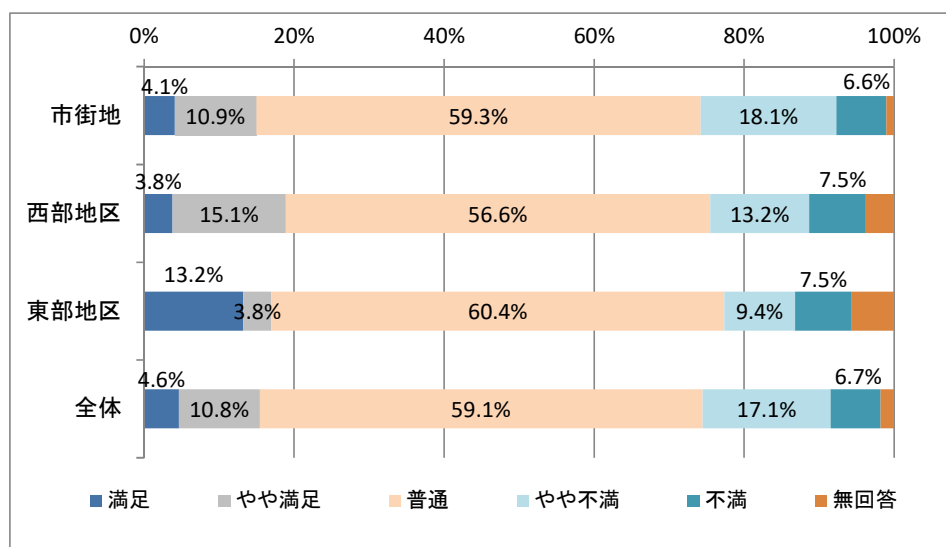


（６）公園や広場の利用のしやすさに対する満足度

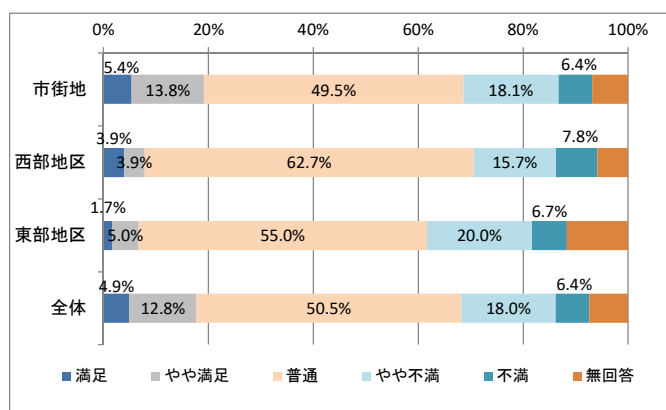
市内の公園や広場の利用のしやすさに対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた満足とする回答割合は15.4%となっており、平成29年度までの調査結果よりやや低下している。しかし、他の生活環境に対する評価と同様、「普通」とする回答割合が増加しているため、「普通」以上とする評価の割合は高くなっている。

地域別でみても、市街地、西部地区及び東部地区での評価は、平成29年度までの調査結果に比して高くなっている。

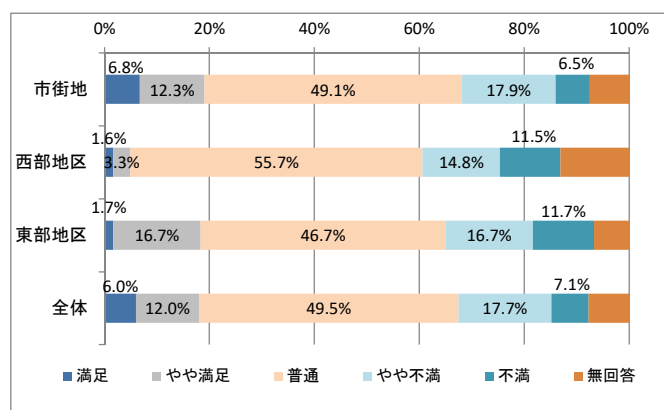
<平成30年度調査>



<平成29年度調査>



<平成28年度調査>

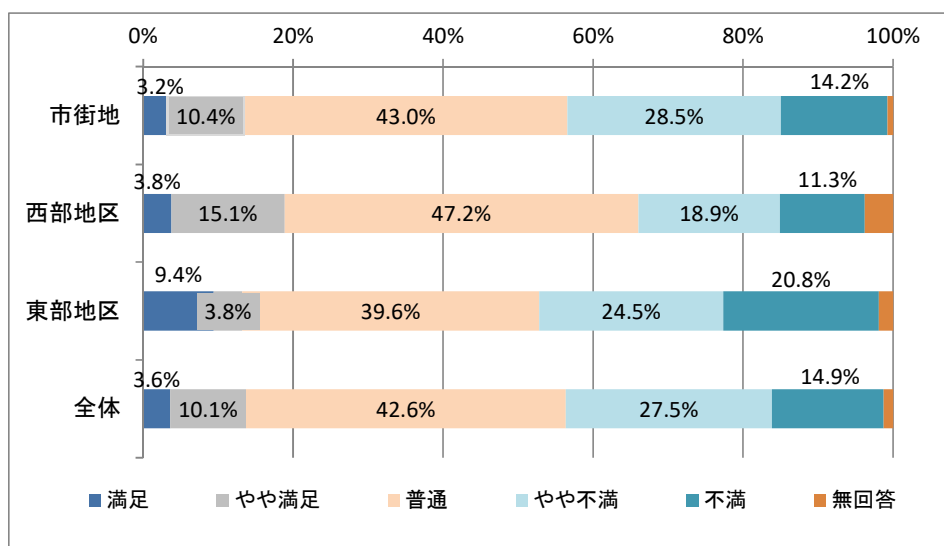


（７）買い物の利便性に対する満足度

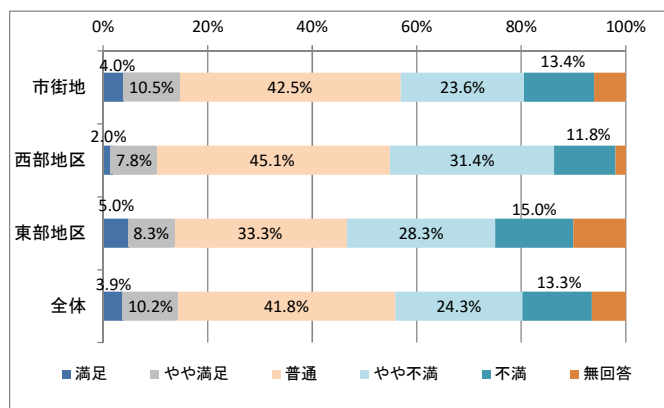
市内の買い物の利便性に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた満足とする回答割合は 13.7% となっており、平成 29 年度までの調査結果とほぼ同水準となっている。「普通」とする評価を加えた「普通」以上の評価の割合も 60% 前後とほぼ同水準となっている。

地域別でみると、西部地区や東部地区での評価が平成 29 年度までの調査結果に比して高くなっていくが理由は明らかではない。

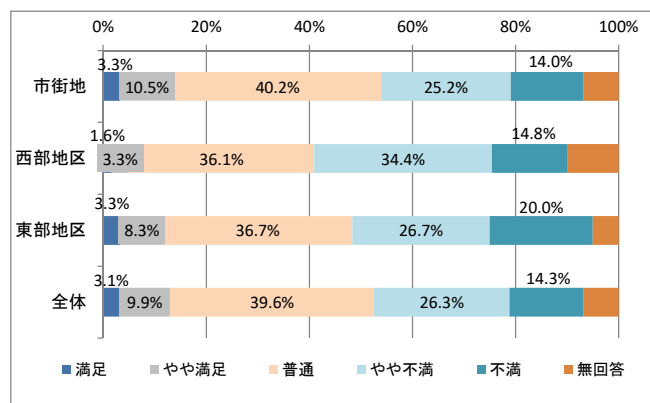
<平成 30 年度調査>



<平成 29 年度調査>



<平成 28 年度調査>



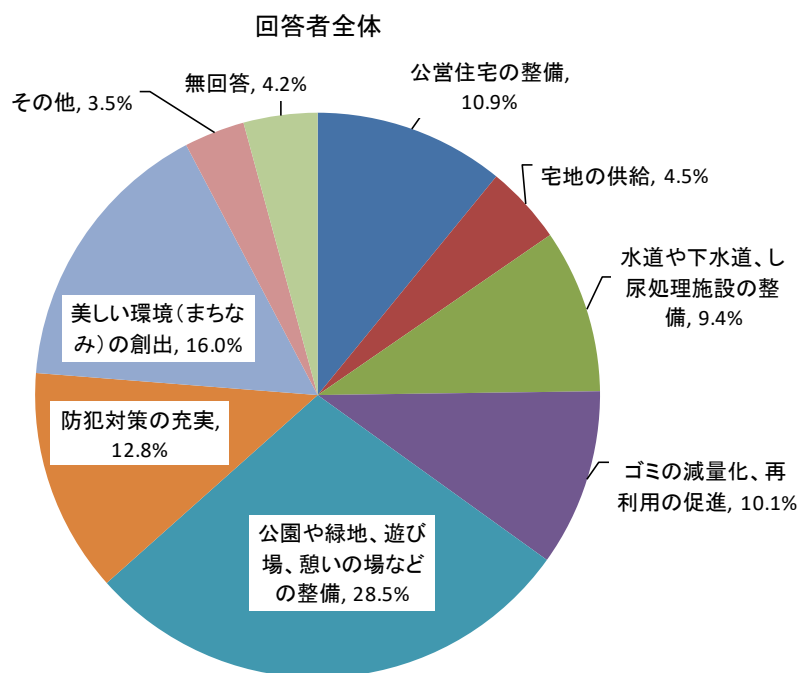
(8) 生活環境に関する施策について

①市民全体

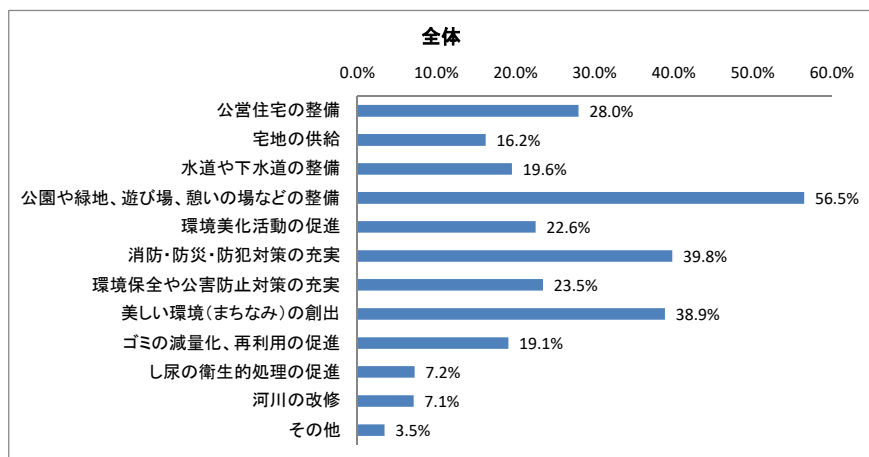
生活環境について、今後重点的に取り組むべきと考える施策を1つ回答してもらった結果、「公園や緑地、遊び場、憩いの場などの整備」が最も多く、次いで、「美しい環境（まちなみ）の創出」、「防犯対策の充実」、「公営住宅の整備」の順となっている。

平成29年度までの調査とは項目内容、回答形式が異なるため直接的な比較はできないが、上位に上げられている項目は、ほぼ同じ結果となっている。

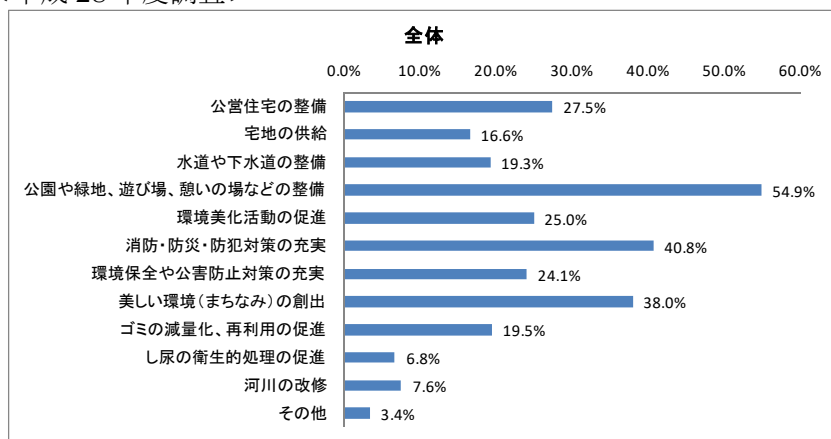
<平成30年度調査>



<平成29年度調査>



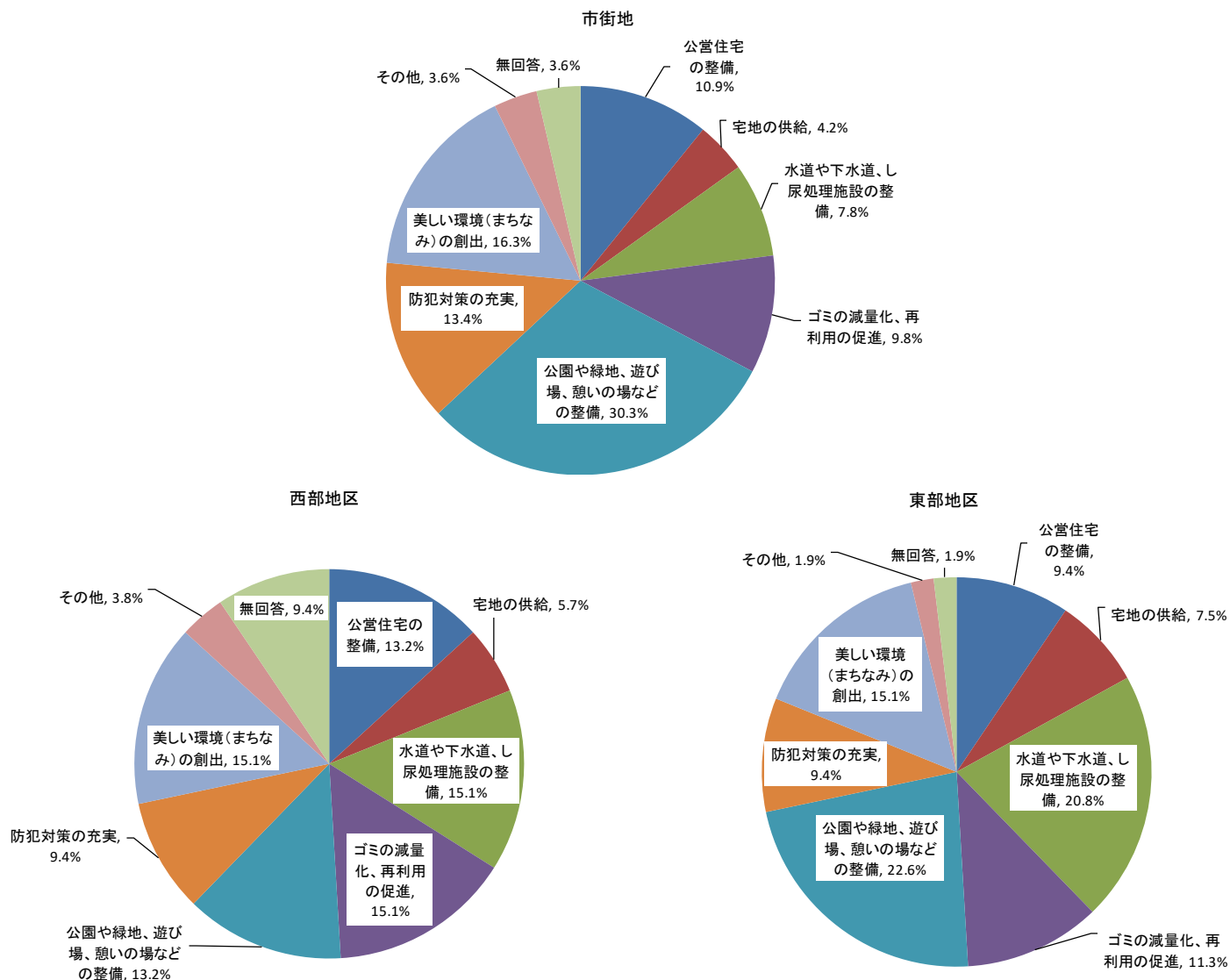
<平成 28 年度調査>



注：29 年度及び 28 年度調査は 3 つまでの選択を求めている

（２）地区別

地区別でみると、上位にあげられている項目に違いがあり、市街地では「公園や緑地、遊び場、憩いの場などの整備」、「美しい環境（まちなみ）の創出」、「防犯対策の充実」が、西部地区では、「美しい環境（まちなみ）の創出」、「水道や下水道、し尿処理施設の整備」、「ゴミの減量化、再利用の促進」が、東部地区では、「公園や緑地、遊び場、憩いの場などの整備」、「水道や下水道、し尿処理施設の整備」、「美しい環境（まちなみ）の創出」が高くなっている。

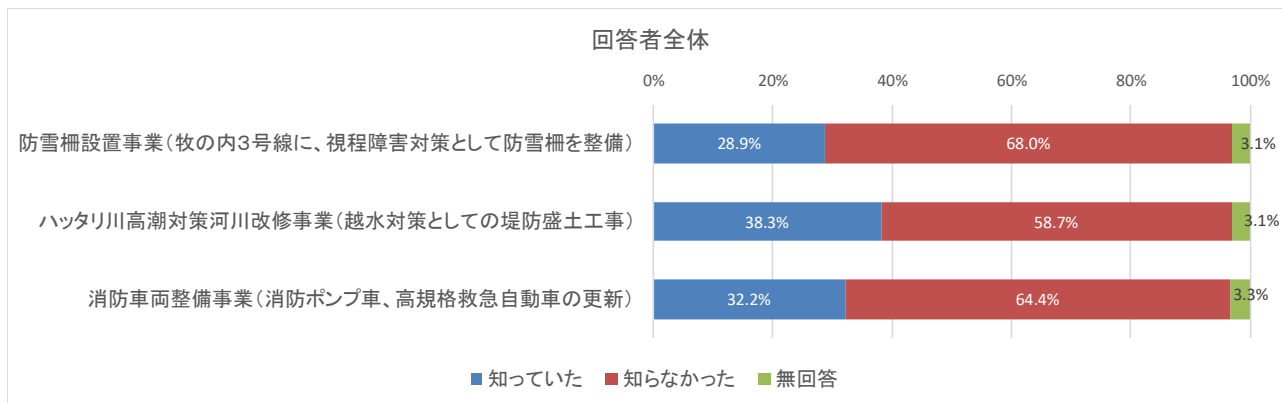


3. 1 1 防災・減災対策について

(1) 施策に対する認知度

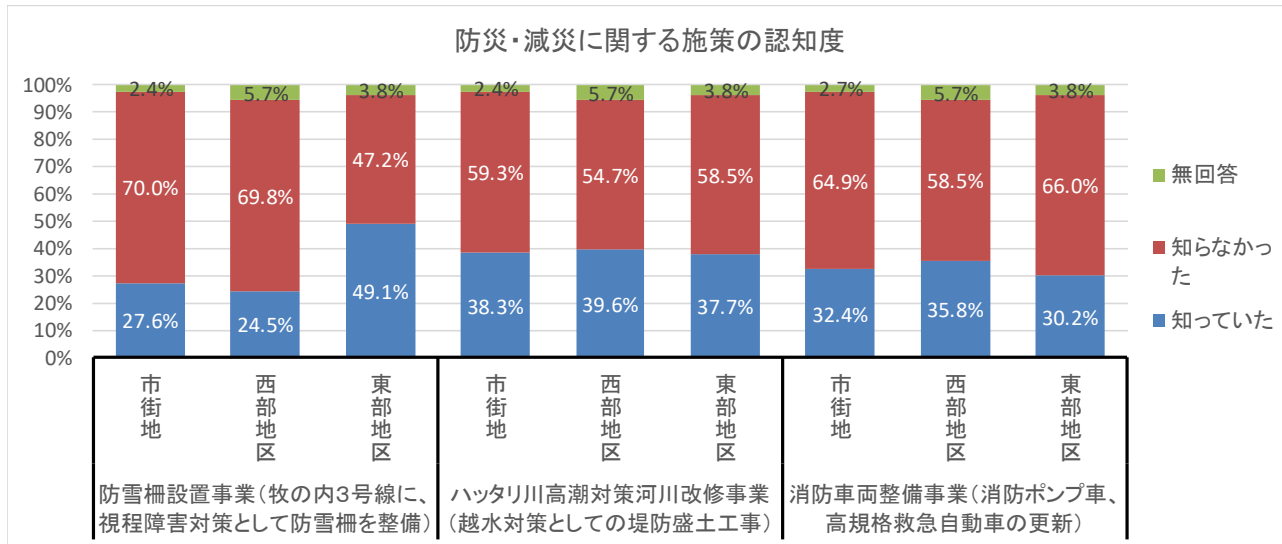
①全体

根室市で実施している防災・減災に関する主要施策についての認知度についてみると、いずれの施策も、その認知度は20%台～30%台に留まっている。



②地区別

防災・減災に関する主要施策についての認知度を地区別にみると、「防雪柵設置事業」に関して、当該地区である東部地区での認知度が高くなっている以外は、すべての施策に対して総じて認知度が低くなっている。



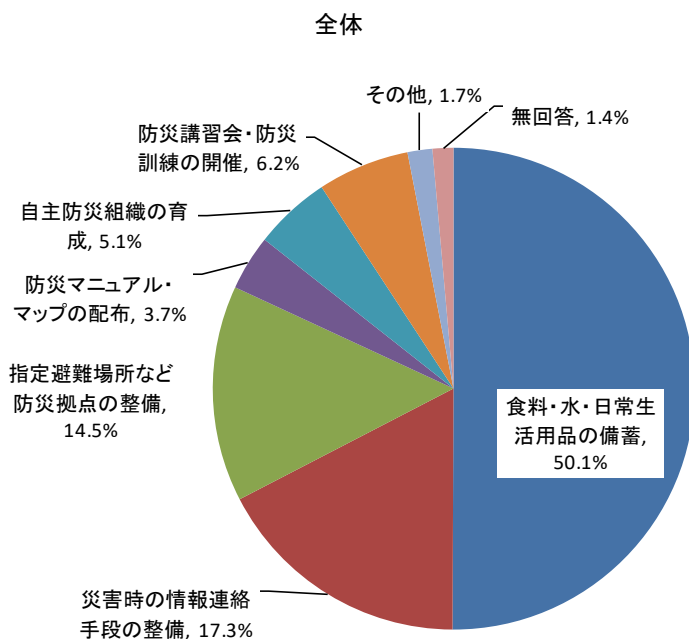
（２）防災対策に関する施策について

①市民全体

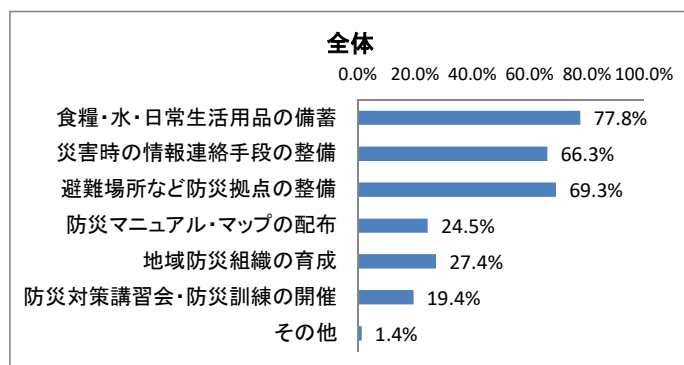
防災・減災対策として重要であると考える項目を１つ回答してもらった結果をみると、最も回答割合が高かった項目は、「食料・水・日常生活用品の備蓄」であり、50.1%を占めた。次いで、「災害時の情報連絡手段の整備」、「指定避難場所など防災拠点の整備」の順となっている。

この結果は、平成 29 年度までの調査と回答形式が異なるものの、ほぼ同様の結果となっている。

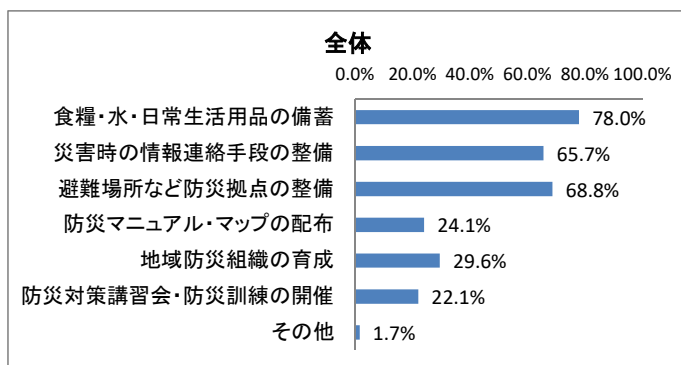
<平成 30 年度調査>



<平成 29 年度調査>



<平成 28 年度調査>



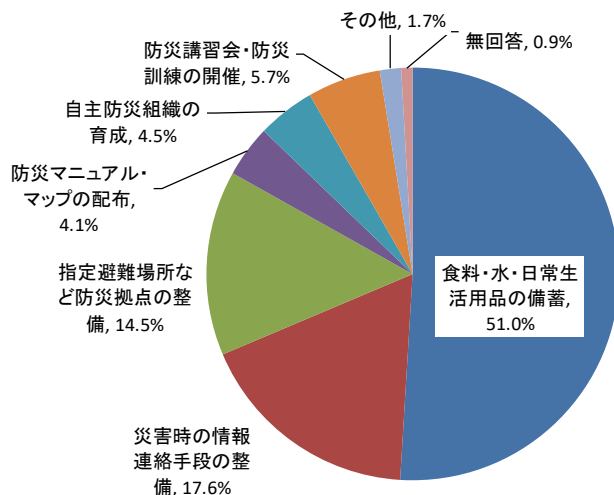
注：平成 29 年度及び平成 28 年度調査は３つまでの選択を求めている

②地区別

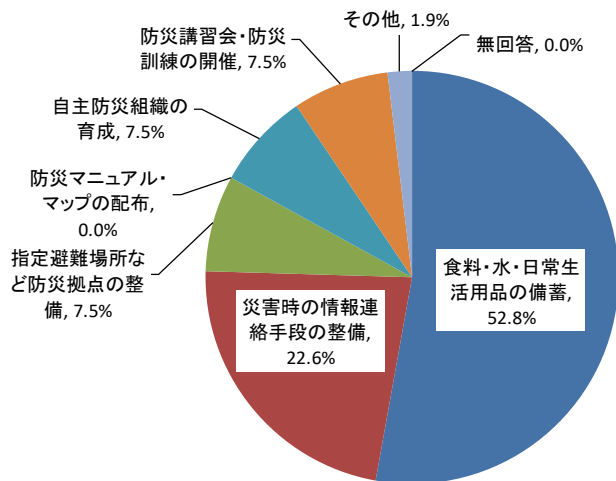
いずれの地区とも「食料・水・日常生活用品の備蓄」が最も多く 50%前後を占めている。

次いで市街地と西部地区は「災害時の情報連絡手段の整備」が、東部地区では「指定避難場所など防災拠点の整備」があげられている。

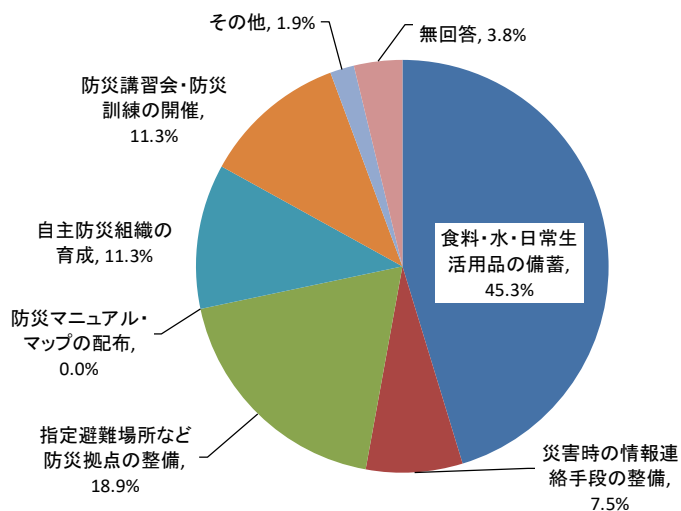
市街地



西部地区



東部地区



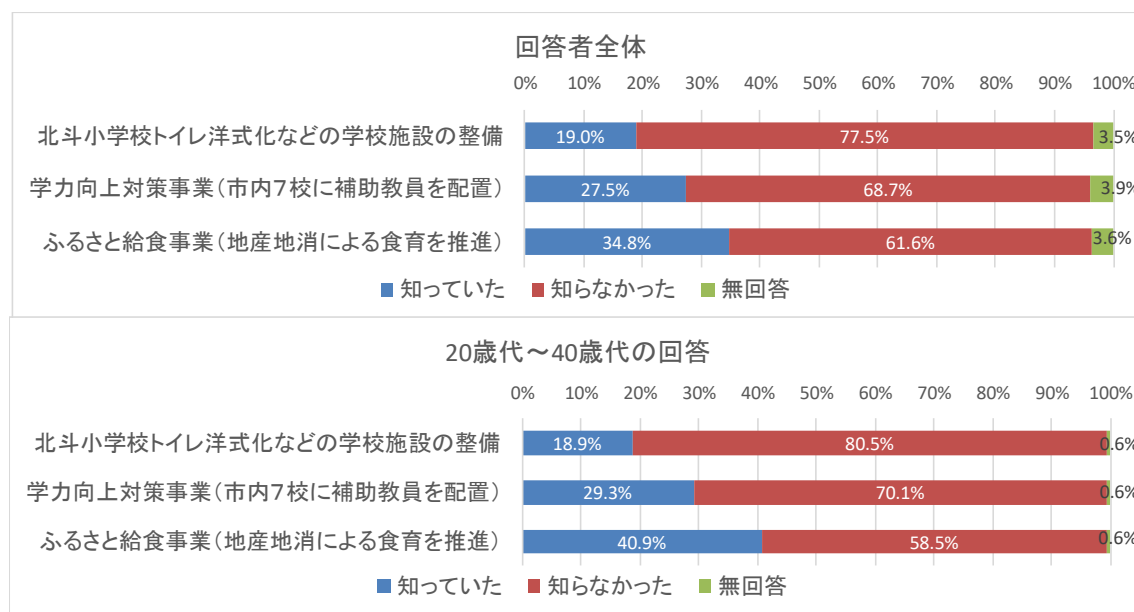
3. 1 2 学校教育・社会教育について

(1) 施策に対する認知度

①全体

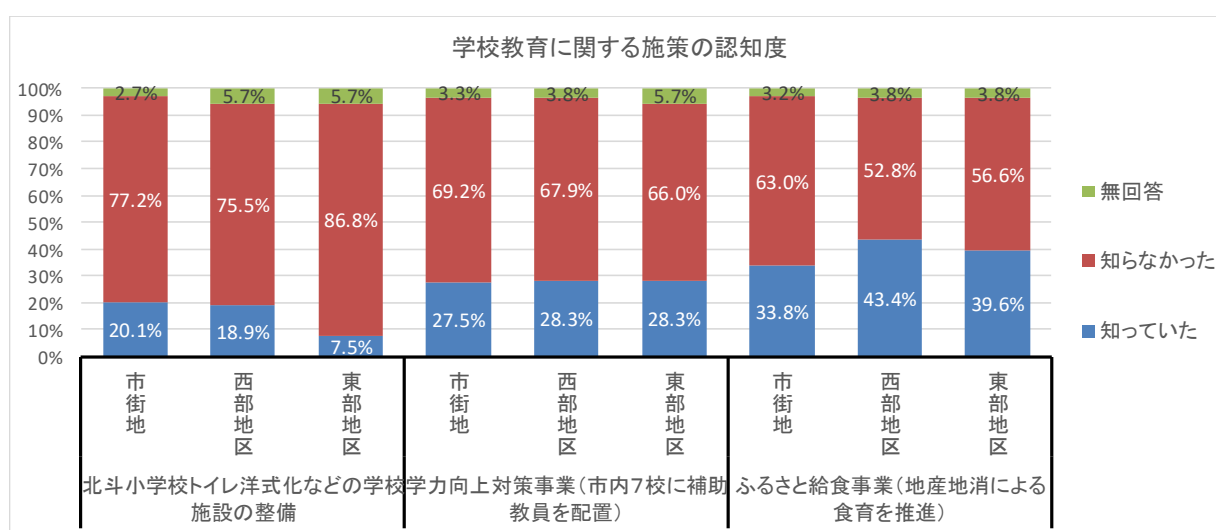
根室市で実施している学校教育に関する主要施策についての認知度を回答者全体についてみると、いずれの施策も、その認知度は20%～30%台に留まっている。

一方、子育て世代である20歳代～40歳の回答者についてみると、「ふるさと給食事業」の認知度がやや高くなっている以外は、回答者全体と大きな違いはない。



②地区別

学校教育に関する主要施策についての認知度を地区別にみると、「ふるさと給食事業」でやや認知度が高くなっている以外は、地区にかかわらず総じて認知度が低くなっている。



(2) 教育施設や教育環境に対する満足度

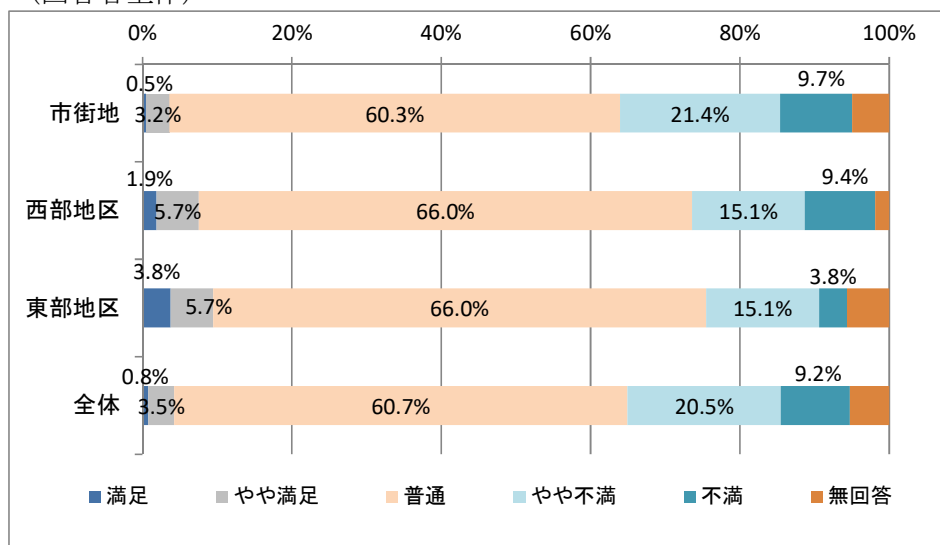
教育施設や教育環境に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた満足とする回答割合は市民全体で 4.3% となっており、平成 29 年度までの調査結果とほぼ同水準となっている。「普通」とする評価を加えた「普通」以上とする評価の割合をみると昨年度までの結果よりも高くなっている。

地域別でみると、東部地区での評価が平成 29 年度までの調査結果に比して高くなっている。

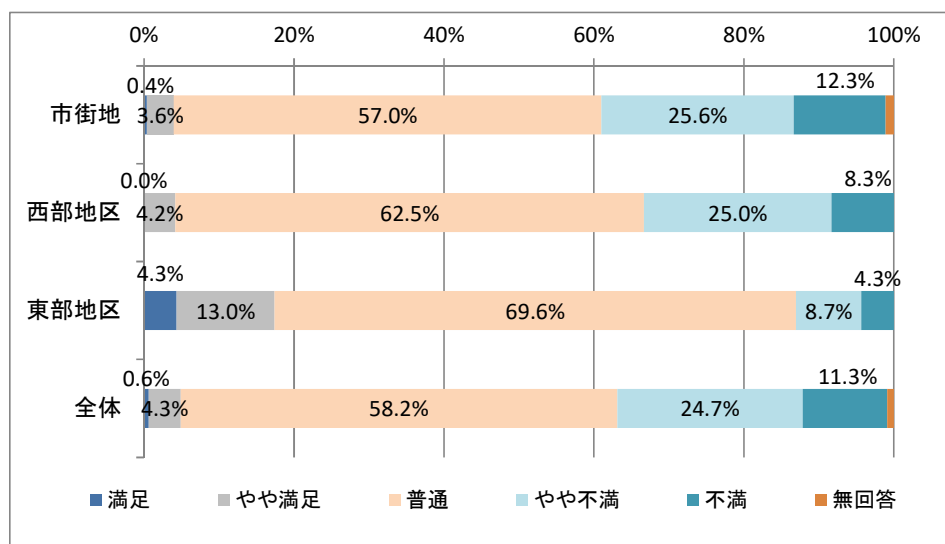
一方、子育て世代である 20 歳代～40 歳代の回答者の評価をみると、回答者全体よりもやや厳しい評価となっている。

<平成 30 年度調査>

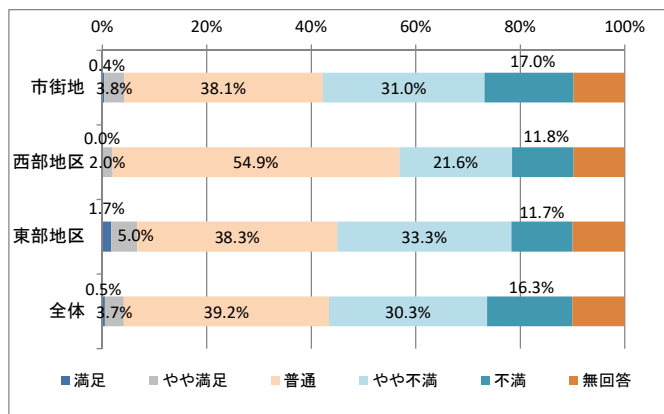
(回答者全体)



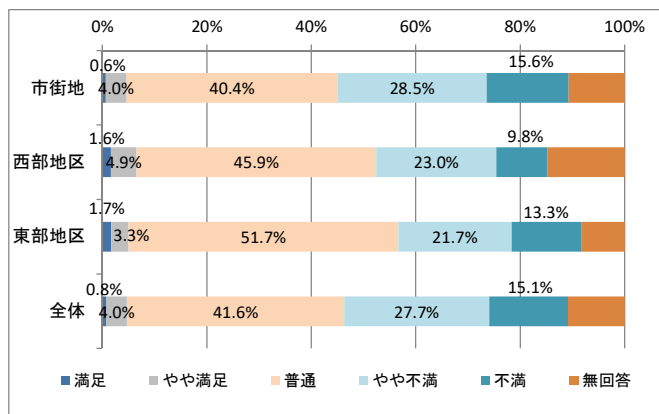
(20 歳代～40 歳代)



<平成 29 年度調査>



<平成 28 年度調査>



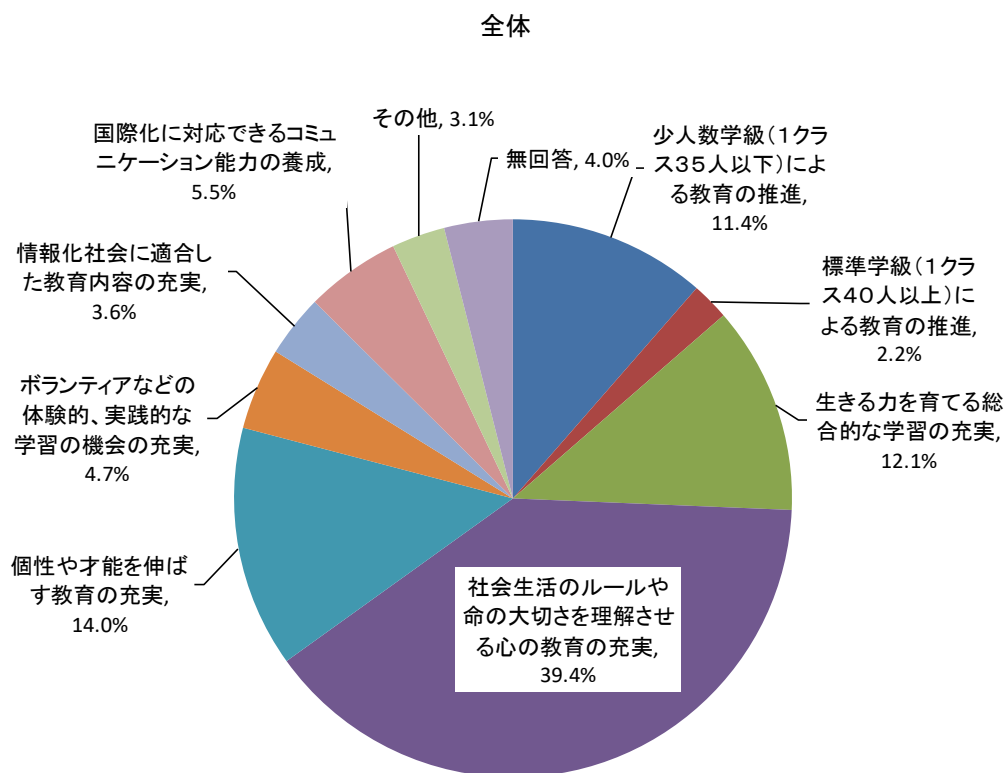
(3) 学校教育に関する施策について

①市民全体

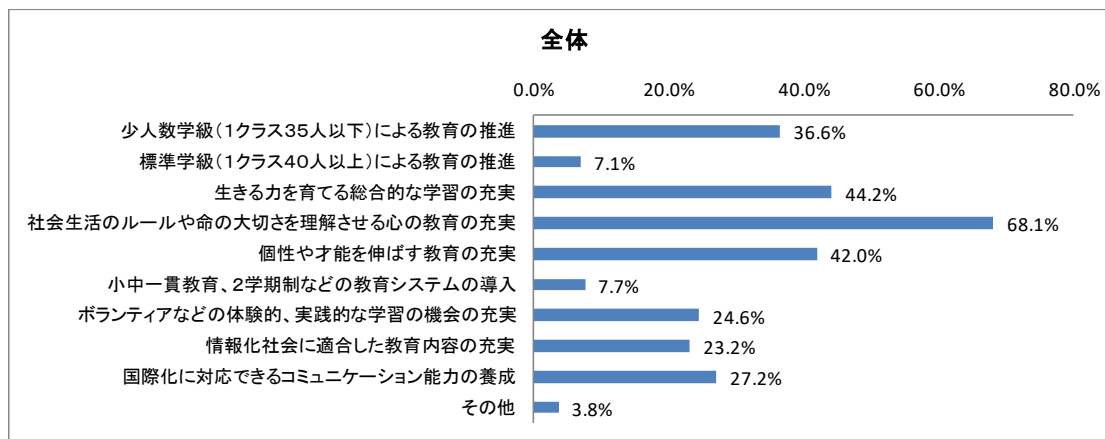
学校教育の充実のために市行政が力を注ぐべきと思う施策を1つ回答してもらった結果をみると、「社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実」が最も多くなっており、次いで、「個性や才能を伸ばす教育の充実」、「生きる力を育てる総合的な学習の充実」、「少人数学級（1クラス35人以下）による教育の推進」の順となっている。

このように、上位にあげられている項目は、昨年までの調査結果とほぼ同様となっている。

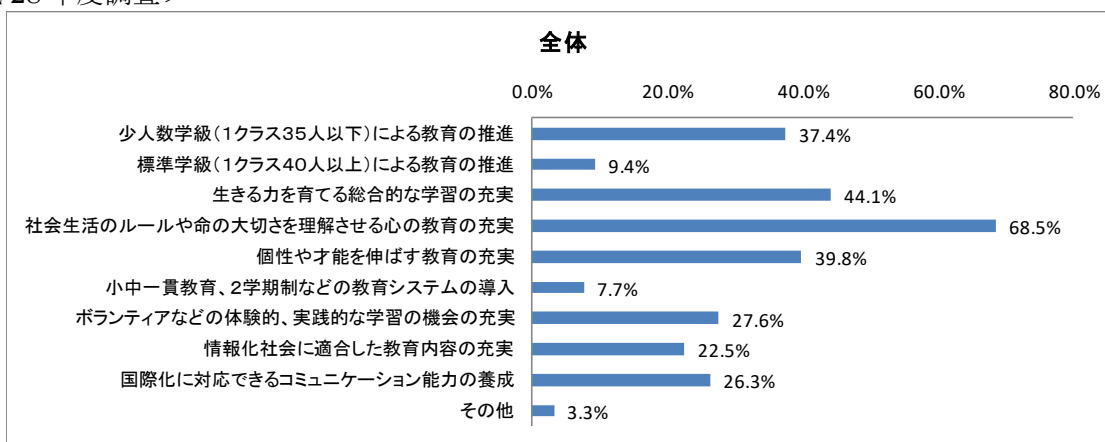
<平成 30 年度調査>



<平成 29 年度調査>



<平成 28 年度調査>

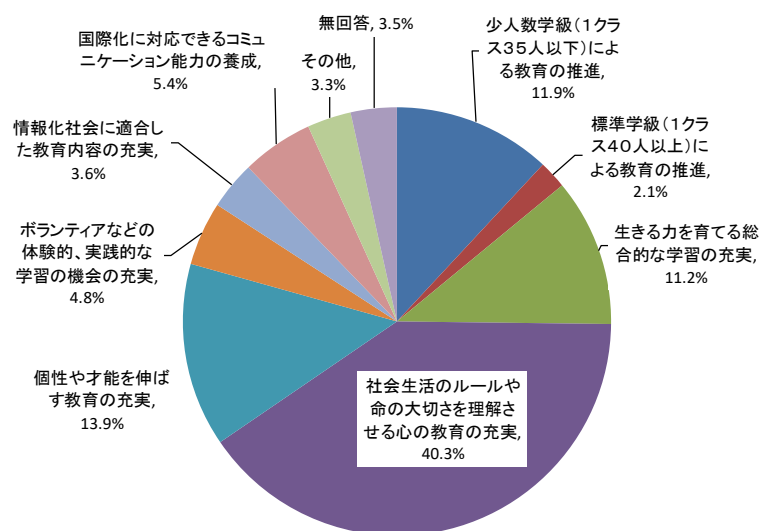


注：29 年度及び 28 年度調査は 3 つまでの選択を求めている

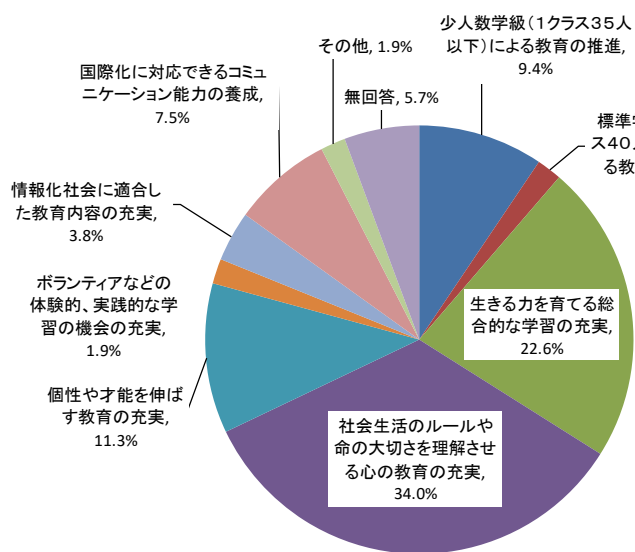
②地区別

いずれの地区も「社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実」、「生きる力を育てる総合的な学習の充実」、「個性や才能を伸ばす教育の充実」の3項目が上位にあげられている。

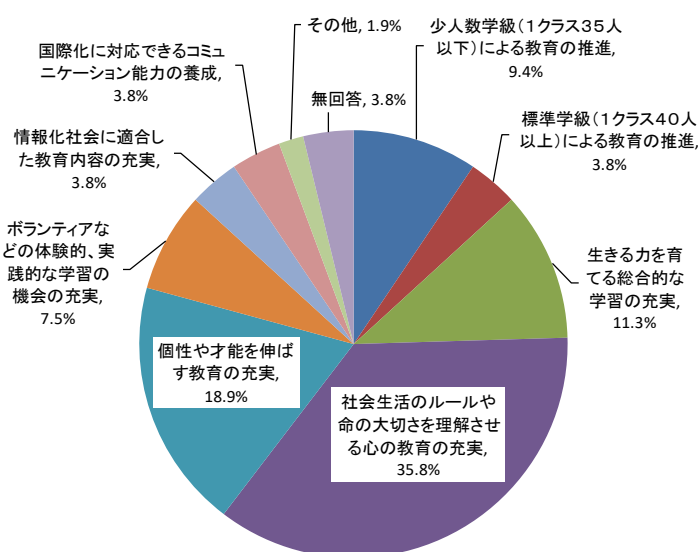
市街地



西部地区



東部地区



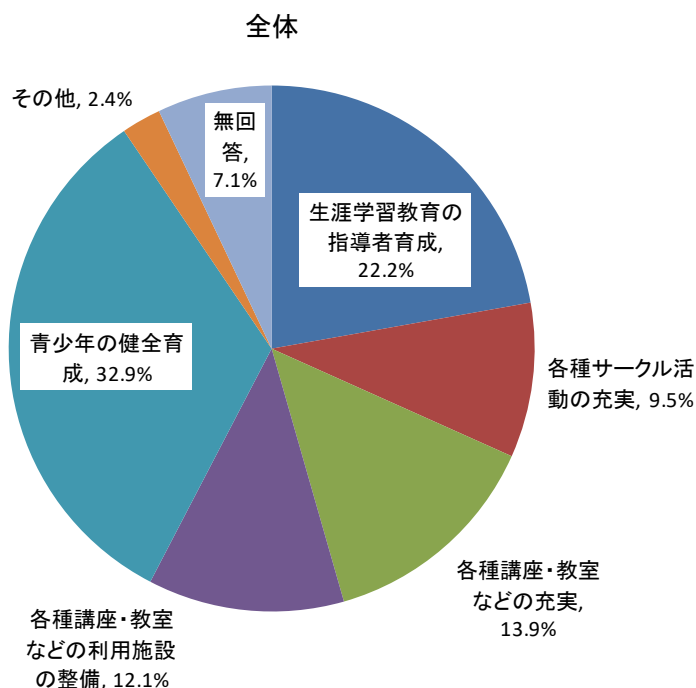
(4) 社会教育に関する施策について

①市民全体

社会教育に関して重要であると考える項目1つを回答してもらった結果をみると、「青少年の健全育成」が最も多く、次いで、「生涯学習教育の指導者育成」、「各種講座・教室などの充実」の順となっている。

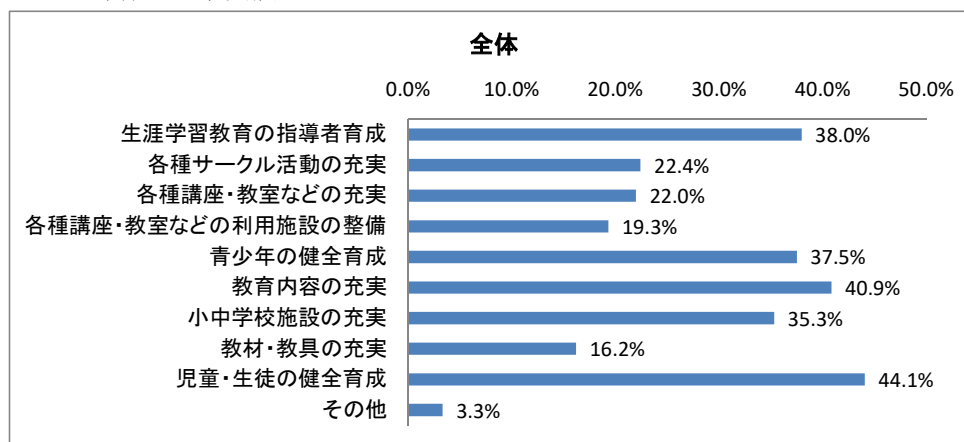
平成29年度までの調査は、回答形式が異なることに加え、学校教育の内容に関する設問も含まれているなど比較はできないものの、社会教育に関する項目についてみると、概ね同様の結果となっている。

<平成30年度調査>

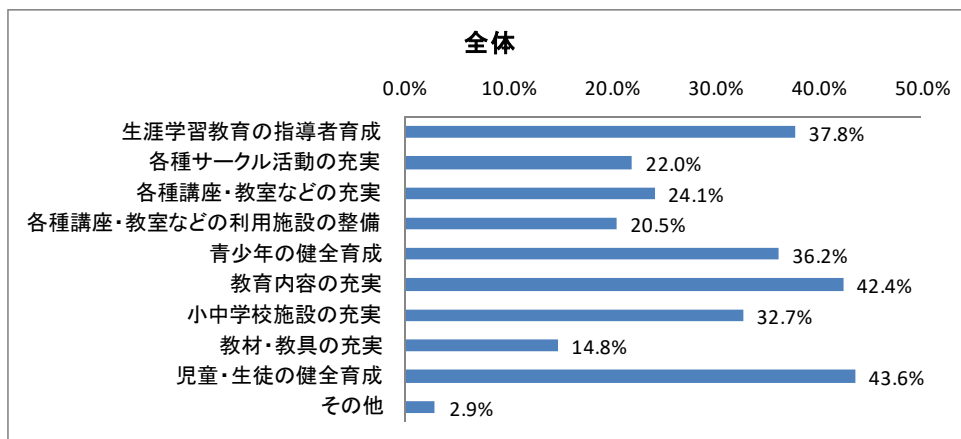


注：昨年までの選択肢にあった「教育内容の充実」「小中学校施設の充実」「教材・教具の充実」「自動・生徒の健全育成」の各項目は、学校教育の内容であるため、平成30年度調査では割愛している。

<平成29年度調査>



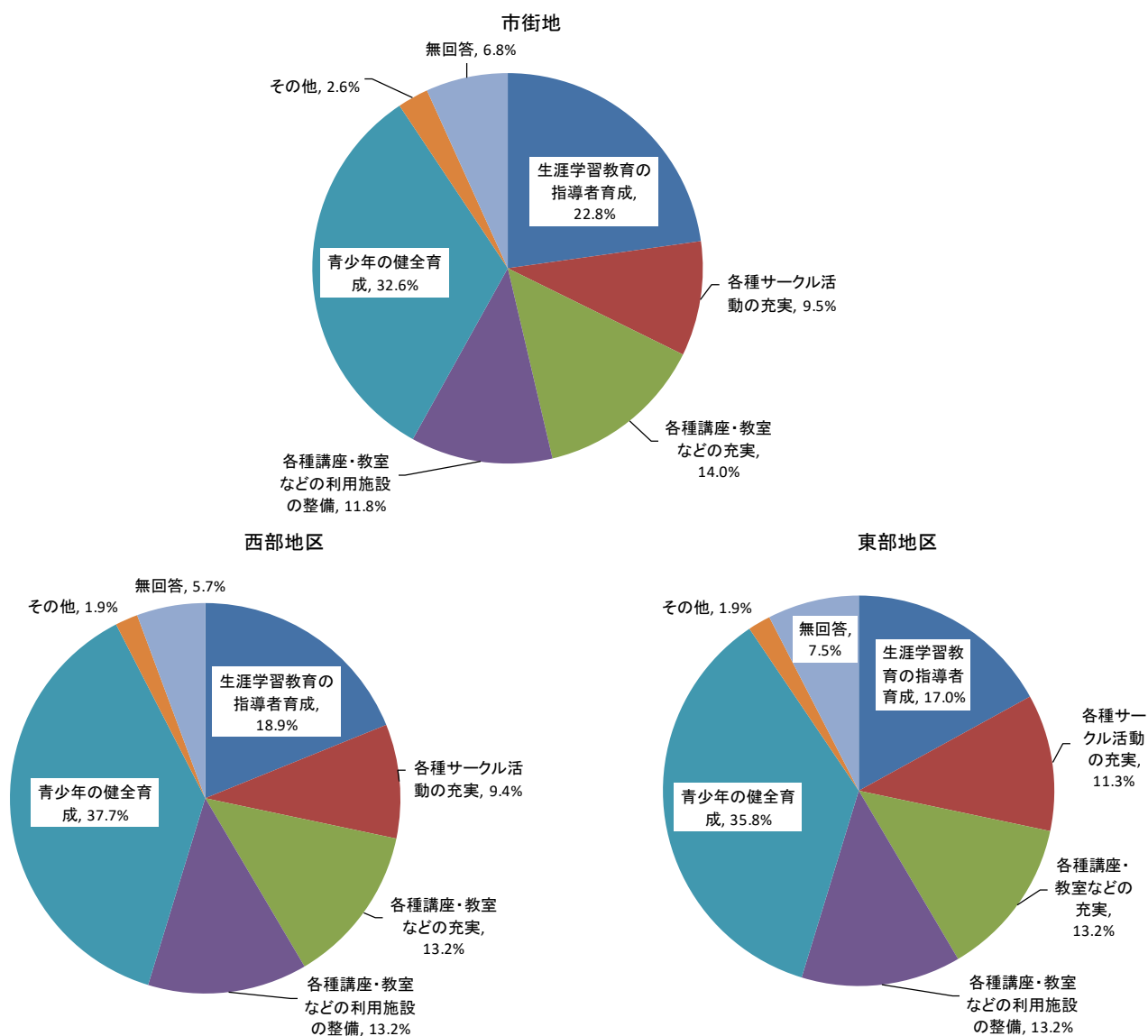
<平成 28 年度調査>



注：29 年度及び 28 年度調査は 3 つまでの選択を求めている

②地区別

いずれの地区も全体と同様に「青少年の健全育成」、「生涯学習教育の指導者育成」、「各種講座・教室などの充実」が上位にあげられている。

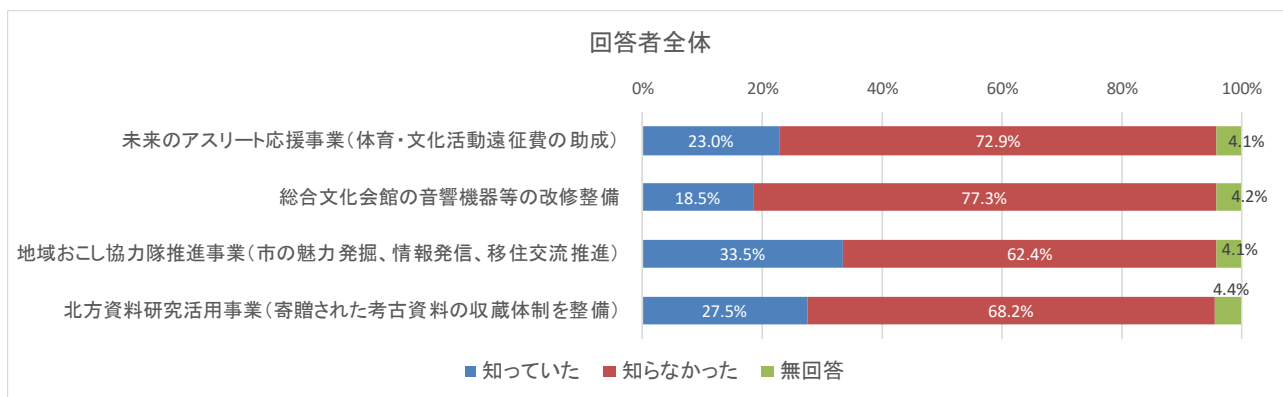


3. 13 スポーツ・レクリエーション・文化について

(1) 施策に対する認知度

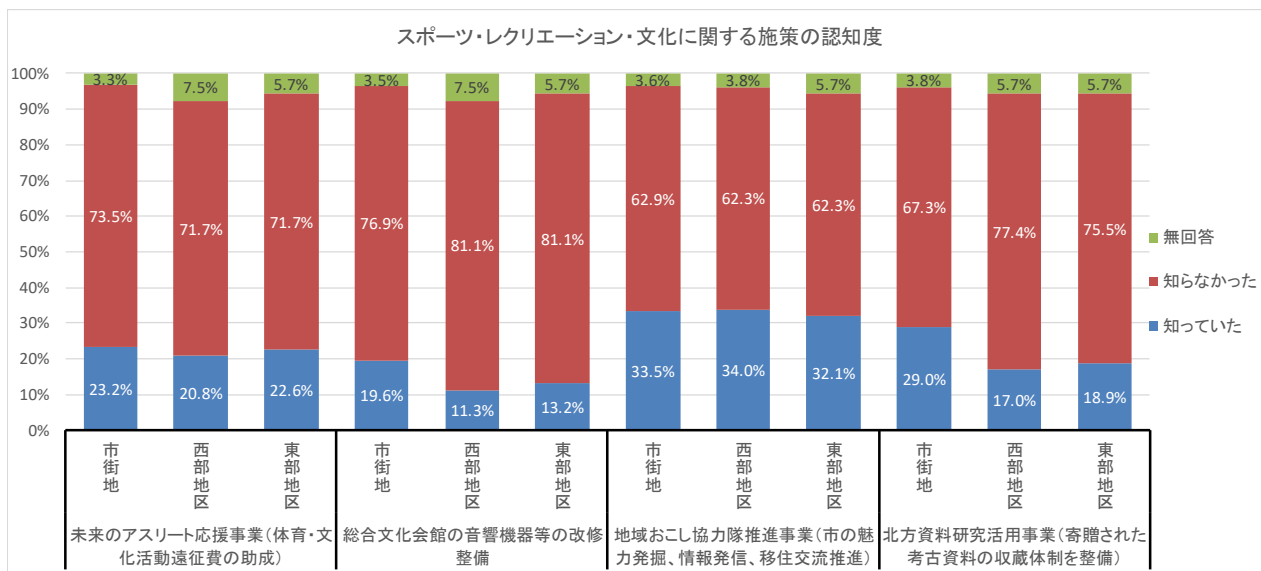
①全体

市で実施しているスポーツ・レクリエーション・文化に関する主要施策についての認知度をみると、いずれの施策も、その認知度は10%台～30%台に留まっている状況が把握された。



②地区別

スポーツ・レクリエーション・文化に関する主要施策についての認知度は、地区別でも大きな差はなく、総じて認知度が低い状況が把握された。

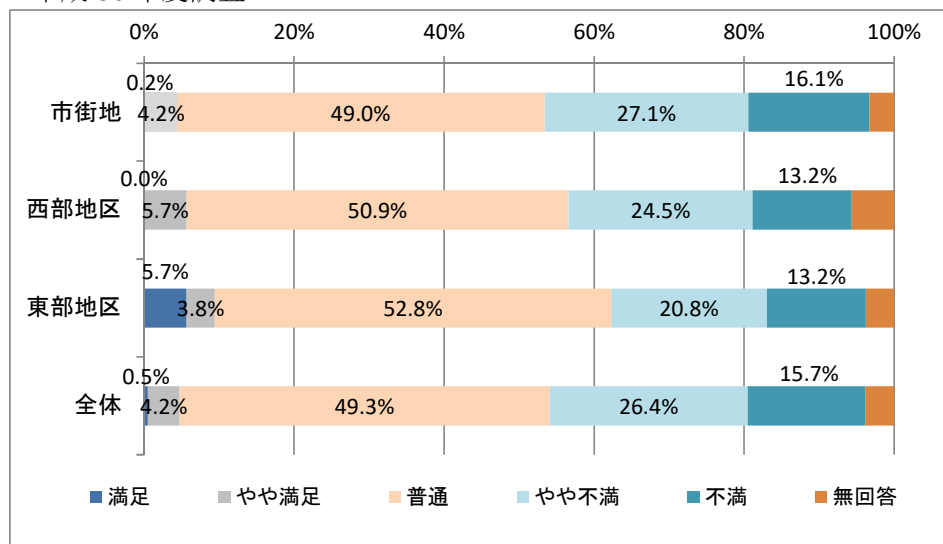


(2) スポーツ施設の状況に対する満足度

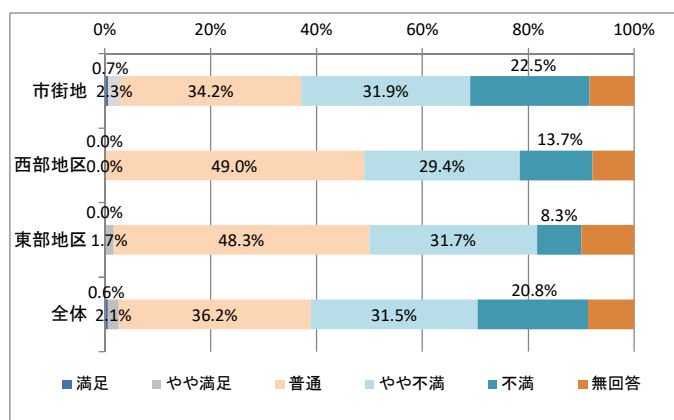
スポーツ施設の状況に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた満足とする回答割合は4.7%となっており、平成29年度までの調査結果をやや上回っている。また、「普通」とする評価を加えた「普通」以上とする評価の割合も昨年度までの結果よりも高くなっている。

地域別でみると、東部地区での評価が平成29年度までの調査結果に比して高くなっている。

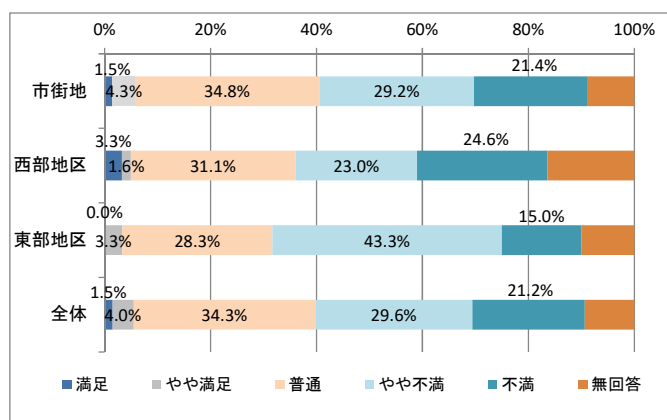
<平成30年度調査>



<平成29年度調査>



<平成28年度調査>



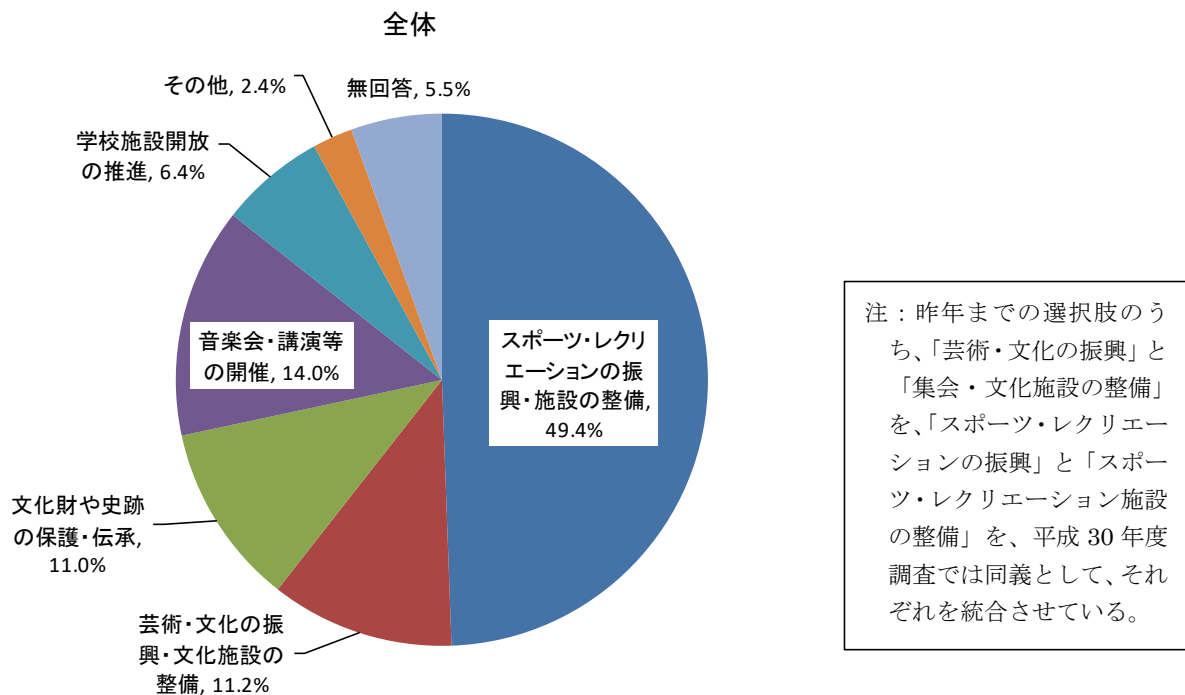
(3) スポーツ・レクリエーション・文化に関する施策について

①市民全体

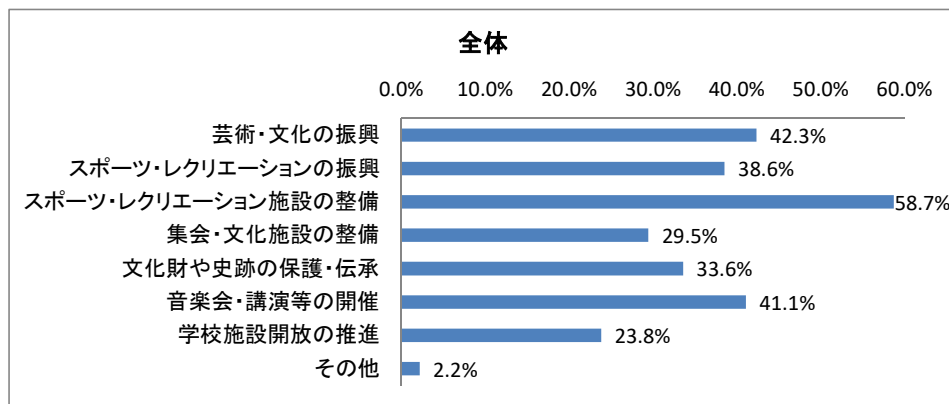
スポーツ・レクリエーション・文化について今後重点的に実施すべきと思う施策を1つ回答してもらった結果をみると、「スポーツ・レクリエーションの振興・施設の整備」が最も多くなっており、次いで、「音楽会・講演等の開催」、「芸術・文化の振興・文化施設の整備」の順となっている。

回答形式や選択肢の項目が異なるため直接的な比較はできないが、平成 29 年度までの調査においても、「スポーツ・レクリエーションの振興」や「芸術・文化の振興」、「音楽会・講演等の開催」が上位にあがっている。

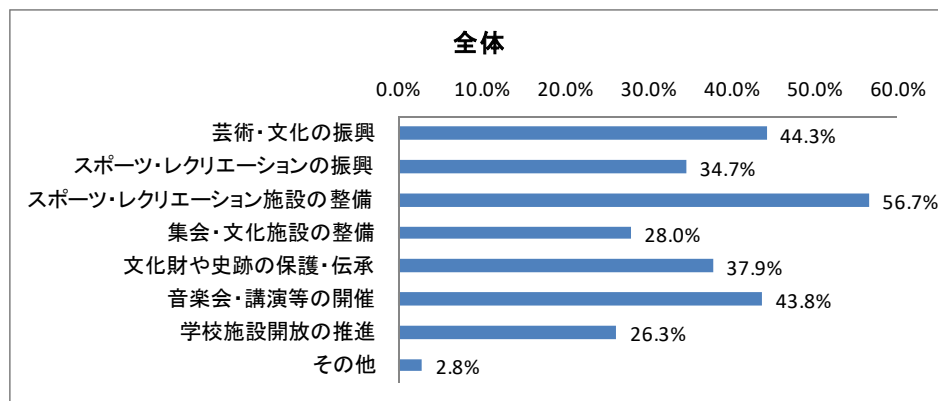
<平成 30 年度調査>



<平成 29 年度調査>



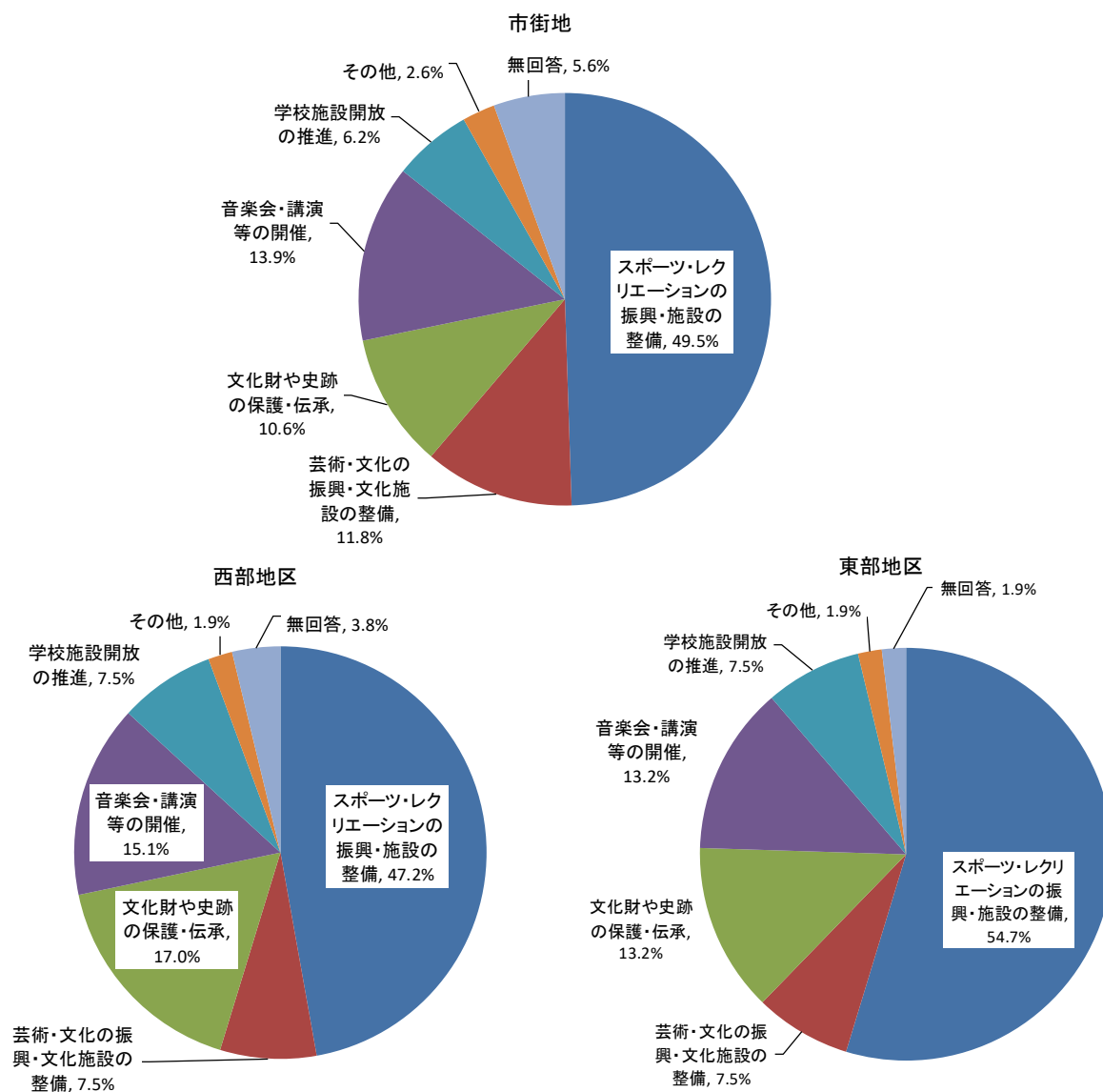
<平成 28 年度調査>



注：29 年及び 28 年度調査は 3 つまでの選択を求めている

②地区別

いずれの地区とも「スポーツ・レクリエーションの振興・施設の整備」が 50%前後を占めており、次いで、「音楽会・講演等の開催」、「芸術・文化の振興・文化施設の整備」などが上位にあげられている。

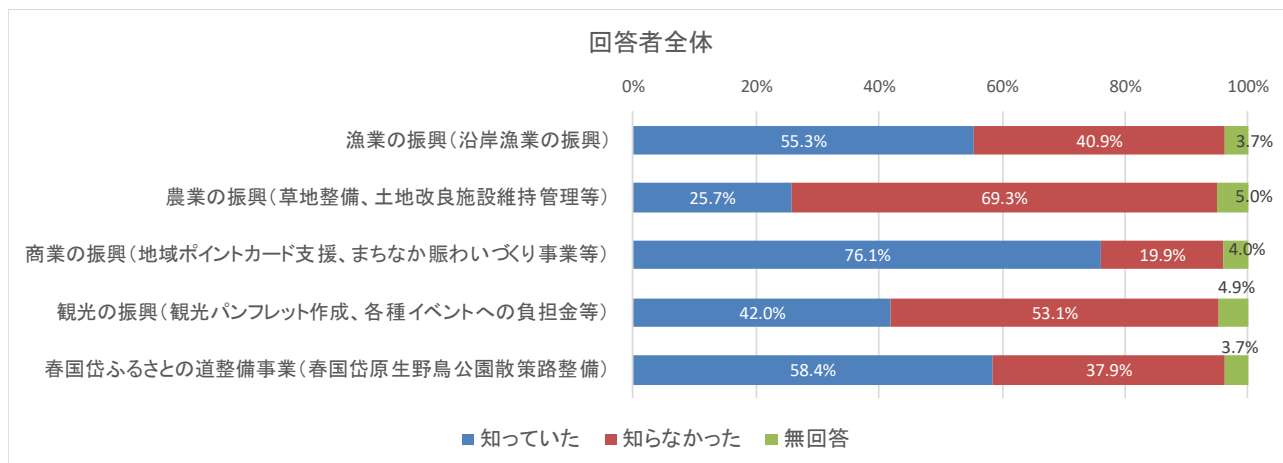


3. 1 4 産業の振興について

(1) 施策に対する認知度

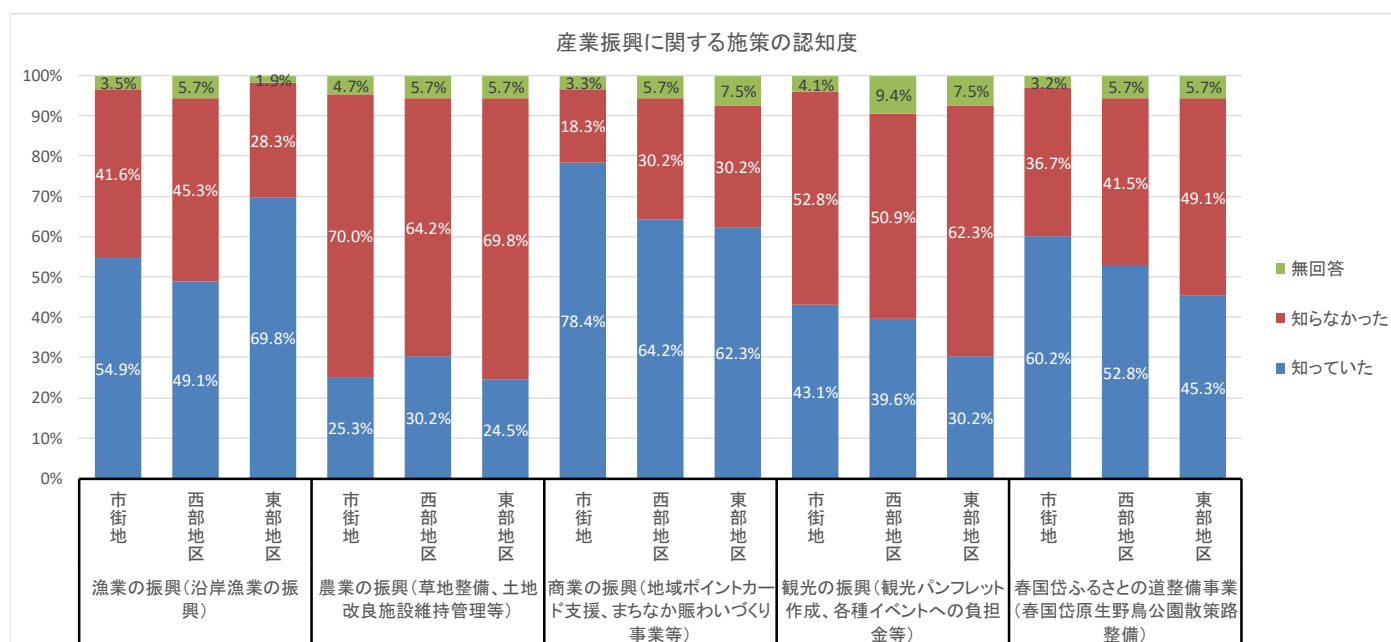
①全体

市で実施している産業振興に関する主要施策についての認知度をみると、総じて他の施策よりも認知度が高い傾向がみられ、特に、商業の振興、漁業の振興のほか、観光関連の中でも「春国岱原生野鳥公園散策路整備」のような具体的事業に対する認知度が高くなっている。



②地区別

産業振興に関する主要施策についての認知度を地区別にみると、総じて認知度が高い傾向がみられているが、特に、市街地では「商業の振興」、西部地区では「農業の振興」、東部地区では「漁業の振興」というように地域の産業経済特性を反映した結果となっている。



(2) 産業振興施策について

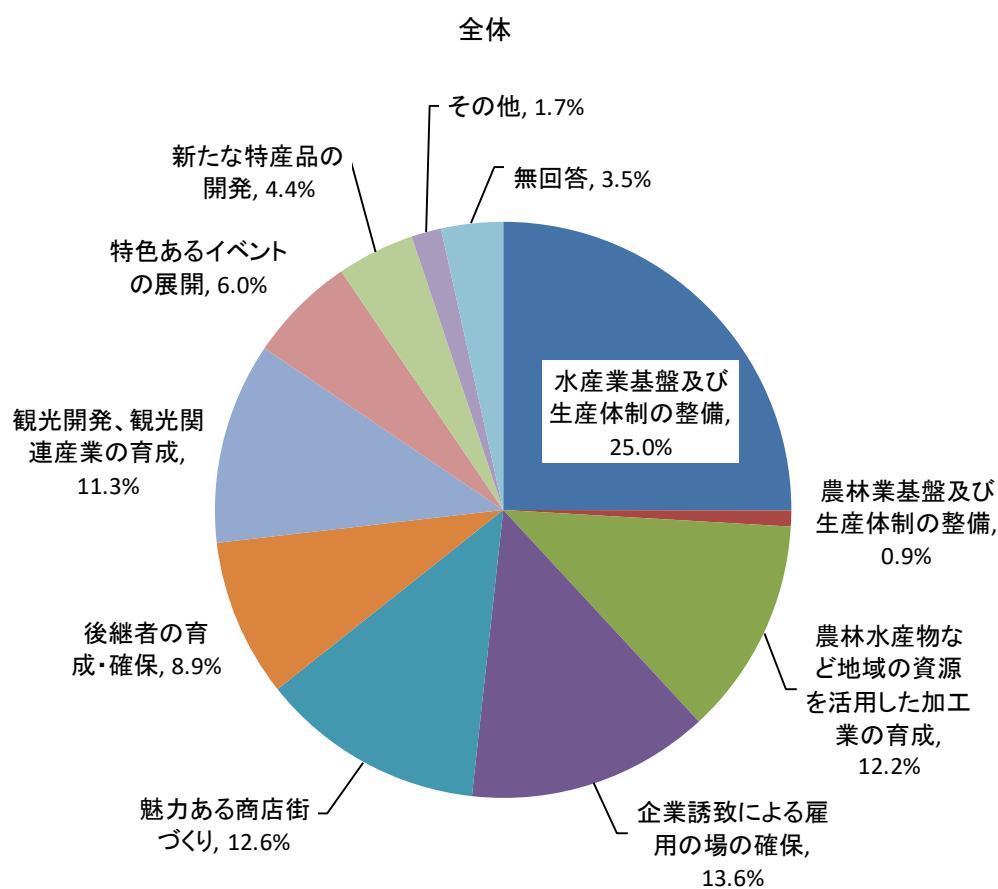
①市民全体

根室市の産業振興について、今後重点的に取り組むべきと思う施策1つを回答してもらった結果、「水産業基盤及び生産体制の整備」をあげる住民の割合が最も高かった。次いで、「企業誘致による雇用の場の確保」、「魅力ある商店街づくり」、「農林水産物など地域の資源を活用した加工業の育成」、「観光開発、観光関連産業の育成」の順となっている。

ロシア 200 海里内サケマス流し網漁が禁止になった影響やサンマ漁獲高の減少などの影響を反映して基幹産業に対する関心の高さが伺える。

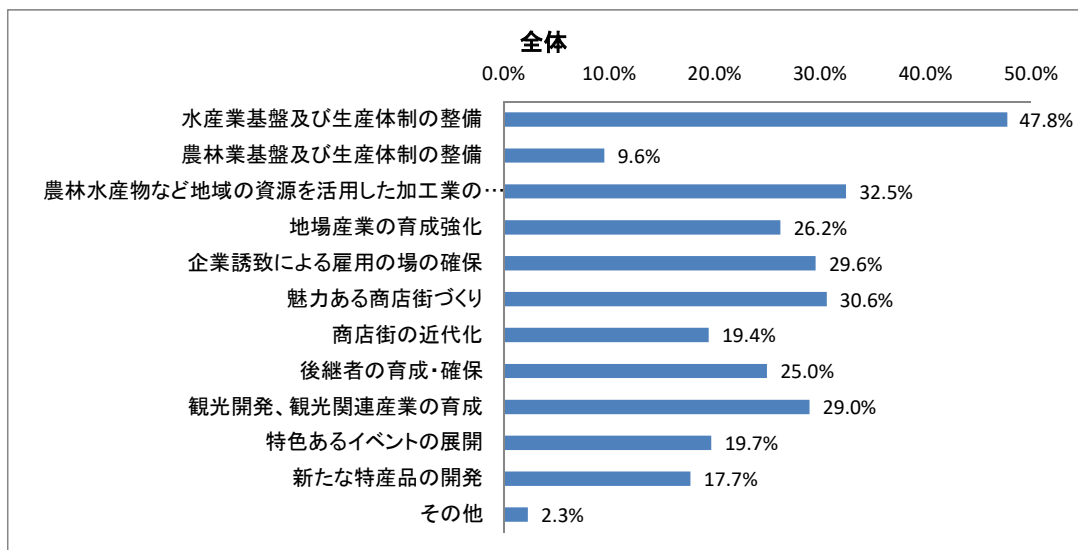
回答形式が異なるため平成 29 年度までの調査の結果とは直接的な比較はできないが、「水産業基盤及び生産体制の整備」など上位にあげられている項目は同じ内容であった。

<平成 30 年度調査>

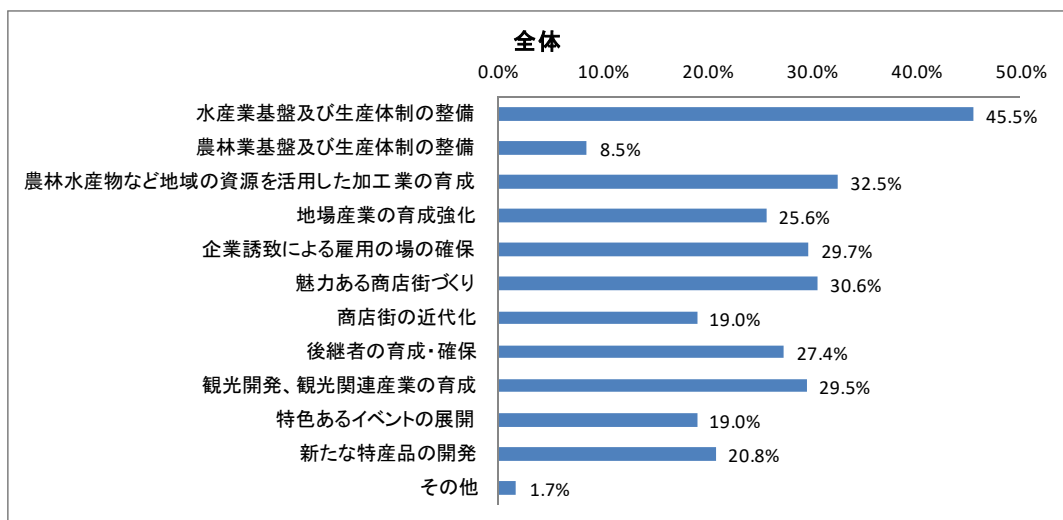


注：昨年までの選択肢のうち、「地場産業の育成強化」については、他の選択肢と重複する内容となるため、平成 30 年度調査では割愛している。

<平成 29 年度調査>



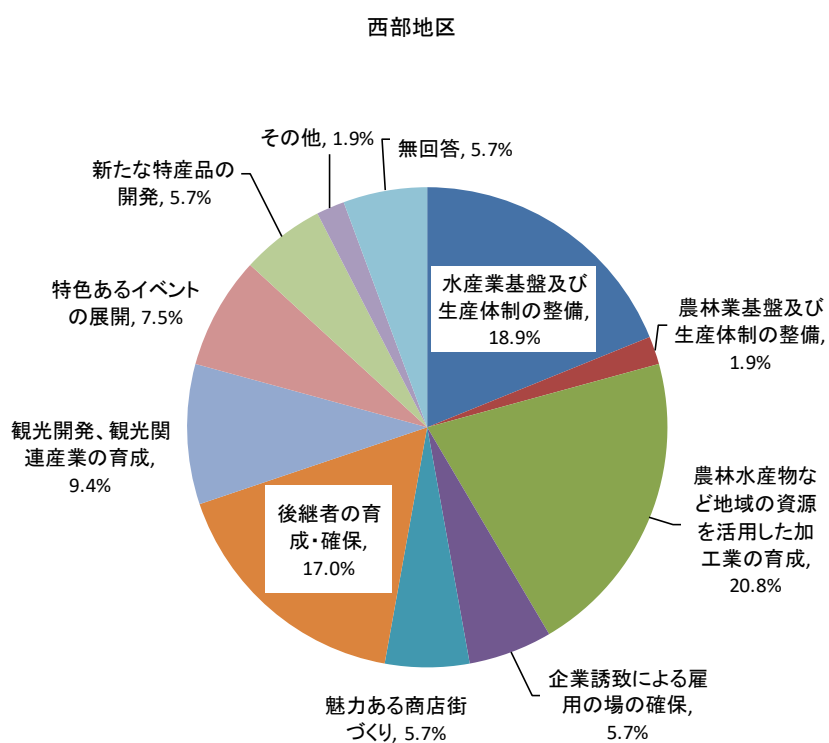
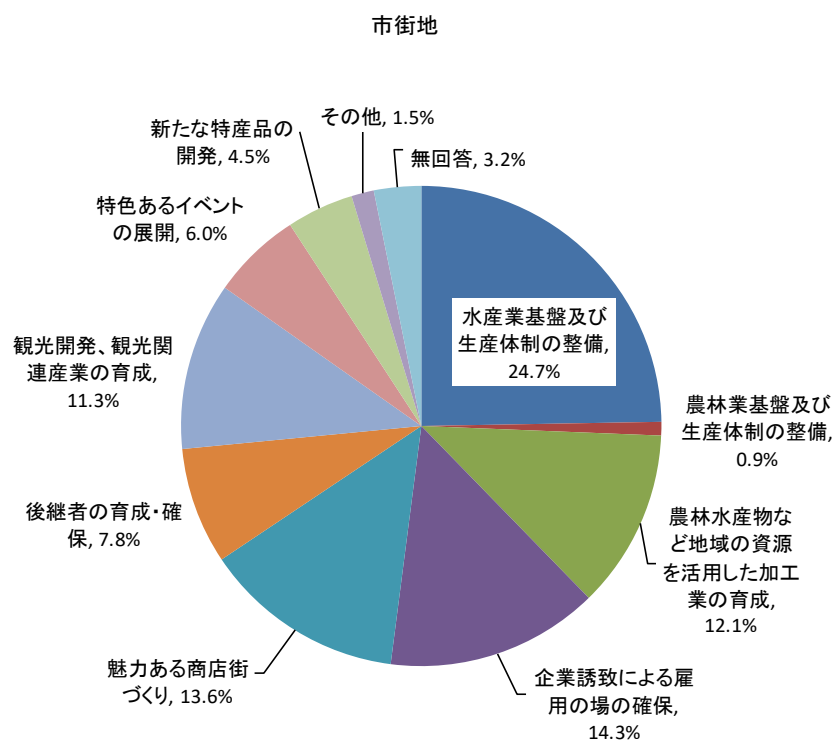
<平成 28 年度調査>



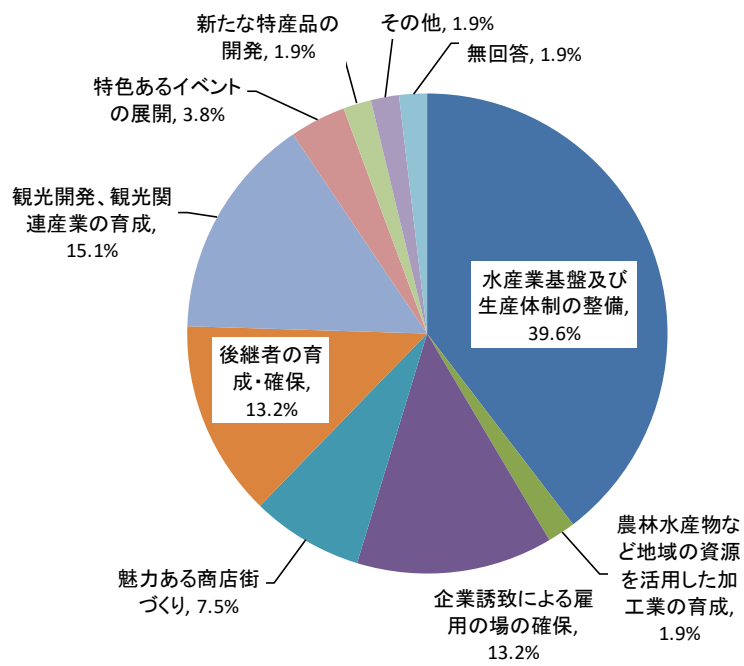
注：29 年度及び 28 年度調査は 3 つまでの選択を求めている

②地区別

地区別でみると、市街地はほぼ市民全体の傾向と同様の傾向を示しているが、東部地区と西部地区では、地区の主たる産業を反映して異なった傾向がみられており、東部地区では漁業者が多いことから「水産業基盤及び生産体制の整備」が、西部地区では酪農事業者も多く居住することから、「農林水産物など地域の資源を活用した加工業の育成」が最上位にあげられている。



東部地区

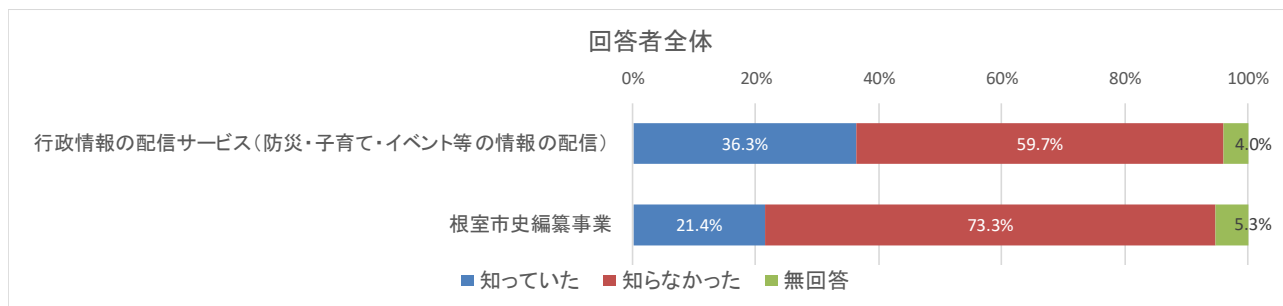


3. 15 情報の共有化について（行政からどのような情報提供を望むか）

（１）施策の認知度

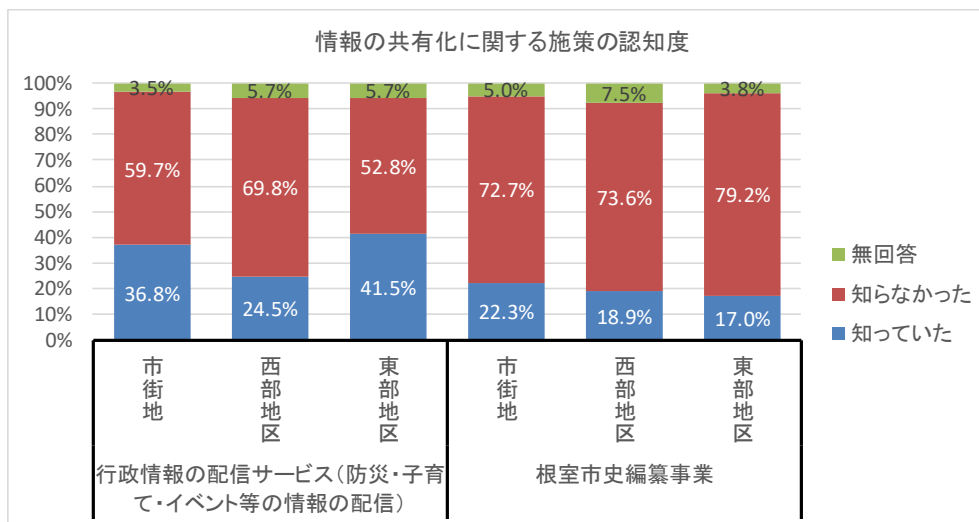
①全体

市で実施している情報の共有化に関する主要施策についての認知度をみると、「行政情報の配信サービス」が36.3%の認知度に留まっている。また、根室市史編纂事業は21.4%と低い状況が把握された。



②地区別

情報の共有化に関する主要施策についての認知度に関しては、「行政情報の配信サービス」の西部地区がやや低くはなっているものの、地区による大きな差はない。

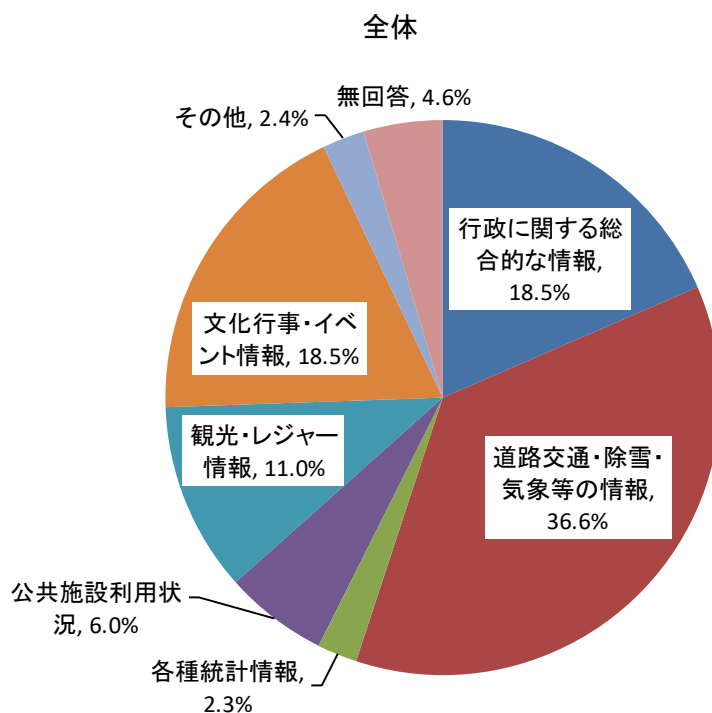


（２）情報の共有化に関する施策について

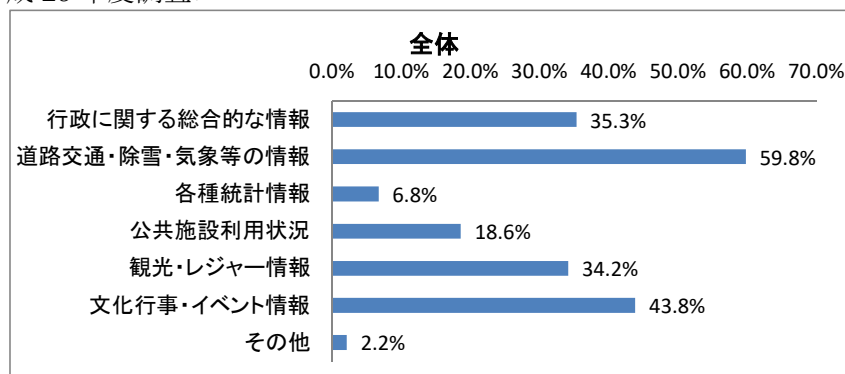
①全体

行政からの情報提供に対する要望を 1 つ回答してもらった結果をみると、「道路交通・除雪・気象等の情報」、「文化行事・イベント情報」、「行政に関する総合的な情報」が高くなっている。

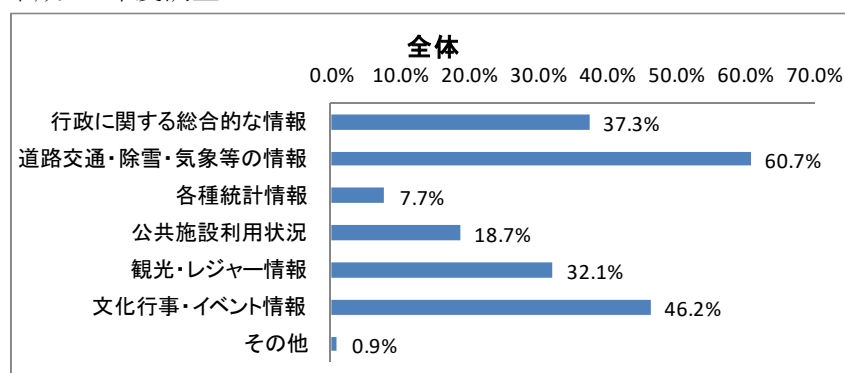
平成 29 年度調査と直接的な比較はできないが、上位にあがっている項目は、前年までの調査の結果と同様である。



<平成 29 年度調査>



<平成 28 年度調査>

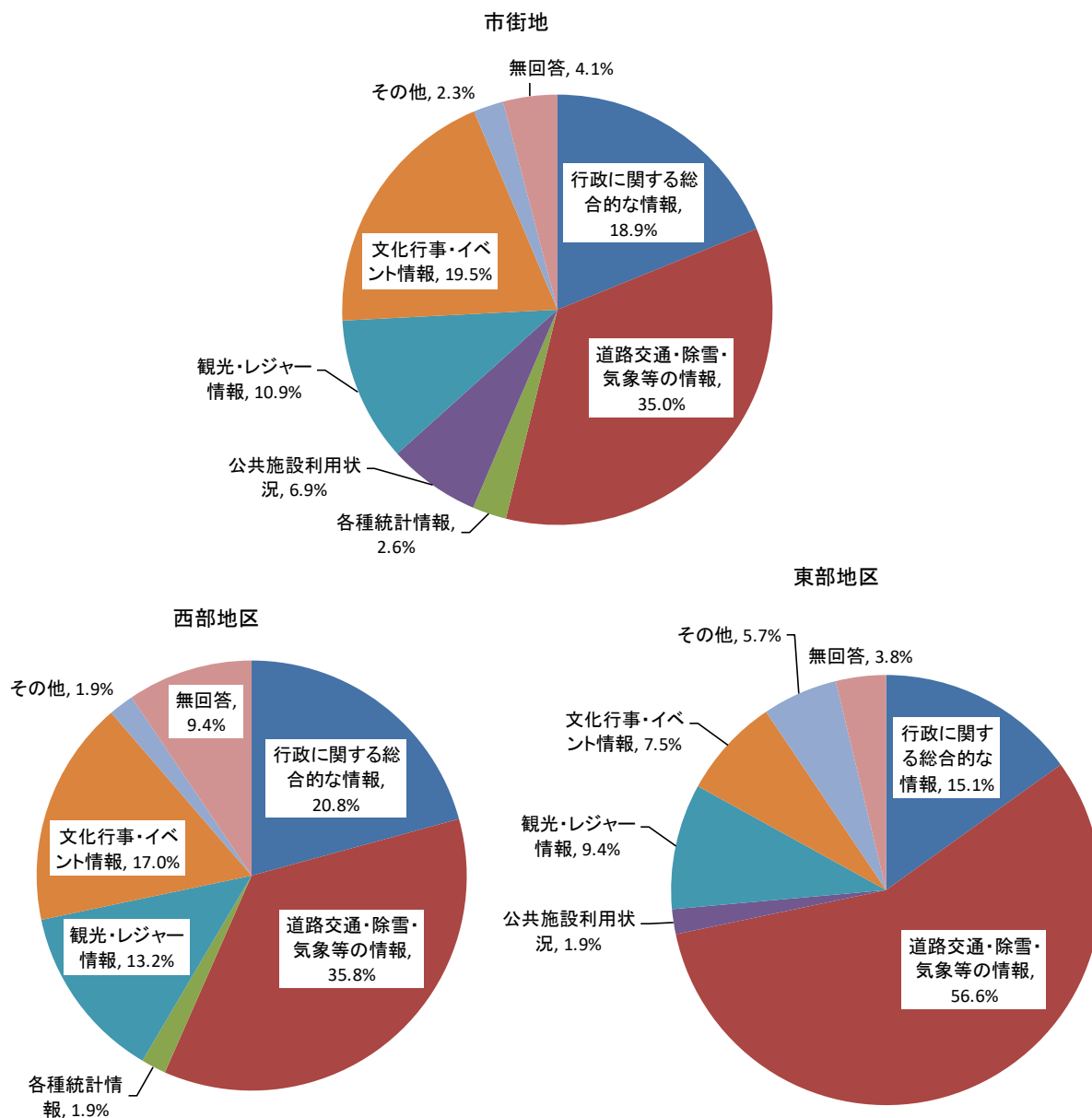


注：平成 28 年及び 29 年調査は 2 つまでの選択を求めている

②地区別

「道路交通・除雪・気象等の情報」、「文化行事・イベント情報」、「行政に関する総合的な情報」、「観光・レジャー情報」は、すべての地区で上位にあげられている。

特に、「道路交通・除雪・気象等の情報」に関しては、すべての地区で第1位となっている。とりわけ、東部地区では56.6%の回答率と際立って高くなっていた。



3. 16 市民協働について（「誰もが何か1つを受け持つ」とした場合に参加する活動）

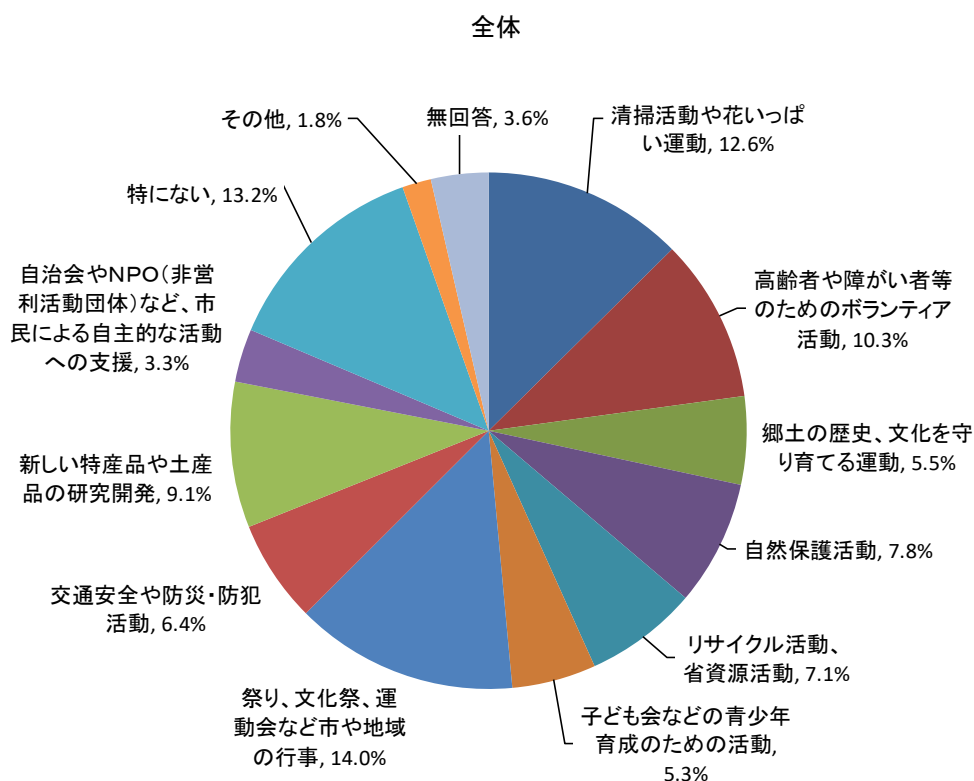
（1）市民全体

市民が自ら主体的にまちづくりの役割を担うとした場合に、参加するもの1つを回答してもらった結果、最も多かった活動は、「祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事」であり、次いで「清掃活動や花いっぱい運動」、「お年寄りや障がい者のためのボランティア活動」の順となっている。

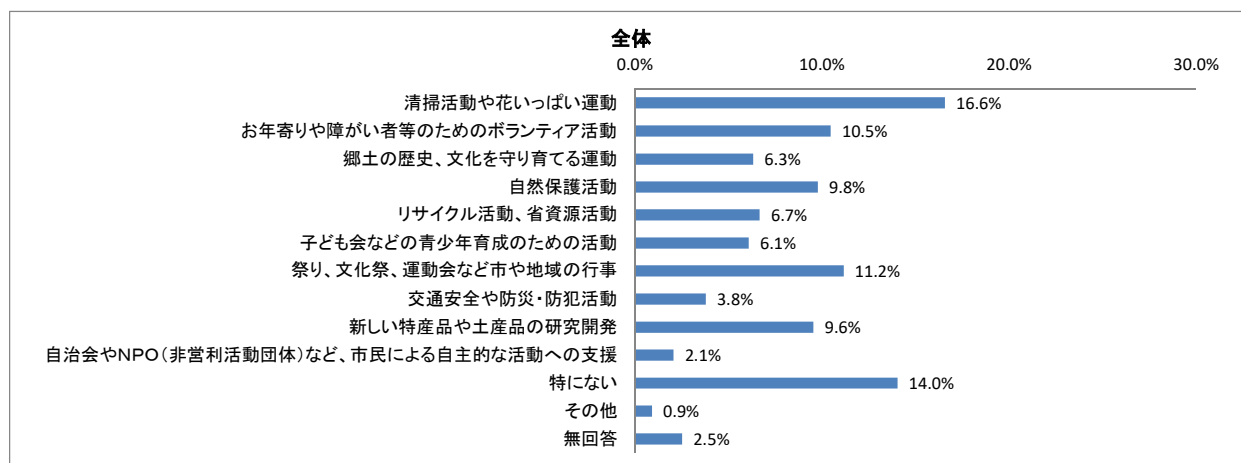
ただし、一方では「特にない」という回答も13.2%と多くなっている。

平成29年度までの調査においても、「清掃活動や花いっぱい運動」や「祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事」などが上位にあげられている反面、「特にない」とする回答も比較的多い傾向がみられており、ほぼ同様の状況が続いている。

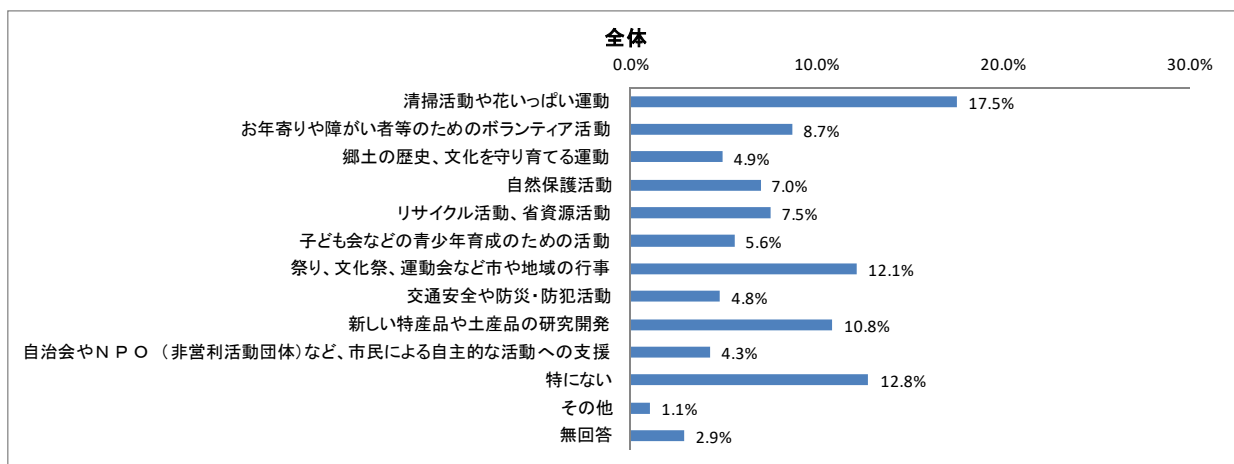
<平成30年度調査>



<平成29年度調査>

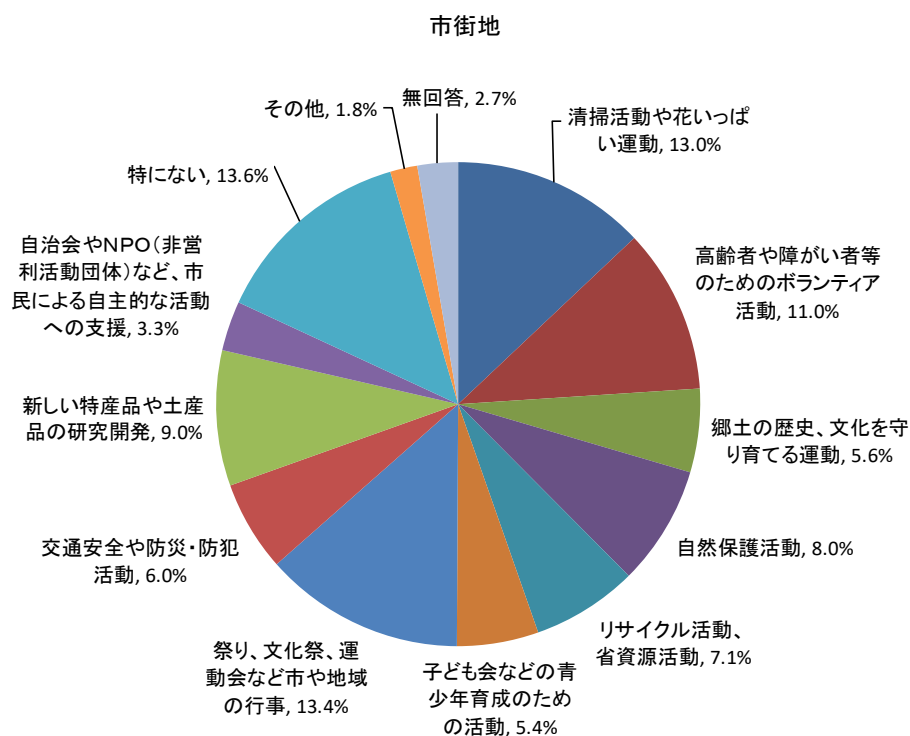


<平成 28 年度調査>

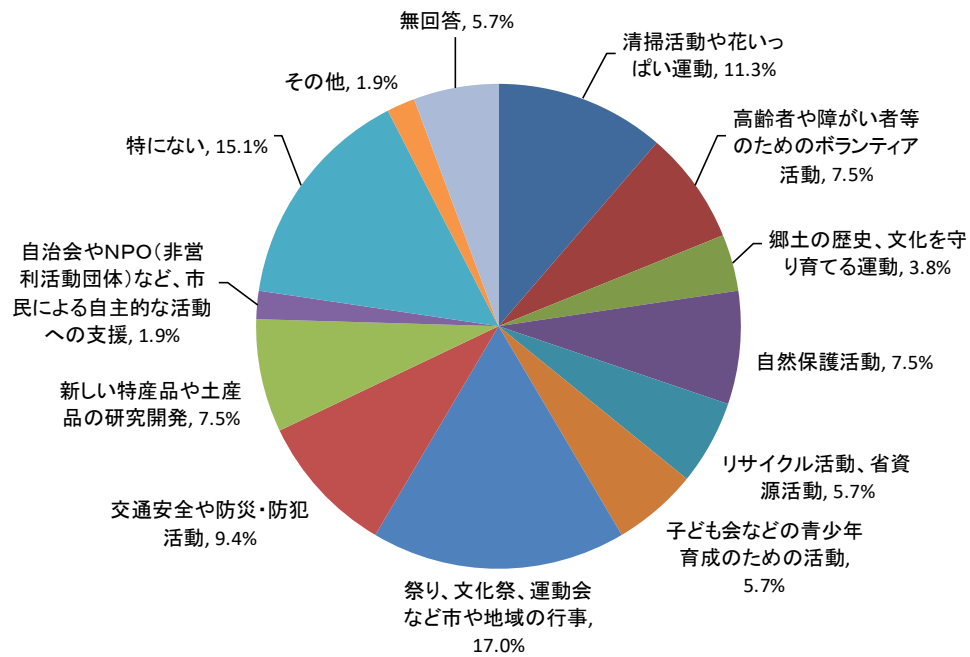


(2) 地区別

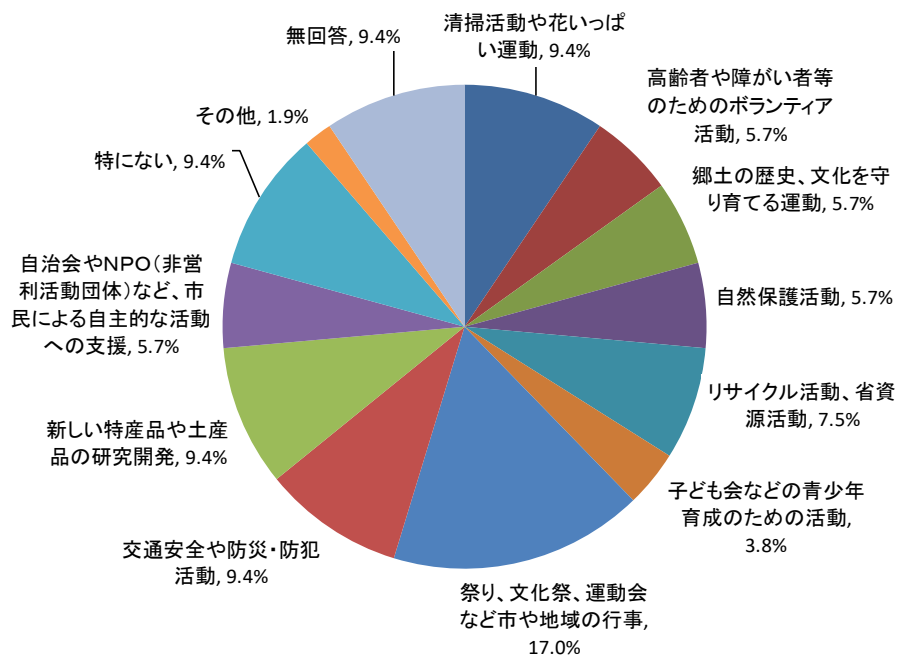
各地区とも「祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事」への参加希望率が最も高くなっており、「清掃活動や花いっぱい運動」への参加希望率が最も高かった平成 29 年度までの調査結果から変化がみられている。



西部地区



東部地区



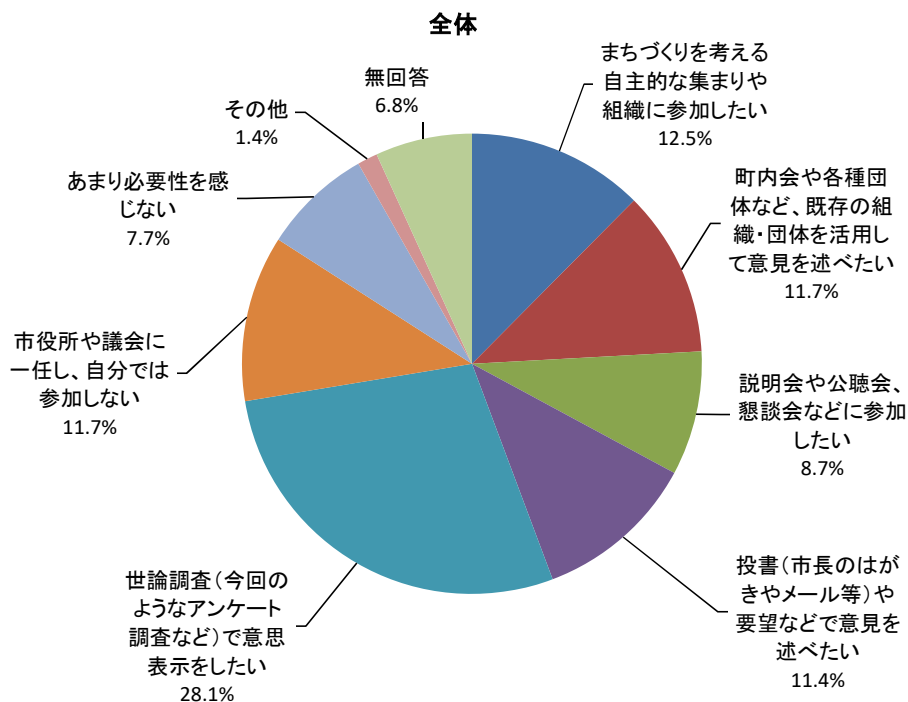
3. 17 市民参画の方法について（まちづくりのための市民参加の方法）

（１）全体

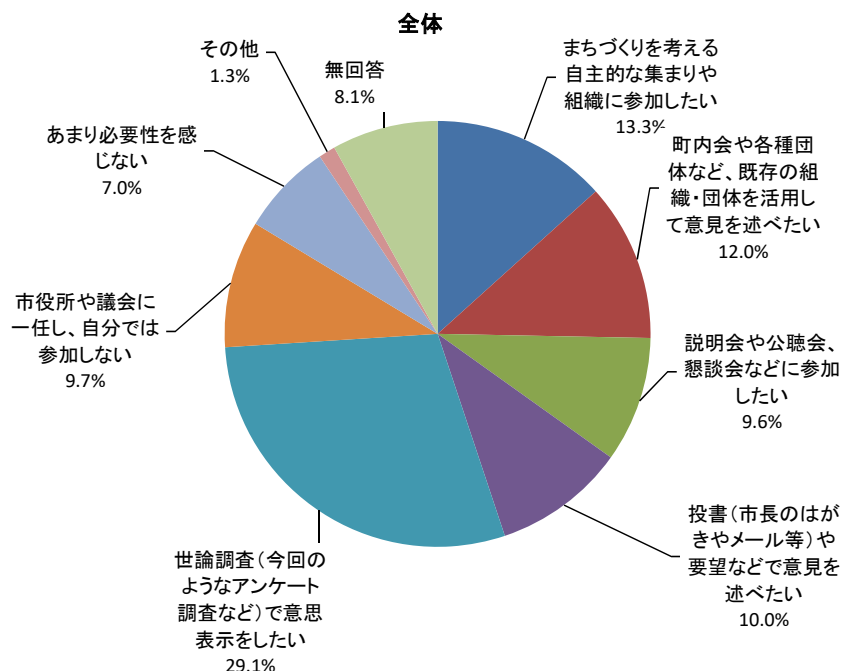
まちづくりへの参加方法についてみると、最も多かったのは、「世論調査（今回のようなアンケート調査など）で意思表示をしたい」とする要望であった。このほか、「まちづくりを考える自主的な集まりや組織に参加したい」、「町内会や各種団体など、既存の組織・団体を活用して意見を述べたい」、といった要望も比較的多かった。

この結果は、平成 29 年度までの調査結果とほぼ同様の結果であった。

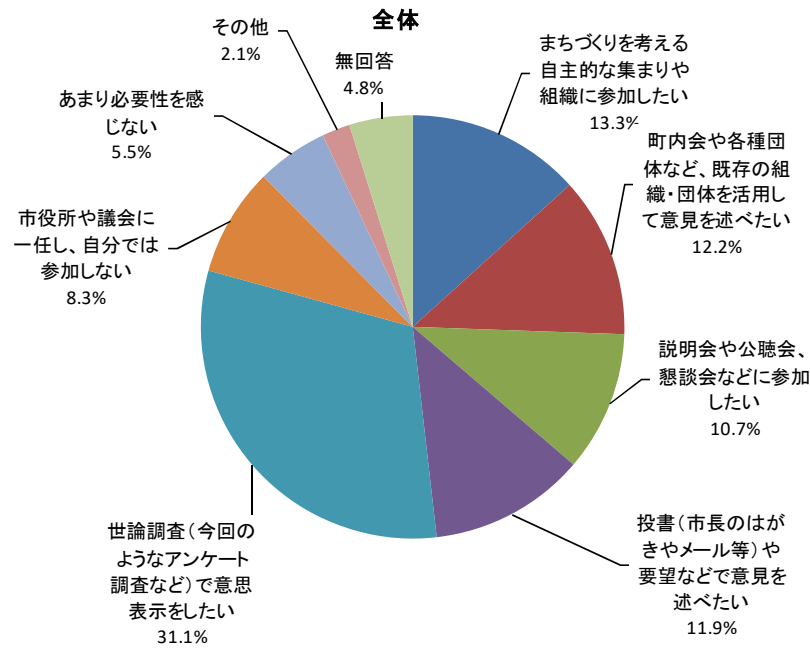
<平成 30 年度調査>



<平成 29 年度調査>

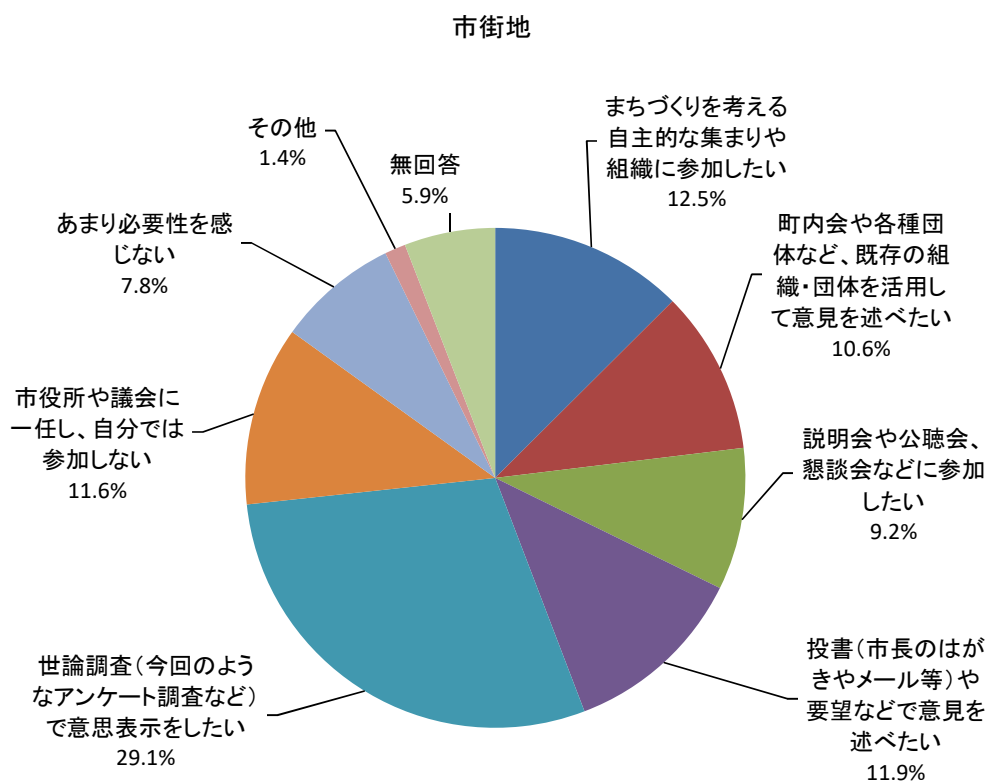


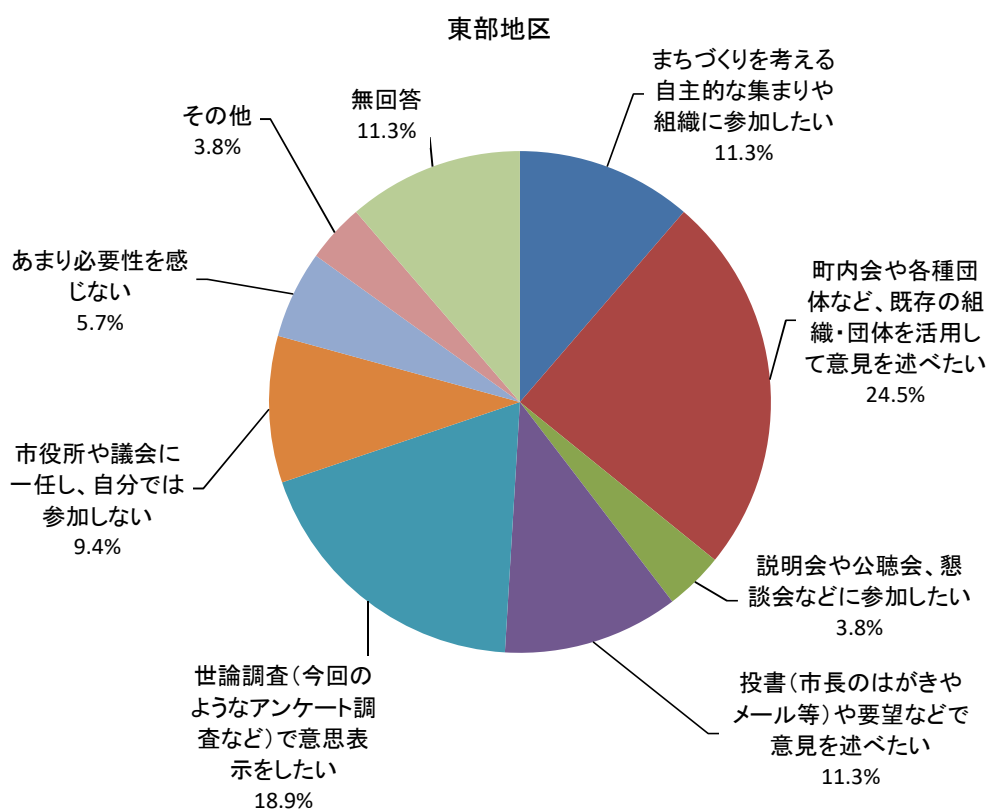
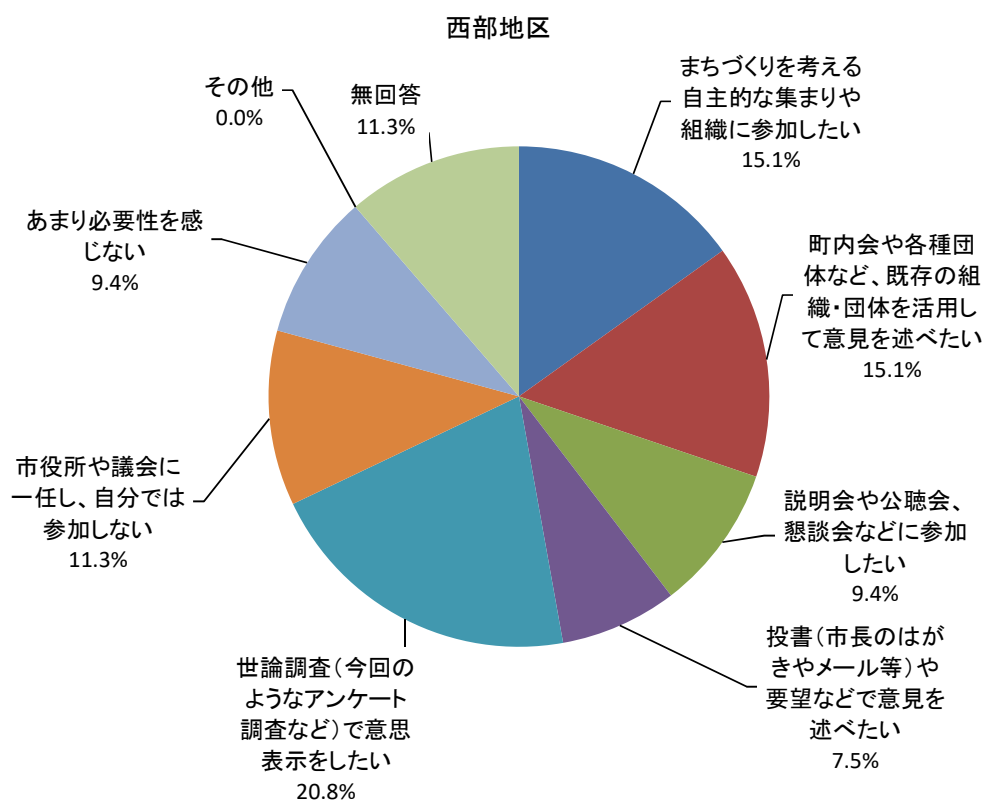
<平成 28 年度調査>



(2) 地区別

地区別にみると、市街地及び西部地区では、「世論調査（今回のようなアンケート調査など）で意思表示をしたい」が最も多くなっており、これに次いで市街地では、「まちづくりを考える自主的な集まりや組織に参加したい」が、東部地区では「町内会や各種団体など、既存の組織・団体を活用して意見を述べたい」が最も多く、次いで、「世論調査（今回のようなアンケート調査など）で意思表示をしたい」となっている。





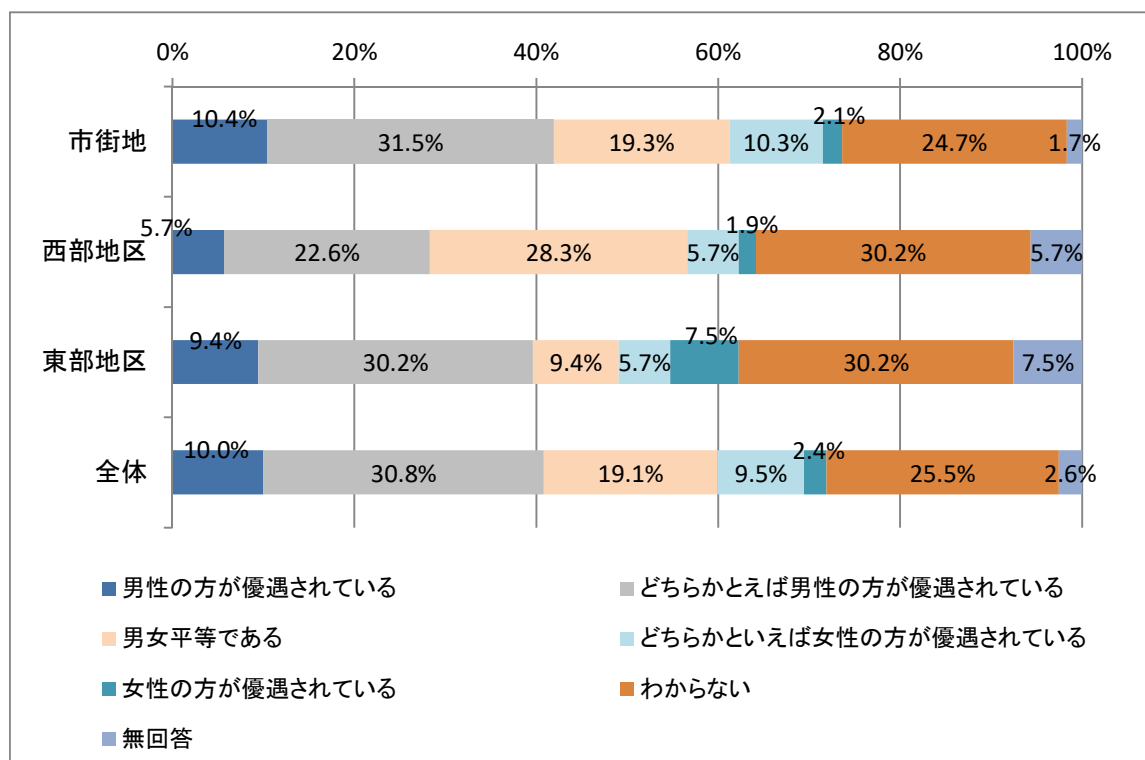
3. 18 男女共同参画について

生活全般を通しての男女平等については、市民全体では、「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせて 40.8%となっており、「男女平等である」は 19.1%と、男女平等意識が低い状況となっている。

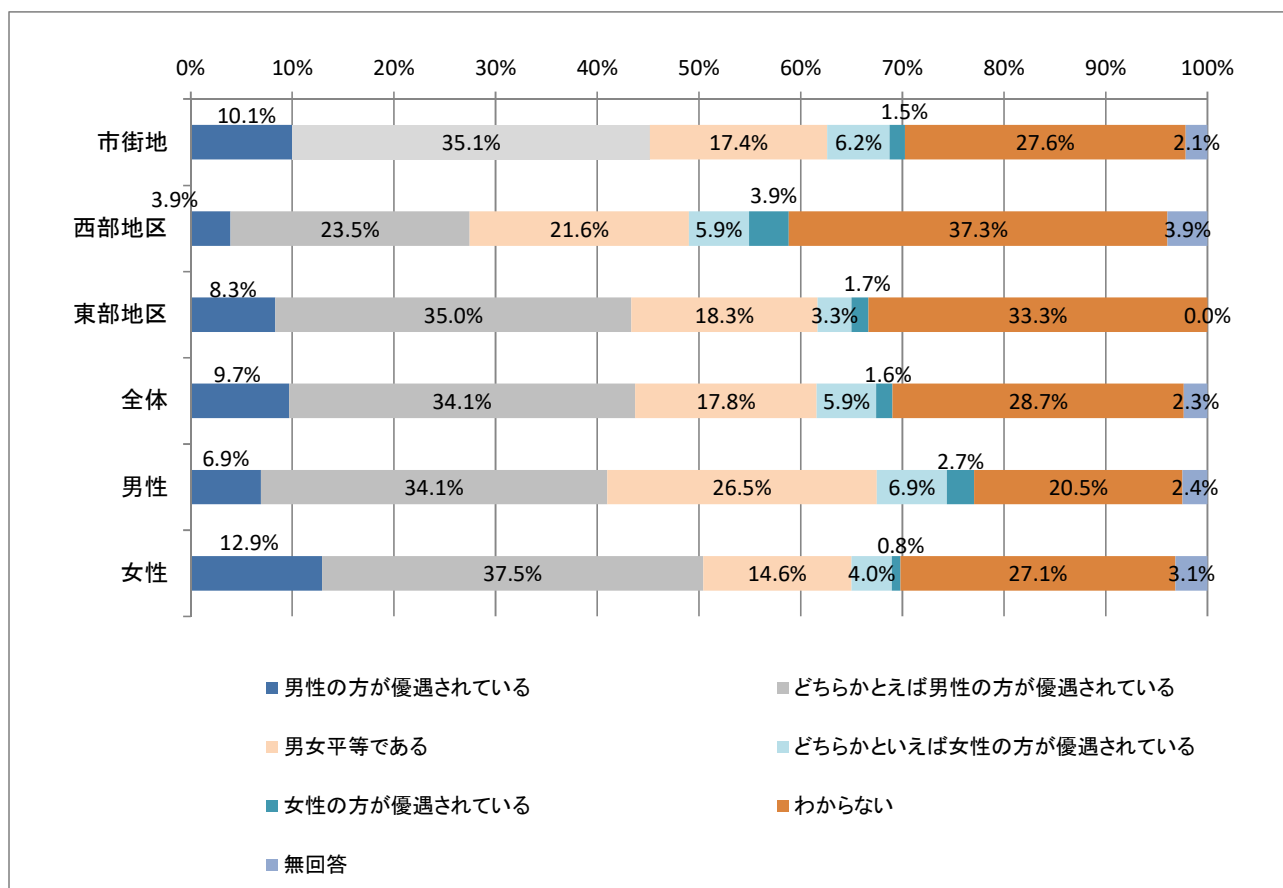
このように男性のほうが女性よりも優遇されていると考えている傾向は、ほぼ各地区とも同様となっている。

平成 29 年度までの調査の結果と比較すると、「男性の方が優遇されている」という考え方が減少し、「男女平等である」という考え方が増加しており、平等意識が高まってきている状況が伺える。

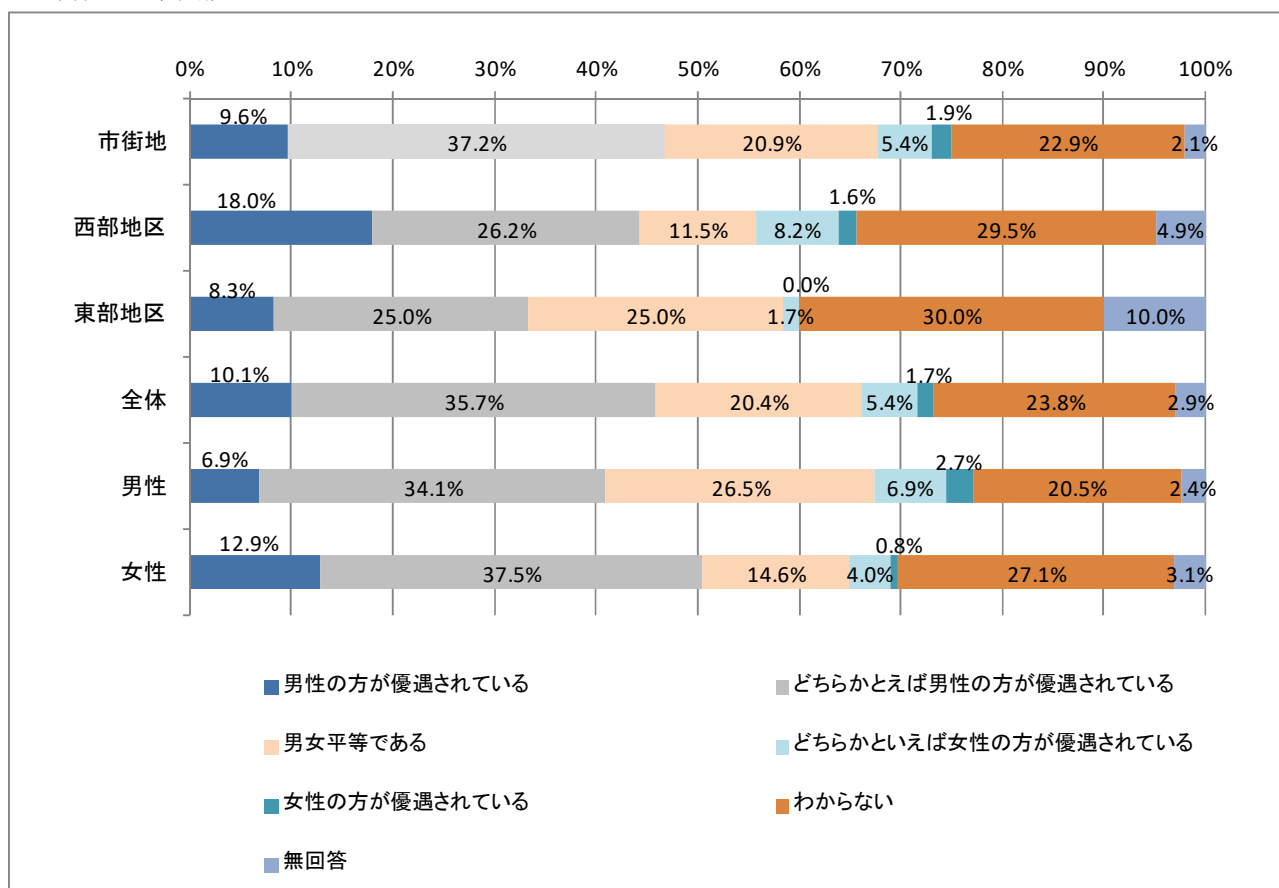
<平成 30 年度調査>



<平成 29 年度調査>



<平成 28 年度調査>

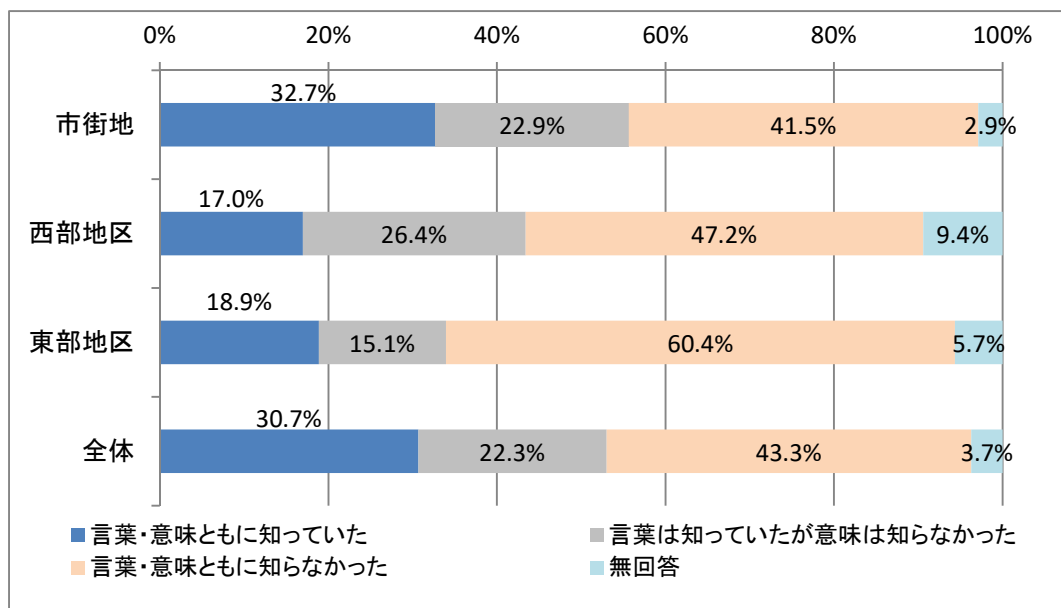


3. 19 「ワーク・ライフ・バランス」の認知度

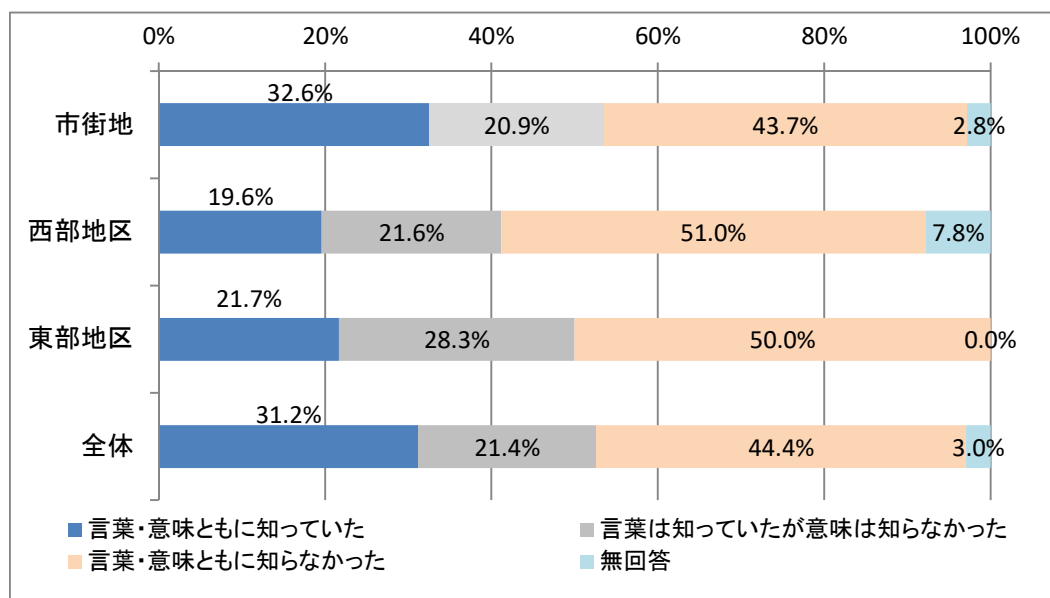
市民の「ワーク・ライフ・バランス」の認知度をみると、市民全体では、「言葉・意味ともに知らなかった」が43.3%となっており、認知度はそれほど高くはない状況が把握された。

平成29年度までの調査の結果と比較すると、認知度はほぼ同様の結果となっており、ワーク・ライフ・バランスに対する関心が依然として十分には高まっていない状況が把握される。

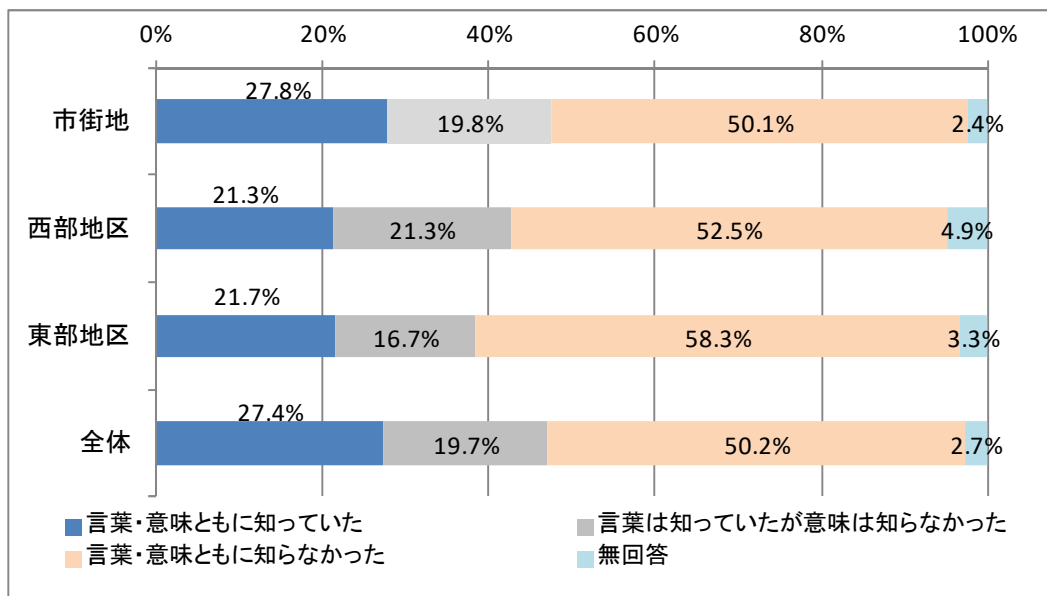
<平成30年度交差>



<平成29年度調査>



<平成 28 年度調査>



4. 市民意識調査結果のまとめ

本調査では、現行の第9期根室市総合計画（平成26年度策定）及び根室市創生総合戦略（平成27年度策定）の実施効果を評価するために設定した将来目標値またはKPIのうち、市民意識に関する指標を中心に、平成25年度に実施した市民意識調査との整合性を確保した項目を平成28年度、29年度調査に引き続き設定した。

また、今年度の調査から、被験者の回答のし易さに配慮し、複数回答の設問を単回答の設問に変えるなどの見直しを行っている。ただし、回答割合に関しては直接的な比較はできないものの、どのような内容に関心が高いかなどの傾向を比較することは十分可能となっている。

一方、今年度調査では、市政に対する認知度の項目を新たに設けている。これは、市政に対する認知度を把握するだけでなく、市政に関する周知も兼ねている。このように市で実施している各種事業を提示することによる回答内容への影響としては、市の各種インフラ整備や生活環境に対する満足度を問う設問において、平成29年度までの調査結果に比して「普通」との回答割合が高くなったことが考えられるが、その因果関係は明確ではない。次回以降の調査結果を踏まえる必要がある。

本調査は、平成25年度に実施した市民意識調査実施時から5年経過時点の市民意識の結果であるが、その間にロシア200海里内サケマス流し網漁の禁止やサンマの不漁など経済環境も大きく変化しており、市民の不安意識も増長されているなどの状況が生じている。

そのような背景を踏まえ、本市民意識調査の結果を整理すると、概ね以下のとおりとなった。

<回収率>

- ・本調査の有効回収率は25.6%となっており、平成29年度調査の29.1%、平成28年度調査の31.4%を下回っているはあるが、比較的高い回答率となっている。本調査の結果でも明らかなように、市民の市政への参加方法として本調査のようなアンケート調査で意思を表示したいという意向が平成29年度までの調査結果と同様に高いことから、積極的に回答いただいた結果となっている。
- ・特に、今年度の調査でも若い世代を含めた各年齢層で回答していただいております、幅広い年齢層の市民の市政に対する関心度合が高まっている状況が把握された。

<根室市のイメージについて>

- ・平成29年度までの調査と同様に、根室市の基幹産業である漁業や水産加工業を取り巻く経済環境の悪化などを背景に、全体的に根室市の否定的なイメージは改善されてはいない。
- ・しかし、根室市のイメージとしては、「個性のあるまち」「市民として誇りや郷土愛があるまち」をあげる住民が多く、市民の愛着の意識が高い状況が把握される。

<定住意識>

- ・市民が抱く根室市のイメージで把握されたように、市民の根室に対する愛着意識の高さは、市民の定住意向の高さ（60%以上）に反映されているものと考えられる。
- ・しかし、住みたくないとする市民のその理由をみると、医療・福祉、交通の便、娯楽や余暇活動の場、買い物等の利便性に対する不満があげられており、昨年までの調査結果を踏まえると、以前として近年の定住意識の促進に向けた重要課題といえる。

＜保健医療支援・子育て支援・高齢者支援＞

- ・市民の健康管理意識は依然として高く、健康のための運動意識も平成 29 年度調査の結果とほぼ同様であった。特に 60 歳以上の住民で意識が高くなっている。
- ・少子化・子育て支援に関しては、平成 29 年 4 月から市立根室病院で 11 年ぶりに分娩が再開されたことを約 70%の市民が知っていたと回答しており、概ね周知されている状況が把握された。
- ・また、子育て支援に関する市の施策については、こども医療費給付、第 3 子目以降保育料・給食費無料化などの経済的支援についての認知度は高いが、人材育成や施設整備等の事業の認知度はそれほど高くはないことも把握された。
- ・今後の子育てに関する支援策については、こうした経済的支援に加え、悪天候や冬期の子どもの遊び場所の整備に対する要望が例年と同様に多くなっている。
- ・市が実施している高齢者支援策のうち、高齢者見守りボランティア事業に関しては市民や高齢者の認知度が比較的高いものの、緊急通報サービス事業や人材育成事業に関しては認知度が低いことが把握された。
- ・高齢者支援策としては、寝たきりの高齢者や独居の高齢者への在宅福祉の充実を望む意見が多い一方で、高齢者の経験や技術を活かせる活動の場づくりといった、さらなる活動の場を求める意見も多かった。

＜交通・生活環境・防災・減災＞

- ・交通に関しては、平成 29 年度までの調査の結果と同様に、「除雪やロードヒーティングなどの冬期対策の充実」に対する要望が最も多かったが、釧路ー根室間の鉄道路線の廃止が取り上げられてきている背景から、「高規格道路や国道などの広域幹線道路網の整備」「鉄道便の確保」に対する要望も引き続き高まっている。
- ・市で実施している生活環境や防災・減災に関する施策に関しては、総じて認知度が低く、概ね 2 割～3 割程度の認知度であることが把握された。
- ・今後の生活環境に関して要望が多かった施策は、ほぼ平成 29 年度までの調査の結果と同様であり、「公園や緑地、遊び場、憩いの場などの整備」に対する要望が高かった。
- ・また、防災・減災に関しても平成 29 年度までの調査結果とほぼ同様の結果であり、「食料・水・日常生活用品の備蓄」、「災害時の情報連絡手段の整備」、「指定避難場所など防災拠点の整備」が重要施策としてあげられている。

＜教育・スポーツ・文化＞

- ・市が実施している学校教育、社会教育、スポーツ・文化などの振興に向けた施策に関する認知度は低く、学校教育に関しては、子育て世代の年代の方に着目しても認知度が低くなっているなど、年齢や地区にかかわらず認知度が低い状況が把握された。
- ・学校教育に関して今後に望む施策としては、平成 29 年度までの調査結果とほぼ同様に、「社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実」、「個性や才能を伸ばす教育の充実」、「生きる力を育てる総合的な学習の充実」が上位にあげられている。

- ・社会教育に関して今後に望む施策としては、「青少年の健全育成」、「生涯学習教育の指導者育成」、「各種講座・教室などの充実」が上位にあげられており、平成 29 年度までの調査結果と概ね同様の結果となっている。
- ・スポーツ・文化に関しても、「スポーツ・レクリエーション施設の整備」、「音楽会・講演等の開催」、「芸術・文化の振興」が上位にあげられており、平成 29 年度までの調査結果とほぼ同様の結果であった。

＜産業＞

- ・市で実施している産業振興に関する施策については、ロシア 200 海里内サケマス流し網漁が禁止になったことに加え、さんまの不漁が続くなどの状況下にあることから「漁業の振興」に関する施策の認知度は高い。また、買い物の利便性に対する市民の満足度が低いことから、商業の振興に関する施策の認知度も高かった。
- ・産業施策に関しては「水産業基盤及び生産体制の整備」、「農林水産物など地域の資源を活用した加工業の育成」、「魅力ある商店街づくり」、「企業誘致による雇用の場の確保」、「観光開発、観光関連産業の育成」が上位にあげられている。

＜行政情報・市民協働・市民参画＞

- ・市で実施している行政情報に関する施策の認知度は、行政情報サービスでも 4 割程度の認知度に留まっている。
- ・今後に望む行政情報としては、「道路交通・除雪・気象等の情報」、「文化行事・イベント情報」、「行政に関する総合的な情報」が高く、平成 29 年度までの調査結果と同様であった。
- ・市民が自ら主体的にまちづくりの役割を担うとした場合に参加する活動を問うた設問に関しては、「祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事」、「清掃活動や花いっぱい運動」が上位であるが、平成 29 年度調査と同様に、「特にない」との回答が多いことなど、市民協働の意識がやや低下している状況が把握された。
- ・まちづくりへの参加方法に関しては、「世論調査（今回のようなアンケート調査など）で意思表示をしたい」、「まちづくりを考える自主的な集まりや組織に参加したい」、「町内会や各種団体など、既存の組織・団体を活用して意見を述べたい」が多くあげられており、平成 29 年度までの調査結果とほぼ同様となっている。
- ・男女共同参画に関しては、平成 29 年度までの調査結果に比して、やや男女平等意識が高まった状況が伺える。

5. 総合計画における成果目標及び総合戦略におけるKPIの動向

現行の第9期根室市総合計画及び根室市創生総合戦略の将来目標値のうち、市民意識に関する指標について、その達成状況を以下に整理する。

ただし、総合計画でも目標値の中には、今回の調査と同様の手法で実施した前回の市民意識調査のほかに、平成23年度に実施された「根室市高齢者実態把握調査」、平成26年度に実施された「根室市健康づくりのためのアンケート」、「子ども・子育て支援アンケート」の結果も用いられており、調査対象者数の違いなどから、直接的に比較することが困難な指標もある。

また、市民意識そのものには、「あいまいさ」という不安定要因が含まれていることから、今回の調査だけではなく、継続的に実施することによる傾向を把握することで、より適切な評価が可能であることに留意することが必要である。

従って、ここでは平成30年度調査の結果を含めこれまでの調査結果については前年度調査との比較を避け、第9期根室市総合計画及び根室市創生総合戦略の将来目標値策定年度との比較を行った。

<上昇指標>

- ・総合計画及び総合戦略策定時の基準となった指標値から今年度調査で上昇が確認された指標は以下のとおりである。

平成30年度調査において上昇が確認された指標

- ・健康管理に努めている市民の割合
- ・乳幼児や子どものための福祉施設の状況に満足している市民の割合
- ・趣味や生きがいを持っていると感じる高齢者の割合（60歳以上）
- ・健康管理に努めている市民の割合（60歳以上）
- ・上水道の整備におおむね満足している市民の割合
- ・下水道の整備におおむね満足している市民の割合
- ・市内幹線道路の整備状況におおむね満足している市民の割合
- ・教育施設や教育環境におおむね満足している市民の割合
- ・スポーツ施設の状況におおむね満足している市民の割合
- ・週1回以上スポーツ（運動）をする市民の割合

- ・市民の健康管理意識、乳幼児や子どものための福祉施設の状況、高齢者の健康管理・生きがい意識などへの評価が高くなっている。
- ・「おおむね満足している」場合は、「普通」の回答も含めることになるが、今年度調査においては満足度意識の設問で普通との回答割合が多くなっていることから、上下水道、市内幹線道路、教育施設・教育環境、スポーツ施設の状況など、前年度は1ポイント以上低下していた項目のほとんどが上昇に転ずるという結果となっている。

<減少指標>

- ・総合計画及び総合戦略策定時の基準となった指標値から今回低下（1ポイント以上）が確認された指標は以下のとおりである。

今回低下（1ポイント以上）が確認された指標

- ・健康状態が良好と感じている市民の割合
- ・病院などの医療機関の状況に満足している市民の割合
- ・子育ての環境や支援に満足している保護者の割合
- ・町会行事や地域イベントなどに参加している高齢者の割合（60歳以上）
- ・高齢者のための福祉施策に満足している高齢者の割合（65歳以上）
- ・公園等の利用しやすさに満足している市民の割合
- ・住んでいる地域の緑の豊かさに満足している市民の割合
- ・公共交通機関の便利さに満足している市民の割合
- ・郊外の森林景観について満足している市民の割合
- ・日常の買い物の便利さに満足している市民の割合
- ・北方四島との交流拠点としての社会資本が充実していると思う市民の割合
- ・まちづくりへ参加したいと思う市民の割合

- ・評価指標が計画策定時から低下している項目は、概ね、医療関連、子育て関連、公共交通関連、買い物利便性関連となっており、これらの項目については、これまでの調査と同様に複数の設問に対する回答からも不満意識が確認されていることから、さらに一層の重点的な対応が求められている分野と考えられる。
- ・ただし、指標値については、本調査で実施した市民意識調査以外の調査結果の値も含まれていることから、今後の継続的な調査から総合的に評価していくことが必要である。

現行総合計画及び総合戦略における市民意識に関する指標の増減傾向

指標もしくは KPI		総合 計画	総合 戦略	目標値 (H32)	計画策定時の値		H28 調査	増 減	H29 調査	増 減	H30 調査	増 減
					調査年	値						
1	健康状態が良好と感じている市民の割合	○		45.0%	H26	39.8%	39.3%	▽	35.3%	▼	36.1%	▼
2	健康管理に努めている市民の割合	○		66.0%	H26	66.0%	70.5%	△	73.5%	△	70.5%	△
3	病院などの医療機関の状況に満足している市民の割合	○	○	35.0%	H25	10.3%	6.0%	▼	7.8%	▼	7.7%	▼
4	子育ての環境や支援に満足している保護者の割合	○	○	30.0%	H25	7.7%	6.3% (注 2)	▼	4.0% (注 2)	▼	5.8% (注 2)	▼
5	乳幼児や子どものための福祉施設の状況に満足している市民の割合	○	○	30.0%	H25	5.7%	4.0%	▼	4.3%	▼	7.3%	△
6	趣味や生きがいを持っていると感じる高齢者の割合（60 歳以上）	○		65.0%	H26	61.1%	67.1%	△	68.2%	△	62.4%	△
7	町会行事や地域イベントなどに参加している高齢者の割合（60 歳以上）	○		55.0%	H26	52.9%	52.7%	▽	55.7%	△	50.6%	▼
8	高齢者のための福祉施策に満足している高齢者の割合（65 歳以上）	○		30.0%	H23	21.9%	8.0% (注 3)	▼	11.4% (注 3)	▼	10.7% (注 3)	▼
9	健康管理に努めている市民の割合（60 歳以上）	○		75.0%	H26	69.6%	85.6%	△	85.1%	△	86.9%	△
10	上水道の整備状況におおむね満足している市民の割合	○		88.0%	H25	85.1%	84.0%	▼	81.7%	▼	85.8%	△
11	下水道の整備状況におおむね満足している市民の割合	○		83.6%	H25	78.0%	79.3%	△	77.3%	▽	83.8%	△
12	公園等の利用しやすさに満足している市民の割合	○		44.4%	H25	20.0%	18.0%	▼	17.7%	▼	15.4%	▼
13	住んでいる地域の緑の豊かさに満足している市民の割合	○		59.7%	H25	36.4%	38.4%	△	37.7%	△	30.2%	▼
14	公共交通機関の便利さに満足している市民の割合	○		28.0%	H25	9.5%	4.5%	▼	5.2%	▼	5.8%	▼
15	市内幹線道路の整備状況におおむね満足している市民の割合	○		74.1%	H25	62.6%	55.6%	▼	54.1%	▼	66.8%	△
16	教育施設や教育環境におおむね満足している市民の割合	○		60.0%	H25	48.5%	46.4%	▼	43.4%	▼	65.0%	△
17	スポーツ施設の状況におおむね満足している市民の割合	○		60.0%	H25	48.6%	39.8%	▼	38.9%	▼	54.0%	△
18	週 1 回以上スポーツ（運動）をする市民の割合	○		45.0%	H26	36.0%	55.4%	△	54.1%	△	54.3%	△
19	郊外の森林景観について満足している市民の割合	○		43.0%	H25	35.9%	37.8%	△	34.8%	▼	24.1%	▼
20	日常の買い物の便利さに満足している市民の割合	○		36.0%	H25	22.5%	13.0%	▼	14.2%	▼	13.7%	▼
21	北方四島との交流拠点としての社会資本が充実していると思う市民の割合	○		25.0%	H25	20.7%	17.1%	▼	15.1%	▼	14.0%	▼
22	まちづくりへ参加したいと思う市民の割合	○	○	85.0%	H25	79.4%	79.3%	▽	74.0%	▼	72.4%	▼

注 1：増減の「△」は総合計画・総合戦略策定時から上昇、「▽」は減少、「▼」は 1 ポイント以上減少を示す。

注 2：分母を 20 歳代～40 歳代の子育て世代の回答。（ちなみに市民全体では H28：5.2%、H29：4.9%、H30：5.8%）。

注 3：現状値は 65 歳以上 6,578 名の回答に対し、H28 調査は 275 名、H29 調査は 268 名、H30 調査は 243 名。

注 4：網掛けは平成 29 年時点で目標値を達成している項目

6. 根室市創生総合戦略の評価

平成 27 年度に策定された根室市創生総合戦略は、客観的効果検証を行うとともに、社会経済の情勢、市民意向の変化等に的確に対応し、逐次改善していくための P D C A サイクルを構築している。

ここでは、この効果検証の一環として、平成 30 年 6 月～7 月にかけて実施した市民意識調査の結果をもとに、昨年度調査の結果を踏まえ、市民意識の観点から根室市創生総合戦略の施策実施効果についての評価検討を行うものである。

評価検討の方法は、主として市民意識調査結果から、総合戦略に対する意識に関連する項目や自由意見を抜粋し、総合戦略策定後 2 年経過した市民意識を整理した。

なお、根室市創生総合戦略においては、「子どもたちに誇れるまち、ひと、しごと」を戦略理念として、若い女性を始め、次代を担う市民が働き、出会い、結婚し、出産・育児等のライフステージを根室市で過ごすことのできる地域を目指すとともに、移住者の受入など新しい人の流れを創造することを目標として、以下 3 つの基本目標が設定されている。

- (1) 住み続けられる「安心」と「支え合い」の地域を守り、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる。
- (2) 住みたいと思える「ひと」と「しごと」を呼び込み、安定した雇用、新しい人の流れをつくる。
- (3) みんなで実践する「市民協働」を推進し、時代にあった地域をつくり市民サービスを維持する。

ここでは、これらの基本目標別に市民の評価の動向を整理する。

6. 1 基本目標別の政策評価の検討

- (1) 基本目標 1 住み続けられる「安心」と「支え合い」の地域を守り、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

①子育て・少子化対策の推進

根室市では、基本目標の達成に向け以下の政策に関する各種の施策が推進されている。

- a) 出会い、結婚、妊娠、育児に関する機会や相談、支援体制の強化
- b) 子ども医療費助成など子育て世代の経済的な負担の軽減
- c) 保育施設の整備と多様な保育サービスの充実
- d) 家庭と仕事の両立を図り子育てに取組む環境づくりの推進

1) 子育て・少子化対策に対する満足度意識

今回の市民意識調査における関連項目から、これらの子育て・少子化対策に対する市民意識についてみる。

市民の子育て・少子化対策に関連する項目の満足度意識について、平成 25 年度に実施された計画策定時の市民意識調査（以下、計画策定時調査とする）の結果と比較してみると、不満と感じている市民が大幅に減少している。これは、アンケート調査において「普通」との回答割合が増え、不満とする回答が減少したためである。

平成 29 年度までの調査結果と比較すると「乳幼児や子どものための福祉施設の状況」では、不満と感じている市民の割合がやや低下し、満足と感じている市民の割合も増加する結果となっている。満足と感じている市民の割合が増加する傾向は、平成 28 年度調査結果から 2 年連続で続いており、保育所や民間幼稚園の整備推進等の市の施策効果が現れているものと推察される。

子育て・少子化に対する満足意識に関する市民意識調査の結果

項目	満足					不満足				
	H30	H29	H28	計画策定時	増減	H30	H29	H28	計画策定時	増減
「乳幼児や子どものための福祉施設の状況」について	7.3%	4.3%	4.0%	5.8%	△	28.9%	46.4%	47.7%	45.5%	▼
「子育ての環境や支援制度の状況」について※	5.8%	4.9%	5.2%	—	—	31.1%	42.1%	41.6%	—	—
「子どもの教育施設や教育環境」について	4.2%	4.1%	4.7%	5.4%	▼	29.8%	46.6%	42.8%	43.3%	▼

注：※は平成28年度調査から追加した項目

：増減は、計画策定時に対する増減を示す

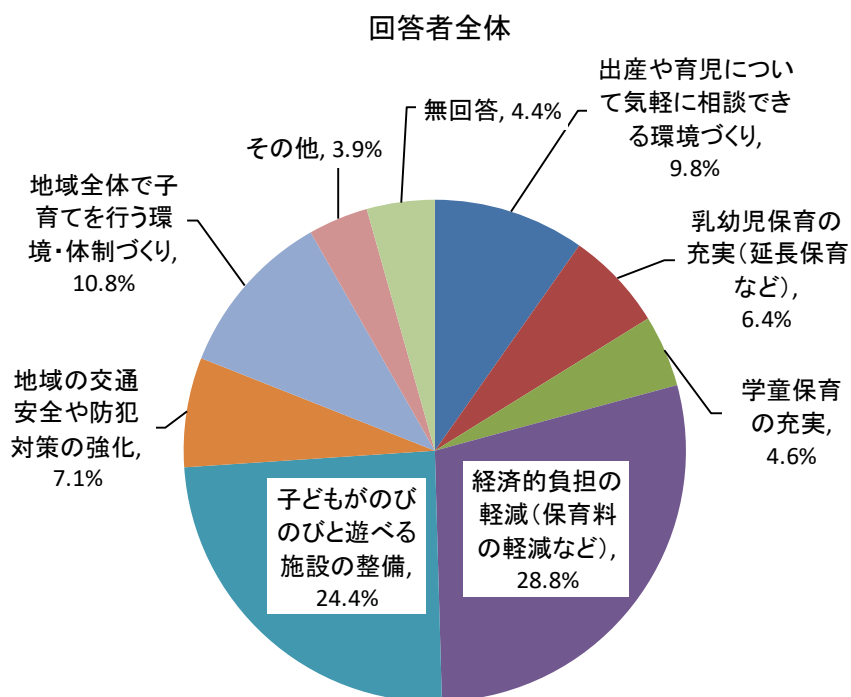
：△は満足度もしくは不満度が高まったことを、▼は満足度もしくは不満度が低下したことを意味する

2) 子育て・少子化について重要だと思う施策

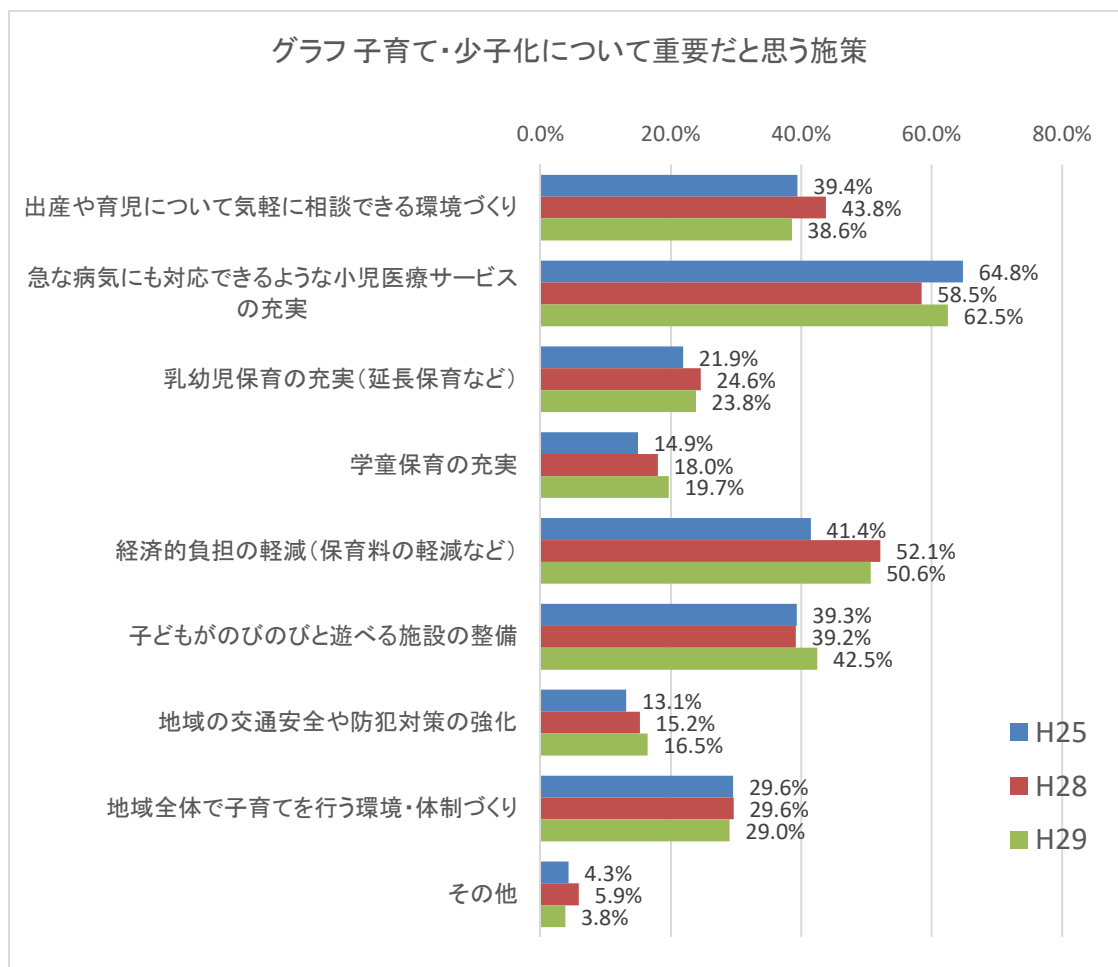
次に、子育て・少子化について重要だと思う施策についてみると、「経済的負担の軽減（保育料の軽減など）」と「子どもがのびのびと遊べる施設の整備」が特に多かった。

平成 29 年度までに実施された調査とは、回答形式は項目が異なるなど直接的な比較はできないものの、経済的支援と悪天候や冬期の遊び場などに対する要望が強い傾向は、ほぼ同様の傾向であった。

<平成 30 年度調査の結果>



<平成 29 年度までの調査結果（複数回答）>



3) 子育て・少子化についての自由意見

今回の市民意識調査に記載いただいた自由回答から具体的意見をみると、平成 29 年度までの調査結果とほぼ同様であり、概ね、経済的支援に関すること、託児機能に関すること、子どものための全天候室内施設に関することに集約されている。

具体的には、経済的支援に関しては、保育料や医療費、育児手当に関することに加え、母子家庭、障がい児家庭への支援などがあげられている。

託児機能に関しては、共働き家庭や母子家庭における子どもの病気時の託児、親が病気がちな場合の託児機能などへの要望があがっている。

最も多い要望が、悪天候時や冬期でも子どもを遊ばせることのできる全天候型の施設であった。

<子育て・少子化対策に関する意見>

年齢	市民意識調査における自由意見・提案
30	・明治町に住んでいて、明治公園に近くよく子供と遊びに行くのですが、もう少し小さい子が遊びやすい遊具もあると嬉しいです。 ・サイロの所にテントを張っている観光客がたまにいますので、キャンプが出来る所があると良いと思う。そこに遊具がある公園だと子供連れも楽しめると思う。前のキャンプ場の場所は遠すぎでした。
40	一人っ子の家庭にも優しくしてください。
30	・根室のような気温が低い町では公園よりゆめの森公園のような室内で遊ぶ場所を作るべきだと思う。 ・市立根室病院がせっかく新しくなったのに医師不足で結局釧路の病院に行く人が多い。 ・シングルマザーになった時、おむつ無料券が配布されておりありがたいですが、店に渡す紙に母の生年月日・住所まで記載する必要がありますか。名前・電話番号はしょうがないとして、マイナンバー制度導入されているなら、有効活用してほしいです。離婚の原因は様々なので、他人に住所を知られたくない人もいます。
40	まちづくりにおいて根本的に根室の人口減を減らす。それなしには少子化等の問題は改善しない。人口減は高齢者の他都市への流出があり高度医療の充実が不可欠になってくるので結果、医師確保が重要課題。また少子化問題は根室だけの事ではなく国の重要課題であるので、ネグレクト等貧困児童の対策として義務教育機関の給食費無料を根室市として行う。現在市財政に直結する水産業の疲弊により家庭単位での貧困が水面下で広がっており、そのしわ寄せが子供への養育に悪影響を及ぼしている。
50	子供・高齢者に優しい町作りを未来に向け、終末に向け、人生設計が見えるような形を市民・行政一体になった町作りをしてほしい。
20	・まずは人口を増やすことを何よりも優先すべき。そのためのひとつとして、根室市でこどもを産めるようになったのは本当に喜ばしいことと思う。やはり、こどもを育てることに對して手厚い支援がない町は若い世代が去っていく何よりの原因。こどもを安心して産める、そして育てる、そうじゃないと若い夫婦が腰を据えられない。 ・なので、これから根室で子育てをしていくであろう若い夫婦に対する支援だったり、特典だったり、こういうのを手厚くすべきだと思う。家を建てる若い夫婦いらっしやい！と諸手をあげて大歓迎する町の方がずっと自分の家を持ってこれから子育てをしていく上で住みやすいと思う。
30	根室に住んでいる子供たちが安心して遊べる施設（屋内・屋外）を作してほしい（運動公園や明治公園内に作成して）
40	将来の根室の事を考えれば、子育て世代への優遇をすべきだと思います。給食費をなくすなど。安心して子供が産める根室にしてください。道外から来て驚くことばかりでした。ふるさと納税のお金の無駄使いをしないでください。年寄りはずでに年金など優遇されていると思います。
65-74	根室に住んで70才になりますが、若い人が少なく、子供をあまり見かけない。子育てのしやすい街、若者が定着できることを願います。市立病院もせっかく立派になっても医師不足で地方は皆悩みの種ですが、安心して暮らせる根室を望みます。
30	市民の声が届くと思いません。高齢者より子育て家庭ではないですか。1人親家庭ばかりが裕福なのはなぜですか。
30	・夫婦のみで子育てしているものです。今、幼稚園に通うようになり時間がとれるようになりましたが、0~2才の間、もう少し一時預かりの条件が緩ければと思うことがありました。病院、歯科、美容室など母一人の時間をとるために父に仕事を休んでもらうわけにはいきません。24時間母子一緒に毎日は心がとげとげしてしまうものです。預け先の選択肢がもう少しあればいいと思います。今の市の状況では今後の出産に不安を感じます。 ・根室は春になっても晴れず、寒いです。外遊びをさせるのにはためらってしまいます。暖かい地域に比べ運動量が少ないのではと思います。体育館を利用しようと思っても幼児が安心して遊べる環境ではありません。室内で思いきり体を動かせる場所があればと思います。市内以外からも人が集まるのではないかと思います。
20	・根室に来る前は函館（鹿部）にいたが、どこの病院に掛かっても子供は高校生まで無料だったが、こちらは小児科に掛かると毎回580円かかるところもある。3歳未満はかからないのではないのか。子供の病院代だけでもかからないようにしてほしい。夫のいない所や稼ぎの少ない所は580円だけでも相当な負担になる。 ・聞けばオムツ2年無料の所もある。それくらいしてくれないと根室の少子化はもっと進むと思った。根室に定住させたいのならいらぬ道路を直すくらいなら、税金を下げたりそれこそ、子どもに対してもっとやるべき。
20	子供ともっと遊べるところが欲しい。 そういう所がないから根室はつまらないと思うことが多い。

年齢	市民意識調査における自由意見・提案
30	・子供が遊べる施設が少ないと思います。小さい子が遊べることはもちろんですが、小学生など放課後に遊べるような地区ごとのちょっとした公園や児童館がありません。休日遊び場を求めて、車で市外へ出かけます。今まで、住んできた街の中で断トツに子育てしにくいです。中標津の「ゆめの森公園」とは言いませんが、雨でも雪でも晴れでも無料で利用できる施設は子育て世帯にとっては重要です。 ・学校教育に関係するかわかりませんが、給食について意見あります。うちの子は成央小に通っていますが、献立に納得いかないというか、変だと思います。 「パン、麺類、デザート」みたいに炭水化物が多かったり、「ご飯、汁物、きんぴら」の日もあったり、「肉のおかず、肉のおかず、パン」の日も。費用や施設の問題もあるかとは思いますが、一度見直されてはどうでしょうか。
20	・根室市に限った事ではないが、子供（小学生など）が小さいとか病気がちだとなかなか仕事が出来ないので（仕事も見つからない）大変なのかと思います。 ・周りにいる方が助けてくれるなら良いかもしれないけれど、誰にも頼ることが出来ない人も中にはいると思うのでその辺りの事も少し考えてもらいたいです。
30	中標津のゆめの森公園のような雨が降っても遊べる施設の建設を要望します。
30	障害児の高校進学について、隣の町や市まで通わなければならない、親の負担が大きい。根室市内で通学できるようにになれば、選択肢が増え町の活性化につながるのではないだろうか。
65-74	・子育てする方々に重きを置かないで欲しい。病気などで子供を持ってない方はたくさんいるはず。ホームページ全体で子育て万歳という感じを受ける。 ・まちづくりは施設等のお金をかければよいのではなく、一人一人の態度も良くすることだ。
20	・現在の子育て支援施設は予約が必要であったり、予約が不要であっても駐車場が不足しており気軽に行けない。子供の体調・機嫌に合わせて行けたらと思う。 ・遊ぶ場だけでなく健診会場も駐車場が十分ではない。予防接種や子供の対応の事など直接話したいとき市役所へ行くのも勇気がある。子供の事ならあの建物に行けば相談できる、見てもらえる（はいはいとか）、あの建物の電話にかければ聞けるという場所があればと思う。 ・今は、子供の相談先や手続き先、集う場、検診の場などの場所がバラバラ、遊戯施設にとらわれず、子供の事をまとめた施設の構想はいかがでしょうか。
30	・保育所に通う子供がいますが、休日遊べる場が少ない。室内で(雨でも OK)イベントなどが少ないためどうしても別海や中標津、釧路まで行かなければならない。公園は色々あるが、アスレチック等は一か所しかないため次第に飽きてくる。もう少し増やしてもらえるとありがたい。 ・高齢者用にお金を使うことも大事だが、子供たちが元気よく伸び伸びと楽しめる何かあればいいと思う。 ・不妊に関することでも充実してほしい。子供が欲しくて悩んでいる女性が多いと思います。根室ではなかなか難しいのかもしれませんが、子供を増やしたい思いはありますので、女性が気を使わず相談できる場があればと思います。
30	・子育てにももう少し力を入れてほしい。遊べる娯楽施設がない。外以外どこで遊べばいいのか。 ・3歳を過ぎてからの医療費が高すぎる。出産にあたって3万円程度の交通費で足りない。
65-74	今の根室では子育てがとても大変だと思います。家族で買い物も楽しいでしょうけれど、もっと素敵な公園があったら、根室が良かったと今の子供たちに思ってもらえると思います。
65-74	根室市は人口が少ない割に、離婚率が多くて満足に働けない父親や母親がいると思います。そういった人達のための子育て支援をもっと充実してもらいたい。(仕事が終わるまで預ける場所とか)
40	・安定した仕事だが病気のため仕事に追われている。子育ての両立に悩んでいる。どこに相談していいのかかわからない。そんな余裕のない人が他の事(街づくり)とか考えられるだろうか。 ・不自由な身体でも参加できる何かを教えてください。
30	・子育てしやすい環境がなければ、市外に転出していく人が減らないと思います。分娩ができるようになったとはいえ、上の子が面会できないなど聞いたら市外で分娩する人が多いかと。4人子供がいますが、根室での分娩はしていません。陣痛がきてからの長距離移動など不安しかったです。分娩再開はうれしいですが、その他の設備や体制の見直しが必要かと思います。 ・第3子からの無料化も保育園は年齢関係なく無料なのに幼稚園は3才にならないと無料じゃないとか根室市だけではないと思いますが、平等に第3子以降は無料にしたいです。 ・屋内施設(小さい子が遊べる所)なども1つでもあった方がいいかと思います。
30	子供達の遊べる所が、少なく市外に出て遊んでいる事が多いと思います。(中標津ゆめの森公園など)中高生なども行くところがないだろうな〜と、いつも心配しています。
20	・夢の森公園みたいな子供が気軽に遊べる所がほしいです。(雨でも大丈夫な)明治公園の土地がもったいないと思います。

年齢	市民意識調査における自由意見・提案
30	・子どもが、雨の日でも遊べる施設が欲しい。 ・病児保育に対応してほしい。保育料が多少高くてもいいので。
20	いち早く、子供向け屋内遊戯設備を進めてほしい。
30	子供・高齢者への対応をもう少し良くしてほしい。(金銭面や施設の充実) 根室市内の賃金を全体的に上げるべき。
20	何か極端な政策をしないと人口は増えないと思う。たとえば子供の待機児童をなくす。子供一人に対してすべて無償化。色々政策に手を出す前に一つ一つ処理していった方がいいと思う。
40	若い世帯が子育てしやすいようなまちづくり。子育て支援、医療の充実、室内遊び場など
65-74	町に子供の声が聞こえ、にぎやかさが戻って来てほしいです。若い人達も子育てが安心してでき町にしてください。
40	子育て支援をもっと充実させて頂きたいと思います。行政の方も大変だと思いますが、市を衰退させないためにもより良い市を作っていただきたいと思います。
40	アンケートに答えても変わっていない気がします。根室は母子家庭の援助などもあまり良くなく残念です。根室のこれからはまだまだ母子家庭も増えるだろうし老人もどんどん増加すると思います。街の整備等も大切だと思いますが、今一番の皆さんの声を本当に何か1つでも実現してほしいです。
30	自由に行ける。室内で遊べる場所や自然と向き合える場所があれば子育てなどに良いのかと思う。
30	屋内で小学校以下を遊ばせる所が少ないので、中標津のゆめの森公園にある屋内施設のような子供を開放できる空間、屋内公園が欲しい。
40	子供が室内で遊ぶ施設を作ってもらいたい。冬は雪遊びしか外で遊ぶことがないので。以前市議会にも言ったことがありますが無も変わっていません。
30	子供の医療費は補助しているというけれど前に住んでいた所は無料です。一年のほとんど風が強く寒いのが分かっているのに、全天候型の子供が遊べるような所をいつまでたっても作らないのはなぜですか。
50	・子供の遊べるところ。ゆめの森公園みたいなところ。
40	育児休暇中でも上の子たちをそのまま保育所に預けられるようにしてほしい。第3子を出産し、5歳と2歳の上の子たちを自宅で見えていくのは正直大変です。一時的に幼稚園に入れるという方法もありますが、第3子が1歳になるときに仕事復帰する家庭事情を考えると、たとえ幼稚園に入れても復帰時には幼稚園から保育所に変えなければならず、子供たちが慣れた頃にまた環境を変えざるを得ないというかわいそうなことになる。我が家は自宅で年中さん、3歳未満児をみる選択をしましたが、子育てが厳しいと思う毎日です。
30	雨天でも遊べる施設が欲しい。子育てに優しくない。公園に遊具が無さすぎる。
60	以前に計画があった明治公園の屋内施設はどうなったのか。
75	少子化が進み人口減少に影響を及ぼしています。そのために安心して市立根室病院で出産（第一子）ができる医師の確保に末永く取り組んでほしい。そして、若い夫婦が子育てしやすい経済的な支援と働く職業（場）が必要です。思い切った行政の努力が必要です。

②周産期医療と小児医療体制の整備

根室市では、市立根室病院の充実を図るため、分娩の早期開催はじめ医師、看護師等の確保、充実に向けた周産期医療及び小児医療体制の整備に向けた対応を図っているところである。

分娩に関しては、平成 29 年 4 月より市立根室病院で 11 年ぶりに経産婦を対象に分娩が再開されている。

a)安心して子どもを産み育てられる周産期医療と小児医療体制の整備

1)周産期医療と小児医療体制に対する満足度意識

今回の市民意識調査における関連項目から、これらの周産期医療と小児医療体制に対する市民意識についてみると、満足と回答した市民の割合は計画策定時に対して 2.6 ポイント減少しているものの、平成 28 年度の満足度から向上した平成 29 年度調査の結果と同水準である。

また、不満とする市民の割合は、大きく低下しており、平成 29 年度調査から 8.4 ポイント、計画策定時と比較しても 6.2 ポイント低下しているなど、不満意識が緩和している結果となっている。

この設問は必ずしも周産期医療と小児医療に限ったものではないが、平成 29 年に分娩が再開したことも市民の不安意識の緩和に寄与しているものと伺える。

医療体制に対する満足意識に関する市民意識調査の結果

項目	満足					不満足				
	H30	H29	H28	計画策定時	増減	H30	H29	H28	計画策定時	増減
「病院などの医療機関の状況」について	7.7%	7.8%	6.0%	10.3%	▼	55.7%	64.1%	69.5%	61.9%	▼

注:増減は、計画策定時に対する増減を示す

:△は満足度もしくは不満度が高まったことを、▼は満足度もしくは不満度が低下したことを意味する

2)医療環境についての自由意見

今回の市民意識調査に記載いただいた自由回答の中から医療環境に関する意見をみると、小児科の充実、第 1 子出産への対応、難病児への対応及び市立根室病院における医療サービスの改善等に関することがあげられている。

経産婦が対象とした分娩は再開されているが、第 1 子出産への対応も引き続き要望があがっている。

また、難病児の場合の遠隔地での治療に対する交通費等の支援もあがっている。

一方、昨年までの調査結果と同様に自由意見の中には市立根室病院における医療関係者の患者に対する対応などへの不満も少なからずみられている。

また、こども医療費助成制度の支給対象者の制限緩和などの要望もあげられている。

そのほか、市立根室病院では依然として、他の病院からの医師派遣に依存している科目もあることから、第 1 子出産への対応も含め、医療スタッフの確保に向けたこれまでの継続的取組みのさらなる強化が求められている。

＜周産期医療と小児医療体制に関する意見＞

年齢	市民意識調査における自由意見・提案
50	病院に急患でかかっても患者が安心できる処置をしてもらいたい。
20	医療体制が酷すぎる。田舎で医師が来ないのもわかるけれどそれで命を落とすなんて悔しい。もっと医療格差を無くさないで老後この地域に居たいとは思わないし、今後不安が募ります。
30	出産にあたって3万円程度の交通費で足りない。
40	うちは高所得らしく、小学生の娘に「子ども医療費受給資格者証」がありませんので、病院、薬局の支払いは高いです。払えなくはないのですが、漁師という職業柄収入に浮き沈みがあり、収入の少ない月は少々事だと病院に連れて行かないときもあります。 所得に関係なくせめて小学生のうちだけでも「子ども医療費受給資格者証」を交付してほしいです。
30	医師の診察技術の向上をお願いします。市立病院を受診しても（時に小児科）医師の判断があいまいで常に不安を感じる。そのため時間はかかっても釧路日赤病院を受診しようと思ってしまう。
20	私の子供は根室市内では治療が受けられない先天性心疾患を患って生まれてきました。その他も口唇口蓋裂、難聴とどの病気に対してもこの地域で治療を受けられるだけの設備、医師はいません。治療には手術が必要で北海道大学病院までいかないといけません。しかし、交通費等の援助等一切無いことです。この地域では満足できる治療、信頼できる医師はいません。このような地元で医療を受けられず地方の病院を紹介された場合の移動費の助成制度を検討して頂きたいです。口唇口蓋裂にいたっては成人するまでの長い間、通院・治療（手術）が必要な病気です。今後は言語にも支障が出てくるため札幌へ言語外来の通院も必要です。交通費だけでもかなりの家計費の負担となっています。同じ病気で悩んでいる家庭は根室市内だけでも何人もいるはずで。この根室で長く住み続けていくためには医療の充実、根室で診ることができない病気の場合、通院等するための移動費に対する補助金の制度を検討願います。家計への負担が緩和されることによって、個人消費につながり根室市の商店街も潤っていくと思います。
75	少子化が進み人口減少に影響を及ぼしています。そのために安心して市立根室病院で出産（第一子）ができる医師の確保に末永く取り組んでほしい。そして、若い夫婦が子育てしやすい経済的な支援と働く職業（場）が必要です。思い切った行政の努力が必要です。

(3) 基本目標2 住みたいと思える「ひと」と「しごと」を呼び込み、安定した雇用、新しい人の流れをつくる

①経済・雇用対策の推進

根室市では、基本目標達成に向け以下の経済・雇用対策が推進されている。

- a) 労働力不足解消のための雇用のミスマッチ解消など需給不均衡の改善
- b) U I ターン者向け支援の充実による起業促進と労働力の確保
- c) 商工業後継者の不足に伴う事業継承のための支援等の充実
- d) 農林漁業の持続的な発展及び担い手対策の推進と若年就業者の定着化促進
- e) 産学官金の連携及び農商工連携と6次産業化の促進

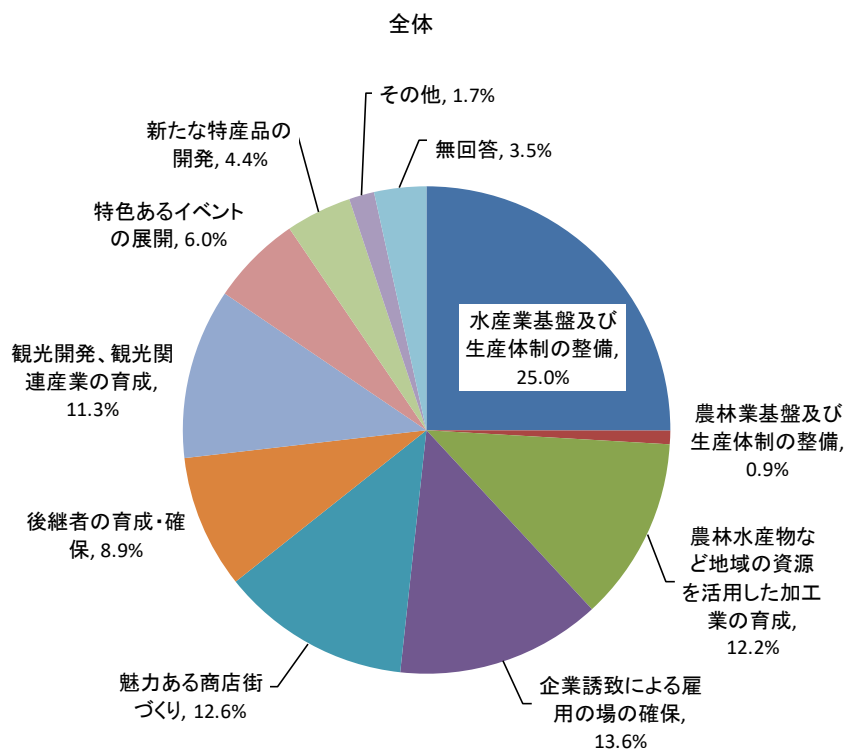
1) 産業振興について重要だと思う施策

根室市の産業振興について、今回の市民意識調査から今後重点的に取り組むべきと思う施策についてみると、「水産業基盤及び生産体制の整備」をあげる住民の割合が最も高い。次いで、「企業誘致による雇用の場の確保」、「農林水産物など地域の資源を活用した加工業の育成」、「魅力ある商店街づくり」、「観光開発、観光関連産業の育成」の順となっている。

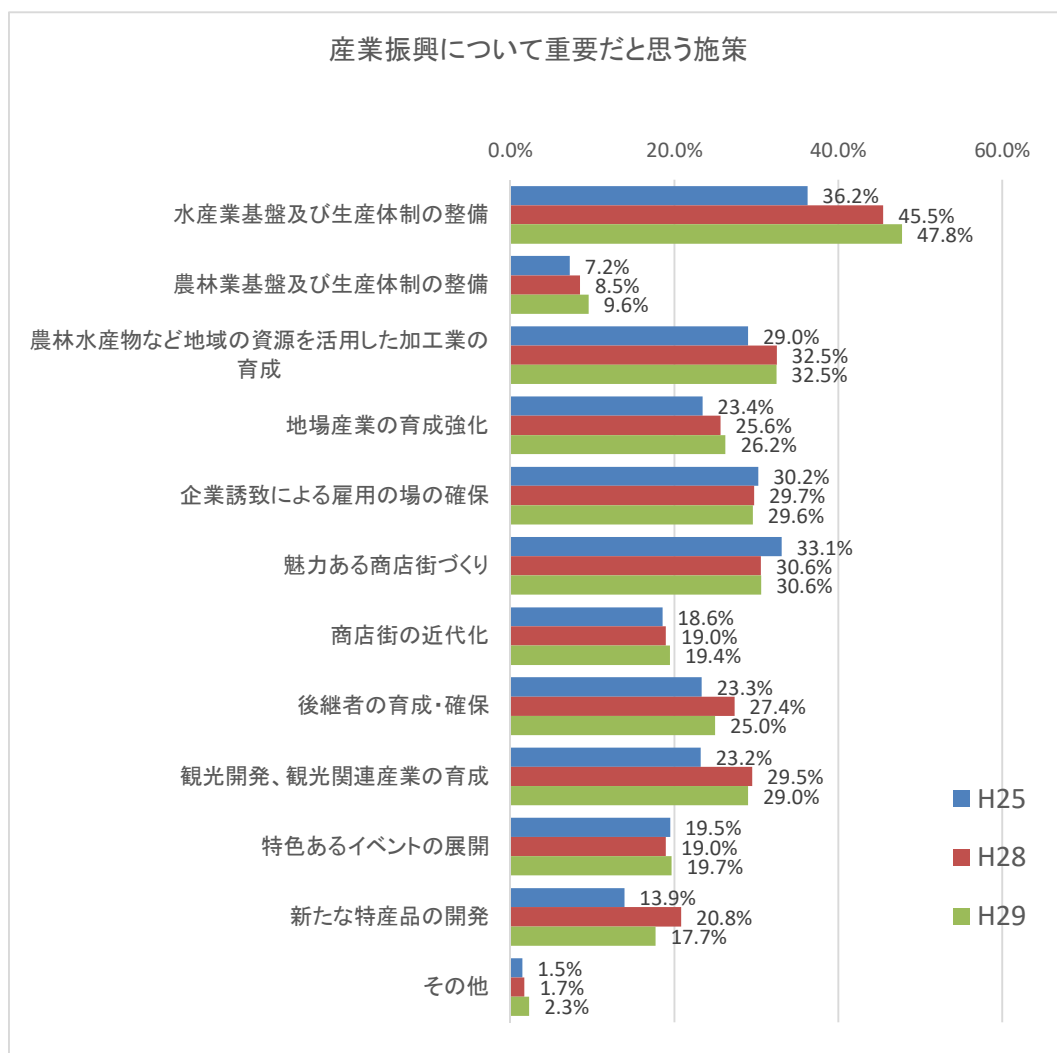
今回の調査は、平成29年度までの調査と回答形式が異なることから、割合を比較することはできないが、ロシア200海里内サケマス流し網漁が禁止になったことに加え、サンマの不漁などの影響を反映して、「水産業基盤及び生産体制の整備」に対する市民の関心はさらに高まっているものと推察される。

買い物の利便性に対する不満意識を反映して商店街の振興は市民の関心は大きい。また、「観光開発、観光関連産業の育成」に関しても新たな産業としての期待は、依然として大きい状況が把握される。

<平成 30 年度調査の結果>



<平成 29 年度までの調査結果（複数回答）>



2) 経済・雇用対策についての自由意見

今回の市民意識調査に記載いただいた自由回答の中から経済・雇用対策に関する意見をみると、ロシア 200 海里内でのサケマス流し網漁の禁止に加え、近年のさんまの不漁なども反映して、漁業や水産加工業の新たな取り組みや、水産だけに頼らない新たな産業振興に対する意見が多くみられた。

具体的には、漁業に関しては、新たな魚場の確保、養殖事業への取り組みが多くあげられている。

また、水産だけに頼らない新たな産業振興では、高齢者の介護や医療従事者を育てる学びのまちとしての関連産業や育成機関の誘致、根室高校での新商品開発の取り組みとの連携などのこれまでにない新しいアイデアもみられた。

このほか、商業の活性化に対する意見も多いほか、酪農業における後継者不足を懸念する意見もみられている。

＜経済・雇用対策の推進＞

年齢	市民意識調査における自由意見・提案
65	産業の振興。特に水産業における最新技術、研究段階にあるテクノロジーの実証実験地として名乗りを上げ、積極的にこれを活用してほしい。魅力ある働き場所がなければ人口減には歯止めがかからない。
40	・農林水産業のそれぞれの分野（農業・林業・水産業）どうしのコラボレーションによる「根室らしい」まちづくりを進めていただきたいと思います。 ・商店街などの営業時間の終了時刻が早すぎる気がします。多くが閉店してしまっているのが、仕事帰りにちょっとした用足しができるようになるとありがたい。ふらっと歩くには寂しい。
75	1.ふるさと納税資金の効果的活用：透明性と永続性、地元産業への貢献 2.明るく、きれいな街づくり： 道路、街路樹、緑地帯、花壇、公園
50	仕事がありとにかく住みやすい根室にしてほしいです。
75	魚のとれる町
65-74	・これからの根室市の主産業は何か、例えば水産業だとするならば、ただ単に獲る漁業ではなく育てる漁業、しかも温暖化に傾向する自然環境を先取りした、新しい魚貝類の養殖や漁獲物の高次加工化により少ない量でも採算の合う産業の構築が必要ではないか。 ・根室のまちを高齢者の介護や医療従事者を育てる学びのまちとして教育産業の育成や学校の誘致などが喫緊の課題でないか考える。
30	海外からたくさん水産加工場に研修生がきているようで、それはいいのですが、その人たちを労働力として頼りきりになると、彼らなしでは根室の水産関係が成り立たなくなってしまう時が来ると思います。並行して日本人の労働者にも技術を伝承していく事が大事だと思います。
30	せっかくの水産資源も生かせずに衰退してしまうのも、外のものを取り入れない風習にあるような気がします。獲るのが厳しいなら育てることに力を入れたり、創造力のある若者を育てていかないと資源ばかりに頼ってしまうと衰退の一途をたどることになるような気がします。
75	・北方領土の返還はまず不可能に近い状態なので、漁業権の確保に力を入れてほしいものです。漁業に従事する若者が増える事に人口増にもつながり、おのずから町の活気にもなると思います。 ・また、空き地利用にビニールハウスによる野菜栽培で無農薬野菜作りを奨励してはいかがかと思います。自分は高齢者であり、特別夢のような生活は望みません。市民皆が普通の生活が出来れば良いと考えます。
30	ロシア 200 海里の鮭鱒流し網禁止とさんま不漁により根室市経済はかなり疲弊しています。北方四島共同経済活動も前に進んでいるとは言えず、このままでは人口減少が更に加速し、根室市は夕張市と同じ運命を辿る可能性があります。漁業者対策のみではなく、速攻性があり様々な産業に効果がある政策を望みます。
30	酪農家は離農する人が増えているが、そのまま牧場に住み続けるため次の若者への引き継ぎができず、周囲の農家が大規模化するしかなく、そのためスラリもどんどん増え根室の町まで臭いがきつい。素

年齢	市民意識調査における自由意見・提案
	晴らしい景色が広がっているのに、車の窓を開けて走ることもできない。臭いも公害の 1 つだと思います。こういうことから若者は酪農へのイメージも悪くなり、観光客も悪いイメージを持って帰ってしまいます。積極的に新規就農者を増やす取り組みをしてほしい。そのためには、まずは離農者のフォローをしっかりとしてほしい。（農場を出て町中で暮らせるように）漁業も農業も持続可能なものにして、次の世代へつなげることが私たちの役割だと思います。
65-74	水産業に頼らない町作りをしてほしい。メインストリートだけでもきれいな町並にしてほしいです。
18	高校卒業後は、進学、就職それぞれですが、根室に希望は持てない。進学して帰って就職する人は何%いるのでしょうか。また就職先もどれだけありますか。
65-74	定年を迎えて、地方より親族の勧めもあって 38 年ぶりに故郷に戻ってきました。痛切に感じたのは緑町の商店街や外の町内の商店等もシャッターが閉まっていて、昔の面影が消えていて、とても残念で寂しく感じたことです。水害や水産業の低迷等でやむをえ無かったかもしれません。
18	・根室高校の課題研究という授業で商品開発部門が毎年、根室市の特産物を使って商品を作っているから、市全体で協力して、市の発展のために流通に乗せられるようにできればよいと思う。根室のイベントなどで売れば少しずつ有名になっていくと思うし地産地消をより発展させていけると思う。 ・小さい子供を連れて家族で行きやすい飲食店（ファミレス的な）があったらいいと思う。 ・飲食店が多いから各店から 1 品新メニューを出してもらって（同じテーマで）それを各店のブースで販売し、人気投票するイベントがあっても面白いと思う。もっと新しいことをやっていくべきだと思う ・根室を良くするための事を大人だけで考えるのではなく、実際に若者の声を聞き、協力していくべきだと思う。学生でも「根室はもっとこうしたら良くなるのに」という考えを持っている人はたくさんいると思う。そういう一つ一つの声にしっかりと耳を傾ければ、いい案が見つかると思う。若者目線で新しいことにチャレンジし、それを継承していけたらよい。
65-74	若者にとって根室市は就職等、魅力が無い町なのではないでしょうか。やはり産業があまり安定していない事が不安です。漁業ばかりでは・・・何か別の産業もあればと願っています。
50	・楽しんで買い物ができない。欲しい物がない。客のニーズに合ったものが買えるような品揃え店作りをしてほしい。 ・若い人が夢を持って安心して働ける職場 ・家族で出かける場所がない。レストラン、公園、映画館、イベント、美術館、スポーツジム、体育館 ・都会への人口流出を食い止めるには魅力ある街づくりに力を入れるしかないと思う。一人一人が郷土愛を持って主体的なまちづくりをしなければいけない。
60-64	漁業以外で何かアピールできるものがないか。自然（バードウォッチング等）もありますが、文化会館でも市民参加で何かないでしょうか
30	企業誘致を促進し、色々な分野で職場を増やしてもらいたい。
65-74	・若者等（青少年）の人的資源を有効に生かす方策を考える（ひきこもり、障害を持っていて職につけないでいる若者等どのような実態なのか調査を行い、人的資源の活用を検討する） ・水産資源、自然（環境）が優れているのだから、それらを上手に活用する方策はないのだろうか。
60-64	水産物の新商品や魚の養殖など。農業はチーズなど、それぞれ新商品の開発を。
40	水産業で養殖業など、新たな対策への整備。鮭鱒、秋刀魚不漁による根室市の打撃は大きい。漁業を営む方へのフォロー、水産業の復興なしに根室の繁栄は望めないと思う。

②交流人口の拡大（市民意見）

根室市における交流人口の拡大に向けた施策は以下に示すとおりであり、誘客強化と観光プロモーションの強化となっており、特に、自然環境を活かした国際観光地に向けた取組みが進められている。

- a) 長期滞在者など交流人口の誘客強化と本格移住の促進
b) 世界に誇る自然、歴史、食の魅力を発信する観光プロモーションの強化

今回の市民意識調査に記載いただいた自由回答の中から交流人口の拡大に関する意見についてみると、観光振興に関する意見が多く、今後の根室市の産業振興として観光に対する期待が大きい状況が把握される。

こうした観光に対する意見の大きさは、昨年までの調査結果と同様であり、市の具体的な施策展開に対する期待が大きいものと考えられる。

具体的な内容としては、特に意見として多かったのは、自然、水産資源など根室市が有する資源の有効活用である。多くの資源を有効に活用されていないという指摘が多い。

また、根室の観光のPRに対する意見も多かった。PR不足のほか、PR方法に対するアイデアも多く寄せられた。特に、SNSを活用した展開など、新しいアイデアもみられている。

こうした観光PRに関しては、早期に取り組むことが可能なテーマであることから、関係機関の連携による具体化が望まれる。

一方、観光客の受入としての宿泊機能に関しては、近年根室市が抱える課題の重要テーマのひとつでもあることから、経済界を含めた継続的な検討が重要である。

<交流人口の拡大>

年齢	市民意識調査における自由意見・提案
60-64	・根室市独自の観光ビジネスの確立（体験観光や自然の活用） ・魚釣りに関する何かの観光施設や場所ができないか
30	・根室では豊かな自然と史跡が存在しているので夏場に来る旅行者へ強くアピールできるよう整備してはどうでしょうか。
40	観光客を多く呼ぶためのPRがなさすぎです。CMや広告ででも知らせるべき。
30	・観光客誘致に力を入れてもらいたい。特に駅前の活性化（イベント、商業施設等） ・イベント：たとえばにぎわい祭りのようなビアガーデン等、観光客問わず、市民も足を運びやすいイベント（クリスマス、イルミネーション等）
40	・雇用については根室の地形から交通の問題もあり難しいと考えるがその地の利を生かした観光に突破口を見出すのが最善と思う。 ・「北方領土」「最東端」に依存するのではなく、違った魅力を発掘、または作り出し新たなアプローチで根室を上げて発信していく。そのためにある程度時間をかけ成功している他都市の情報を集めるなどして精査して根室独自の観光戦略を作り地道に実施していく。 ・観光客が多く訪れるようになれば雇用も少しずつ改善していき、水産業のダメージを軽減できるのではないだろうか。
30	ふるさと納税の有効活用をしてほしい。地域イベントの実施、観光事業等が充実してほしい
20	根室市のPRとしては今はネット・SNSで売り込みが大事だと思われる。動画投稿サイトや「インスタ映え」「SNS映え」を駆使することで更に訪れる方が増えると思う。

年齢	市民意識調査における自由意見・提案
65-74	①観光都市宣言をしているようですが、駐車場等の整備（チャシ跡群への観光が増えているが、バス等を駐車する場所がない。トイレの整備が少ない。） ②根室のお土産（小さめ持ち歩きしやすい）の開発と駅前に市場があったらいいと思う（体験できるもの）
65-74	チャシ跡群の観光整備とガイドの育成。
50	①各団体など根室のために頑張っていますが、話が小さいまま大きくならない。市民に関心を持たせるぐらいアピールしないと。 ②根室は市をアピールするのが下手。 ・とんねるず等根室の歌があるのに観光利用しない。 ・ゴジラが来た町、なぜアピールしない。
30	・せっかく魚介がおいしい所なのでそれをもっと活かして他地域にPRした方が良い。 ・観光客を呼び込むための施策を考えるべき。（たとえば地域マップ（根室の街の魅力を詰め込む）を作って、観光客に来てもらえるようにするとか）
75	これから(外人を含む)観光客が増えると思うが、その人たちが気軽に土産等その地で購入できる商店街を整備すべきである。（たとえば釧路の和商市場等を大いに参考にすべき）
60-64	1. ふるさと納税等で認知されて来ているのを利用しもっと観光や企業の誘致に力を入れてほしい。 2. 鉄道においては釧路根室間はとてもすばらしい景観があるのでもっとまわりを見てほしい。地元人にはあたりまえ、不便となるが他県から移住してみてもすばらしい所が数多くあるので自然をそのままにした色んな面での活用してほしい。「灯台もと暗し」と他県及び外国への自然のすばらしさを発信してほしい。（漁業関係企業や生産者だけでなく）
50	根室は水産の町なのに新鮮な魚を漁業者が水産物を売ってくれる所がない！朝市があってもいいのでは？根室はけっこう山菜もとれますが、どこでもフキノトウなどは見かけますが自然の物も何かに利用できないのか。根室に朝市があって根室の魚を買いに根室に行こう！ そんな根室になればいいですね！
40	活気が感じられない、さびしいまちだなあという印象、札幌から来て2年目となりますが、残念な感じがします。食、自然、観光など魅力のある事が多くありますが、いかされていないように思います。
20	・納沙布岬のおみやげ屋さん、カニ屋さん、食事処を増やした方が良いと思う。せっかく時間掛けて来ても見る所がない。霧で見えなかったりしたら、そっちで満足してもらえるようにしたら良いと思います。ちょっと子供が遊ぶ所でもあれば市民も行くと思います。 ・道の駅は、ひとつでもインスタ映えする食べ物があれば良いと思う。じゃらんとかに載せたらそれ目あてに少しでも観光客が増えると思います。
50	観光開発に力を入れ活気を出す、いい所があるのにもったいないと思う。
30	個性はすでにあると思うので、根室に来る人を増やすために交通機関の整備が最も大切ではないかと思う。厳しいのは承知の上で、 ・鉄道本数の増便・バス（都市間）本数の増便・高速道路のインターチェンジ のいずれかが実現されることを願います。
50	根室は良いふきが採れるので、ラワンぶきのように特産にしようかどうか。エトピリカ号を利用して根室半島周遊しようかどうか。
30	将来根室の人口減が急速に進んでいくことが予想されている。まちづくり計画の基本は人口であり、どの程度を想定するのか。IT関連は地球上のどこにいても仕事が可能。根室は人が住みやすい環境づくり（道路・交通・医療等）を進め、他から人を呼び込むことが大切と思う。ふるさと納税の寄付金を無駄にしない使い方を希望します。
30	・根室の自然は世界からも注目されていて、観光客も増えています。観光地の整備や土産品の多様化、パッケージをおしゃれにしたり、雑貨も魅力的なデザインにしたりなど、観光業に力を入れたらますます素敵な町に変身していくと思います。 ・日本最東端というインパクトの強さと、自然の豊かさを生かして町が発展していくことを願っています。

年齢	市民意識調査における自由意見・提案
30	せっかく良い物産があるのに、現状で満足している雰囲気があり、町が発展しそうもない。既存の店ではすぐに時代の流れに飲み込まれる。漁業以外の道を見出さなければ根室市はなくなると思う。何より市までのアクセスが悪いので来る気にならない。ここまで来てまでしたいことがない。
20	・観光事業に力を入れてほしい。 ・納沙布岬や花咲ガニ等のアピールできる魅力あるものを有効活用できると思う。 ・市外から宿泊施設を誘致するなども考えていいのではないかなと思う。 ・もっと外からの意見を取り入れた方がいいと思う。 ・田舎特有の閉鎖的な感じが良くないと思う。 ・道路がガタガタなので直してほしい（市内全域） ・SNSを活用して根室の良いところを発信していくのも良いと思う（更新頻度も高くして）
50	・観光客が来ても泊まれるホテルがない。ホテルが酷い。観光土産がない。納沙布などでお土産を買う人が増えるような工夫。
50	・道の駅スワン 44 を根室市観光の玄関とはっきり位置づけて目玉となるものを設けたらどうでしょうか。通年営業が望ましいと思います。バードウォッチングが根室は有名ですが冬期に大阪から大きなカメラを担いで風連湖に来た方がちょうどお昼時に入ろうとして空いていなくて残念がっていました。色々な地方の道の駅が工夫を凝らして情報を発信して成功してます。 ・オンネモトチャンを訪ねてくる車がここ数年多くなり、案内すると喜ばれます。遠くは熊本から。観光シーズン到来です。原生花園のポニーの働きであやめも咲き始めました、良い季節です
30	・海沿いの町なので、塩害による施設のサビが目立ちます。ゴミは少ないと感じますが、観光客に対して植樹等によりきれいな街並みでおもてなしをし、また来たい、景色、食ともに感動して頂ければと思います。 ・買い物や遊びに行くのにやはり郊外に出ていくしかない現状ですので、目玉となる商業施設を誘致して、根室が豊かになればと思います。ファミレスがないのも不便に感じます。 ・要人が泊まるようなホテルから、観光客が泊まれるようなホテルを整備して頂きたいです。誘致が無理でも既存のホテルを改修できるような支援があればと思います。
60-64	水産物の新商品や魚の養殖など。農業はチーズなど、それぞれ新商品の開発を。
75	まずは観光。案内する場が少ないこと。
65-74	① 根室には道立自然公園やラムサール条約登録湿地に指定されている風蓮湖があり、天然記念物指定の落石岬の高層湿原もある。しかし、温根沼へ流れ込むオンネベツ川の流域のアカエゾマツ林は保護の対象になっていない。亜寒帯性の常緑針葉樹林が平地にあるというこの地方特有の特徴を象徴するものであり、ほとんど手つかずと思われる美しい景観は何らかの保護の対策を講じるべきと考えます。更に根室半島の太平洋岸から納沙布岬へかけては年平均気温が最も低いという事に由来する高層湿原が広くあります。泥炭地のために地下水位が高いこと、低温で植物の生長可能期間が短いため樹木が生長できない地域となっています。これは自然地理学上、ツンドラと呼ばれる地形と思われます。ツンドラは高緯度地方に発達するものであり、根室半島はおそらく最も南に位置する海岸ツンドラではないかと思います。流水が到達する最も南の地点と合わせて、学術上貴重な地帯なのだと思います。専門家による調査評価（もう既にあるのでしょうか）を持って、何らかの保護と啓蒙の対策を考えるべきだと思います。 ②落石岬の無線所跡は単冠湾に待機する日本海軍艦艇に対し真珠湾攻撃を命じる無線を発した所と聞いています。いわば戦争遺産な訳です。それが、何故、個人に貸し出され、内外装とも改変されてしまっているのでしょうか。早急に復元し、保存、後世へ伝えるべきと考えます。
65-74	①根室に釧之助のような食べる所と魚とか色々物を売っている市場の様な所があれば観光客とかも来てくれると思います。 ②中標津のゆめの森公園みたいな所があれば子供達も遊ぶところが出来て良いと思う。若い人がどんどん地方に行ってしまいます。

年齢	市民意識調査における自由意見・提案
30	①根室市には日本一開花が遅い千島桜があるので「日本で一番最後まで開花が楽しめる街」として、国道から 500m～1 k m 程度、市が開発に働きかけて、千島桜を道路に植えてはどうでしょうか。今のホクレンショップの通りからマルシェ・デ・キッチン辺りまで桜の道路が出来たらものすごく美しいと思うのです。 漁師町に清潔感がないのが欠点です。国道だけでもきれいにすれば印象としても良いですし、観光として経済面でもプラスになると思います。 ②「明治公園の活用について」 夜散歩するとき、灯りが少なすぎてとても怖いです。せっかく素敵な公園なのでライトアップして市内で唯一キャンプを楽しめる公園に整備し、無料開放すれば日本一周中の自転車ライダーやバイカー達が多数利用してくれるはずです。実際、旅行客からそのような声をよく聞きます。水回りの整備（トイレと炊事場）をきれいに行い、管理人は無し、後は、サイロ周辺をライトアップし、通路は LED で足元だけを照らすようにしてコストは押さえて良いと思います。市民も明るい公園になれば良いと思いますし、朝、夜時間を気にせず利用できるようなと思います。

(3) 基本目標3 みんなで実践する「市民協働」を推進し、時代にあった地域をつくり市民サービスを維持する

①コミュニティの維持・活性化

根室市の総合戦略においては、基本目標達成に向け以下のコミュニティの維持・活性化が推進されている。

- a) 市民活動団体の育成や市民活動の組織化、ネットワーク化の支援
- b) コミュニティ活動を牽引する「まちづくりコーディネーター」などの育成

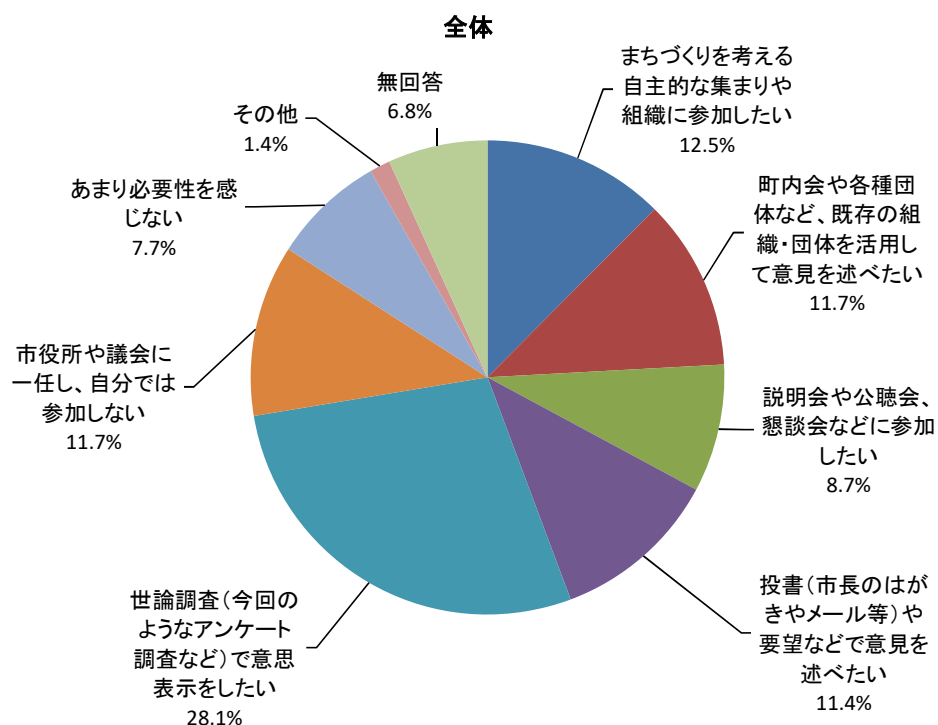
1) 市民のまちづくりへの参加意識に関する市民意識

今回実施した市民意識調査の結果からまちづくりへの参加方法についてみると、最も多かったのは、「世論調査(今回のようなアンケート調査など)で意思表示をしたい」とする要望である。このほか、「まちづくりを考える自主的な集まりや組織に参加したい」、「町内会や各種団体など、既存の組織・団体を活用して意見を述べたい」、といった要望も比較的多かった。

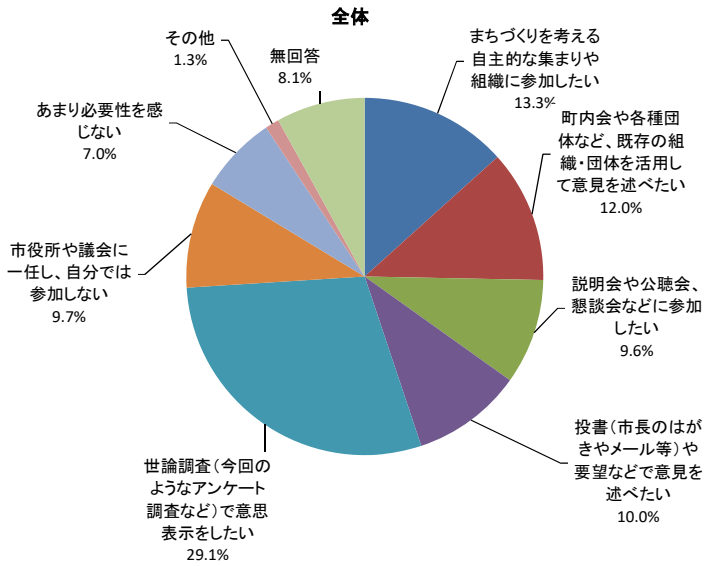
これらの結果は、平成29年度までの調査結果とほぼ同様であった。

また、自主的にまちづくりに参加したいとする市民の割合は72.4%であり、昨年の74.0%、28年度調査の79.3%と比較すると低下している状況が伺えることから、市民の参画意識の醸成はもとより、市民の意見や要望の施策への反映のあり方などを検討することが必要と考えられる。

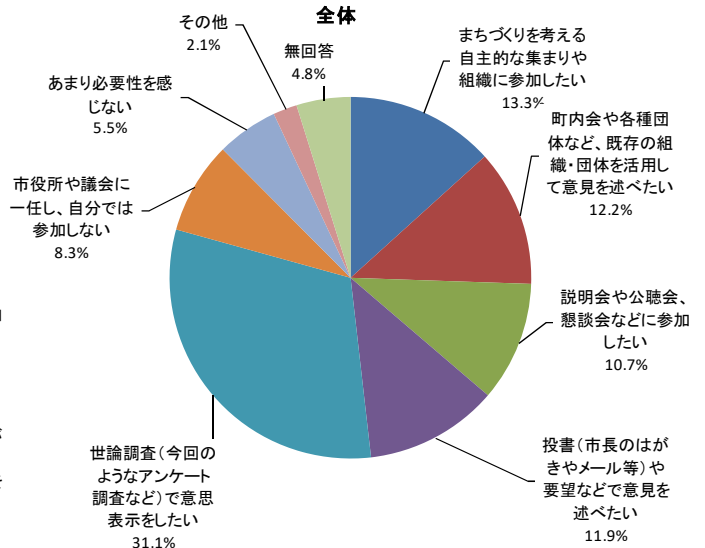
<平成30年度調査>



<平成 29 年度調査>



<平成 28 年度調査>



2) コミュニティの維持・活性化に関する意見

今回の市民意識調査における自由意見の中からコミュニティの維持・活性化に関する内容をみると、大きく、行政情報に関する要望、ボランティア活動のあり方、市民参加のまちづくりのあり方に関する意見にまとめられる。

行政情報に関しては、災害情報やイベントなどの情報提供に対する要望などがあがっているが、すでに市で実施している行政情報サービスが知られていないことも要因と考えられるため、こうした事業の周知及び内容の検討が必要と考えられる。

ボランティア活動のあり方に関しては、ボランティアのものと、有償のもののあり方を問う意見が見られた。

まちづくりへの市民参加のあり方としては、昨年までの調査結果と同様に、市民意識調査の結果でもみられたようにアンケート等により市民からのアイデアや意見を募集する方法のほか、民間企業の活用・連携、市議会議員への期待に対する意見がみられている。

また、市民の意識も持ち方に対する前向きな意見など、まちづくりへの参画意向もみられているなど、市民の意見、要望を汲み取り、どのように反映していくかといった仕組みづくりが求められているといえる。

<コミュニティの維持・活性化>

年齢	市民意識調査における自由意見・提案
65-74	・ 1人1人が小さな助け合い、小さな親切、小さな声掛けでその時々自分に出来る優しさを表せたなら何が大切かわかってくるのではないのでしょうか。根室市は小さな助け合いがたくさんある町になってほしいです。
50	・ 大人が変わらないと、子供たちから信用されるようにならないと。 ・ 国のやっていることを見てたら恥ずかしい。気を取り直して、何か一つ子供のために良い事をしよう。1人が一つやれば何か良くなるかも。
50	やはり心配なことは災害の事です。最近の大阪の地震。家には父が結構な年で私が働いている時に大き

年齢	市民意識調査における自由意見・提案
	な地震があった場合とか、父と二人暮らしなのでとても心配です。エリアメールも来ないのでなんだかさっぱりわからない。人から聞いて初めて分かったこともありまして。すごく困ります。何とかしてください。
60-64	一般市民のボランティアはお金がもらえない。同じイベントで手伝いをしたら市の職員はお金もらえる。これでは一般市民のボランティアはいなくなる。そういう差別がある以上益々ボランティアに参加する人はいなくなる。
65-74	まちづくりには資金が一番だから、なかなか難しい。時代の半歩位先を見ないと。せっかくのアイディアやお金が無駄にならないことを願っている。
18	大学進学、就職で地方に出ていきますが、出身がここで良かったと思える根室にもっとなってくれば良いかと思います。人口が増えてもっと活発な根室に、学生であることを利用して、ここにいる間に何か貢献したいと思います。
50	子供・高齢者に優しい町作りを未来に向け、終末に向け、人生設計が見えるような形を市民・行政一体になった町作りをしてほしい。
20	他の町にはない良さを持つ根室です。どこかの町を真似するのではないオリジナルのまちづくりをお願いします。期待しています。
65-74	進学などで根室から出た方達が将来的に根室で活躍できる町になれば良いと思います。今回のアンケートで子供の事に関する状況を知らないことに気づきました。
20	・基本的に自分のために自分で何かしていこうという開拓心がなければこの町の未来はないと思う。誰かがやってくれる、金を出すのは市だという親方気質の抜けていない今は何をやっても厳しいのではと。 ・これから根室を支えていく世代に生きがいや達成感をつける取り組みが最重要なのは。どうせ市に言ってもやってくれない、出来ないなら、自分たちで何とかしようという人を大切にすべき、見習うべきでは。 ・子供たちに「根室はダメだ」と意識づけているのは親です。お金のかけどころを検討しなおすべきでは。
65-74	根室市と同じような問題を抱えている街は多いですが、そんな市町村と意見の交流、会議などを開催したり、市議員等派遣して見学などを行い、市民の代表者の各議員の良いアイディアなど出し合い、まちづくりに貢献してください。
65-74	四島一括返還はないでしょうが、二島でも戻ってきたら根室の街は全く違うでしょう。市民をあげてぜひ根室一丸となり明るい街にして頑張りましょう。皆で取り組んで何かできることはないでしょうか。仕事がないとはいえ選ばないとんでも仕事はあると思います。働く喜びを味わって市会議員も削減して良いと思う
20	学校の部活にOBを顧問として採用してはどうか。現状部活を負担に感じて教師を辞める人が多いそうです。その負担を減らしてあげるだけでも少しは学力向上に繋がるのでは。未経験者が指導するより経験者から学ぶことの方が部活に関しては多いと思います。ボランティアにしてしまうとやはりやりがいが無くなるので。学校に顧問として派遣、準雇用する事業を考えてみてはいかがでしょうか。
65-74	一人一人を思いやる事が出来る町根室を！高齢者が増え買い物ができない人、病気になっても援助してくれる人がいない人、お金がなくて出産できない人、具合が悪いのに長時間待たされる人、書類が書けない人等、数限りありませんが、その声を真剣に聞くならば良い根室のまちづくりになると思います。頑張ろう 根室。
40	何から何まで実施するのではなく、根室市全体の取り組みを市民に示し、一つの目標へ全分野が一緒に進んでいければよいのかなと思う。
60-64	・議員の一般質問は議員個人の思いでの質問が多いように思われるので、一般市民の意見が反映されていないと痛感しています。 ・このような意識調査を広く進めていただきたい。
40	・高齢者の多い地域なので、経験豊かな良識ある方々の知恵や時間を未来ある子供達の教育に活かしていけたらよいです。

年齢	市民意識調査における自由意見・提案
	・ゲームをプレゼントするより、工夫や活用の仕方といった考える力を伝えていける場として、子供とお年寄りが一緒に遊べる場があっても良いかと思います。おとし寄りの温かい雰囲気の中で思いやりや優しさを学んでほしいです。
20	年齢を問わず政治（行政）に参画できるような街づくりを望みます。
40	行政主導のまちづくりから市民の意見をもっと取り入れるまちづくりを目指してほしいです。
18	市民の意見・要望を根室市のホームページ等から気軽に行政へ届けられるシステムがあると良い。
65-74	根室市民として民生委員の働きが見受けられません。高齢化社会、一人暮らしの方が増えています。せめて、月 1 回くらいは安否確認に見回りしてほしいと思います。実際にヤクルトの方が室内で倒れているのを発見して一命を取り留めた例があります。自分の町内に一人暮らししている人が何件位いるのか、把握しているのでしょうか。
30	市民が参加できるイベント特に子供達が楽しめるイベントが増えるといいと思います。屋内で遊べる場所が欲しいです。年寄りと子供達が交流できるといいと思います。
60-64	町づくりは人づくりだと思います。ともに将来を夢見る多くの人材を作る必要があると考えておりますので、ぜひ皆で考え、知恵を出し合って、学習したり、外部からの人を呼んで考えてみる必要があると思います。

②地域環境との共生

根室市の総合戦略においては、基本目標達成に向け以下の地域環境との共生が推進されている。

- a)既存公共施設の有効活用による都市機能の充実
b)地方創生の計画的な推進と財政運営

今回の市民意識調査における自由意見において、地域環境との共生に向けた意見は多くはなかった。

総じて、空家や空き地等の有効活用やごみ対策等に関する意見となっている。

また、すでに小学校等の設備更新などが行われているが、引き続き、そうした学校施設に対する要望もあがっている。

また、ニホロの有効活用や旧学校施設の有効活用に関する意見は、今年度調査でもみられた。

<地域環境との共生>

年齢	市民意識調査における自由意見・提案
50	・光洋町の公住建て替え後の土地の利活用策（市民に宅地として販売することにより市外移住を防ぐ） ・J R 根室駅の利活用（駅を東根室駅に統合することにより跡地の再開発） ・J R 花咲線は厚岸まで鉄路、厚岸－根室間はバス転換し、小型バスで1時間おきに運行して利用しやすいようにする。
30	・ニ・ホ・ロをもっと活用した方がいいと思う。すごく綺麗な建物だが、何のための施設なのか知っている人は少ない。催し等があっても広告が少ないため、終わってから知ることが多い。
18	古くなった浄水場の建設費用の一部にふるさと納税を使うことはできないのでしょうか。せっかくたくさんふるさと納税があっても市民全員がありがたいと思えることはありません。水道はどこの家庭でも必要なものです。根室市の水道料金はとても高いと思います。市民の負担を減らす事も考えるべきだと思います。
60-64	ゴミ（空き缶等）を道端に等に捨てる方もまだ多いので教宣してほしい。また、ゴミを見たら拾う行動ができる市民でありたい。
40	中学校統合について、市の見解を早めに示していただきたい。
60-64	花咲港の空き家の多いのに困ります。町の美化はひどいものです。風が強い所なのでどうにかしてほしいです。町の道はゴミだらけ、なんでゴミをポイポイ捨てるのかと思っています。
50	少子化も進み学校も統合されると空いた学校を使ってサークル、イベント様々、子供から年寄りまで使えるようにする。
65-74	根室市の都市計画が失敗しているように見えます。市の住宅等、光洋町方面が新築されていますが交通の便、買物の便が悪く空きが出てくるように思います。
60-64	町づくりは人づくりだと思います。ともに将来を夢見る多くの人材を作る必要があると考えておりますので、ぜひ皆で考え、知恵を出し合って、学習したり、外部からの人を呼んで考えてみる必要があると思います。
20	ふるさと納税で集まったお金を、公共施設を建てる方に使ったり、町を活性化させるために使ってほしいです。これだけ集まっているのにもったいないです。土地もあるので有効に使った方がいいと思います。

6. 2 まとめ

平成 26 年度に策定された根室市創生総合戦略は、少子高齢化や人口減対策として、若い女性をはじめとした次世代の若者、子育て世代が安心して働くことができ、結婚し、出産し、子育てしていけるまちづくりを目指すとともに、もって移住者等の新しい人の流れを創り出すことを目的とした計画である。

このため、戦略の目標は、結婚支援、出産・子育て支援であったり、産業の活性化・雇用の創出、観光客等の交流人口の創出であったり、コミュニティの確保と市民協働のまちづくりによる市民サービスの充実等であり、高齢者や障がい者等の社会福祉、教育、交通・生活インフラ、環境、北方領土対策等を含めた根室市総合計画の一部を重点的に戦略化したものである。

この総合戦略に基づく各種の施策の現時点での実施効果を把握するために、主として根室市総合計画に対する市民意識の変化を把握するためのアンケート調査結果から、総合戦略に対する意識調査に関連する項目や自由意見を抜粋し、市民意識を整理した。

今年度の調査では、現在、市で実施している施策の認知度の把握も行ったが、総じて、子育て、医療関連、水産業の振興に関する施策については、比較的認知度が高かったものの、生活環境、教育・文化関連、行政情報などに関する施策に対する認知度は低いことが把握されていることから、施策効果を把握するためには、こうした各種施策の周知を図ることが重要と考えられる。

(1) 住み続けられる「安心」と「支え合い」の地域を守り、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる。(基本目標 1)

- ・ 昨年の調査結果では、それまで市民の最大の関心事であった市内分娩が、経産婦限定ではあるものの、11 年ぶりにできるようになったことで不満意見は大幅に減少していた。
- ・ 今年度の調査においても不満意識は低下しているものの、初産を可能とするためのスタッフの充実を含め、小児科など出張医に依存している科目や、診療できない科目などもあることから、引き続き、さらなる医療スタッフの充実に向けた対応が求められている状況にある。
- ・ また、経済的支援に関しては、保育料や医療費、育児手当に関することに加え、母子家庭、障がい児家庭への支援などがあげられているほか、託児機能に関しては、共働き家庭や母子家庭における子どもの病気時の託児、親が病気がちな場合の託児機能などへの要望があがっている。
- ・ 一方、昨年度までの調査で多くの要望があげられていた悪天候時や冬期に子どもを遊ばせることのできる全天候型の施設に関しては、今年度調査でも多くあがっており、引き続き、その具体的対応が求められている状況にある。

(2) 住みたいと思える「ひと」と「しごと」を呼び込み、安定した雇用、新しい人の流れをつくる。(基本目標 2)

- ・ 現在、根室市の課題は、人口減少、少子高齢化、雇用の場の確保などがあげられるが、最大の課題は、根室市の基幹産業である漁業や水産加工業の低迷にある。平成 28 年から禁止となったロシア 200 海里内サケマス流し網漁の影響に加え、近年のさんまの不漁など根室市の経済環境に大きな影響を与えている。
- ・ こうした課題に対して、漁業に関しては育てる漁業（養殖事業）の推進、水産加工品の高付加価値化、ブランド化、新規産業の創出、商店街の活性化など、取り組み課題は多い。
- ・ とりわけ、育てる漁業に関しては根室市でもホタテ漁場造成事業などが進められており、その成果

もみえつつあることから、より一層の推進が求められる。

- ・一方、水産業だけに頼らない経済構造の創造に対する意見もみられており、その一番手として観光振興をあげる意見が多かった。
- ・観光振興に対する市民の期待は大きく、観光ポイント整備だけでなく漁業者はじめ地域産業との連携や宿泊機能の強化、街並み景観の整備など、受入体制強化に向けた関係者、市民を含めた一体的検討を進めることが重要と考えられる。
- ・観光に関しては、根室観光のPRに関する意見が多かった。積極的なPRが必要とする意見に加え、今回の調査では、SNSなどのネットツールを活用したPRなど、そのPR方法に関する意見も見られた。この根室のPRは、引き続き、早急に取り組むべきテーマのひとつといえる。

(3) みんなで実践する「市民協働」を推進し、時代にあった地域をつくり市民サービスを維持する。

(基本目標3)

- ・市民意識調査の自由回答に対する意見をみると、根室市の再生に向けた意見やアイデアは、産業振興に関するものや、子育て関係に関するものが多く、まちづくりへの参加に関する意見は、平成29年度までの調査の結果に比して減少していた。
- ・意見の内容としては、市民意識の持ち方や、前向きな意識の醸成などへの意見が比較的多くみられていた。
- ・その中で、まちづくりへの参加方法としては、アンケート調査等による意見、要望の把握のほか、民間企業の活用・連携、市議会議員への期待に対する意見がみられている。ただし、アンケート調査で回答した市民の意見がどのように市政に反映されているのかがわからないとする意見もみられており、市政に関する認知度が高くはないという現状を踏まえると、市政の周知を図ることも重要と考えられる。
- ・ボランティアの在り方に対する意見も見られ、原則無償で活動するボランティア活動だけでなく、有償での活動の在り方も検討することが必要との意見もみられた。
- ・一方、地域環境との共生に向けた意見は多くはなかったが、空家や空き地等の有効活用等に関する意見は、今年度調査においてもあげられている。

資 料 編

資料１ 市民意識調査自由回答（問２２）

年齢	問 22 意見・提案
60-64	・発達障害児の教育や関係者等の教育充実、施設の整備 ・根室市独自の観光ビジネスの確立（体験観光や自然の活用） ・魚釣りに関する何かの観光施設や場所ができないか
40	・ロシア語を学べる専門学校もしくは短大の設立。若い子が集まり、不動産も潤うのではないのでしょうか。授業の中で、四島の歴史を学べば地方出身の若い子にも四島問題を知ってもらうことが出来る。花咲港に入港するロシア船を相手にする代理店のほか、根室に所在する官公庁でも需要があり、ロシア語を活かし振興局、市役所、警察など活躍できる場が他にもたくさんあると感じる。
60-64	1 介護を必要とする高齢者の施設が不足している。 2 介護職の人数不足と仕事の内容に対し給料が安すぎる。
65-74	・産業の振興。特に水産業における最新技術、研究段階にあるテクノロジーの実証実験地として名乗りを上げ、積極的にこれを活用してほしい。魅力ある働き場所がなければ人口減には歯止めがかからない。
20	・根室は周りの他の市に比べ、若者が求めるものが少ないと思う。みんな他の市や道外に出て行ってしまい、人がいなくなる。悪くなる一方だと思う。 ・品ぞろえの良い店や今までなかった遊び場等を作れば若者をとどめておける上に、職も増えるのではないかなと思う。人がいないよりも少しでも人がいる方が「町中が賑わう」のではないかなと思う。
30	・根室では豊かな自然と史跡が存在しているので夏場に来る旅行者へ強くアピールできるよう整備してはどうでしょうか。
65-74	・1人1人が小さな助け合い、小さな親切、小さな声掛けでその時々自分に出来る優しさを表せたなら何が大切かわかってくるのではないのでしょうか。根室市は小さな助け合いがたくさんある町になってほしいです。
65-74	①温泉を掘り当てる事 ②北方領土が戻ってくる事 ③養殖事業をやってみる
40	・災害時に金銭的援助をしてくれてその後もケアをしてくれる市にしてほしい。市民を第一に考えてほしい。 ・観光客を多く呼ぶためのPRがなさすぎです。CMや広告でも知らせるべき。
50	・光洋町の公住建て替え後の土地の利活用策（市民に宅地として販売することにより市外移住を防ぐ） ・JR根室駅の利活用（駅を東根室駅に統合することにより跡地の再開発） ・JR花咲線は厚岸まで鉄路、厚岸－根室間はバス転換し、小型バスで1時間おきに運行して利用しやすいようにする。
20	将来の町を支える子供たちがのびのびと安心して成長することができる環境づくりが最優先ではないのでしょうか。また、現在の根室では自分の就きたい職業を選べないという声をよく聞きます。企業の誘致、根室の産業の魅力のPR活動を小中高生へ実施してみたいかがでしょうか。
50	何をやっても今の根室では希望が持てません。皆、生きるために必死だと思う。税金を払うために働いている人が多い。根室の事を考えている余裕など無い。 以前にも似たようなアンケートがあったが、根室市は何か変わったと思いますか。人口は減り続け、今後何か良いことがあるのでしょうか。アイディは何も浮かばない。
40	基幹産業（漁業）がダメなのでこれからの若い人は益々居なくなるでしょう。とにかく地理的にもとても不利な所なので交通インフラが良くないと誰も来ません。高速道路の存在はかなり大きいし、経済効果は絶対にある。言い方が合うかわからないが「蜘蛛の糸」的に救いの手として期待できる。
20	まず、若者からしたら、根室は「つまらない」という言葉が多すぎます。 時代も変わりオシャレなご飯屋も少ない、かわいい服屋もない、新しいゲームセンターも変わらず少ない。ペット（犬や猫）有の家（マンション）もない。根室は市なのに、中標津に負けているあたり、何もない根室。暗い根室からどう明るい根室になるのか、はっきりわからない。根室市立病院は新しくしたにもかかわらず、結局、釧路へ回されたら何を新しくしたのかわからない。医者もいない。 今年に入って、昔からあった店もだんだん店仕舞いして、どんどん店が減って灯りもなくなっていくような街になっていくだろうと思います。これから、まだ将来があるから家を建てるにしろ、根室ならモデルハウスもなかなかない。一からなら、かなりつらい。できるなら、根室を出たい。でも、いずれは親を診るのでこのまま根室に居ますが。将来自分の子供のためにも良い暮らし、小・中学校もこのままだと合併なのか、先の先まで考えても不安でいっぱいです。

年齢	問 22 意見・提案
50	大人が変わらないと、子供たちから信用されるようにならないと。 国のやっていることを見てたら恥ずかしい。気を取り直して、何か一つ子供のために良い事をしよう。1人が一つやれば何か良くなるかも。
40	農林水産業のそれぞれの分野（農業・林業・水産業）どうしのコラボレーションによる「根室らしい」まちづくりを進めていただきたいと思います。 市街地に空き家が目立つので、空き家対策をもっと充実させてほしい。夜間は家の灯りより街灯の方が明るいと思えます。家の灯りがもっとついているような街並みにしてほしい。 商店街などの営業時間の終了時刻が早すぎる気がします。多くが閉店してしまっているのが、仕事帰りにちょっとした用足しができるようになるとありがたい。ふらっと歩くには寂しい。 冬期間はもっと除雪をしてほしいと思います。また、歩道に生えている草が多いところが気になります。夏が冷涼のせいかあまり除草しているようには感じられません。街並みの景観を損なってしまっているように見受ける時もあります。雑草が繁茂する時期に地域一丸となった除草の取り組みも必要では。
50	やはり心配なことは災害の事です。最近の大阪の地震。家には父が結構な年で私が働いている時に大きな地震があった場合とか、父と二人暮らしなのでとても心配です。エリアメールも来ないのでなんだかさっぱりわからない。人から聞いて初めて分かったこともありました。すごく困ります。何とかしてください。
20	質問が少しずれている気がする。行政が行き詰っている事があからさまである。
30	明治町に住んでいて、明治公園に近くよく子供と遊びに行くのですが、もう少し小さい子が遊びやすい遊具もあると嬉しいです。サイロの所にテントを張っている観光客がたまにいますので、キャンプが出来る所があると良いと思う。そこに遊具がある公園だと子供連れも楽しめると思う。前のキャンプ場の場所は遠すぎでした。
65・74	私は老人施設で卓球をしています。周りには学童や老人の仲間が居ますが、卓球の場所がなく、小学生達は西高校やお寺を利用させてもらっております。私の所も屋根が低くすぐ天井にぶつかりアウトになります。根室市の卓球は市技です。 出来たら卓球場を作ってほしいです。老人も卓球は手軽に出来るスポーツです。2、3年後に中学校が統一されるとの事、どうか一日中卓球が出来る場所を作っていただきたい。30~40台あればよいです。老人の願いを聞いてください。あと、パークゴルフも安く手軽にできるので最高です。
20	ロシア人やベトナム人の過ごしやすい環境づくり。根室へ移住した人への支援。若者の雇用促進。
60-64	水産の町根室は、今、サケ・サンマなどが全くと言って良いほど採れない。人口は、どんどん減っていくばかり、病院は新しくなったが、医師の不足で午前の診察だけ（内科など）。午後から薬だけもらいに行っても医師不足で午前中だけですと帰ってくる事が2回ほど。箱物は立派になったが、中身が十分に入っていない状態です。 夜は町を歩いている人は見かけないし、車もほとんどいない。仕事が休みに日は、遊ぶ所がないし、買物はやはり釧路・中標津へと行く人が多い。 息子は30才になり仕事を継いでいるが、根室にずっと住んでくれるだろうかと不安になる。これからの希望は若者たちが根室に残って頑張してほしい。
30	ニ・ホ・ロをもっと活用した方がいいと思う。すごく綺麗な建物だが、何のための施設なのか知っている人は少ない。催し等があっても広告が少ないため、終わってから知ることが多い。 道路工事は必要な場所にするべき 緊急時避難用の階段（津波対策）を作ったのなら、冬は雪かきをしてほしい。 落石の保育所が新しくなったが、これから人が増える見込みはあるのか。 子育て中の主婦の声を聞くと、根室に必要な社会教育が見えてくと思う。
50	・スポーツ宣言都市とうたっているが、スポーツをやる施設がない。宣言するだけなら、だれでもできる。 ・何もしない市役所は何をやっているのか少し考えてほしい。
40	下水道料金、何とか少し下がりませんか。一人っ子の家庭にも優しくしてください。
60-64	一般市民のボランティアはお金がもらえない。同じイベントで手伝いをしたら市の職員はお金もらえる。これでは一般市民のボランティアはいなくなる。そういう差別がある以上益々ボランティアに参加する人はいなくなる。人は人、自分は自分と考え社会の活力がなくなってくる。市職員は手当を返上してはどうか
65・74	・調査票をもっと細分しても良い。・項目を一つ選ぶのは無理

年齢	問 22 意見・提案
30	観光客誘致に力を入れてもらいたい。特に駅前の活性化（イベント、商業施設等） イベント：たとえばにぎわい祭りのようなビアガーデン等、観光客問わず、市民も足を運びやすいイベント（クリスマス、イルミネーション等）
30	・根室のような気温が低い町では公園よりゆめの森公園のような室内で遊ぶ場所を作るべきだと思う。 ・市立根室病院がせっかく新しくなったのに医師不足で結局釧路の病院に行く人が多い。 ・市外の人が集まるようなイベントを増やすべき（道東でイベント実施日が一緒になる時も。数少ないイベントなので一緒にならないように話し合してほしい） ・シングルマザーになった時、おむつ無料券が配布されておりありがたいですが、店に渡す紙に母の生年月日・住所まで記載する必要がありますか。名前・電話番号はしょうがないとして、マイナンバー制度導入されているなら、有効活用してほしいです。離婚の原因は様々なので、他人に住所を知られたくない人もいます。 ・市役所→海陽亭→イオンの坂、一方通行ならもう少しわかりやすく表示してもらわないと、春に転勤してきた人が多い4月は特に逆走している人が多い。
65-74	まちづくりには資金が一番だから、なかなか難しい。時代の半歩位先を見ないと。せっかくのアイデアやお金が無駄にならないことを願っている。人はすぐ飽きてしまうから、長い間使っていていいと思えるものが思い当たらない
18	大学進学、就職で地方に出ていきますが、出身がここで良かったと思える根室にもっとなってくれば良いかと思います。人口が増えてもっと活発な根室に、学生であることを利用して、ここにいる間に何か貢献したいと思います。
40	まちづくりにおいて根本的に根室の人口減を減らす。それなしには少子化等の問題は改善しない。人口減は高齢者の他都市への流出があり高度医療の充実が不可欠になってくるので結果、医師確保が重要課題。また少子化問題は根室だけの事ではなく国の重要課題であるので、ネグレクト等貧困児童の対策として義務教育機関の給食費無料を根室市として行う。現在市財政に直結する水産業の疲弊により家庭単位での貧困が水面下で広がっており、そのしわ寄せが子供への養育に悪影響を及ぼしている。もちろん、雇用問題も対策が必要だがまず早急に実施できることから行うことが先決と思う。 その雇用について、根室の地形から交通の問題もあり難しいと考えるがその地の利を生かした観光に突破口を見出すのが最善と思う。「北方領土」「最東端」に依存するのではなく、違った魅力を発掘、または作り出し新たなアプローチで根室を上げて発信していく。そのためにある程度時間をかけ成功している他都市の情報を集めるなどして精査して根室独自の観光戦略を作り地道に実施していく。観光客が多く訪れるようになれば雇用も少しずつ改善していき、水産業のダメージを軽減できるのではないだろうか。
20	子供の遊べる場所の整備や遊具をもっと増やしてほしい。 道路とか信号とか余計な所は直さなくていいと思う。災害（地震・津波）対策を先にやるべきだと思う。
40	市職員の熱量、やる気が低い。活気を戻したければ市民の協力も必要だが、それに見合った職員の意識が少し低いのではないか。他機関頼みが高いと思う。口だけ出して手は出さないというのは将来良いことは期待できない。もう少し市が頑張らないと。皆見ている。
20	交通網の確保をしない限り、外から人が入ってこないと思うので、より活力のある根室市にするためにも早期の高速道路の建築や既存の交通網をなくさないための企業等の誘致活動をするべき。 また、娯楽が少なく、寂しい感じがするので娯楽施設も出来ればよいと思う。
50	子供・高齢者に優しい町作りを未来に向け、終末に向け、人生設計が見えるような形を市民・行政一体になった町作りをしてほしい。
65-74	新たな提案はわかりません。71才となり残りの人生10年元気で散歩したり、家事ができることを願っている次第です。4月から寿大学に入会させてもらい、月2回の勉強会を有意義に過ごします。旅行にも行ってきました。「ワーク・ライフ・バランス」の実現です。
40	大規模な避難訓練。子どもの幼稚園の避難訓練に参加したが、駐車のマナーの悪さや真剣度の低さ（時間より早く集まる、かなり遅く来る、混むのを避けるため）などにとても驚いた。実際に災害他起きた時の事を考えると、二次災害が確実に起こるだろうと思った。もっと真剣に災害（地震・津波）について考えた方が良いと思うので、大規模な訓練があるとよいと思う。そして、子供の幼稚園では大きな地震などが起きた時には子供をすぐに迎えに行くとなっているが、公共性が高く（市役所、教員、消防、警察）、すぐに迎えに行くことが出来ない両親の場合はどうするのか等、市全体でのマニュアル作りが必要だと思った（現在、すでに市のマニュアル通りだとしたら、不備があると感じる）。他地域から入ってくると、防災対策が最も気になる場所です。

年齢	問 22 意見・提案
30	ふるさと納税の有効活用をしてほしい。地域イベントの実施、観光事業等が充実してほしい
20	市外から親や友人が根室に遊びに来た時に、自信を持って「ここは楽しい」と紹介できる場所や物が見当たらない。どこへ行くにも遠い。帰ってくるのも遠い。せめて市内に一つだけでもいいのでファミレスが欲しいです。家族で気軽に食事ができる場所がありません。
40	水産が悪いことで根室市全体が歪んでいるように思える今までの水産に頼る事が望めないので本気で対策なくして今後の根室市は危機的だと思う。子供を産み育ててもほとんど地方に行かざるを得ない状況では人口も減少する一方。新しい風が必要です。表だっては出してないだろうが市役所、消防などはコネ無では就職できずと声も多くせっかく戻った子供達が地方に行く事になっている事を知っているのかと思う。子供は大切な財産です。根室に残り根室で生活できる環境を最優先に考えるべきだと思う。
75	1.ふるさと納税資金の効果的活用：透明性と永続性、地元産業への貢献 2.明るく、きれいな街づくり： 道路、街路樹、緑地帯、花壇、公園
50	若い人達が大学等で町を出ても仕事がなく戻ってくる人は少ないように思います。結婚や子供を持つという事にもあまり希望がない若者も増えているようだし、どんどん町を出ていく人も多くなっているようです。市内の病院では、手術も出来ない病気も多いようだし、魚もとれなくなったり給食費の滞納も多いらしいし、どうしたら、もう少し明るく住みよい町になるのかと時々考えたりもします。
18	古くなった浄水場の建設費用の一部にふるさと納税を使うことはできないのでしょうか。せっかくたくさんの方のふるさと納税があっても市民全員がありがたいと思えることがありません。水道はどこの家庭でも必要なものです。根室市の水道料金はとても高いと思います。市民の負担を減らす事も考えるべきだと思います。
20	まちづくりというのは何はともあれヒト。毎年のように人口減少をしていてまちづくりも何もあったものじゃない。まずは人口を増やすことを何よりも優先すべき。そのためのひとつとして、根室市でこどもを産めるようになったのは本当に喜ばしいことと思う。やはり、こどもを育てることに対して手厚い支援がない町は若い世代が去っていく何よりの原因。こどもを安心して産める、そして育てる、そうじゃないと若い夫婦が腰を据えられない。 なので、これから根室で子育てをしていくであろう若い夫婦に対する支援だったり、特典だったり、こういうのを手厚くすべきだと思う。家を建てる若い夫婦いらっしゃい！と諸手をあげて大歓迎する町の方がずっと自分の家を持ってこれから子育てをしていく上で住みやすいと思う。 そして医療の充実。何かあったら結局釧路。根室にあんなに立派な病院があるのに何で大きな病気かかとも思うと釧路となるのか。それは結局何かあれば釧路に行かざるをえないとみんなが思っているから。箱が立派でも中身が伴っていないければ何の意味もない。 イベントが～、ボランティアが～、生き甲斐が～も結構。だけどそこを話すより前の段階こそ大切だと思う。
60-64	高齢者が車の免許を返上してしまうととても不便になります。バスの本数を増やし、小型化し、料金も安くしてほしい（100 円位） また根室市立病院の医師の確保をお願いします。
60-64	脳疾患の患者が釧路転院搬送で救急車で運ばれるケースが非常に多い。またドクターヘリの回数も非常に多い。どうして市立根室病院に防災ヘリポートを作らなかったか。防災ヘリポートを市立病院屋上や敷地に新設することを希望する。
20	私は 20 代後半ですが、高校生を終えると道内外に移住し、中々男女間の出会いがなく、若い間に結婚したいという人々が困惑していると聞いたことがある。婚活を 20~30 代未満限定で行うとよいのではと思う。私も未婚なのでそのような場を作っていただきたい。 パチンコ店が多すぎて根室=ギャンブルの街と捉えている。パチンコ店以外の公共施設、ゲームセンターの設立等も考えてもらいたいと思う。趣味の一致で若者同士、年上等と交友関係ができるメリットもある。デメリットとしては勉強の低下もあると思うが、ゲームセンターの設立等を考えていただきたいと思う。 根室市の P R としては今はネット・SNS で売り込みが大事だと思う。 動画投稿サイトや「インスタ映え」「SNS 映え」を駆使することで更に訪れる方が増えると思う。
30	小学生の子供の給食の品数の少なさに驚いています。給食費を払わない人がいるせいであの品数になるなら、きちんと支払っている家の子、何も知らない子供たちがかわいそうです。いつもお腹をすかせて帰ってくるし、「足りない」という声も聞きます。育ち盛りの子供たちにもう少し何とかしてあげられないのでしょうか。飲み物とおにぎりを持参したり、児童手当から給食費を差し引くなど。 土日になれば出張医がいて、市立の医者は何をしているのでしょうか。どうして他の病院から医者に来てもらわなけれ

年齢	問 22 意見・提案
	ばいけなんでしょうか。土日に出張医に来てもらっているという事はそれだけ税金がかかっているという事ですよね。根室に住んでいながら全く自分が住んでいる町を信用できていないし、子供に高校を卒業したら出て行ってほしい。他の町に住んで欲しいとも思ってしまう。
30	根室に住んでいる子供たちが安心して遊べる施設（屋内・屋外）を作ってほしい（運動公園や明治公園内に作成して）
30	・仕事のストレスを発散できる場が少なく、若い人が住みにくい。 ・病院の医師不足が深刻。 ・サービスの良い店を経営してほしい（店員の態度が悪くてもう行きたくないという思いを多くの人が経験している） ・漁師町ならではの熱さ、こだわりを人にぶつけるのではなく、団結して根室を作り上げてほしいです。 ・娯楽を求めて中標津や釧路に行きがち、根室にも遊べる場所が欲しい。
20	他の町にはない良さを持つ根室です。どこかの町を真似するのではないオリジナルのまちづくりをお願いします。期待しています。
40	自分の家庭の問題として、子供学力の低下、高齢者の老人ホームの金額の高さ、質の良し悪しに悩んでいる。周囲に相談しているが、理想通りのサービスはない。時代が変わり、それぞれのライフスタイルも変わる。根室市ももっと住みやすくよくなるよう頑張してほしい。
40	将来の根室の事を考えれば、子育て世代への優遇をすべきだと思います。給食費をなくすなど。安心して子供が産める根室にしてください。道外から来て驚くことばかりでした。ふるさと納税のお金の無駄使いをしないでください。年寄りはずで年金など優遇されていると思います。
40	・国道沿いの壁絵そろそろ塗り替えてください。 ・市職員は他市県から採用しても優秀とは限りません。市民から採用して下さい。 ・市役所建て替えカリフォルニアしてください。カッコ悪いです ・根室は美味しい食べ物もスイーツもあります。商品開発も良いけど今ある物をアピールしてほしい。
65-74	進学などで根室から出た方達が将来的に根室で活躍できる町になれば良いと思います。今回のアンケートで子供の事に関する状況を知らないことに気づきました。
40	市道のあちらこちらで穴が開いているので、散歩すら危ない。車は穴を避け、歩行者の側でも通っていく。直す姿勢も見えず数年。見えない所より、まずは見える所からやって欲しい。
20	基本的に自分のために自分で何かしていこうという開拓心がなければこの町の未来はないと思う。誰かがやってくれる、金を出すのは市だという親方気質の抜けていない今は何をやっても厳しいのではと。 これから根室を支えていく世代に生きがいや達成感をつける取り組みが最重要なのは。どうせ市に言ってもやってくれない、出来ないなら、自分たちで何とかしようという人を大切にすべき、見習うべきでは。 子供たちに「根室はダメだ」と意識づけているのは親です。お金のかけどころを検討しなおすべきでは。
65-74	根室市は厚床から歯舞・納沙布地区など広い範囲を統率しなければならず人口も年々減り、市の財政も赤字続きのようですが、市役所へ用事で行くと諸経費を抑えるために暖房費を節約したり少しでも頑張っている様子はうかがえますが、職員数が区部所に多いように見受けられます。今は、コンピューター等で処理できる時代なので職員数の削減をし、親切、丁寧、笑顔で対応して頂けるよう願います。根室市を同じような問題を抱えている街は多いですが、そんな市町村と意見の交流、会議などを開催したり、市議員等派遣して見学などを行い、市民の代表者の各議員の良いアイディアなど出し合い、まちづくりに貢献してください。各市議会議員の活動はあまり見られないような気がします。市長ももっと市民に親しみやすい人格を持ってほしいと願います。（例：市役所の業務が始まる時間、30 分でも戸口に立って用事で来る市民に挨拶するとか。市長の笑顔のポスターを貼るとか） 市内はこじんまりしているので、お店が市内のあちこちに点在しているから、駅前から国道に沿う形で商業施設があり、買い物客も散策を楽しめるように計画できたらと思いますが無理でしょうか。 人口が少なく、各地に点在している難しい地域で何をやっても今後進展が見込めなく、あきらめ状態。
65-74	根室に住んで 70 才になりますが、若い人が少なく、子供をあまり見かけない。子育てのしやすい街、若者が定着できることを願います。市立病院もせっかく立派になっても医師不足で地方は皆悩みの種ですが、安心して暮らせる根室を望みます。根室は本当に住みやすい街だと思います。美味しいものはたくさんあり街の人の人情味ある触れ合いも格別なものがあり、田舎の独特な雰囲気があり、根室育ちの私には嬉しい。春のサケマス漁も沖合の大型船の出漁がなく根室の町の活気がなくさみしいです。夢ももう一度と街を挙げて何か無いものなのでしょうか。 四島一括返還はないでしょうが、二島でも戻ってきたら根室の街は全く違うでしょう。市民をあげてぜひ根室一丸とな

年齢	問 22 意見・提案
	り明るい街にして頑張らしましょう。皆で取り組んで何かできることはないでしょうか。仕事がないとはいえ選ばないと なんでも仕事はあると思います。働く喜びを味わって市議員も削減して良いと思う
30	市民の声が届くと思っていません。高齢者より子育て家庭ではないですか。1人親家庭ばかりが裕福なのはなぜですか。 もっと運動したいのに場所がありません。仕事終わりにセンターなど行くと学生たちが占領しており、社会人が出来な い状態にあります。どうかしてほしい。根室代表チームで大会でていますが、練習不足で負け、市の人からもっと練 習をとられますが練習場がない。もっと気軽に運動できるよう、学校開放を増やしたりセンターの割り当てを見直す べき。体育館を使用するのにお金をとるとか意味不明。運動したいだけなのに。仕事しているのに場所取りのために2 時間前に行くとか辛すぎる。根室ははっきり言って住みたくない街。ふるさと納税はどこへ。
40	何をしても何も変わらないのにアンケートをとる必要があるのでしょうか。病院はきれいになったが働く人たちの教育 がなっていない。今、小学生のうちから登校できない子供達が増えています、先生達の対応がなっていない。何か言 うとすぐモンスターと呼ばれる。不満だらけです。自分の子供には根室で働かない事を勧めています。こんな事を書い たところで読むかどうか分からない。はっきり言って意味がない。
65-74	①観光都市宣言をしているようですが、駐車場等の整備（チャシ跡群への観光が増えているが、バス等を駐車する場所 がない。トイレの整備が少ない） ②札幌へ行く時（鉄道で行く時）釧路で乗継するが、エスカレーターのある場所でなく5番ホームに到着する便がある。 これから足腰大変になるのに汽車に乗り込んでいくのは大変になる。以前釧路局と話し合いで1番ホームにつけていた だいたことがあった。身体の不自由な方にも優しくして頂きたい。 ③市職員も議員も各活動やバス、汽車等に乗ってみたり、職についている時に体験してみるとまちづくりに役立つの ではないかと思う。 ④根室のお土産（小さめ持ち歩きしやすい）の開発と駅前に市場があったらいいと思う（体験できるもの）
30	夫婦のみで子育てしているものです。今、幼稚園に通うようになり時間がとれるようになりましたが、0~2才の間、も う少しい時預かりの条件が緩ければと思うことがありました。病院、歯科、美容室など母一人の時間をとるために父に 仕事を休んでもらうわけにはいきません。24時間母子一緒の毎日は心がとげとげしてしまうものです。預け先の選択肢 がもう少しあればいいと思います。今の市の状況では今後の出産に不安を感じます。 根室は春になっても晴れず、寒いです。外遊びをさせるのにはためらってしまいます。暖かい地域に比べ運動量が少な いのだと思います。体育館を利用しようと思っても幼児が安心して遊べる環境ではありません。室内で思いきり体を 動かせる場所があればと思います。市内以外からも人が集まるのではないかと思います。
20	最近、高齢者の車での事故が多いので、免許返納推進と返納後の交通面のケア(市内バスの運賃のシニア割を行う)等をし てあげてほしい。 空き家対策。野良猫が住みついたり、街の景観に対して良い作用は働かないので、もう少し安くして誰かに再利用して もらうとか何かしら対策した方がよい。 部活OBが顧問をつとめてみてはどうか。現状部活を負担に感じて教師を辞める人が多いそうです。その負担を減らし てあげるだけでも少しは学力向上に繋がるのでは。未経験者が指導するより経験者から学ぶことの方が部活に関して 多いと思います。ボランティアにしてしまうとやはりやりがいが無くなるので。学校に顧問として派遣、準雇用する事 業を考えてみてはいかがでしょうか。
40	まずは、市長が市民(子供やお年寄り)に気軽に挨拶を笑顔でしていかないといけないと思います。市役所の偉い方はいつ もむさい顔をして仕事をしています。市役所の雰囲気が非常に悪いです。良い街づくりとは皆が過ごしやすい地域づく りをしなければいろいろなイベントをしても良くなりません。一生懸命頑張っている人も中にはいます。 給食代の問題。良い家に住んで良い車に乗っているにもかかわらず低所得なのか。根室の今の父母は皆やっているから よいのだという所が一部にあります。どうかかならないものかと思っています。文句ばかりですみません。今後の根室は子 供を皆で育てて活気ある町にしたいものです。
50	水産業の衰退、医者不足等々、右を見ても左を見ても、見通しは暗いです。せめて、根室市民の心は豊かで笑っていた いです。気温は低く、ウォーキングをしたいと思ってもなかなか続きません。学校の体育館を開放したりサークルの充 実等あれば良いと思います。
50	第一次産業が低迷しているのに、何もやりようがない。いっそのこと「市」ではなく、「町」になった方がよいのではな いか。何もかも他市において劣っているのが現状である。せめて、暮らしやすい町づくり計画、根室市民の意識改革が 必要と思われるが、右を向いても左を向いても老人などの高齢者しかいない。

年齢	問 22 意見・提案
	運動公園に行っても老人しかいなく、我が物顔でゲートボールを真中で行っている。漁師が主体の町で、国がお金を払って漁をさせてもらうのが当然と思っている節がある。一部の人達だけが良い生活が出来るのではなく、皆が全般に福祉・医療・教育など十分に受けられる生活、当たり前を受けられる町づくりが必要と思われる。
50	病院に急患でかかってでも患者が安心できる処置をしてもらいたい。
65・74	1.冬季の体力維持としてカーリング場の新設 2.チャシ跡群の観光整備とガイドの育成 3.健康促進を育むウォーキング（ランニング）場の整備 4.高齢化、人口減による町内会の統合（運営が困難） 5.防災意識を高めるため、モデル町会を指定する。
20	根室に来る前は函館（鹿部）にいたが、どこの病院に掛かってでも子供は高校生まで無料だったが、こちらは小児科に掛かると毎回 580 円かかるところもある。3 歳未満はかからないのではないのか。子供の病院代だけでもかからないようにしてほしい。夫のいない所や稼ぎの少ない所は 580 円だけでも相当な負担になる。聞けばオムツ 2 年無料の所もある。それくらいしてくれないと根室の少子化はもっと進むと思った。根室に定住させたいのならいらない道路を直すくらいなら、税金を下げたりそれこそ、子どもに対してもっとやるべき。
50	①各団体など根室のために頑張っていますが、話が小さいまま大きくならない。市民に関心を持たせるぐらいアピールしないと。 ②根室は市をアピールするのが下手。 ・とんねるず等根室の歌があるのに観光利用しない。 ・ゴジラが来た町、なぜアピールしない。
20	子供ともっと遊べるところが欲しい。 どういう所がないから根室はつまらないと思うことが多い。
50	仕事がありとにかく住みやすい根室にしてほしいです。生活が本当に苦しい人に目を向けて相談日や口の堅い人にまわって歩いてほしいです。病院に行くのにもお金がなく困っている人がたくさんいますから日に一回ずつでも相談日を作してほしいです。
75	①北方領土問題、自治体と引揚者諸団体と一緒になってもっと積極的に国へ働きかけをするべきである。 ②領土問題と一緒に漁業への影響を考えて経済活動にもっと力を注ぐべきである。
65・74	一人一人を思いやる事が出来る町根室を！高齢者が増え買い物ができない人、病気になっても援助してくれる人がいない人、お金がなくて出産できない人、具合が悪いのに長時間待たされる人、書類が書けない人等、数限りありませんが、その声を真剣に聞くならば良い根室のまちづくりになると思います。 頑張ろう 根室。
60・64	ゴミ（空き缶等）を道端に等に捨てる方もまだ多いので教宣してほしい。また、ゴミを見たら拾う行動ができる市民でありたい。
40	何から何まで実施するのではなく、根室市全体の取り組みを市民に示し、一つの目標へ全分野が一緒に進んでいければよいのかなと思う。
30	子供が遊べる施設が少ないと思います。小さい子が遊べることはもちろんですが、小学生など放課後に遊べるような地区ごとのちょっとした公園や児童館がありません。休日も遊び場を求めて、車で市外へ出かけます。今まで、住んできた街の中で断トツに子育てしにくいです。中標津の「ゆめの森公園」とは言いませんが、雨でも雪でも晴れでも無料で利用できる施設は子育て世帯にとっては重要です。 学校教育に関係するかわかりませんが、給食について意見あります。うちの子は成央小に通っていますが、献立に納得いかないというか、変だと思います。 「パン、麺類、デザート」みたいに炭水化物が多かったり、「ご飯、汁物、きんぴら」の日もあったり、「肉のおかず、肉のおかず、パン」の日も。費用や施設の問題もあるかとは思いますが、一度見直されてはどうでしょうか。 九州から引越してきましたが、以前の学校はとても充実した内容でした。 差がありすぎてびっくりしています。ご検討よろしくお願いします。
75	魚のとれる町
60・64	議員の一般質問は議員個人の思いでの質問が多いように思われるので、一般市民の意見が反映されていないと痛感して

年齢	問 22 意見・提案
	います。 このような意識調査を広く進めていただきたい。
60-64	若い人を育てる町、活性化、明るい人生を送れる町。
30	・天気が悪い日が多いせいなのか、街全体に活気が少ない。活気が出る取り組みをもっと考えしてほしい。 ・せっかく魚介がおいしい所なのでそれをもっと活かして他地域にPRした方が良い。観光客を呼び込むための施策を考えるべき。(たとえば地域マップ(根室の街の魅力を詰め込む)を作って、観光客に来てもらえるようにするとか)
20	根室市に限った事ではないが、子供(小学生など)が小さいとか病気がちだとなかなか仕事が出来ないので(仕事も見つからない)大変なのかと思います。 周りにいる方が助けてくれるなら良いかもしれないけれど、誰にも頼ることが出来ない人も中にはいると思うのでその辺りの事も少し考えてもらいたいです。
40	高齢者の多い地域なので、経験豊かな良識ある方々の知恵や時間を未来ある子供達の教育に活かしていけたらよいです。ゲームをプレゼントするより、工夫や活用の仕方といった考える力を伝えていける場として、子供とお年寄りが一緒に遊べる場があっても良いかと思います。 昔の「かみなりおやじ」や「おばあちゃんの知恵袋」がみられる場所で、悪いものは悪い、だめなものはだめと。理屈抜きで叱れる大人が少なくなったのは、今の時代の風潮におびえすぎる大人が多く、子供の前で堂々とふるまえないからではないかとしみじみ思います。私が幼いころ、どうしても覚えられない九九の段を根気よく何日も付き合っ教えてくれた児童館のおばあさんがいました。今も忘れません。学校の道徳で、地元のおじいさんに教わった稲わらの草鞋の作り方が、その手の動きにくぎ付けになった日を忘れません。 おとり寄りの温かい雰囲気の中で思いやりや優しさを学んでほしいです。
30	中標津のゆめの森公園のような雨が降っても遊べる施設の建設を要望します。
65-74	これからの根室市の主産業は何か、例えば水産業だとするならば、ただ単に獲る漁業ではなく育てる漁業、しかも温暖化に傾向する自然環境を先取りした、新しい魚貝類の養殖や漁獲物の高次加工化により少ない量でも採算の合う産業の構築が必要ではないか。 根室のまちを高齢者の介護や医療従事者を育てる学びのまちとして教育産業の育成や学校の誘致などが喫緊の課題でないか考える。
20	医療体制が酷すぎる。田舎で医師が来ないのもわかるけれどそれで命を落とすなんて悔しい。もっと医療格差を無くさないで老後この地域に居たいとは思わないし、今後不安が募ります。
65-74	年金も満足にもらえないのに市役所は税金の集金に来る。体質に不満。 除雪した雪を除雪車が玄関に押し込むような除雪はやめてほしい。
30	海外からたくさん水産加工場に研修生がきているようで、それはいいのですが、その人たちを労働力として頼りきりになると、彼らなしでは根室の水産関係が成り立たなくなってしまう時が来ると思います。並行して日本人の労働者にも技術を伝承していく事が大事だと思います。 私は根室出身ではありません。外から来た者として思うのは海産物はどこにも負けないと思っています。今後もそうあってほしいです。
30	接客業などで店員さんのマナー態度が悪すぎます。これは、昔からの根室の問題でずっと不満に思っていました。最近では挨拶ができない人やマナーを知らない人が多すぎる気がします。これは小さな頃から学ぶことであり、社会人になってから学ぶことではありません。仕事以前の話です。 人への思いやり、周りとのルールを守っていくことでより良い環境が整うのではないのでしょうか。根室市全体の(民間企業なども含め)総合マナー講座、育成などのイベントがあっても良いと思います。
30	外から入ってくる貴重な人材を最大限に生かし、昔からこうだという慣例は排除していかないと根室は変わらない。私も根室生まれですが、中高大と市外で学び、就職してからも市内外で働き、現在は8年ほど根室市民ですが、閉鎖的とまではいかなくても、縁故採用で根室に残ったり、大卒でも根室出身の人が市役所に就職したりして、結局は狭い世界のように感じます。せっかくの水産資源も生かせずに衰退してしまうのも、外のものを取り入れない風習にあるような気がします。獲るのが厳しいなら育てることに力を入れたり、創造力のある若者を育てていかないと資源ばかりに頼ってしまうと衰退の一途をたどることになるような気がします。どこの小学校も学級経営や保護者対応が大変だと聞きますし、そのような環境だと他の児童も力が付きません。学校には学力向上補助教員よりも生徒指導補助の人材が必要だと思いますし、働き方改革とはいえ、先生方の平日の勤務時間は改善されていないと思います。未来を担う子供たちを

年齢	問 22 意見・提案
	育成することを第一に子育て支援、保育、教育に力を入れ、根室をしっかりと支えられる大人が増えてくれることを心より望みます。
40	街路灯、防犯灯が少なく、あっても暗いので、子供たちの帰宅時が心配です。自転車に反射材を追加したり、小型の懐中電灯を持たせていますが、事件・事故が心配です。被害者にも加害者にもならないよう街路灯、防犯灯の整備を希望します。
30	障害児の高校進学について、隣の町や市まで通わなければならず、親の負担が大きい。根室市内で通学できるようになれば、選択肢が増え町の活性化につながるのではないだろうか。
65・74	市役所のホームページが見づらくなった。トップページに根室の写真があって、さわやかな感じで好感が持てるが見たいページがどこから進むのかわかりづらい。先に進んでも全体的に白っぽくて背景と字の色の差が見えづらい。 子育てする方々に重きを置かないで欲しい。病気などで子供た持てない方はたくさんいるはず。ホームページ全体で子育て万歳という感じを受ける。 まちづくりは施設等のお金をかければよいのではなく、一人一人の態度も良くすることだ。
20	子育て環境（施設）の充実について ・現在の子育て支援施設は予約が必要であったり、予約が不要であっても駐車場が不足しており気軽に行けない。子供の体調・機嫌に合わせて行けたらと思う。 ・遊ぶ場だけでなく健診会場も駐車場が十分ではない。予防接種や子供の対応の事など直接話したいとき市役所へ行くのも勇気がある。子供の事ならあの建物に行けば相談できる、見てもらえる（はいはいとか）、あの建物の電話にかければ聞けるという場所があればと思う。 今は、子供の相談先や手続き先、集う場、検診の場などの場所がバラバラ、遊戯施設にとらわれず、子供の事をまとめた施設の構想はいかがでしょうか。
20	観光振興、地域おこし事業について取り組みが中途半端。外部の人材に頼るのは良いが、市役所職員の「本気」が感じられない。本気を感じたら、知識・技術を提供する側も全力で取り組みます。
40	全国的にも少子化で仕方ないと思うが、雇用がなく高校卒業、ほとんど根室を離れていく。水産業も衰退、観光客も日帰り状態、医療もドクター不足で交通費かけて釧路や札幌に。田舎に移住したい人がもっと来られる魅力ある街にしてください。
20	・年齢を問わず政治（行政）に参画できるような街づくりを望みます。 ・少子化により通学区域が広がるのはどの自治体の課題でもあると思いますが、小中学校統合に際し、スクールバスの一層の整備が求められていると思います。（小中学校での下校時刻には差があるため） ・給食費未納の問題がありますが、未納根絶のため銀行振り込み制度を導入したら良いと思います。並行しておかずをもう一品増やすなど児童生徒の健康について、常に考えてもらえればと思います。給食費(中学生は一食 257 円位でしようか)と品数が見合っていないと思います。 ・小中学校統合に向け、義務教育学校にするのか、単に普通校にするのかの見通しが甘いと思います。そのような計画では誰も得する人がいないと思いますので、今後改善をお願いしたいです。（厚床中学校の一教員としての意見）
30	何事も閉鎖的で理屈っぽい職員対応が嫌。職員研修を若い人だけでなく全員がやるべき。保育園の運動会日程を日曜で検討してもらいたい。
75	これから(外人を含む)観光客が増えると思うが、その人たちが気軽に土産等その地で購入できる商店街を整備すべきである。（たとえば釧路の和商市場等を大いに参考にすべき）
50	市内の交通網、特にバス路線が不備である。循環バスなどの充実が大事。便数も足りない。高齢化により車の運転が難しくなるはず。
60・64	知人が光洋町に住んでいます。光洋湯がなくなり風呂難民になりました。週 2 回のバスが出ていることがすごく助かっているようです。 素早い対応に感謝しているようです。今後は一日でも早い住宅の建て替えを希望しています。
40	・鉄道を残してほしい。 ・病院の充実。
30	保育所に通う子供がいますが、休日遊べる場が少ない。室内で(雨でも OK)イベントなどが少ないためどうしても別海や中標津、釧路まで行かなければならない。公園は色々あるが、アスレチック等は一か所しかないため次第に飽きてくる。もう少し増やしてもらえるとありがたい・

年齢	問 22 意見・提案
	高齢者用にお金を使うことも大事だが、子供たちが元気よく伸び伸びと楽しめる何かあればいいと思う。 あと、不妊に関することでも充実してほしい。子供が欲しくて悩んでいる女性は多いと思います。根室ではなかなか難しいのかもしれませんが、子供を増やしたい思いはありますので、女性が気を使わず相談できる場があればと思います。
20	医師不足の解消と神経内科を置いてほしい。
50	私は光洋町に住んでいますが、新しく建てた光洋団地の方は道路が整備されているが、昔からある手前の公住の道路は全く整備されておらず、近くの住人が不便を感じています。公平に道路を整備してほしいです。
40	子供の遊び場が少ないです。中標津のゆめの森公園のような場所があるといいと子供が小さい頃には良く思っていました。なかなか難しい事だと思いますが、根室には遊び場がないため釧路や中標津まで出かける事が多くなってしまいます。食事をする所も少なく子連れだと行きづらい所ばかりです。
75	82 才なので、自分の事だけでも大変です。
30	子育てにもう少し力を入れてほしい。遊べる娯楽施設がない。外以外どこで遊べばいいのか。 3 歳を過ぎてからの医療費が高すぎる。出産にあたって 3 万円程度の交通費で足りない。
75	根室市の人口減が続くようになり、若者が少なく高齢者の多い町になってきました。今年は市長も交代となる予定で新市長への期待は大なるものがあります。 北方領土の返還はまず不可能に近い状態なので、漁業権の確保に力を入れてほしいものです。漁業に従事する若者が増える事に人口増にもつながり、おのずから町の活気にもなると思います。 また、空き地利用にビニールハウスによる野菜栽培で無農薬野菜作りを奨励してはいいかかと思っています。自分は高齢者であり、特別夢のような生活は望みません。市民皆が普通の生活が出来れば良いと考えます。
40	中学校統合について、市の見解を早めに示していただきたい。
65・74	今の根室はどうなっているのでしょうか。今後とっても心配です。生活も大変な状況です。皆どんなに頑張っているのかと思います。今の根室では子育てがとても大変だと思います。家族で買い物も楽しいでしょうけれど、もっと素敵な公園があったら、根室が良かったと今の子供たちに思ってもらえると思います。
65・74	・根室市は人口が少ない割に、離婚率が多くて満足に働けない父親や母親がいると思います。そういった人達のための子育て支援をもっと充実してもらいたい。(仕事が終わるまで預ける場所とか) ・高齢者のための施設が少なすぎる。
40	行政主導のまちづくりから市民の意見をもっと取り入れるまちづくりを目指してほしいです。
40	安定した仕事だが病気のため仕事に追われている。 子育ての両立に悩んでいる。どこに相談していいのかわからない。そんな余裕のない人が他の事(街づくり)とか考えられるだろうか。 不自由な身体でも参加できる何かを教えてほしい。
30	ロシア 200 海里的の鮭鱒流し網禁止とさんま不漁により根室市経済はかなり疲弊しています。北方四島共同経済活動も前に進んでいるとは言えず、このままでは人口減少が更に加速し、根室市は夕張市と同じ運命を辿る可能性があります。漁業者対策のみではなく、速攻性があり様々な産業に効果がある政策を望みます。
60-64	根室市の人口が、どんどん減少し街の中には空き地がどんどん増えて、すき間だらけの街になって来ているのがさみしく感じます。友人達も夫の退職を機に、子供達が住んでいる札幌方面へ移住するという事も現実起きています。私の家庭は、90 才を迎えた夫の父親と同居していますが、義父はとても元気にサークル仲間と過ごす活動を続け生きがいのあるゆったりとした生活を過ごしています。根室を離れるという気持ちは、主人も私も持っていません。主人は近年退職し地域とのつながりを持つ活動が出来る様になりました。私が望む事は、若い御夫婦が共に働きながら子供を育てられる環境があり老人が生活全般にわたり悩まずに老後を過ごす事が出来る環境がある。という事を望みます。
60-64	3. ふるさと納税等で認知されて来ているのを利用しもっと観光や企業の誘致に力を入れてほしい。 4. 鉄道においては釧路根室間はとてもすばらしい景観があるのでもっとまわりを見てほしい。地元人にはあたりまえ、不便となるが他県から移住してみてもすばらしい所が数多くあるので自然をそのままにした色んな面での活用してほしい。「灯台もと暗し」と他県及び外国への自然のすばらしさを発信してほしい。(漁業関係企業や生産者だけでなく)
50	根室は水産の町なのに新鮮な魚を漁業者が水産物を売ってくれる所がない！朝市があってもいいのでは？根室はけっこう山菜もとれますが、どこでもフキなどは見かけますが自然の物も何かに利用できないのか。根室に朝市があって根室

年齢	問 22 意見・提案
	の魚を買いに根室に行こう！ そんな根室になればいいですね！
40	・スポーツ施設の充実 ・スポーツクラブ等の充実 ・子どもの体力（運動能力アップのための活動等）学力のみアップしてもダメだと思う。 ・小学校の洋式トイレ化 ・老人施設の質の改善
60-64	花咲港の空き家の多いのに困ります。町の美化はひどいものです。風が強い所なのでどうにかしてほしいです。町の道はゴミだらけ、なんでゴミをポイポイ捨てるのかと思っています。子供達も遊ぶ所が少ないと思います。根室は寒い所なので室内に遊具があるといいと思います。中津別の（ゆめの森公園）のような所があると、わざわざ行かなくていいと思います。
18	学校や部活帰りに友達と遊べる場所やフードコートがないので作ってほしい。小中高ともに学校内が寒いので暖房を強くしてほしい。あと隙間風がふいているので直してほしい。特に中学校は外より廊下のほうが寒いので直してほしい。夜、部活帰りに外灯が少ないので一人で歩くのが怖いから外灯を増やしてほしい。
75	不便で住みにくく町に活気がない。
30	子育てしやすい環境がなければ、市外に転出していく人が減らないと思います。分娩ができるようになったとはいえ、上の子が面会できないなど聞いたら市外で分娩する人が多いかと。4人子供がいますが、根室での分娩はしていません。陣痛がきてからの長距離移動など不安しかなかったです。分娩再開はうれしいですが、その他の設備や体制の見直しが必要かと思います。第3子からの無料化も保育園は年齢関係なく無料なのに幼稚園は3才にならないと無料じゃないとか根室市だけではないと思いますが、平等に第3子以降は無料にしていきたいです。屋内施設（小さい子が遊べる所）なども1つでもあった方がいいかと思います。 ※自由に時間など気にせず行ける場所がほしいです。時間に制限があるとタイミングが合わなければ利用できません。
40	根室市に対して何も期待していない。こういった調査も意味があるのかと、いつも思う。市役所職員・市議たちはちゃんと目をとおしているのか？ 実際、この調査をしている事も知らない職員がいるんじゃないかと思える。やる気や向上心は、まったく見られない。まずは、中身から変えていく必要があるのでは？ こんな意見は、もみ消されるのでしょうか。
30	最近、人口減少のせいか街が死んでいる様に思います。（緑町商店街など）もっと昔のように活気あふれる街に戻る事を願います。他に、子供達の遊べるレジャー施設があれば良いな～と思います。子供達の遊べる所が、少なく市外に出て遊んでいる事が多いと思います。（中標津ゆめの森公園など）中高生なども行くところがないだろうな～と、いつも心配しています。小さなゲームコーナー？（ラウンドワンのような）ところがあるとまた楽しませてあげられるんだろうなと思います。
18	市民の意見・要望を根室市のホームページ等から気軽に行政へ届けられるシステムがあると良い。
20	水道料金が高すぎる。もっと多くの地域を知り、活かされる環境づくりに努めるべき
40	活気が感じられない、さびしいまちだなあという印象、札幌から来て2年目となりますが、残念な感じがします。食、自然、観光など魅力のある事が多くありますが、いかされていないように思います。
30	新たな道路や新たな施設などは必要ないと思うので、根室の素晴らしい自然を生かした町づくりをしてほしい。今ある自然、今ある施設に目を向けて、最大限に生かすような取り組みをぜひしてほしい。酪農家は離農する人が増えているが、そのまま牧場に住み続けるため次の若者への引き継ぎができず、周囲の農家が大規模化するしかなく、そのためスラリもどんどん増え根室の町まで臭いがきつい。素晴らしい景色が広がっているのに、車の窓を開けて走ることもできない。臭いも公害の1つだと思います。こういうことから若者は酪農へのイメージも悪くなり、観光客も悪いイメージを持って帰ってしまいます。積極的に新規就農者を増やす取り組みをしてほしい。そのためには、まずは離農者のフォローをしっかりとしてほしい。（農場を出て町中で暮らせるように）漁業も農業も持続可能なものにして、次の世代へつなげることが私たちの役割だと思います。
20	・夢の森公園みたいな子供が気軽に遊べる所がほしいです。（雨でも大丈夫な）明治公園の土地がもったいないと思います。 ・お祭りも企業側がもっと出やすく社員を出すようにすれば良いと思う。人が少ないのに、尚更減ってしまう。どこの祭典区も大人が少なくて困ってます。 ・納沙布岬のおみやげ屋さん、カニ屋さん、食事処を増やした方が良いと思う。せっかく時間掛けて来ても見る所がな

年齢	問 22 意見・提案
	い。霧で見えなかったりしたら、そっちで満足してもらえるようにしたら良いと思います。ちょっと子供が遊ぶ所でもあれば市民も行くと思います。 ・道の駅は、ひとつでもインスタ映えする食べ物があれば良いと思う。じゃらんとかに載せたらそれ目あてに少しでも観光客が増えると思います。
40	・市立根室病院職員の教育が悪すぎる。他の自治体を知っているからこそ、根室の教育レベルが比較的に見ても低すぎる。医療レベルの向上と並行して職員を札幌へ派遣し、長期研修を受けさせた方が良い。また会計後の処方箋を発行するだけの薬局？とやらが非常にわかりづらく無駄である。一般的に「薬局へ行って下さい」と言われたら、院外薬局だと思い込んでしまう。それでいて、院外薬局においては「処方箋がなければ受けつけられない」と病院に戻るよう言われてしまう。足の悪い高齢者や幼い子を連れた母などに戻らせるのは非常に酷な事ではないだろうか？したがって会計の前に処方箋を渡すか、薬局を無くすか、もしくは勘違いさせないよう丁寧な対応をさせるべきである。他の自治体の市立病院と比べて非常に恥ずかしい職員レベルである。先ずは、これを早急に行うべきではなかろうか。
40	・出張費をもらっておきながらマイカーで出張に行くのはありえない。
30	・子どもが、雨の日でも遊べる施設が欲しい。 ・病児保育に対応してほしい。保育料が多少高くてもいいので。
40	図書館前の道路やイオンの駐車場など、でこぼこな所をどうにかしてほしい。病院のいすの置き場が悪い、防火シャッターの下とかにあるとイザという時に困る。保育園に合わせて児童教室を 5 時 30 分までにしてもらえるとすごく助かる。
50	観光開発に力を入れ活気を出す、いい所があるのにもったいないと思う。小学生の子供がいますが、学習面でとても不安です。転勤族なので。
50	根室の人口の推移 1970 年 45,381、1980 年 42,880、1990 年 36,912、2010 年 29,192、2018 年 27,629、今までやってきた結果、このような人口減まらずは反省をして足りなかった点をみつけたほうが良いと思う。本筋と関係の無いふるさと納税で浮かれている場合ではないと思う。空港がある人口 23 千人の中標津に大学等教育機関を誘致し市役所を移転する。どのみち根室支庁がなくなれば根室には出張しかおかれなくなるのであれば、こちらの方が現実的ではないか根室市に中標津、別海をつきあわせる必要はない。
20	いち早く、子供向け屋内遊戯設備を進めてほしい。
30	子供・高齢者への対応をもう少し良くしてほしい。(金銭面や施設の充実) 税金が高すぎる(水道料の値上がりなど) 根室市内の賃金を全体的に上げるべき。
65・74	高齢者が多くなっていますが、これからの子供達が幸せな生活ができるように。
75	① J R 花咲線維持について 私は J R で時々釧路市内に病院に通院しています。根室から乗車は少ないです。車の社会で便利な自家用車のある方は J R 利用は無理です。 ② 根室市の人口について 大学専門学校に進学し地方に就職し、縁あってそちらの方と世帯を持つての方は、根室に U I ターン無理です。根室に安定した職場がなく都会に出ています。そのような人が多いです。 ③ 介護について 少子高齢化で高齢者世帯さらに独居世帯が多くなりました。高齢者が高齢者を介護する事も大変です。住宅の改造も出来なく介護施設が 1 番の必要です順番も公平に選んで下さい。
65・74	水産業に頼らない町作りをしてほしい。メインストリートだけでもきれいな町並にしてほしいです。
20	動物(主に犬猫鳥)に餌付けして増やすのをやめるべき。市で保護して殺処分すべき。害獣にしかみえない。人口が増えない限り道路や景観を良くしても意味がない。運動公園も無駄がありすぎる、遊具も少ない。グラウンドみたいないところが無駄。それなら野球場にしてほしい。何か極端な政策をしないと人口は増えないと思う。たとえば子供の待機児童をなくす。子供一人に対してすべて無償化。色々政策に手を出す前に一つ一つ処理していった方がいいと思う。市立病院を新しくしても人が変わらないと。愛想もない、率先して案内する人もいない。お金をかけるところが見当違いに思える。市民の税金だから使い方を全市民に伝えるべき、それが無いと市民の信用もないと思う。人口を増やしたいなら出産にお金をかけないとか。役所がもっと動くべき。何をしているかわからない。

年齢	問 22 意見・提案
30	個性はすでにあると思うので、根室に来る人を増やすために交通機関の整備が最も大切ではないかと思う。厳しいのは承知の上で、 ・鉄道本数の増便・バス（都市間）本数の増便・高速道路のインターチェンジ のいずれかが実現されることを願います。
65・74	年令を重ねると病気に対する不安が多くなります。長期固定の医師の確保と常時診療ができる体制にお願いしたい。
18	高校卒業後は、進学、就職それぞれですが、根室に希望は持てない。進学して帰って就職する人は何%いるのでしょうか。また就職もどれだけありますか。地方に比べて仕事内容、職種、子供が地方に就職したらいずれ親も地方へ。実際私も高校から地方へ出て根室へは帰って就職はしないと思います。でも、根室は好きなので。子供達が楽しく遊べる所があるといいです。
65・74	定年を迎えて、地方より親族勧めもあって 38 ぶりに故郷に戻ってきました。痛切に感じたのは緑町の商店街や外の町内の商店等もシャッターが閉まっていて、昔の面影が消えていて、とても残念で寂しく感じたことです。水害や水産業の低迷等でやむを無かったかもしれません。 反面、食料品や日用品の品物を購入する客が新しくできていて昔より使用しやすくなったように思いました。これから先難しいとは思いますが、若い人達が活躍できるような職場や環境が出来ればと心より願っております。
50	現在、少子高齢化でどの街も大変です。札幌などへ流出、年をとっても安心して暮らせたら。高齢者が入れる施設を増やして下さい。少子化も進み学校も統合されると空いた学校を使ってサークル、イベント様々、子供から年寄りまで使えるようにする。根室は第一次産業の漁業が悪いと特に人口の流出は進む。観光に力を入れて、地方から人を呼び込む。
18	・若者向けのお店が少なく居場所がカラオケしかない。 ・根室高校の課題研究という授業で商品開発部門が毎年、根室市の特産物を使って商品を作っているから、市全体で協力して、市の発展のために流通に乗せられるようにできればよいと思う。根室のイベントなどで売れば少しずつ有名になっていくと思うし地産地消をより発展させていけると思う。 ・病院にもっといい先生がいてほしい。 ・小さい子供を連れて家族で行きやすい飲食店（ファミレス的な）があったらいいと思う。 ・飲食店が多いから各店から 1 品新メニューを出してもらって（同じテーマで）それを各店のブースで販売し、人気投票するイベントがあっても面白いと思う。もっと新しいことをやっていくべきだと思う ・根室を良くするための事を大人だけで考えるのではなく、実際に若者の声を聞き、協力していくべきだと思う。学生でも「根室はもっとこうしたら良くなるのに」という考えを持っている人はたくさんいると思う。そういう一つ一つの声にしっかりと耳を傾ければ、いい案が見つかると思う。若者目線で新しいことにチャレンジし、それを継承していけたらよい。
40	若い世帯が子育てしやすいようなまちづくり。子育て支援、医療の充実、室内遊び場など
65・74	根室市の都市計画が失敗しているように見えます。市の住宅等、光洋町方面が新築されていますが交通の便、買物の便が悪く空きが出てくるように思います。
50	根室は良いふきが採れるので、ラワンぶきのように特産にしようでしょうか。エトピリカ号を利用して根室半島周遊しようでしょうか。
20	ワーク・ライフ・バランスは難しいことだと思います。支援が必要な人が家にいると、仕事に出ることも、それ程の収入も期待できないと思う。
65・74	町に子供の声が聞こえ、にぎやかさが戻って来てほしいです。若い人達も子育てが安心してでき町にしてください。
40	子育て支援をもっと充実させて頂きたいと思います。行政の方も大変だと思いますが、市を衰退させないためにもより良い市を作っていただきたいと思います。
40	防災拠点の整備が急務だと思います。特に市役所本庁舎など。
40	医療などは釧路市の病院の様に一人一人の命に大切に付き合える病院づくりが大事。客としてじゃなく患者として病に向き合う病院が少なすぎる。商業も釧路のトライアルの様な物価を安く、サービスできる様な店がほとんど無い。トライアルの様な店が根室にあったら最高だと思う。
65・74	根室市民として民生委員の働きが見受けられません。高齢化社会、一人暮らしの方が増えています。せめて、月 1 回くらいは安否確認に見回りしてほしいと思います。実際にヤクルトの方が室内で倒れているのを発見して一命を取り留めた例があります。自分の町内に一人暮らししている人が何件位いるのか、把握しているのでしょうか。宝林町の民生委員の方、しっかりしてください。一応お金頂いているならその分働いてください。

年齢	問 22 意見・提案
30	根室は交通手段が少ない。車で移動できない高齢者など多いのにバスの便が少ない。また、汽車も夜の便をまた再開してほしい。
30	将来根室の人口減が急速に進んでいくことが予想されている。まちづくり計画の基本は人口であり、どの程度を想定するのか。IT関連は地球上のどこにいても仕事が可能。根室は人が住みやすい環境づくり（道路・交通・医療等）を進め、他から人を呼び込むことが大切と思う。ふるさと納税の寄付金を無駄にしない使い方を希望します。
20	市民の意見としては、病院が新しく綺麗にできた所はいいですが、医師や看護師の不足については心配と思っています。根室から人が少なくなっていく中で、看護師になる為に学校へ行っても根室に戻ってくる人がいないと聞きました。看護師だけの話だけではなく、やはり問題は給料にあると思います。仕事の量に合わない安い給料ならわざわざ根室に戻ってくるよりは、地方に出て高い給料をもらい、勉強しながら働くこともできる。ここでは技術を上げられなく、何もやりがいを感じられない。帰ってきたところで、家を借りるにしてもどこも高く、なかなか家も見つからない。バスが通っている所以外だと車がない人だと移動の手段も困る。こんな悪条件のままでは、なかなか帰ってくる人も少ないのではないのでしょうか。今回は例え話として看護師の話を出しましたが、問題はそこだけではなく老人などにも同じことが言えると思います（年金だけで暮らしていく大変さ）まだまだ根室は住みにくい町だと思います。職業別でもいいので、市が企業に向けて給料の値上げ命令的なものがあればいいと思います。なかなか難しいとは思いますが、皆が何か一つでも助けができるといいと思います。
40	アンケートに答えても変わっていない気がします。根室は母子家庭の援助などもあまり良くなく残念です。根室のこれからはまだまだ母子家庭も増えるだろうし老人もどんどん増加すると思います。街の整備等も大切だと思いますが、今一番の皆さんの声を本当に何か1つでも実現してほしいです。 お年寄りの為に市でスーパー銭湯的な施設を作してほしいです。根室には今3件しか銭湯がなく市民の楽しみやふれあいの場所が失われています。子供、家族、お年寄り、市民全体が楽しめて安らげる憩いの場所が必要だと思います
30	市民が参加できるイベント特に子供達が楽しめるイベントが増えるといいと思います。屋内で遊べる場所が欲しいです。年寄りと子供達が交流できるいいと思います。 小学校のトイレをきれいにしてほしいです。北斗小学校に通っている我子は汚くて使えないといつも我慢していると言っています。 女性が特に子供いる母親が働きやすい環境がありません。ひとり親の母親の資格取得はハローワークであるのに、女性の資格取得はなぜないのでしょうか。子供を持っている母親も資格をとって働きたいと思う人はいると思います。
30	根室の自然は世界からも注目されていて、観光客も増えています。観光地の整備や土産品の多様化、パッケージをおしゃれにしたり、雑貨も魅力的なデザインにしたりなど、観光業に力を入れたらますます素敵な町に変身していくと思います。日本最東端というインパクトの強さと、自然の豊かさを生かして町が発展していくことを願っています。
65・74	若者にとって根室市は就職等、魅力が無い町なのではないでしょうか。やはり産業があまり安定していない事が不安です。漁業ばかりでは・・・何か別の産業もあればと願っています。
30	自由に行ける。室内で遊べる場所や自然と向き合える場所があれば子育てなどに良いのかと思う。
30	室内で小学校以下を遊ばせる所が少ないので、中標津のゆめの森公園にある屋内施設のような子供を開放できる空間、屋内公園が欲しい。 スマートフォンのアプリを使って、根室の情報発信をしてほしい。お金を使う 10～40 代位に根室の情報が伝わっていない。若い人はメールを使わない、新聞を見ない、広告を見ない、ニュースはスマホで見るものが多い。アプリを通じて通知すれば集客もあがる。根室以外の興味を持った人間も集められると思う。 重要なのは①アプリを使う例と欲しい情報を選択させること②通知に表示させる機能を持つこと③無料であること④頻繁に更新される事の4つ。 「マチイロ」ではなく根室独自のアプリが良い。むしろ管内が良い。生活圏が釧路までだから、根釧管内が良い。
40	・明治公園の芝生に犬を入れないようにしてほしいです。子供たちは寝転がったりしているので、汚いので、ドッグラン作ってほしいです。 ・もっとチェーン店を導入して活気ある街にしてほしいです。 ・女性のパートを子育てしながら働きやすい環境を作してほしいです。 ・子供が室内で遊ぶ施設を作ってほしい。冬は雪遊びしか外で遊ぶことがないので。 以前市議会にも言ったことがありますが何も変わっていません。

年齢	問 22 意見・提案
30	①良く道路に車が停まっており、通行の妨げになっていることがあります。駐車ができるスペースを色々な場所に設けてほしいです。 ②教員住宅の制度についてポイント制を導入しているようですが、平等に行われているのか疑問に思うところがあります。
18	現在の根室市の状況には満足していません。また私のような考えを持つ人はごく少数だと思っています。根室市はアピールポイントが少ないと思います。確かに、金毘羅神社例大祭は北海道三大祭りの一つでもありますし、地元の漁業を生かしたイベント等も展開されているのは知っていますし、参加したこともあります。しかし、それをうまく生かし切れていないと思うのです。告知などの面でもっと外部との関わりを持った方が良いと思います。私はNHK杯全国高校放送コンテストや高文連の放送の大会などで根室市についてのアナウンスやテレビドキュメントを制作してきました。根室市について知ってもらおうと伝える活動をしてきました。特に後者の方では地元を題材とした作品作りが主なのですが、審査員からも「アピールポイントが弱い」といわれることもありました。街づくり活動には十分に力を入れるべきだと思います。もちろん、後継者の面も考慮に入れましょう。若者の減少化が著しいのも事実なのです。思慮分別のある人間の育成にも努めるべきだと思います。根室市の学力は低いにも関わらず出る杭は打たれるのです。これ以上過疎化が進まないことを祈ります。
30	大阪の地震で被害のあったブロック塀等、根室市内にも危険なものがあると思います。公共的なものは随時改善し、個人の敷地内については調査し注意を促すなど、教訓を活かした取り組みが必要だと感じています。
40	・円滑な交通を確保するためにも根室警察署から根室中央郵便局までの道路をUターン禁止にすべき。突然ウィンカーを付けUターンを開始し、あげく駐車車両によって一度でUターンできずに後ろも確認せずバックしてきたりと非常に危険である。交通安全防止のためにもUターン禁止にすべき。 ・飲み屋付近の繁華街はそれなりに明るい、少し離れると暗い夜道となっている。節電や経費節減もあるでしょうが、根室市内でも不審者が現われている昨今、事件が起きてしまえば取り返しがつかないので、お金より人命を優先させた防犯対策を講じてほしい。
30	せっかく良い物産があるのに、現状で満足している雰囲気があり、町が発展しそうもない。既存の店ではすぐに時代の流れに飲み込まれる。漁業以外の道を見出さなければ根室市はなくなると思う。何より市までのアクセスが悪いので来る気にならない。ここまで来てまでしたいことがない。
30	今年根室に引っ越してきたがこれほどまでに魅力がなく住みづらい所があるのだと思った。賃貸はアパマンショップで独占しているせいか物件の割に家賃が異常に高い。以前住んでいたところより水道料金が2倍位で2か月分の請求がきたのかと思った。子供の医療費は補助しているというけれど前に住んでいた所は無料です。一年のほとんど風が強く寒いのが分かっているのに、全天候型の子供が遊べるような所をいつまでたっても作らないのはなぜですか。ある程度子供が大きくなったら完全防備で公園で遊ばせられますが、長時間は無理です。子育て支援クルクルを利用していますが、午前と午後2時間ずつしかやっていないので、子供の昼寝がいつもより長くなると遊べる時間が少ししかなくなるのもっと長い時間やって欲しいです。土日は特に遊ばせられる所がなく、雨が降ったりすると外では遊べないので最悪です。「車で1時間半行けば中標津のゆめの森公園がある」とお母さん達はいいますが、毎週は無理ですし遠いです。「市じゃなくて町なのに中標津は色々あっていい」と根室市民が言っているのを知っていますか。根室は市だけ何もないと皆言っています。ここで生まれ育ってきた人なら住むのでしょうか、地元でない人にとってはとてつもなく住みづらい所です。住めば都といいますが、一刻も早く引っ越したいと切に願っています。ただ一ついい所は海産物が安くておいしい所です。それをもっと武器にして財政を潤したらどうですか。いつまでも北方領土にこだわってお金を使っている場合ではないです。
50	まず、このアンケート自体、仕事をして日常生活、普通に生活しているものでなければ、現状どうあり、どうだからという事が見えず、意味のあるものにならないこと。仕事に就きたくても就けない。20年にもなる無職の人間には無意味なアンケートです。 市が何をどう作りたいのかわかりませんが、安定した収入、生活の上で考えられる事なのでそういうことを考えたものの充実を図るべきだと思います。
40	人口も少ない、淋しい町ではありますが、多くの自然など根室ならではの街づくりをお願いいたします。たくさんのPRや魅力があるはずで。根室に住みたいと思うような街づくりをしてほしいです。
20	・観光事業に力を入れてほしい。 ・納沙布岬や花咲ガニ等のアピールできる魅力あるものを有効活用できると思う。

年齢	問 22 意見・提案
	・市外から宿泊施設を誘致するなど考えていいのではないかと思います。 ・もっと外からの意見を取り入れた方がいいと思う。 ・田舎特有の閉鎖的な感じが良くないと思う。 ・道路がガタガタなので直してほしい（市内全域） ・SNSを活用して根室の良いところを発信していくのも良いと思う（更新頻度も高くして）
40	・歩道の整備をしてほしい。道路を歩いている人が多い（散歩） ・防災対策、災害時に防災無線が聞こえないのはいかなものか。 ・ふるさと納税で水道代の値上げは何とかならないのか ・家庭の収入により、子育て支援が変わるのではなく、共働きの家庭でも支援してほしい。共働きの所は税金をとられるが1人親は税金ととられないのは不平等ではないかと思われる。
50	・楽しんで買い物ができない。欲しい物が無い。客のニーズに合ったものが買えるような品揃え店作りをしてほしい。 ・若い人が夢を持って安心して働ける職場 ・家族で出かける場所がない。レストラン、公園、映画館、イベント、美術館、スポーツジム、体育館 ・子供の遊べる場所。ゆめの森公園みたいなところ。 ・店員の態度が酷い。教育に力を入れてもらいたい。 ・観光客が来ても泊まれるホテルがない。観光土産がない。納沙布などお土産を買う人が増えるような工夫。 ・病院に安心して通えるようにしてほしい。 ・都会への人口流出を食い止めるには魅力ある街づくりに力を入れるしかないと思う。一人一人が郷土愛を持って主体的なまちづくりをしなければいけない。
60-64	町づくりは人づくりだと思います。ともに将来を夢見る多くの人材を作る必要があると考えておりますので、ぜひ皆で考え、知恵を出し合って、学習したり、外部からの人を呼んで考えてみる必要があると思います。
50	道の駅スワン 44 を根室市観光の玄関とはっきり位置づけて目玉となるものを設けたらどうでしょうか。通年営業が望ましいと思います。バードウォッチングが根室は有名ですが冬期に大阪から大きなカメラを担いで風連湖に来た方がちようどお昼時に入ろうとして空いていなくて残念がっていました。色々な地方の道の駅が工夫を凝らして情報を発信して成功してます。根室市も財政を踏まえた上で助成金交付の優先順位や額が決められるものと思っています。どんなことをしたら良いかなど具体的な事は高校生や地域の若者、亀の甲より年の功といった幅広い年代から意見を聞くのもいいのではないかと思います。四季を通して目や心を奪われる自然豊かな根室です。市長が変わるので、新しい何かを始めてみるのもいいのではないのでしょうか。既存の建物を有効利用して若い力に期待して、年の功の知恵をお借りして一歩前に踏み出す勇氣を持ってみませんか。 オンネモトチャンを訪ねてくる車がここ数年多くなり、案内すると喜ばれます。遠くは熊本から。観光シーズン到来です。原生花園のポニーの働きであやめも咲き始めました、良い季節です
40	・幼児から高齢者が健全に遊べる施設があれば良いと思います。 ・夜に運動する場が欲しい。公園は暗く女性は一人では行けない。男性でも気味が悪い。文化会館のトレーニング施設は狭く器具も少なく満足に運動ができない。 ・年々お祭りが衰退しているように感じます。時節柄、仕方ないのかもしれないが、北海道三大祭りなので、今以上に衰退させないようにしたい。
60-64	漁業以外で何かアピールできるものがないか。自然（バードウォッチング等）もありますが、文化会館でも市民参加で何かないでしょうか 町内会同士で年1回運動会等それ以外何でもいいのですが、みんなで交流できる場があればいいのではと思います。
30	・高規格道路の延伸ではなく、国道をもっと整備して充実させる。 ・中標津にあるゆめの森公園のような施設を整備 ・病院は老人の社交場になっていて、風邪程度の受信にも相当時間を要するので改善してもらいたい。緊急の場合はきちんと対応してもらいたい。 ・主要道路の街路灯だけではなく、住宅街もきちんと整備してもらいたい。 ・企業誘致を促進し、色々な分野で職場を増やしてもらいたい。 ・一人の権力者やその取り巻きで、物事や税金を投入するのではなく、色々な議論のもとでふるさと納税などの公金を使用してもらいたい。

年齢	問 22 意見・提案
	・ 公共施設を一か所に集約
30	最近非常に不満に思えたのが、国道から根室港へ下る警察署のある 2 車線道路の中央分離帯の整備。コンクリートで平らにしてしまっただけでさえ多い横断者が渡りやすくなりなお増えると思われる（特にイオンの前）どうせなら、植木や花壇にしてほしかった。その方が見栄えもいい。
75	根室市長へ申し立てを受け入れてもらえないこと
20	ふるさと納税で集まったお金を、公共施設を建てる方に使ったり、町を活性化させるために使ってほしいです。これだけ集まっているのにもったいないです。土地もあるので有効に使った方がいいと思います。
65・74	・ 若者等（青少年）の人的資源を有効に生かす方策を考える（ひきこもり、障害を持っていて職につけないでいる若者等のような実態なのか調査を行い、人的資源の活用を検討する） ・ 水産資源、自然（環境）が優れているのだから、それらを上手に活用する方策はないのだろうか。 ・ 福祉、教育、医療に税金を多く配分し、暮らしやすい街づくりを望む。
75	私事ですが無年金なので将来が不安に思います
40	うちは高所得らしく、小学生の娘に「子ども医療費受給資格者証」がありませんので、病院、薬局の支払いは高いです。払えなくはないのですが、漁師という職業柄収入に浮き沈みがあり、収入の少ない月は少々事だと病院に連れて行かないときもあります。 所得に関係なくせめて小学生のうちだけでも「子ども医療費受給資格者証」を交付してほしいです。
65・74	長年の職務を離れ、TV を見る機会が多くなり、事件・事故のニュースも嫌になるほど、耳に目に入ってきます。日本人の良さが消滅していつているように日々感じている。根室は大丈夫かと心配しています。 市の表彰規定は全く分かっていませんが、ずい分安易な内容で表彰されている人が多い気がします。本当にご苦労され長年根室を支えられた方々がたくさんいるのに。
50	・ お年寄りが生活の不安なく暮らせるように見守り介護している人の、心身の軽減をしようとすると、デイサービス、ヘルパー利用でお金がかかってしまい年金、貯金が少ないと施設に入る事もできず年を取ることがとても不安に感じます。 ・ 緑はあっても道路沿いに雑草が生い茂るようではとても美しい町とは思えない。 ・ 若者の交流の場、若い頃に青少年ホームを利用していましたが、楽しい思い出です。
30	・ 児童生徒の登下校見守りは、他の地域に比べ積極的になされており、防犯意識が高いと感じます。 ・ 海沿いの町なので、塩害による施設のサビが目立ちます。ゴミは少ないと感じますが、観光客に対して植樹等によりきれいな街並みでおもてなしをし、また来たい、景色、食ともに感動して頂ければと思います。 ・ 買い物や遊びに行くのにやはり郊外に出ていくしかない現状ですので、目玉となる商業施設を誘致して、根室が豊かになればと思います。ファミレスがないのも不便に感じます。 ・ 要人が泊まるようなホテルから、観光客が泊まれるようなホテルを整備して頂きたいです。誘致が無理でも既存のホテルを改修できるような支援があればと思います。
60-64	札幌から 3 年前に根室に来ました。花咲ガニ、秋刀魚等美味しいものが多く幸せに思っています。3 月末に来たときは風が強く寒くて参ったと思いました。 それと道路のわきのごみにはびっくりしました。風によって飛んでくるのか、ひどいごみの量です。ゴミ収集はブラゴミ、トレイの収集が少ないと思います。 スポーツ施設の老朽化、筋トレの道具、器具の少なさ。女性は色々参加するスポーツがあるが、リタイアした男性はすることがないです。パークはたくさんやっています。根室だけじゃないのかもしれませんが、65 才までの人は回数券とかあれば。どれくらい根室にいられるかわからないが、楽しく暮らしています。 水道料は高くびっくりしましたが、また高くなるのです。
40	市立歯舞診療所について、医師が辞めて間もなく一年がたとうとしています。歯舞地域の住民も困っている状況であるし、根室の各病院へ通院も余儀なくされている状況です。特に冬の寒い時には大変不便です。バス通院されている、高齢者の方々は足も不自由ですし路面も滑りやすく大変です。どうか一日も早く医師の確保に全力で探してください。また、市立病院で医師の年数が短くやめている状況で、市民は不便で不安な状況になっていることと思います。市立病院が新しいのになぜ医師の出入りがあるのでしょうか、市としても市民が安心して市立病院で診察できるように医師の確保に全力で問題に取り組んでいただきたいものです。そうすると釧路まで車で走らなくても行く手間が省けると思います。

年齢	問 22 意見・提案
75	1.バスが朝、昼、夕方と通っていますが、厚床で10分も時間がないので不便です週一回でも昼のバスが1時間くらいあると郵便局や農協もお金をおろすことが出来ます。 2.厚床の墓地に行く道が狭く大変不便です。すれちがう時、たまに車が困っています。地方からの人も多いので（墓も多く増えてます）一度通って見て下さい。
75	北方領土が帰ってこなければ、根室の街は良くなれないと思います。
40	・地方の病院などに行く際に、使う鉄道を維持してほしい。根室市の人は普段は車移動が多いと思うが、高齢者や車のない人、急に出かける際に、花咲線が廃止されるのは不便なので、何か工夫をして残してほしい。人があまり乗らず、維持するのが難しければネット社会で配送が増えているのでその荷物を載せるなど皆で考えて残せるように頑張ってもらいたい。 ・生活をしていて買い物する所（服を買える所）がなく、地元で買いたくても変えず不便。 ・冬の除雪をもう少し丁寧にやってもらいたい。道路の除雪が早くやっていただけてありがたいが、路肩に山積みになった雪で左右から来る車や人が見えずに危ない。歩道もなくなり、道路を歩かなければいけない所もあり、歩行者も車に乗っている人も危ないのでどうにかしてもらいたい。
30	4月に市外から転入してきました。買い物をする場所が少なかったり、病院が少なかったり不便を感じることも少しありますが、毎週のように漁港でのイベント等あり、子供を連れて楽しんでます。 高校が減ったり、専門的に学ぶ場がなかったり、障害を持った子供の学びの場、育ちの場が無かったり（あるのか不勉強ですが）、子供が遊べる室内型施設が不足していたり、中々これから若年層を育てて未来の場や人材を育成する街づくりは難しいのだろうと感じます。ただ、海のもの山のもの、とても恵みの土地であると感じています。道内どこもそうですが、その土地の恵みを活かし、そこで故郷を感じていく魅力あるまちづくりへ向かっていく動きがあるといいと思っています。具体的でなくすみません。
30	セイコーマート幸町店前のコンクリートがぼろぼろで見た目にも汚いし、転んでいる人もいた。草は生えっぱなし、汚く見える。直してほしいと以前市役所へ電話したが、すぐには無理だがやるようにしたいとのこと。いつやるのでしょうか。 西浜町のアーリーバード交差点から海側へ下がっていくところが歩道がないため子供の通学路として危険。西浜町のナオエ石油から海側へ行くところも。直して欲しいところはたくさんあるのに、道路上の小さな穴とかはすぐ直す。もっと直すところがたくさんあるはずだ。見た目からして汚い町にだれが住みたいと思うだろうか。これから高齢者が増え、車いすの人も増えるだろうが、道路の安全が確保されていない。
60-64	市民がいつでもお金のあまりかからないで気軽に運動ができる施設の建設をしてほしい。現在の青少年センターを建て替えるときに器具の充実ともう少し指導してくれる担当者の配置を考えてほしい。根室は寒くて外で運動する事が出来ないのでは皆が散歩位しか運動する方法がないので健康対策として実施してもらいたい。
75	1.桜並木の造成 2.防災時の非常食を根室の生産物で加工し市民に配布（有料）してみてもどうでしょう。 3.子供たちが集う遊技場の建設 4.公共施設のトイレ、車椅子利用者が使用できるトイレに改善
20	より良い町にするのであれば、市民の意識を変える必要があると考える。 私は、根室市の前にも複数の市に住んだことがあるが、根室市ほど市民に不快感を抱く街を見たことがない。古くから住んでいる人間ではないからと、賃貸を紹介してくれなかったり、商品を売ってくれなかったり、店の関係者のために店から追い出されたことがある。その割には住民は口々に「このまちを良くしたい」と言う。私は仕方なくこの町に住んでいるが、一刻も早くこの町を出たいと考えている。施設が立派でなくとも住民が暖かければ住みたいと思う。他の地域から来た住民にも平等の扱う事で少しは住みやすくなるのではないかと考える。 警察が地元民を取り締まらないのも不快である。以前は漁業の街で、漁師に優しくしていることで発展していたかもしれないが、不漁の続く昨今、それ以外でも住みよい町である魅力を探す時ではないだろうか。私は根室の街が大嫌いです。
50	根室市の成り立ちを考えると、海からの恩恵を受けて成長した街のイメージがあり、陸側から来る人たちに対して、閉鎖というか受け入れることをしない。店で食事をしていても、外から来た者への疎外感がある。どうしてあのような視線をするのか意味が分からない。このようなことをしているようでは根室市は衰退するだけ。外からの人間も受け入れる形（新たな企業の誘致など）をしないと地元企業だけでは抱えきれないと思う。

年齢	問 22 意見・提案
60-64	水産物の新商品や魚の養殖など。農業はチーズなど、それぞれ新商品の開発を。
30	ラウンドワンみたいな施設。
50	道路わきにポイ捨てゴミが目立つので看板など設置したらどうだろうか。(捨てる人のモラルですが)
30	・「根室市といえば」という目玉をつくる。キャッチフレーズがあるとよいと思う。(水産、観光、本道最東端) ・東根室駅周辺の整備 (バスが入れるよう古い住宅を壊す。区画整備) ・体育館新設の時は、全道、全国大会や合宿を誘致できるような規模で。合わせて宿泊施設の確保、空港からのアクセス ・中学校を 1 校に統合。その分支援学校を誘致すれば大幅な人口 (教員) 減は防げる。寄宿舍付にすることで近隣からも人確保。 ・根室高に水産科を新設。 ・高速道路整備、釧路―根室を 1.5 時間以内でつなぐ。 ・道の駅の充実 (営業時間、物販 (希望の家と連携)、駐車場広く)
65-74	最近、道東地方への大地震が報道されましたが、根室市の人口が少なくなるのではと心配です。
20	市内で路上に止めている車が多くみられるので駐車場の整備をしっかりして欲しい。特に市内での祭りでは強く感じる。
40	子供たちが、天候に関係なく遊べる施設か青少年センターの改修。 水産業で養殖業など、新たな対策への整備。鮭鱒、秋刀魚不漁による根室市の打撃は大きい。漁業を営む方へのフォロー、水産業の復興なしに根室の繁栄は望めないと思う。
20	正直に言うとなにもない排他的なこの町に住んでいたくないです。親や祖母が住んでいるからという理由だけで住んでいるので何も思い入れもないです。仕事面でも上司が定年で退職するのに若い人が入ってこないのてただだ仕事量が増える (人数不足で仕事の分散が出来ない) 所からしても若者が減少している感覚があります。結果として若者が「田舎のヤンキー」と「出たくとも出られなかった人」しか残らなくなるので進展する事は無いと思うし、苦痛でしかありません。
30	根室は住みやすい街だと思っています。良いところを改めて認識して発信していけば、根室の魅力が伝わると思います。地元の人にとってマイナスな部分も実は魅力になるのではないかと思います。人との距離が適度であたたかさのある根室が好きです。
30	今、ニュースで騒がれているけれど、車のない人達はどのように避難すればよいのですか。きちんと対策考えてください。
60-64	希望の持てる街づくりを進めてください。
40	育児休暇中でも上の子たちをそのまま保育所に預けられるようにしてほしい。第 3 子を出産し、5 歳と 2 歳の上の子たちを自宅で見ていくのは正直大変です。一時的に幼稚園に入れるという方法もありますが、第 3 子が 1 歳になるときに仕事復帰する家庭事情を考えると、たとえ幼稚園に入れても復帰時には幼稚園から保育所に変えなければならず、子供たちが慣れた頃にまた環境を変えざるを得ないというかわいそうなことになる。我が家は自宅で年中さん、3 歳未満児をみる選択をしましたが、子育てが厳しいと思う毎日です
20	地震が来る確率が高くなっているという報道がたくさんされているので、対策をしっかりしてほしい。まずはその対策をしっかりしなければ市民は安心した生活を送れないと思います。緑町商店街の閉じているシャッターに絵を書くよりもシャッターを開けられる様な努力をした方が良いと思います。そうじゃないと活気は戻らないのではないのでしょうか。
18	税金高すぎる
30	高齢者向けの義務的事業も行政として外せないのはわかるが、人口減少が確定している昨今、あり方を今一度見直し、将来世帯に負債を減らすことを再考すべきではと思います。
30	雨天でも遊べる施設が欲しい。子育てに優しくない。公園に遊具が無さすぎる。漁業のまちなんだから、魚を使った料理教室等やれはいい。HP 等の情報が更新されていなくて新しく来た人は情報得られず困る。
20	青少年センターをよく利用しますが、噂で建て替えの話聞くが、本当に実現するのかどうか。施設が充実する(最新運動機器の導入)と、住民の運動意識の向上、生活の質も良くなるのではないかと考えます。 学校教育に関して、先生方が負担が少し多いように思い、少しでも軽減することができないのか、また、生徒の心のケアを学校だけでなく、何らかの形で市が関わることができないのかと思います。今後子育てを考えているので、子供が成長した時にこの街で育てていくのが少し不安です。

年齢	問 22 意見・提案
75	まずは観光。案内する場が少ないこと。わざわざ出向いてもしらけてしまう。交通機関が危ないこと、根室線をなくさないこと、少子化で老人が多くなるので、交通の利便さ、もう少し歩道（信号機）を多くしてほしいです。車が多くなると出歩くのに道路を利用するので横断歩道が少なく、ボタン式じゃなくてもいいので、横断歩道があると歩きやすくなります。
40	スポーツに関してですが、青少年センターの2階へ上がる不便さ。子供や孫等を見たくても足の不自由で見られない。行けない。青少年センターの改築(新築)をしないのであれば、早急に何か対策をしてほしい。
30	医師の診察技術の向上をお願いします。 子供が自由に遊べる室内施設が少ない。中標津ゆめの森公園みたいな場所があれば、冬でも体を動かせると思う。 高齢者施設の充実と職員の対応をもっと良くしてくれるといいと思う。
60-64	質問中一つだけ選ぶというのが返答に困る。再検討をお願いします。 根室に長く住んでいますが、年々暮らしにくくなっていると常を感じています。大人が大人としての責任を取らず、自由に（意のままに）行動することが多いと思っています。 当たり前の事を当たり前でできる子供たちを育て、いずれは大人になっていく、そんなまちづくりが出来たらいいです。教育だけの問題ではなく、市全体が子供を育てていく。どこかで切り替えていけば明るい展望も出てきます。
30	教育の充実を図るため、経済格差の是正と地域格差が根室市の教育の発展を妨げていると考えられるため、未来ある若者のため、学校関係者だけではなく根室市民全体の問題と考え、対策を講じるべきと思う。進学する生徒たちに進学する際に関わる費用の負担を常にお願ひできないだろうか 将来、根室で働く子供達（進学して戻る子供）は無利子でお金を貸すなどの対策も必要なのではないのでしょうか。人口減少が進み、若者は根室から離れ高齢者は根室におり、また一部の高齢者は医療の充実した地域に移住しているため、若者が根室に住んでもらうための政策が必要だと思います。「このままだと、根室市はこうなってしまう」というような情報を発信していかなければならないと思います。
50	まちづくり＝住み続けたいまち、不安がないまち(老後) 今の根室は？仕事、収入、医療、物価どれもが不安・不満。
30	道路の穴などをきちんと直してほしいです。一時的には直りますが、また数か月したら穴が開いています。大きな道だけでなく、脇道もきちんと直してください。
65-74	①根室には道立自然公園やラムサール条約登録湿地に指定されている風連湖があり、天然記念物指定の落石岬の高層湿原もある。しかし、温根沼へ流れ込むオンネベツ川の流域のアカエゾマツ林は保護の対象になっていない。亜寒帯性の常緑針葉樹林が平地にあるというこの地方特有の特徴を象徴するものであり、ほとんど手つかずと思われる美しい景観は何らかの保護の対策を講じるべきと考えます。更に根室半島の太平洋岸から納沙布岬へかけては年平均気温が最も低いという事に由来する高層湿原が広くあります。泥炭地のために地下水位が高いこと、低温で植物の生長可能期間が短いため樹木が生長できない地域となっています。これは自然地理学上、ツンドラと呼ばれる地形と思われます。ツンドラは高緯度地方に発達するものであり、根室半島はおそらく最も南に位置する海岸ツンドラではないかと思います。流水が到達する最も南の地点と合わせて、学術上貴重な地帯なのだと思います。専門家による調査評価（もう既にあるのでしょうか）を持って、何らかの保護と啓蒙の対策を考えるべきだと思います。 ②落石岬の無線所跡は単冠湾に待機する日本海軍艦艇に対し真珠湾攻撃を命じる無線を発した所と聞いています。いわば戦争遺産な訳です。それが、何故、個人に貸し出され、内外装とも改変されているのでしょうか。早急に復元し、保存、後世へ伝えるべきと考えます。
40	1.育てる漁業 2.少子化対策 3.高規格道路
75	総合体育館を作ってください
65-74	①根室に釧之助のような食べる所と魚とか色々物を売っている市場の様な所があれば観光客とかも来てくれると思います。 ②中標津のゆめの森公園みたいな所があれば子供達も遊ぶところが出来て良いと思う。若い人がどんどん地方に行ってしまう。
60-64	以前に計画があった明治公園の屋内施設はどうなったのか。
30	就労継続支援A型の福祉サービスが欲しいです。

年齢	問 22 意見・提案
30	①根室市には日本一開花が遅い千島桜があるので「日本で一番最後まで開花が楽しめる街」として、国道から 500m～1 k m 程度、市が開発に働きかけて、千島桜を道路に植えてはどうでしょうか。今のホクレンショップの通りからマルシェ・デ・キッチン辺りまで桜の道路が出来たらものすごく美しいと思うのです。 漁師町に清潔感がないのが欠点です。国道だけでもきれいにすれば印象としても良いですし、観光として経済面でもプラスになると思います。 ②「明治公園の活用について」 夜散歩するとき、灯りが少なすぎてとても怖いです。せっかく素敵な公園なのでライトアップして市内で唯一キャンプを楽しめる公園に整備し、無料開放すれば日本一周中の自転車ライダーやバイカー達が多数利用してくれるはずで。実際、旅行客からそのような声をよく聞きます。水回りの整備（トイレと炊事場）をきれいにし、管理人は無し、後は、サイロ周辺をライトアップし、通路は LED で足元だけを照らすようにしてコストは押さえて良いと思います。市民も明るい公園になれば良いと思いますし、朝、夜時間を気にせず利用できるようなと思います。
18	市役所にはただ座っている人がいる。そんな人にも給料が支払われているのはおかしい。議員も多すぎる。働きたい仕事がない。大学進学するお金がない。高校のレベルが落ちている。授業妨害はやめてもらいたい。特進コース以外はバカ扱いされる。
20	私の子供は根室内市では治療が受けられない先天性心疾患を患って生まれてきました。その他も口唇口蓋裂、難聴などの病気に対してもこの地域で治療を受けられるだけの設備、医師はいません。治療には手術が必要で北海道大学病院までいかないとはいけません。しかし、交通費等の援助等一切無いとのこと。この地域では満足できる治療、信頼できる医師はいません。このような地で医療を受けられず地方の病院を紹介された場合の移動費の助成制度を検討して頂きたいです。口唇口蓋裂にいたっては成人するまでの長い間、通院・治療（手術）が必要な病気です。今後は言語にも支障が出てくるため札幌へ言語外来の通院も必要です。交通費だけでもかなりの家計費の負担となっています。同じ病気で悩んでいる家庭は根室内市だけでも何人もいます。この根室で長く住み続けていくためには医療の充実、根室で診ることができない病気の場合、通院等するための移動費に対する補助金の制度を検討願います。家計への負担が緩和されることによって、個人消費につながり根室市の商店街も潤っていくと思います。
65・74	運動公園の遊具が少ないのと天気が悪い時に遊ぶ施設がないので、孫や低学年の遊ぶ場所を作ってほしい。最近の大雨で下水がきちんと整備されていないため道路水が家の軒先にたまってしまうので下水の整備してほしい。
50	自分は水産会社の役員をしています。今のままでは 5 年 10 年後には根室はまた人が減って働き手が全然いなくなると。思います。若い人達が働く場所、遊ぶ場所がない。地方に行って地元には帰ってこなくなると。思います。人がいなくなる事は根室の働く人がいなくなる。結果、会社は人がいないため仕事が出来ない。やめる、潰れる。根室に魚が上がっても処理できないため値段が安くなり漁師も他に行ってしまう根室の水揚げも減っていく悪循環になっていくと思います。それではどうすればいいかは自分もわからないが、人が少なくなっていくと街はどんどん衰退していきます。自分も中 2 の子供がいますが根室に残れとはいえませんが。今の根室の未来はないような気がします。何かを変えないとだめでしょう。こんなこと言われなくても役所の人達はわかっていると思いますが、何か考えてください。
75	少子化が進み人口減少に影響を及ぼしています。そのために安心して市立根室病院で出産（第一子）ができる医師の確保に末永く取り組んでほしい。そして、若い夫婦が子育てしやすい経済的な支援と働く職業（場）が必要です。思い切った行政の努力が必要です。

市民意識調査

「市民意識調査」へのご協力をお願い

根室市は、平成 26 年度に「第 9 期根室市総合計画」を、翌平成 27 年度には「根室市創生総合戦略」をそれぞれ策定し、将来のまちづくりの目標や将来像を定め、豊かで活力のある市民生活の実現を図るための施策を推進しているところです。

これらの計画を実現していくためには、市民みなさんのご理解と参画をいただきながら推進していくことが不可欠です。

本調査は、市民のみなさんのまちづくりに関する率直なご意見をお伺いし、市政に反映していくことを目的として毎年実施しているもので、これまでに、産業振興施策、市内分娩の再開、保育施設の整備、屋内遊戯施設構想策定などの医療、子育て環境施策などの具体施策に取り組んできております。

今回の調査は、市内の 16 歳以上の住民の方々の中から、無作為に 3,000 名を抽出した結果、あなたが調査の対象となったものです。

また、この調査は無記名となっておりますことから、個人の意見が直接発表されることや、ご迷惑をおかけすることは決してありませんので、ご協力をお願いいたします。

平成 30 年 6 月

根室市長 長谷川 俊 輔

「市民意識調査」記載要領

1. あて名のご本人がお答え下さい。
2. お答えは、あてはまる項目の番号を○で囲んで下さい。
3. 「その他」などを選ばれた場合は、() 内にその内容や理由をできるだけ具体的に記入して下さい。
4. ご記入が終わりましたら、お手数ですが同封の返信封筒に調査票を入れて、平成 30 年 6 月 30 日（土）までに切手を貼らずにご投函をお願いします。
5. この調査についてのお問い合わせは、下記までご連絡ください。

■根室市総合政策部

TEL : 0153-23-6111 (内線 2254)

FAX : 0153-24-8692

E-mail : sog_seisaku@city.nemuro.hokkaido.jp

調 査 票

問1. 最初に、あなた自身のことについてお伺いします。(1)～(5)の各項目について、該当する番号1つに○印をつけて下さい。

(1) 年齢

- | | | | |
|----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 18歳未満 | 2. 18～19歳 | 3. 20歳代 | 4. 30歳代 |
| 5. 40歳代 | 6. 50歳代 | 7. 60～64歳 | 8. 65～74歳 |
| 9. 75歳以上 | | | |

(2) 職業（その他の方は、具体的に記入してください）

- | | | |
|----------------|---------------------------------|--------------|
| 1. 農業・林業 | 2. 漁業 | 3. 製造業・建設業 |
| 4. 商業・金融・サービス業 | 5. 公務員・教育・団体職員 | 6. パート・アルバイト |
| 7. 主婦（専業） | 8. 学生 | 9. 年金受給者 |
| 10. 無職 | 11. その他（ ） | |

(3) 根室市での居住年数（通算でお答えください）

- | | | | |
|-----------|----------|-----------|-----------|
| 1. 5年未満 | 2. 5～9年 | 3. 10～19年 | 4. 20～29年 |
| 5. 30～39年 | 6. 40年以上 | | |

(4) 居住地域

- | | | | | |
|---------|---------|----------|----------|---------|
| 1. 北浜町 | 2. 琴平町 | 3. 弁天町 | 4. 駒場町 | 5. 汐見町 |
| 6. 海岸町 | 7. 千島町 | 8. 栄 町 | 9. 月見町 | 10. 明治町 |
| 11. 曙 町 | 12. 宝 町 | 13. 有磯町 | 14. 朝日町 | 15. 鳴海町 |
| 16. 本 町 | 17. 花咲町 | 18. 松ヶ枝町 | 19. 弥栄町 | 20. 幸 町 |
| 21. 大正町 | 22. 常盤町 | 23. 緑 町 | 24. 梅ヶ枝町 | 25. 弥生町 |
| 26. 清隆町 | 27. 光和町 | 28. 北斗町 | 29. 平内町 | 30. 岬 町 |
| 31. 定基町 | 32. 松本町 | 33. 敷島町 | 34. 花園町 | 35. 西浜町 |
| 36. 月岡町 | 37. 宝林町 | 38. 昭和町 | 39. 光洋町 | 40. 牧の内 |
| 41. 桂 木 | 42. 花咲港 | 43. 穂 香 | 44. 幌茂尻 | 45. 温根沼 |
| 46. 東 梅 | 47. 酪 陽 | 48. 東和田 | 49. 西和田 | 50. 長 節 |
| 51. 浜 松 | 52. 昆布盛 | 53. 落石東 | 54. 落石西 | 55. 別当賀 |
| 56. 初田牛 | 57. 東厚床 | 58. 厚 床 | 59. 西厚床 | 60. 明 郷 |
| 61. 湖 南 | 62. 川 口 | 63. 槍 昔 | 64. 友 知 | 65. 双 沖 |
| 66. 鹵 舞 | 67. 瑤瑤瑤 | 68. 納沙布 | 69. 温根元 | 70. 豊 里 |

《根室市の印象について》

問2. 根室市の印象（イメージ）についてお尋ねします。

次の中から該当する番号を1つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

- 1. 明るいまち
- 2. 清潔なまち
- 3. 活気のあるまち
- 4. 個性（特色）のあるまち
- 5. ふれあいや連帯感のあるまち
- 6. 市民として誇りや郷土愛があるまち
- 7. その他（具体的に： _____）

《居住の満足度について》

問3. あなたにとって根室市は、住みよいまちだとお考えですか。

次の中から該当する番号を1つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

- 1. とても住みよい
- 2. 住みよい
- 3. 普通
- 4. 住みにくい（理由： _____）
- 5. とても住みにくい（理由： _____）

《定住度について》

問4. あなたは、今後も根室市に住み続けたいと思いますか。

次の中から該当する番号を1つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

- 1. ずっと住み続けたい
 - 2. できれば住み続けたい
 - 3. できれば住みたくない
 - 4. 住みたくない
- } ⇒問6へ
- } ⇒問5へ

問5. 問4で、「3. できれば住みたくない」、「4. 住みたくない」とお答えされた方にお尋ねします。
そう思われた主な理由は何でしょうか。次の中から該当する番号を3つまで選んで番号に○印をつけて下さい。

- 1. 自分にあう職業がない
- 2. 商売や事業経営に不利
- 3. 交通の便が悪い
- 4. 買い物などの生活の利便が悪い
- 5. 物価が高い
- 6. 進学などの教育上の問題
- 7. 医療・福祉面が不安
- 8. 娯楽や余暇活動の場が少ない
- 9. 自然が厳しい
- 10. その他（具体的に： _____）

《保健医療について》

問6. あなたの健康状態と根室市の保健医療についてお尋ねします。

(1) あなたの現在の健康状態はいかがですか。

1. きわめて良好 2. 良好 3. 普通 4. 悪い 5. きわめて悪い

(2) あなたは日頃の健康管理に努めていますか。

1. 努めている 2. 努めていない

(3) あなたは1日30分以上の運動をどの程度行っていますか。

1. 毎日している 2. 週に2日以上している 3. 週に1日程度している
4. 月に2～3日している 5. 月に1日している 6. ほとんどしていない

(4) あなたは、平成29年4月1日から経産婦の方を対象に市立根室病院にて分娩が再開されていることをご存知でしたか。

1. 知っていた 2. 知らなかった

(5) あなたは、市内の病院などの医療機関の状況について、どの程度満足されていますか。

1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

(6) 根室市の保健医療について、財源に限りがある中で、今後どのような政策を重点的に取り組むべきだと思いますか。特に重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 高齢者の医療の充実
2. 乳幼児・母子等医療の充実
3. 保健（健康づくり）対策の推進
4. 健康診断や予防対策の充実
5. 休日夜間などの救急医療対策
6. その他（具体的に： ）

《少子化・子育て支援について》

問7. 「少子化対策」、「地域の子育て支援」についてお尋ねします。

(1) あなたは、市で実施している（実施した）以下の事業をご存知でしたか。

①こども医療費給付（小学生以下の外来・入院に加え、中学生・高校生の入院に係る医療費の負担を軽減）	1. はい 2. いいえ
②人材確保対策（子育て支援員の研修を実施、養成施設へ進学した学生等の支援）	1. はい 2. いいえ
③第3子目以降の保育料・学校給食費の無料化	1. はい 2. いいえ
④民間保育園（しらかば保育園）建替支援	1. はい 2. いいえ
⑤落石ふるさと館整備（保育所・地域会館の新築）	1. はい 2. いいえ

(2) あなたは、乳幼児や子どものための福祉施設の状況にどの程度満足されていますか。

1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

(3) あなたは、子育てのための環境や支援にどの程度満足されていますか。

1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

(4) あなたは、「少子化対策」、「地域の子育て支援」として、さらに、どのような施策が重要だと思いますか。次の中から特に重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 出産や育児について気軽に相談できる環境づくり
2. 乳幼児保育の充実（延長保育など）
3. 学童保育の充実
4. 経済的負担の軽減（入院費、保育料の軽減など）
5. 子どもがのびのびと遊べる施設の整備
6. 地域の交通安全や防犯対策の強化
7. 地域全体で子育てを行う環境・体制づくり
8. その他（具体的に：

)

《高齢者支援について》

問8. 根室市の高齢者支援の現状についてお伺いします。

(1) あなたは、趣味や楽しみ、生きがいになることがありますか。

1. ある 2. 以前はあったが今はない 3. 以前からない

(2) あなたは、町会等の行事、サークル活動、地域イベントに出かけたりしていますか。

1. よく出かける 2. たまに出かける 3. あまり出かけない

(3) あなたは、市で実施している（実施した）以下の事業をご存知でしたか。

- | | | |
|--|-------|--------|
| ①高齢者見守りボランティア事業（町会やボランティアの活動支援） | 1. はい | 2. いいえ |
| ②高齢者等緊急通報サービス事業（警備会社による緊急時の駆けつけ確認）サービス | 1. はい | 2. いいえ |
| ③人材確保対策（介護職員資格取得費用に対する助成） | 1. はい | 2. いいえ |

(4) あなたは、高齢者のための福祉施設の数や内容等の状況にどの程度満足されていますか。

1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

(5) あなたは、高齢者の健康や生活の安全・安心をサポートするための福祉制度の状況にどの程度満足されていますか。

1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

(6) あなたは、高齢者が健康で生きがいを持ち、充実した老後を送るためには、どのような対策が必要だと思いますか。特に重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 健康診断、検診機会の充実
2. 寝たきりの高齢者や一人暮らし高齢者への在宅福祉の充実
3. スポーツや学習機会の充実
4. 高齢者の経験や技術を活かせる活動の場づくり
5. 若い世代との交流の機会の充実
6. 段差解消など公共施設・道路環境等の整備・改善
7. 介護付き高齢者専用住宅の充実
8. 自治会などの地域活動への参加促進
9. その他（具体的に： _____）

《社会福祉全般について》

問9. 根室市の社会福祉政策について、今後どのような政策を重点的に取り組むべきだと思いますか。特に重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 高齢者のための施策の充実
2. 障がい者のための施策の充実
3. ひとり親家庭対策の充実
4. 子育て支援対策の充実
5. 保育サービスの充実
6. 地域ボランティア活動の推進
7. その他（具体的に： _____）

《交通について》

問10. 根室市内の交通状況についてお尋ねします。

(1) あなたは、市内の幹線道路の整備状況にどの程度満足されていますか。

- | | | | | |
|-------|---------|-------|---------|-------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. 普通 | 4. やや不満 | 5. 不満 |
|-------|---------|-------|---------|-------|

(2) あなたは、市外へ通じる道路の整備状況にどの程度満足されていますか。

- | | | | | |
|-------|---------|-------|---------|-------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. 普通 | 4. やや不満 | 5. 不満 |
|-------|---------|-------|---------|-------|

(3) あなたは、公共交通機関の利便性にどの程度満足されていますか。

- | | | | | |
|-------|---------|-------|---------|-------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. 普通 | 4. やや不満 | 5. 不満 |
|-------|---------|-------|---------|-------|

(4) 根室市の交通について、今後どのような政策を重点的に取り組むべきと思いますか。特に重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 高規格道路や国道などの広域幹線道路網の整備
2. 鉄道便の確保
3. バス便の確保
4. 身近な生活道路の整備
5. 高齢者や障がい者等に配慮した安全な歩道の整備
6. 除雪やロードヒーティングなどの冬期対策の充実
7. 街路灯・防犯灯や案内板の整備
8. 信号・ガードレールなどの安全対策
9. 駐車場や駐輪場の整備
10. その他（具体的に： _____）

《生活環境について》

問11. 根室市内の生活環境についてお尋ねします。

(1) あなたは、市で実施している（実施した）以下の事業をご存知でしたか。

①公園の遊具等更新	1. はい	2. いいえ
②市営住宅建替え（光洋団地）	1. はい	2. いいえ

(2) あなたは、郊外の森林景観にどの程度満足されていますか。

- | | | | | |
|-------|---------|-------|---------|-------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. 普通 | 4. やや不満 | 5. 不満 |
|-------|---------|-------|---------|-------|

(3) あなたの住んでいる地域の緑の豊かさにどの程度満足されていますか。

- | | | | | |
|-------|---------|-------|---------|-------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. 普通 | 4. やや不満 | 5. 不満 |
|-------|---------|-------|---------|-------|

(4) あなたは、上水道の整備状況にどの程度満足されていますか。

- | | | | | |
|-------|---------|-------|---------|-------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. 普通 | 4. やや不満 | 5. 不満 |
|-------|---------|-------|---------|-------|

(5) あなたは、下水道の整備状況にどの程度満足されていますか。

- | | | | | |
|-------|---------|-------|---------|-------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. 普通 | 4. やや不満 | 5. 不満 |
|-------|---------|-------|---------|-------|

(6) あなたは、公園や広場の利用しやすさにどの程度満足されていますか。

- | | | | | |
|-------|---------|-------|---------|-------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. 普通 | 4. やや不満 | 5. 不満 |
|-------|---------|-------|---------|-------|

(7) あなたは、買い物の利便性にどの程度満足されていますか。

- | | | | | |
|-------|---------|-------|---------|-------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. 普通 | 4. やや不満 | 5. 不満 |
|-------|---------|-------|---------|-------|

(8) 根室市の生活環境について、今後どのような政策を重点的に取り組むべきと思いますか。重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 公営住宅の整備
2. 宅地の供給
3. 水道や下水道、し尿処理施設の整備
4. ゴミの減量化、再利用の促進
5. 公園や緑地、遊び場、憩いの場などの整備
6. 防犯対策の充実
7. 美しい景観（まちなみ）の創出
8. その他（具体的に： _____）

《防災・減災対策について》

問12. 防災・減災対策についてお尋ねします。

(1) あなたは、市で実施している（実施した）以下の事業をご存知でしたか。

①防雪柵設置事業（牧の内3号線（青少年センター付近）に、視程障害対策として防雪柵を整備）	1. はい 2. いいえ
②ハッターリ川高潮対策河川改修事業（越水対策として、両岸の堤防盛土工事）	1. はい 2. いいえ
③消防車両整備事業（消防ポンプ車、高規格救急自動車の更新）	1. はい 2. いいえ

(2) あなたは「防災対策」として何が重要だと考えますか。重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 食料・水・日常生活用品の備蓄
2. 災害時の情報連絡手段の整備
3. 指定避難場所など防災拠点の整備
4. 防災マニュアル・マップの配布
5. 自主防災組織の育成
6. 防災講習会・防災訓練の開催
7. その他（具体的に： _____）

《学校教育・社会教育全般について》

問13. 学校教育についてお尋ねします。

(1) あなたは、市で実施している（実施した）以下の事業をご存知でしたか。

①北斗小学校トイレ洋式化などの学校施設の整備	1. はい 2. いいえ
②学力向上対策事業（市内7校に補助教員を配置）	1. はい 2. いいえ
③ふるさと給食事業（ふるさと給食の日を実施し、地産地消による食育を推進）	1. はい 2. いいえ

(2) あなたは、子どもの教育施設や教育環境にどの程度満足されていますか。

- | | | | | |
|-------|---------|-------|---------|-------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. 普通 | 4. やや不満 | 5. 不満 |
|-------|---------|-------|---------|-------|

(3) あなたは、「学校教育」を充実させるために、市がどのようなことに力を注ぐべきだと思いますか。特に重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 少人数学級（1クラス35人以下）による教育の推進
2. 標準学級（1クラス40人）による教育の推進
3. 生きる力を育てる総合的な学習の充実
4. 社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実
5. 個性や才能を伸ばす教育の充実
6. ボランティアなどの体験的、実践的な学習の機会の充実
7. 情報化社会に適合した教育内容の充実
8. 国際化に対応できるコミュニケーション能力の育成
9. その他（具体的に： _____）

問14. 根室市の社会教育について、今後どのような政策を重点的に取り組むべきだと思いますか。特に重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 生涯学習教育の指導者育成
2. 各種サークル活動の充実
3. 各種講座・教室などの充実
4. 各種講座・教室などの利用施設の整備
5. 青少年の健全育成
6. その他（具体的に： _____）

《スポーツ・レクリエーション・文化について》

問15. 根室市のスポーツ・レクリエーション・文化についてお尋ねします。

(1) あなたは、市で実施している（実施した）以下の事業をご存知でしたか。

①未来のアスリート応援事業（高校生までの学校教育活動以外の体育・文化活動遠征費の助成）	1. はい	2. いいえ
②総合文化会館の音響機器等の改修整備	1. はい	2. いいえ
③地域おこし協力隊推進事業（市の魅力を発掘し情報発信する活動、都市部との移住交流の推進）	1. はい	2. いいえ
④北方資料研究活用事業（歴史と自然の資料館にて寄贈された考古資料の確認を行い、収蔵体制を整備した）	1. はい	2. いいえ

(2) あなたは、スポーツ施設の状況にどの程度満足されていますか。

1. 満足	2. やや満足	3. 普通	4. やや不満	5. 不満
-------	---------	-------	---------	-------

(3) 根室市のスポーツ・レクリエーション・文化について、今後どのような政策を重点的に取り組むべきだと思いますか。特に重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. スポーツ・レクリエーションの振興・施設の整備
2. 芸術・文化の振興・文化施設の整備
3. 文化財や史跡の保護・伝承
4. 音楽会・講演等の開催
5. 学校施設開放の推進
6. その他（具体的に： _____）

《産業の振興について》

問16. 根室市の産業振興についてお尋ねします。

(1) あなたは、市で実施している（実施した）以下の事業をご存知でしたか。

①漁業の振興（沿岸漁業の振興（ホタテ資源増大、沿岸漁業資源の高付加価値化、根室産水産品の普及、販路拡大等））	1. はい	2. いいえ
②農業の振興（草地整備、土地改良施設維持管理等）	1. はい	2. いいえ
③商業の振興（地域ポイントカード支援、まちなか賑わいづくり事業等）	1. はい	2. いいえ
④観光の振興（観光パンフレット作成、各種イベントへの負担金等）	1. はい	2. いいえ
⑤春国岱ふるさとの道整備事業（春国岱原生野鳥公園散策路整備）	1. はい	2. いいえ

(2) 根室市の産業振興について、今後どのような政策を重点的に取り組むべきだと思いますか。

特に重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 水産業基盤及び生産体制の整備
2. 農林業基盤及び生産体制の整備
3. 農林水産物など地域の資源を活用した加工業の育成
4. 企業誘致による雇用の場の確保
5. 魅力ある商店街づくり
6. 後継者の育成・確保
7. 観光開発、観光関連産業の育成
8. 特色あるイベントの展開
9. 新たな特産品の開発
10. その他（具体的に：)

《情報の共有化について》

問17. 市政情報等の共有化についてお尋ねします。

(1) あなたは、市で実施している（実施した）以下の事業をご存知でしたか。

①行政情報の配信サービス（防災・子育て・イベント等の情報（ねむろメール）の配信）	1. はい	2. いいえ
②根室市史編纂事業	1. はい	2. いいえ

(2) あなたは、行政からの情報提供において、どのような情報を受けたいと考えていますか。特に、受けたいと思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 行政に関する総合的な情報
2. 道路交通・除雪・気象等の情報
3. 各種統計情報
4. 公共施設利用状況
5. 観光・レジャー情報
6. 文化行事・イベント情報
7. その他（具体的に：)

《市民協働について》

問18. まちづくりには、市民のみなさんの主体的な活動が不可欠です。市民みなさんの一人ひとりが「誰もが何か1つを受け持つ」とすれば、あなたは、どのような活動に参加しますか。次の中から該当する番号を1つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

- 1. 清掃活動や花いっぱい運動
- 2. 高齢者や障がい者等のためのボランティア活動
- 3. 郷土の歴史、文化を守り育てる活動
- 4. 自然保護活動
- 5. リサイクル活動、省資源活動
- 6. 子ども会などの青少年育成のための活動
- 7. 祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事
- 8. 交通安全や防災・防犯活動
- 9. 新しい特産品や土産品の研究開発
- 10. 自治会やNPO（非営利活動団体）など、市民による自主的な活動への支援
- 11. 特にない
- 12. その他（具体的に： _____）

《市民参画の方法について》

問19. これからのまちづくりには、市民のみなさんの参加が必要ですが、あなたは、どのような形で参加したいと思いますか。次の中から該当する番号を1つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

- 1. まちづくりを考える自主的な集まりや組織に参加したい
- 2. 町内会や各種団体など、既存の組織・団体を活用して意見を述べたい
- 3. 説明会や公聴会、懇談会などに参加したい
- 4. 投書（市長のはがきやメール等）や要望などで意見を述べたい
- 5. 世論調査（今回のようなアンケート調査など）で意思表示をしたい
- 6. 市役所や議会に一任し、自分では参加しない
- 7. あまり必要性を感じない（理由： _____）
- 8. その他（具体的に： _____）

《男女共同参画について》

問20. あなたは生活全般を通して男女は平等になっていると思いますか。次の中から該当する番号を1つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

- 1. 男性の方が優遇されている
- 2. どちらかといえば男性のほうに優遇されている
- 3. 男女平等である
- 4. どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 5. 女性の方が優遇されている
- 6. わからない

問21. あなたは「ワーク・ライフ・バランス」の言葉や意味を知っていましたか。次の中から該当する番号を1つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

- 1. 言葉・意味ともに知っていた。
- 2. 言葉は知っていたが意味は知らなかった
- 3. 言葉・意味ともに知らなかった

ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）とは

「ワーク・ライフ・バランス」とは、仕事と私生活との調和をとり、その両方が充実していることをいいます。

現実の社会には、安定した仕事に就けず、経済的に自立することができない、仕事に追われ、心身の疲労から健康を害しかねない、仕事と子育てや老親の介護との両立に悩むなど、仕事と生活の間で問題を抱える人が多く見られます。これらが、働く人々の将来への不安や豊かさが実感できない大きな要因となっており、社会の活力の低下や少子化・人口減少という現象にまで繋がっていると言えます。それを解決する取組が、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現です。

（内閣府ホームページより引用）

《新たな提案について》

問22. 根室市のまちづくりについて、ご意見・ご提案やアイデアがあれば、自由にご記入下さい。

ご協力ありがとうございました。

*記入済みの調査票は、同封の封筒に入れ、6月30日（土）までに、投函してください。